

# 新しい盛岡市総合計画策定に係る アンケート調査報告書

平成 16 年 7 月

盛 岡 市

# 目 次

調査の概要	1
表記例	2
集計分析結果	
まちづくりアンケート・まちづくりの提言アンケート	
1 調査回答者の属性	3
2 集計結果	
問1- 盛岡市の現況	4
問1- 盛岡市の現況	5
問2 盛岡市の将来像	6
問3 考慮すべき社会の動向	7
問4 人口規模	8
問5 必要な施設	9
市民の声アンケート	
1 調査回答者の属性	10
2 集計結果	
問1 盛岡市の将来像	12
問2 まちづくり	16
問3 情報化の推進	20
問4 産業・観光の振興	24
問5 雇用の促進	28
問6 教育・文化活動の充実	32
問7 環境問題への対応	36
問8 保健・福祉・医療の充実	40
問9 高齢者福祉	44
問10 少子化対応	48
問11 市民活動の充実	52
まちづくりへの提言（まちづくりアンケート・まちづくりの提言アンケート）	
1 提言の概要	56
2 提言の内容	
機能的で魅力ある都市の創造	57
豊かで活力ある産業活動	61
ふるさとの未来を支える人材の育成	67
快適で潤いのある環境の創出	72
健やかで心のかよう地域社会の形成	82
市政全般について	88
広域合併について	96
その他	99

## 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、平成17年度を初年度とする新しい盛岡市総合計画の策定に当たり、各界の代表者や市民の意見を計画に反映させることを目的とする。

### 2 調査の設計

	まちづくりアンケート	まちづくりの提言アンケート	市民の声アンケート
対象者	市内に在住または市内に通勤する各界各層の代表者	盛岡に理解があり、外から見た評価・意見を頂戴できる方	一般市民 (下記を条件に無作為抽出)
(例)	市内企業の経営者、各種団体の長、医療機関・福祉施設・教育機関の長、町内会長、行政関係者等	ふるさと大使、県外企業の支店長、報道機関の支局長、ホテル、観光業界等	地区別(福祉推進会)・世代別(20代~60代)・男女別に同数を抽出 [28地区(50人/1地区)] ×[5世代(男女別)]
標本数	962	167	1400
調査方法	郵送調査 回答は直接調査表に記入し返送	郵送調査 回答は同封のハガキに記入し返送	郵送調査 回答は同封のハガキに記入し返送
調査期間	平成15年7月22日~8月10日	平成15年7月22日~8月10日	平成15年7月22日~8月10日

### 3 調査の内容

設問1	盛岡市の現況	盛岡市の現況	盛岡市の将来像
設問2	盛岡市の将来像	盛岡市の将来像	まちづくり
設問3	考慮すべき社会の動向	考慮すべき社会の動向	情報化の推進
設問4	人口規模	まちづくりへの提言(記述式)	産業・観光の振興
設問5	必要な施設		雇用の促進
設問6	まちづくりへの提言(記述式)		教育・文化活動の充実
設問7			環境問題への対応
設問8			保健・福祉・医療の充実
設問9			高齢者福祉
設問10			少子化対応
設問11			市民活動の充実

### 4 回収結果

対象者数	962	167	1400
有効回収数	651	84	563
回収不能数	311	83	837
有効回収率	67.7%	50.3%	40.2%

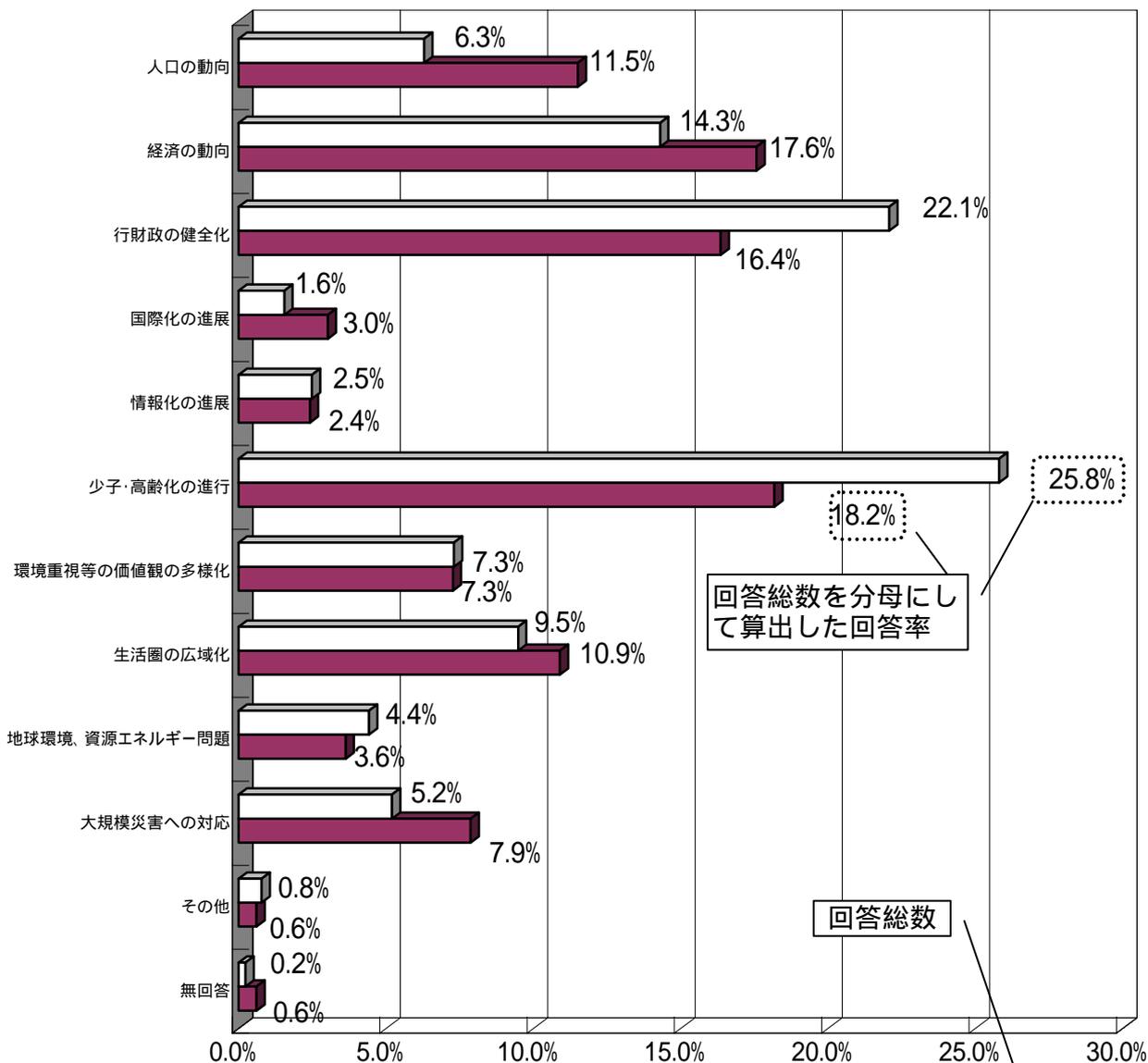
# 表記例

2つ以内の回答を選択する設問

問3 【考慮すべき社会の動向】

2A

盛岡の将来像を考える場合、最も考慮しなければならない社会の動向は何だとお考えですか。次の中から2つ以内を選んで、番号にをつけてください。



回答総数を分母にして算出した回答率

回答総数

まちづくり: 総数 = 651  
 提言: 総数 = 84

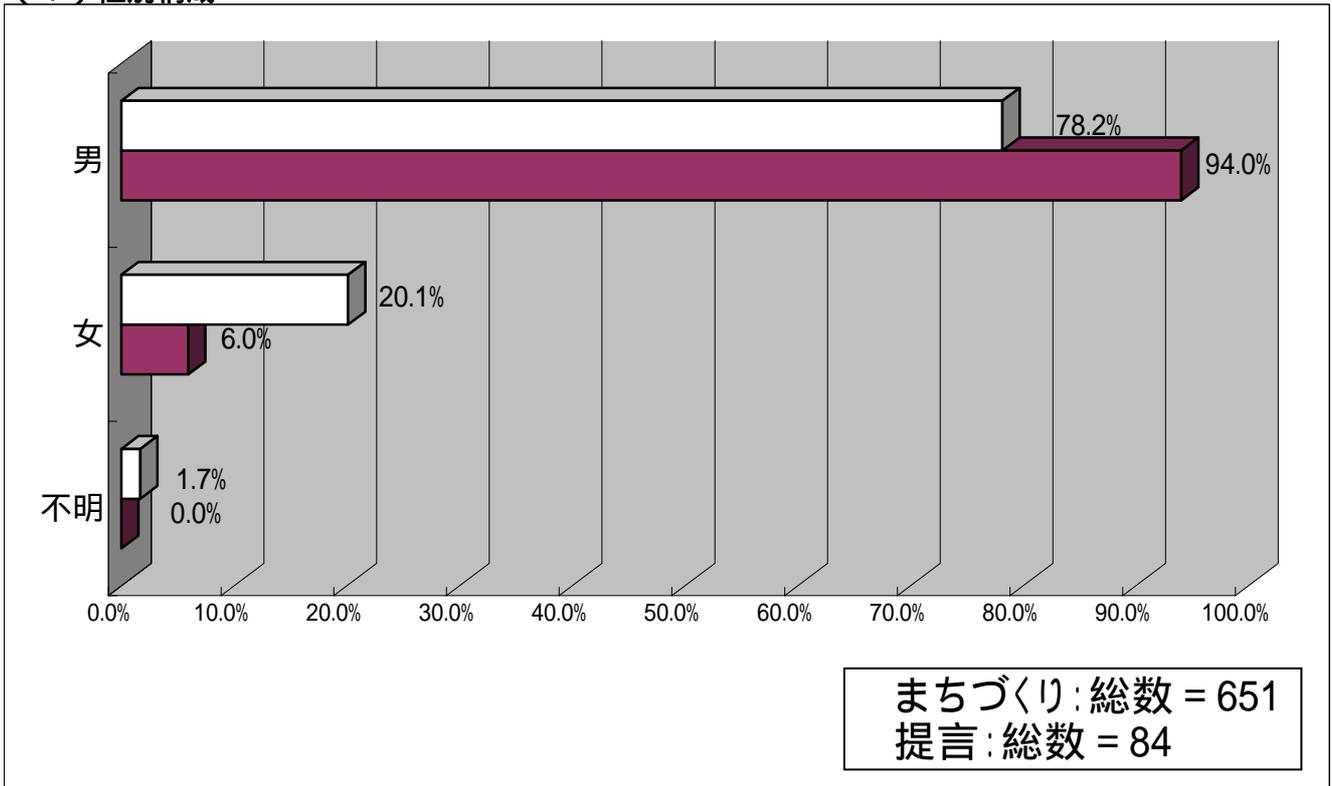
グラフ中の凡例について  
 まちづくり：まちづくりアンケート  
 提言：まちづくりの提言アンケート

# 集 計 分 析 結 果

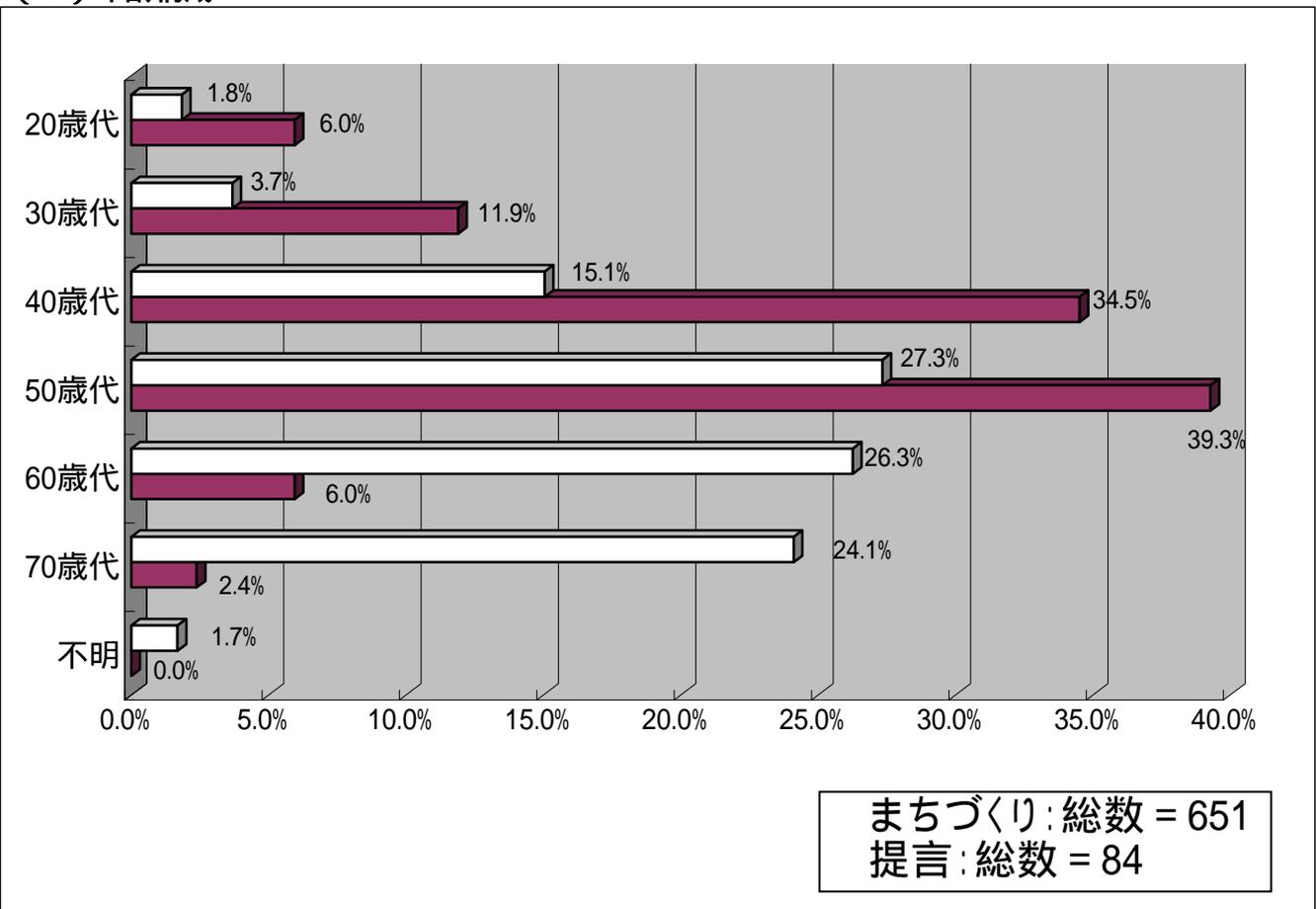
まちづくりアンケート  
まちづくりの提言アンケート

# 1 調査回答者の属性

## (1) 性別構成



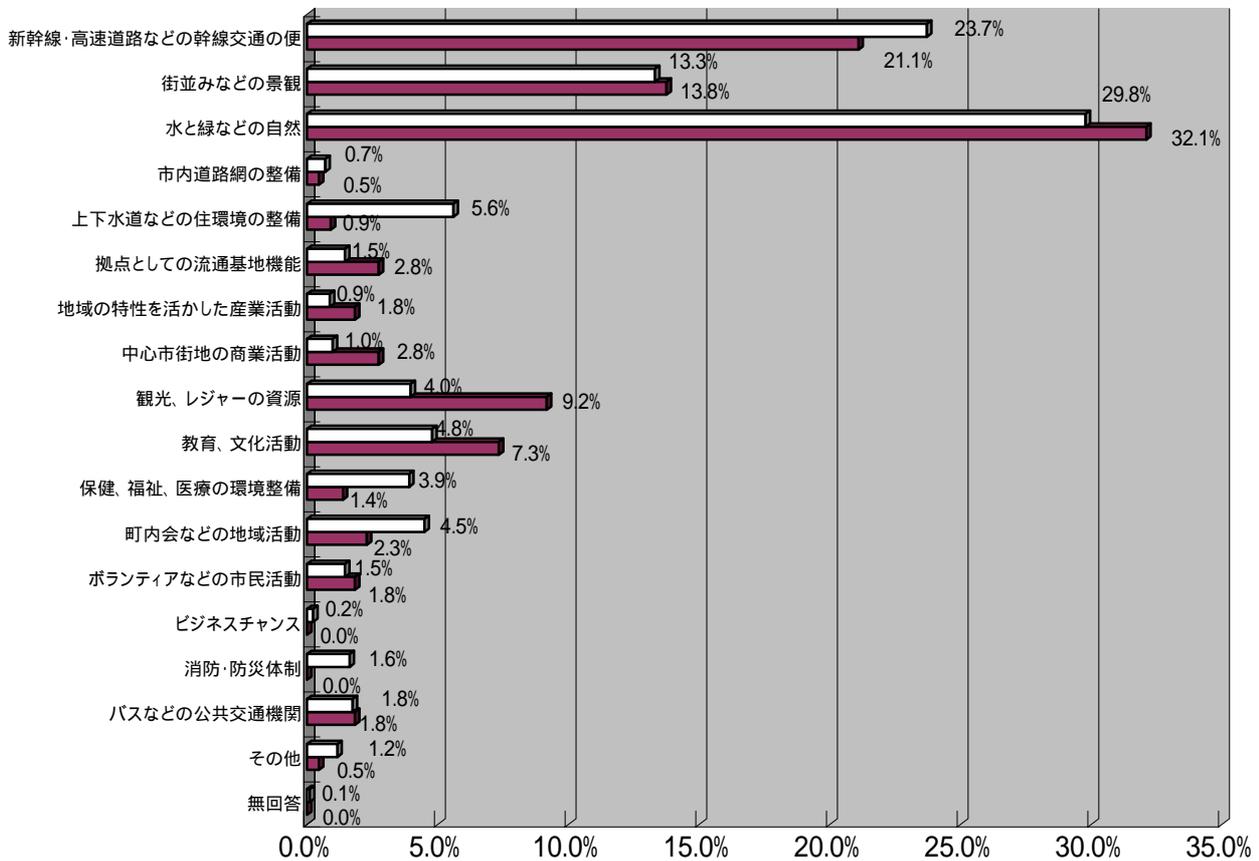
## (2) 年齢構成



## 2 集計結果

### 問1- 【盛岡市の現況】：優れている点 3A

東北の各都市と比較した場合、盛岡市が優れていると思われるところはどんな点ですか。次の中から3つ以内を選んで、番号に をつけてください。



まちづくり：総数 = 1712  
提言：総数 = 218

#### 【分析】

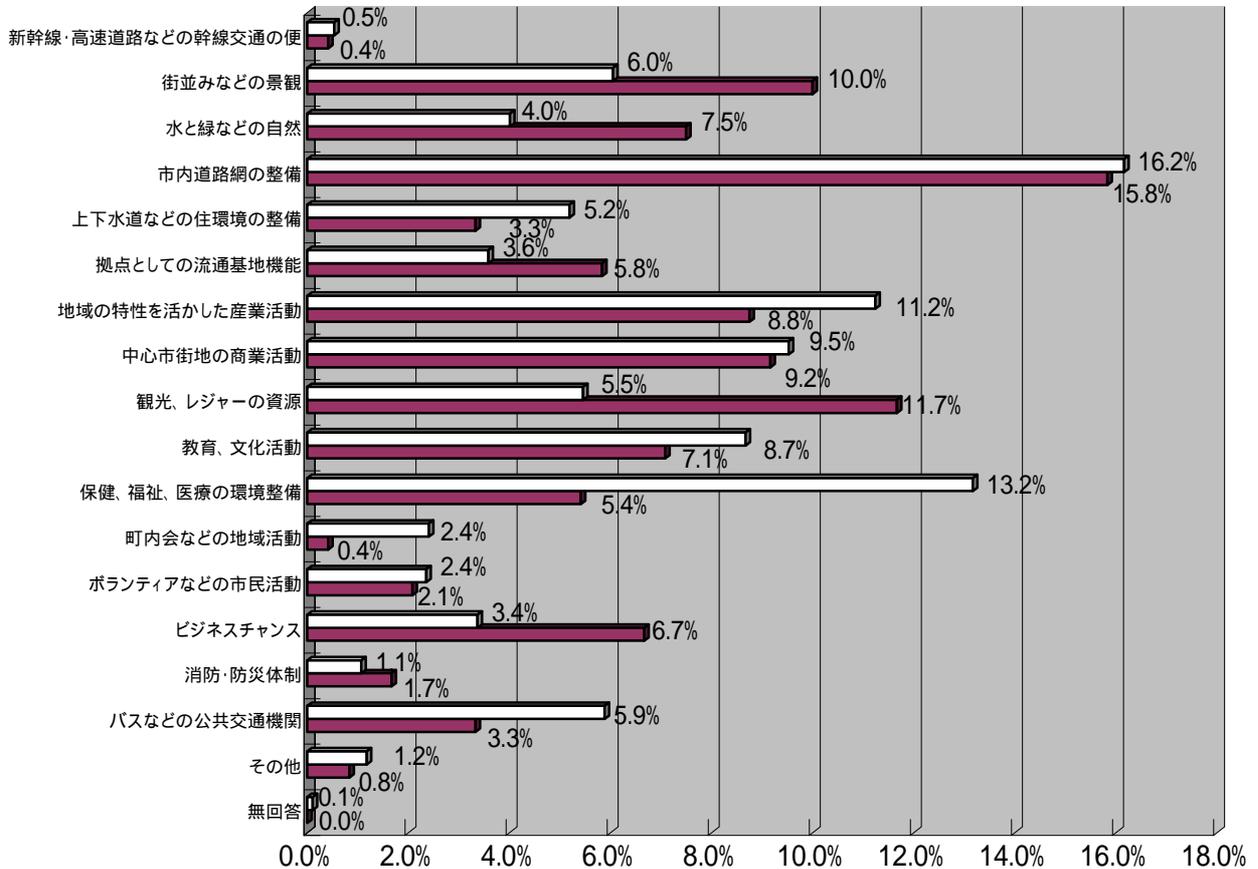
両アンケートともに「水と緑などの自然」、「新幹線・高速道路などの幹線交通の便」、「街並みなどの景観」が上位を占め、10年前の調査結果と比較して「自然、景観」に関する回答が伸びています。また、「新幹線・高速道路などの幹線交通の便」が高い回答率を得ているのに比べて「拠点としての流通基地機能」や「ビジネスチャンス」の回答率が低く、高速交通の拠点機能を十分活かしかれていない現状認識にあることが分かります。

次に、両アンケートを比較すると、「観光、レジャーの資源」が提言アンケートでは高い回答になっており、資源に気が付かない、あるいは資源を活かしかれていない状況が見えてきます。

『参考：前回のまちづくりアンケート調査（第三次総合計画策定時に実施：平成5年）』

類似設問である【拠点都市として優位に立っているもの】という設問での上位は、「高速交通網の整備」28.4%、「自然環境」24.5%、「観光リゾートの拠点性」13.1%となっています。

それでは、盛岡市では今後どのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。次の中から3つ以内を選んで、番号に をつけてください。



まちづくり：総数 = 1868  
 提言：総数 = 240

【分析】

両アンケートともに「市内道路網の整備」の回答が最も多く、既成市街地を中心に発生する慢性的な交通混雑や冬期間の除排雪対策など増えつづける交通需要に対応した道路網となっていないことに対する不満が読み取れます。

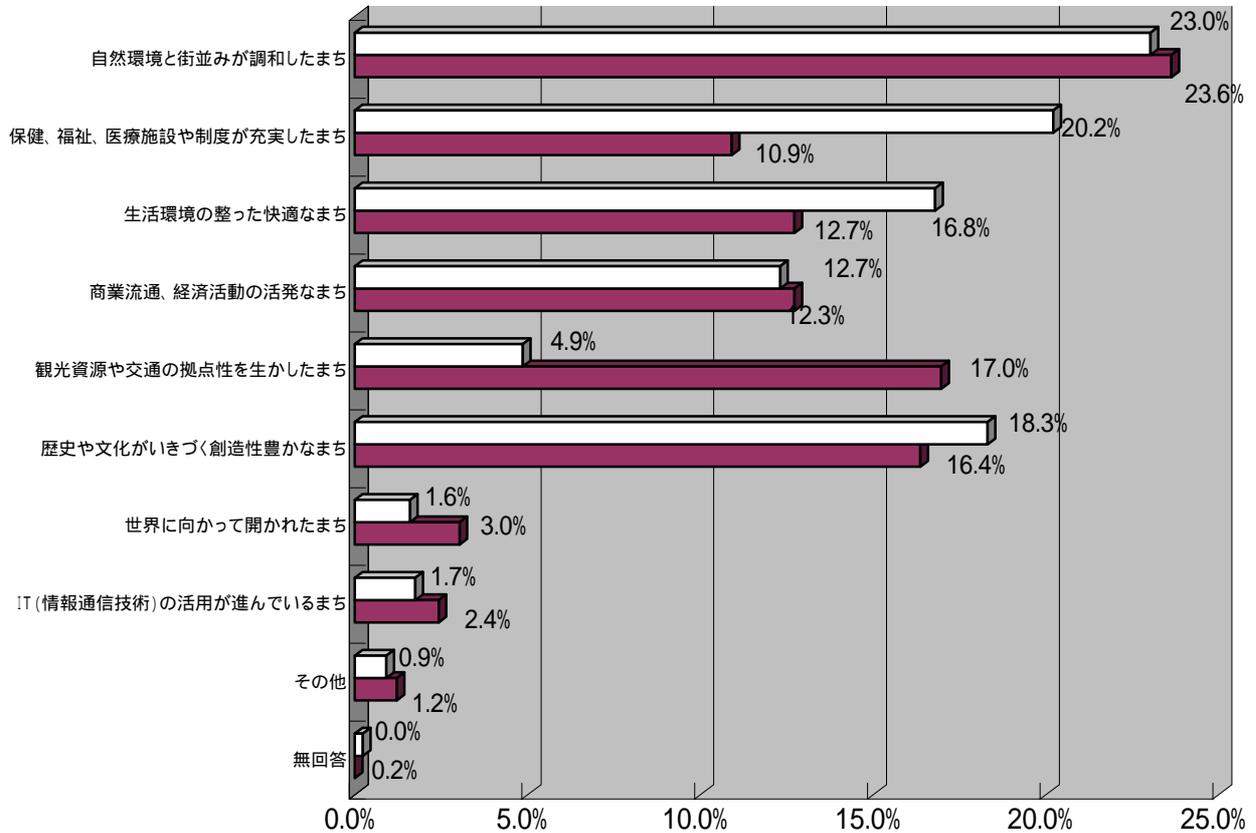
次に、両アンケートを比較すると、まちづくりアンケートでは「保健、福祉、医療の環境整備」等の生活に密接に関連した回答が、提言アンケートでは「観光、レジャーの資源」、「街並みなどの景観」、「水と緑などの自然」及び「ビジネスチャンス」といった「景観や自然を活用した観光産業」に重心を置いた回答が突出した形になっています。

『参考：前回のまちづくりアンケート調査（第三次総合計画策定時に実施：平成5年）』

類似設問である【将来伸ばしていくもの】という設問での上位は「活発な産業活動」17.2%、「教育・文化施設や充実した活動」15.7%、「充実した福祉・医療」13.8%となっています。

問2 【盛岡市の将来像】 2A

盛岡市が将来、どのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から2つ以内を選んで、番号に をつけてください。



まちづくり: 総数 = 1316  
 提言: 総数 = 165

【分析】

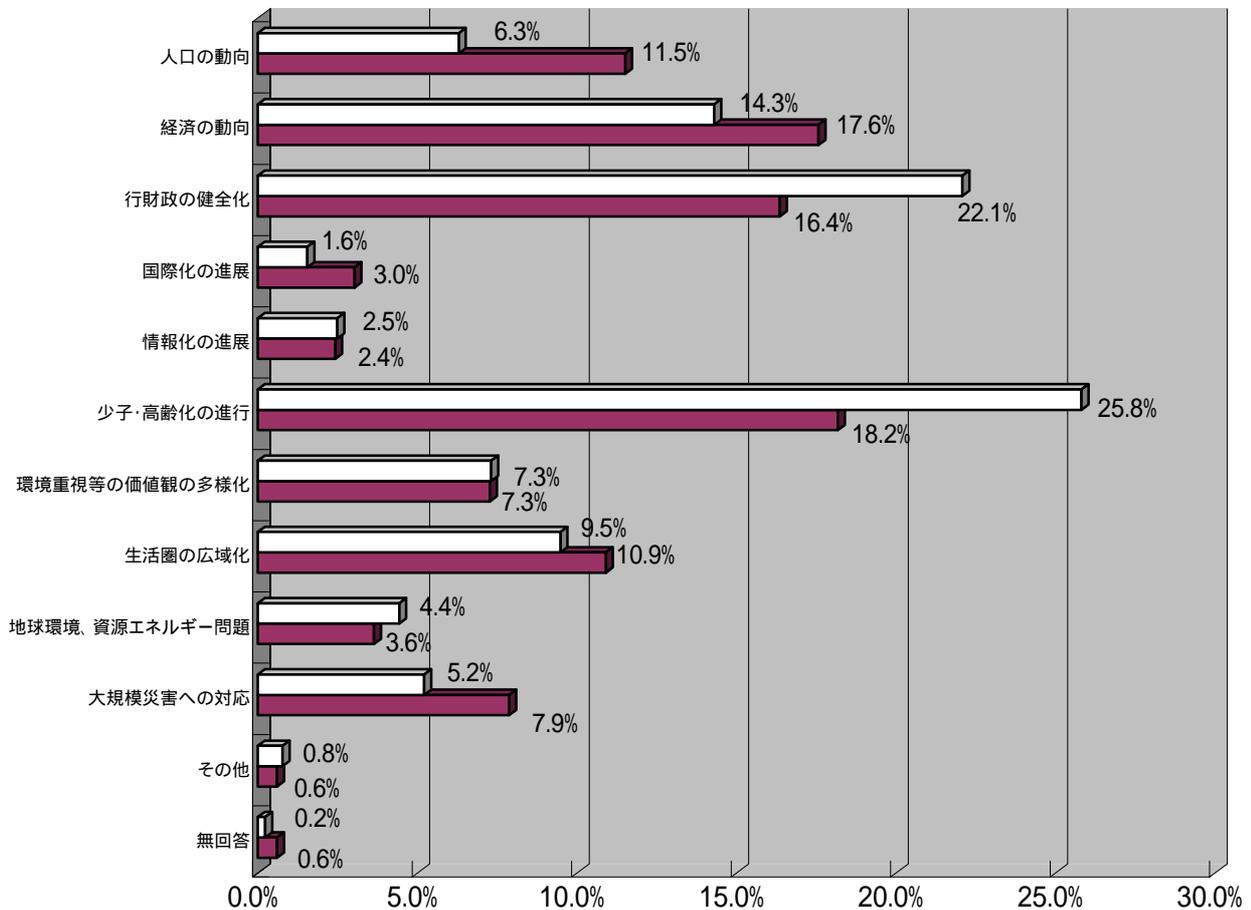
10年前の調査結果と比較して上位は大きく変わっていませんが、まちづくりアンケートでは「保健、福祉、医療施設や制度が充実したまち」が大きく伸びており、市民ニーズの高まりが感じ取れます。また、提言アンケートでは「観光資源や交通の拠点性を生かしたまち」が高い回答率になっており、前問と同様の傾向が現れています。

『参考：前回のまちづくりアンケート調査（第三次総合計画策定時に実施：平成5年）』

類似設問である【盛岡市の将来像】という設問での上位は、「水と緑と都市が調和した自然環境都市」26.7%、「豊かな歴史や文化がいきづく創造性豊かな教育・文化都市」20.3%、「生活環境の整った快適都市」13.5%となっています。

問3 【考慮すべき社会の動向】 2A

盛岡の将来像を考える場合、最も考慮しなければならない社会の動向は何だとお考えですか。次の中から2つ以内を選んで、番号に をつけてください。



まちづくり: 総数 = 1286  
 提言: 総数 = 165

【分析】

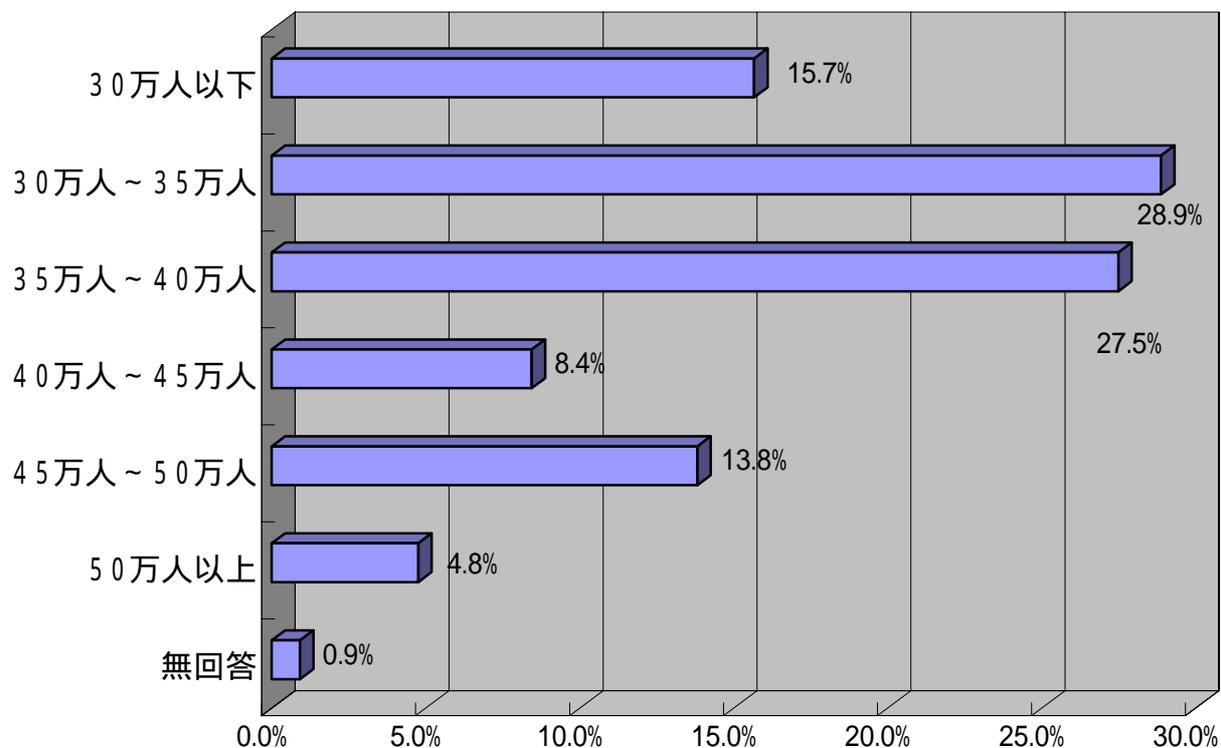
まちづくりアンケートで「少子・高齢化の進行」と「行財政の健全化」が目立つが、「人口の動向」と「経済の動向」を加えれば両アンケートとも同じような回答傾向にあるのが分かります。また、10年前の調査結果と比較すると、「少子・高齢化の進行」が大きく伸びている一方で「生活圏の広域化」がポイントを下としていますが、厳しい行財政運営の中で少子化対策・高齢者福祉対策を強く推進していくことが求められている状況にあることと、現時点では都南村との合併時に比べて「広域化」に係る関心の高まりは十分ではない状況にあることが分かります。

『参考：前回のまちづくりアンケート調査（第三次総合計画策定時に実施：平成5年）』

類似設問である【考慮すべき社会の動向】という設問での上位は、「都市化の進展と生活圏の広域化」21.6%、「経済の安定成長」19.5%、「高齢化の進展」16.9%となっています。

問4 【人口規模】 1A

現在、盛岡市の人口は約29万人です。都市の規模としてどのくらいの人口が望ましいとお考えですか。次の中から1つ選んで、番号に をつけてください。



総数 = 651

まちづくりアンケートのみ調査実施

まちづくりアンケートのみの調査ですが、30万人以上の都市規模を望む割合は、83.4%と非常に高い割合となっています。しかし、前回調査（第三次総合計画策定時に実施：平成5年）では、30万人以上と答えた人は、89.7%であり、6.3%減少しています。

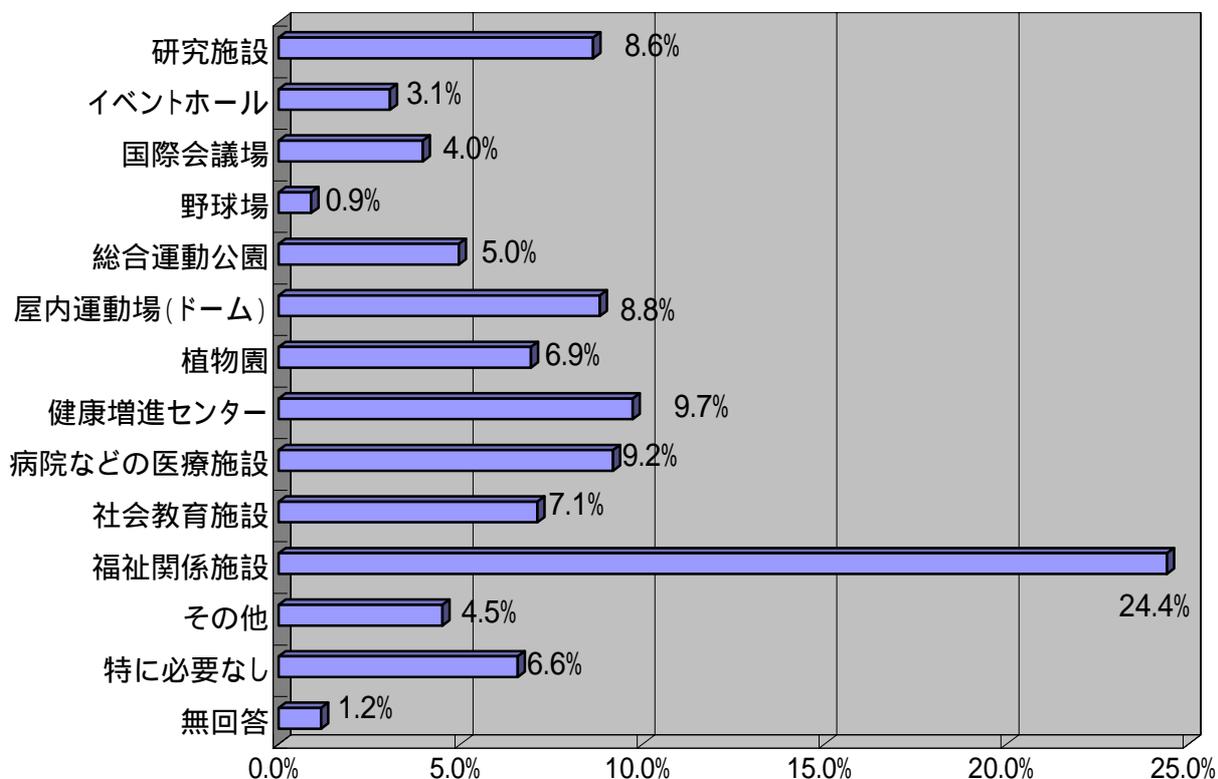
一方、30万人以下は今回は15.7%で、前回調査時より、6.2%増加していることから、少数ではあるが、これ以上の都市規模の増大を望まない声もあることがうかがえます。

『参考：前回のまちづくりアンケート調査（第三次総合計画策定時に実施：平成5年）』

類似設問である【人口規模】という設問での上位は、「30万人～40万人」51.2%、「40万人～50万人」30.7%、「30万人」9.5%となっています。

問5 【必要な施設】 2A

盛岡市及び周辺町村に、都市機能の充実・強化を図るために新たに必要と思われる施設は何ですか。次の中から2つ以内を選んで、番号に をつけてください。



総数 = 1110

まちづくりアンケートのみ調査実施

まちづくりアンケートのみの調査ですが、一番回答が多かったのは、4人に1人の割合で回答のあった「福祉関係施設」で、「健康増進センター」、「病院などの医療施設」と続き、保健福祉関係が上位を占めています。

『参考：前回のまちづくりアンケート調査（第三次総合計画策定時に実施：平成5年）』

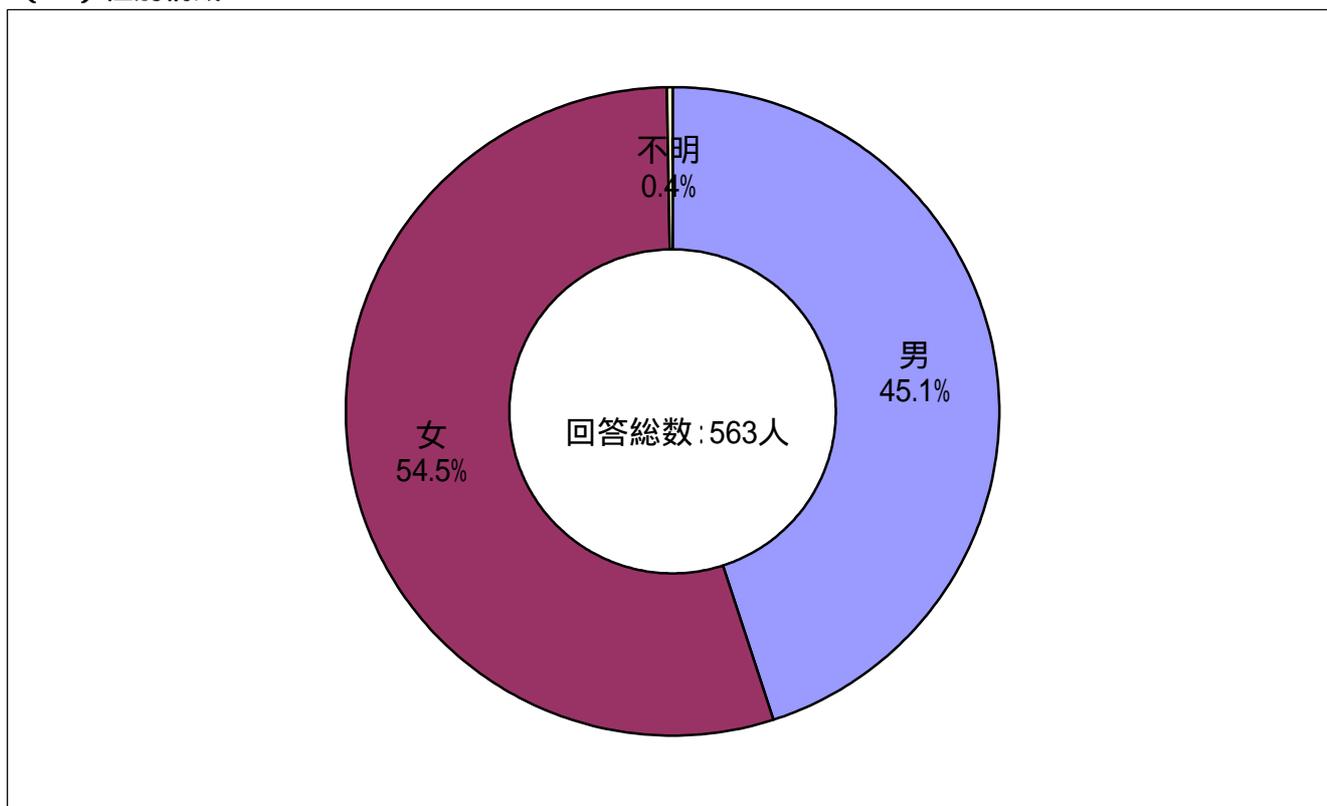
類似設問である【欲しい施設】という設問での上位は、「美術館」12.8%、「総合運動公園」11.5%、「植物園」10.3%となっています。

# 集 計 分 析 結 果

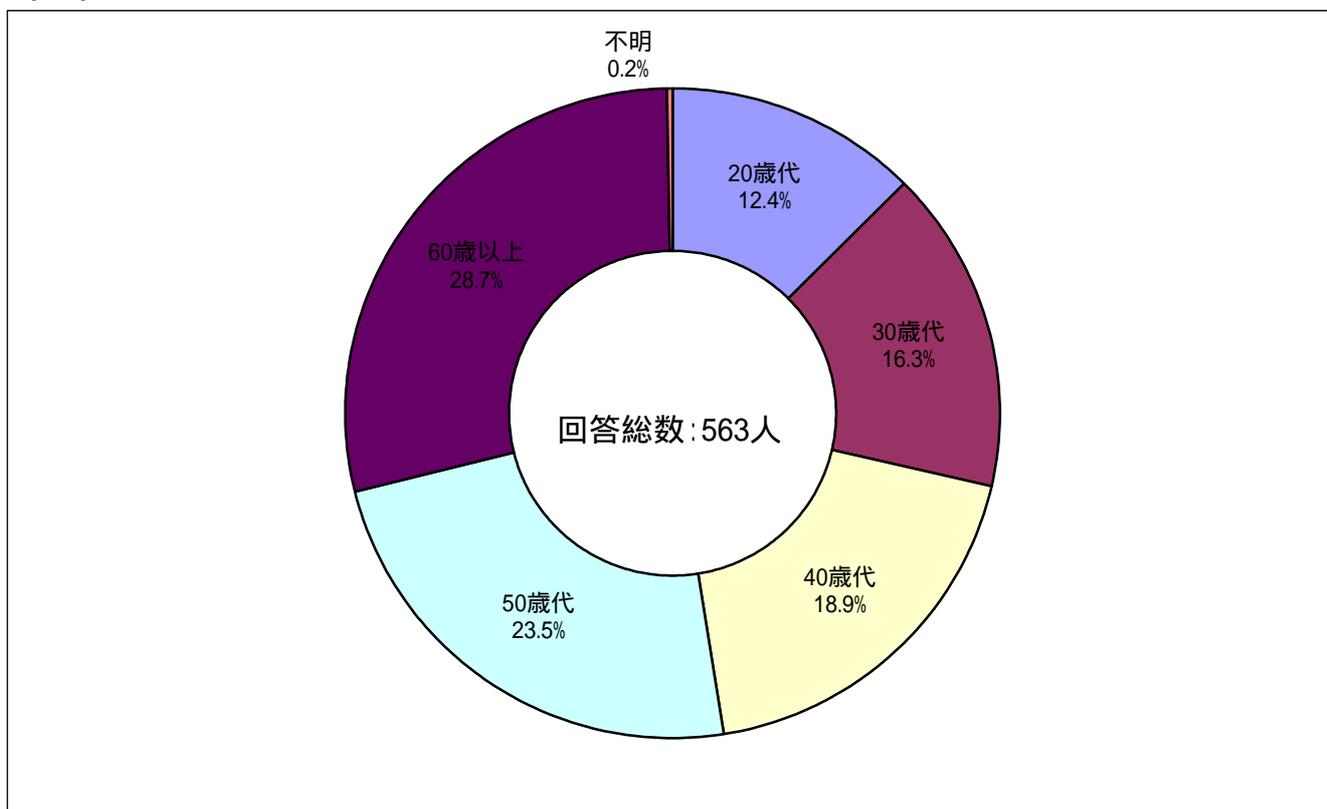
市民の声アンケート

# 1 調査回答者の属性

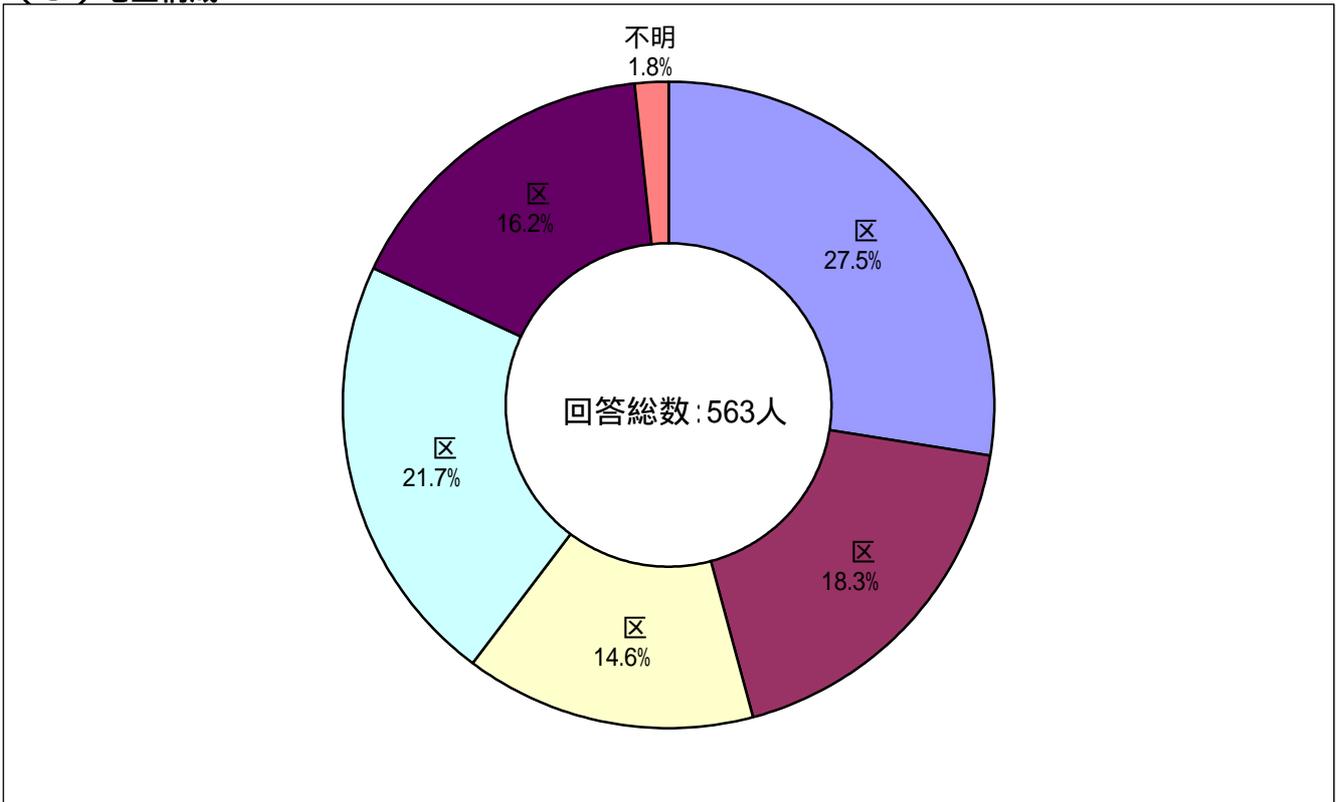
## (1) 性別構成



## (2) 年齢構成

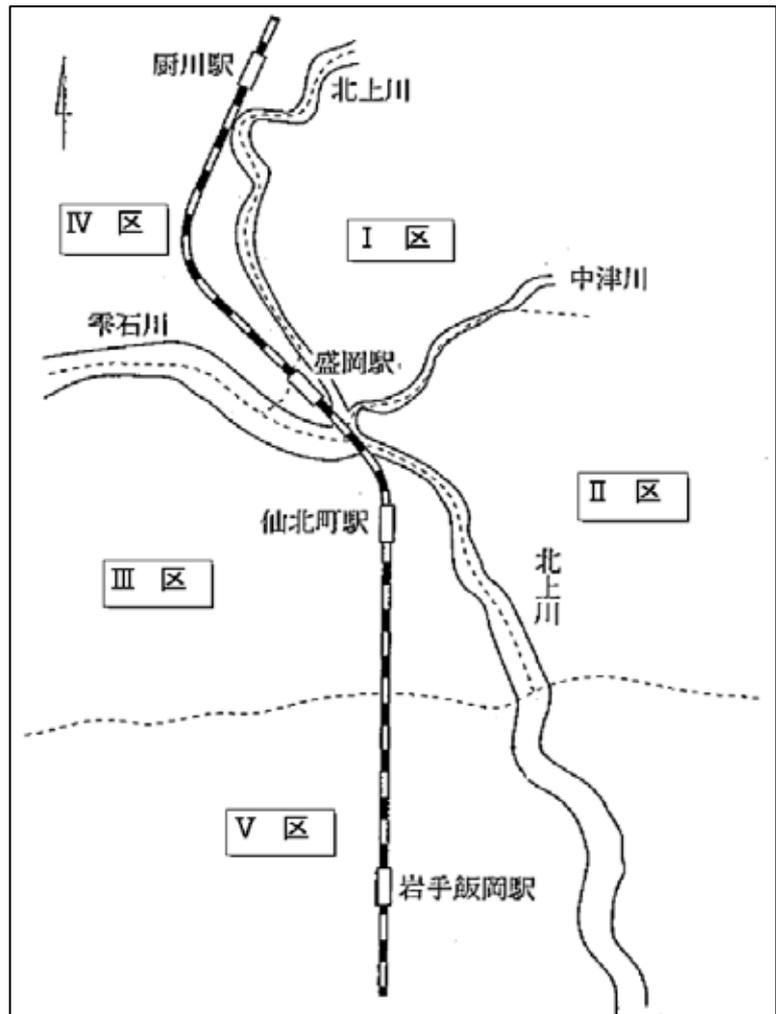


(3) 地区構成



【地区区分図】

		回答者数
I 区	仁 王	22
	桜 城	27
	上 田	22
	緑が丘	18
	松 園	26
	山 岸	27
	米 内	13
区	城 南	21
	加賀野	24
	杜 陵	11
	大慈寺	14
	中 野	17
	築 川	16
区	仙 北	24
	本 宮	21
	太 田	18
	繫	19
区	青 山	21
	みたけ	15
	北厨川	22
	西厨川	19
	土 淵	19
	東厨川	26
区	見 前	21
	津志田	16
	永 井	14
	飯 岡	19
	乙 部	21
	不明	10
計		563



## 2 集計結果

問1 【盛岡市の将来像】 回答総数 1,112 2A

盛岡市が将来、どのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から2つ以内をお選びください。

- 1 自然環境と街並みが調和したまち
- 2 保健、福祉、医療施設や制度が充実したまち
- 3 生活環境の整った快適なまち
- 4 商業流通、経済活動の活発なまち
- 5 観光資源や交通の拠点性をいかしたまち
- 6 歴史や文化がいきづく創造性豊かなまち
- 7 世界に向かって開かれたまち
- 8 IT（情報通信技術）の活用が進んでいるまち
- 9 その他

### 【全体】

「2 保健、福祉、医療施設や制度が充実したまち」、「1 自然環境と街並みが調和したまち」と答えた人の割合が上位となっています。次いで、「3 生活環境の整った快適なまち」、「4 商業流通、経済活動の活発なまち」、「6 歴史や文化がいきづく創造性豊かなまち」が10%を超える結果となっています。

### 【性別】

「2 保健、福祉、医療施設や制度が充実したまち」と答えた女性の方が男性より約10%も高い比率となっています。一方、男性は、「8 IT（情報通信技術）の活用が進んでいるまち」で回答率は低いですが、女性との違いとして目立っています。

### 【年代別】

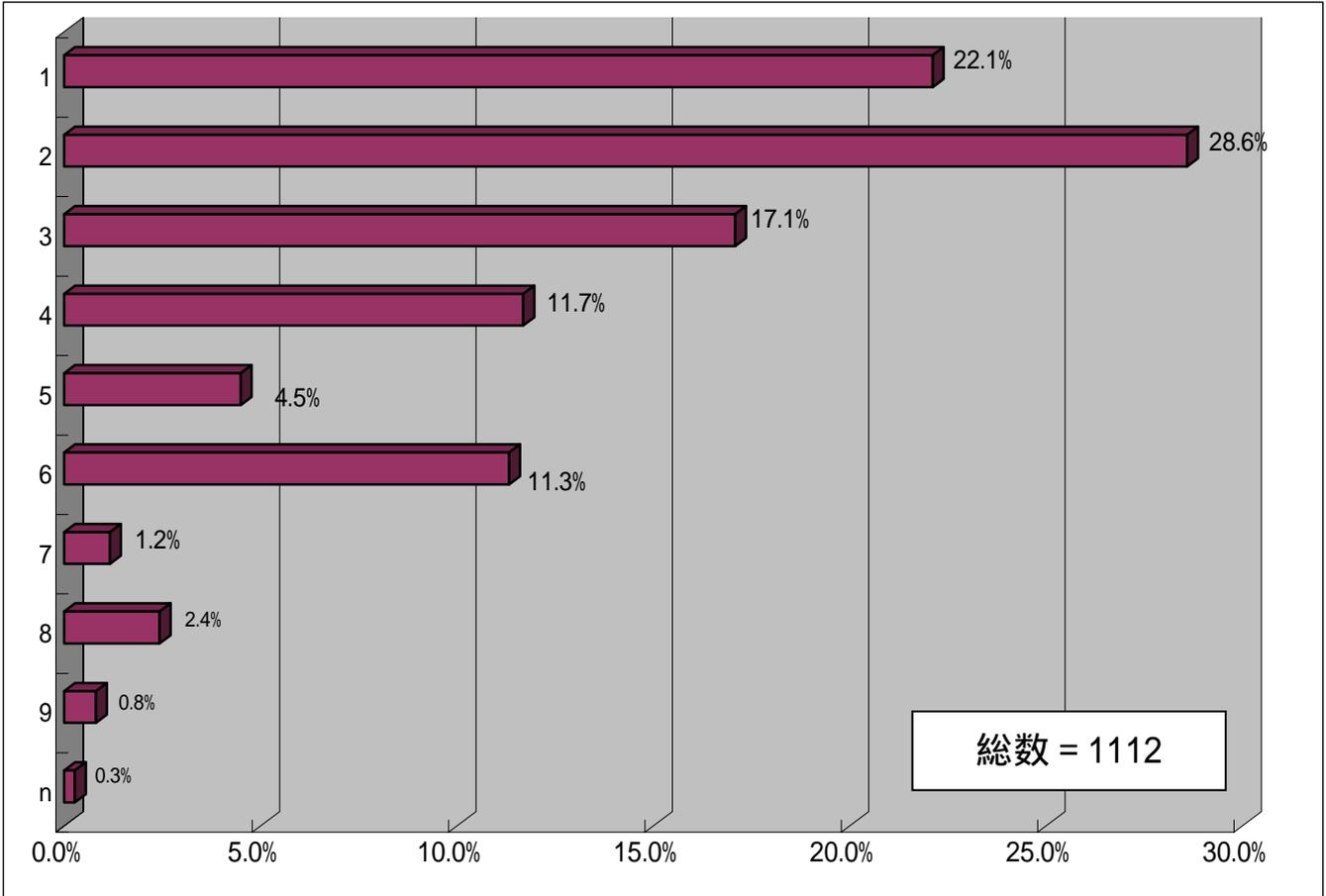
全ての年代で、「2 保健、福祉、医療施設や制度が充実したまち」と答えた人の割合が最も高くなっていますが、20歳代、30歳代では、20%台に対し、40歳代以上では、30%を超える結果となっています。

### 【地区別】

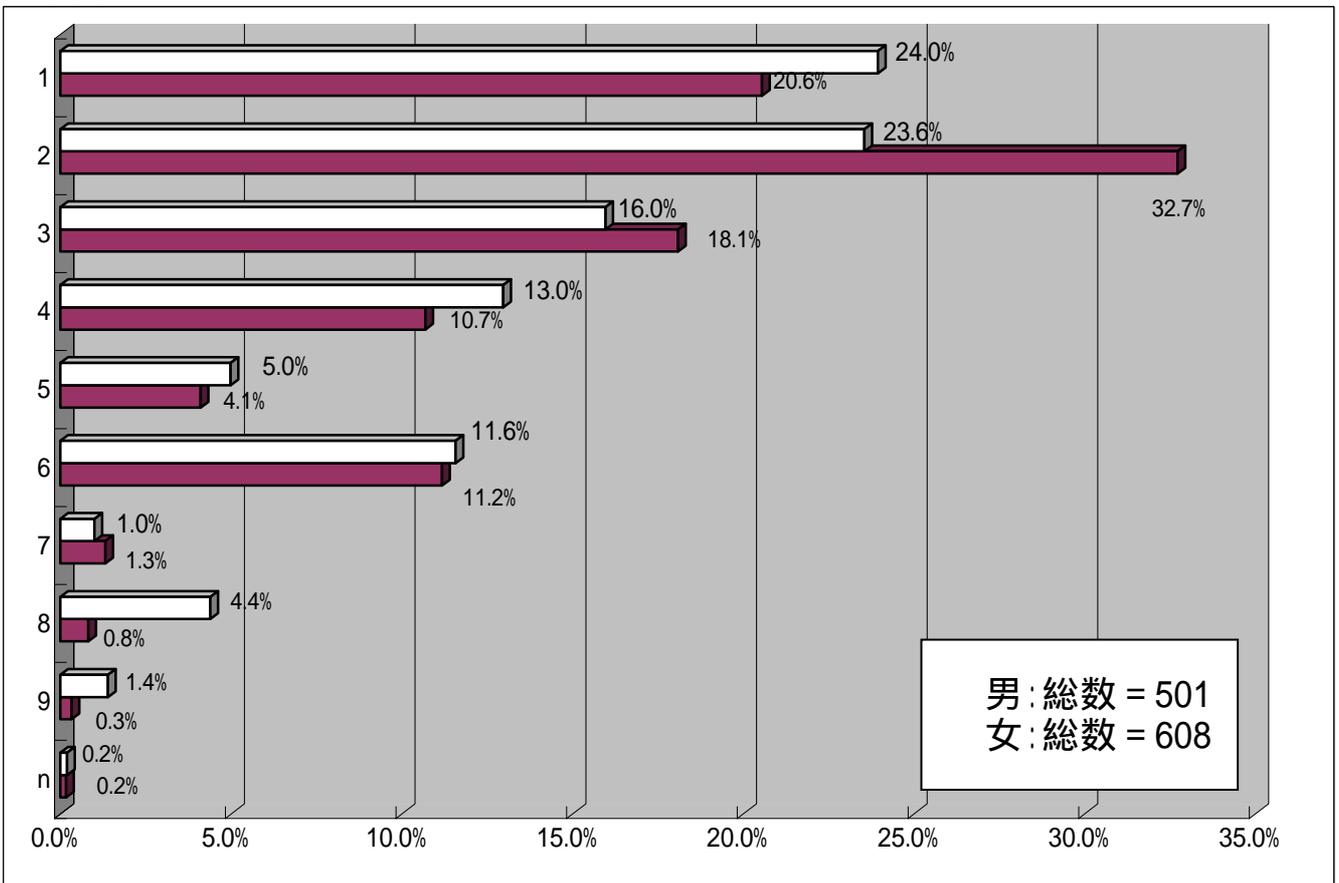
全ての地区で、「2 保健、福祉、医療施設や制度が充実したまち」と答えた人の割合が最も高く、次いで、「1 自然環境と街並みが調和したまち」の順となっています。地区別で比較した場合、各地区で大きな差は見られませんが、地区(仁王、桜城、上田、山岸など)では、「2 保健、福祉、医療施設や制度が充実したまち」が唯一30%台を超えています。地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)では、「1 自然環境と街並みが調和したまち」、「3 生活環境の整った快適なまち」がやや高くなっています。地区(仙北、本宮、太田、繫)では、「5 観光資源や交通の拠点性をいかしたまち」の回答が他より高くなっています。地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)と地区(旧都南地区)では、「4 商業流通、経済活動の活発なまち」の回答がやや高い結果となっています。

【全体】

nは無回答



【性別】



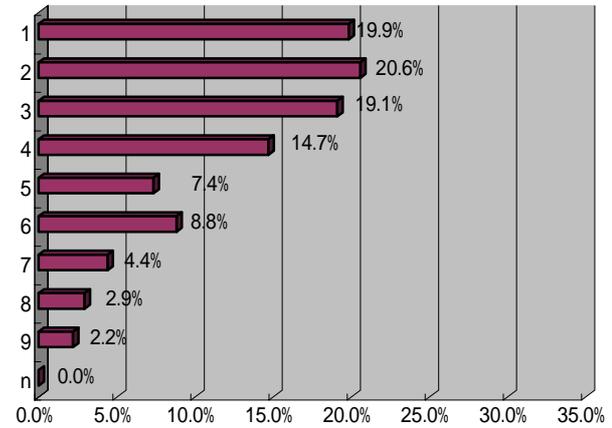
## 【年代別】

項目について

- 1 自然環境と街並みが調和したまち
- 2 保健、福祉、医療施設や制度が充実したまち
- 3 生活環境の整った快適なまち
- 4 商業流通、経済活動の活発なまち
- 5 観光資源や交通の拠点性をいかしたまち
- 6 歴史や文化がいきづく創造性豊かなまち
- 7 世界に向かって開かれたまち
- 8 ITの活用が進んでいるまち
- 9 その他
- n 無回答

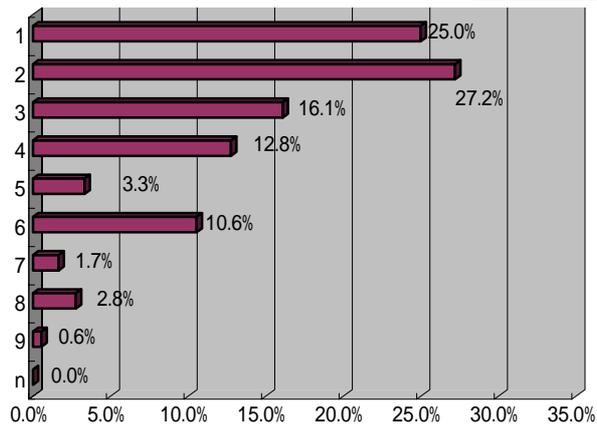
### 20歳代

総数 = 136



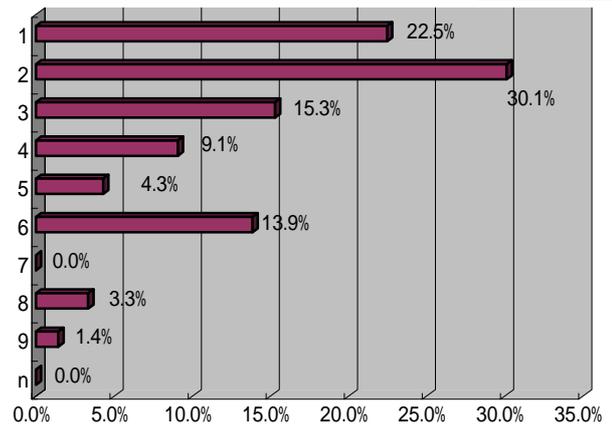
### 30歳代

総数 = 180



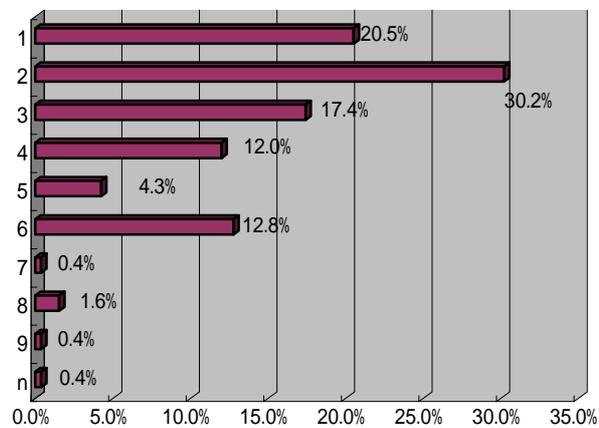
### 40歳代

総数 = 209



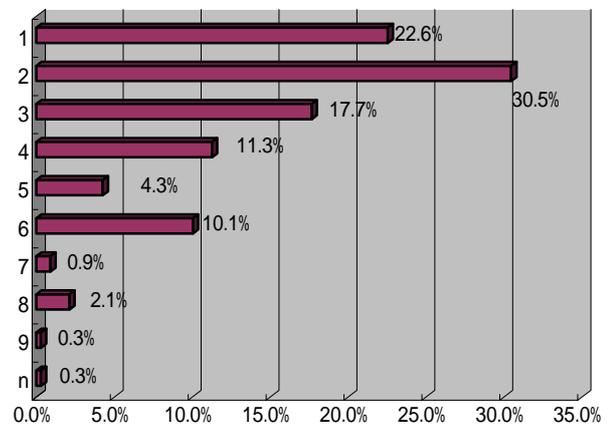
### 50歳代

総数 = 258



### 60歳以上

総数 = 328



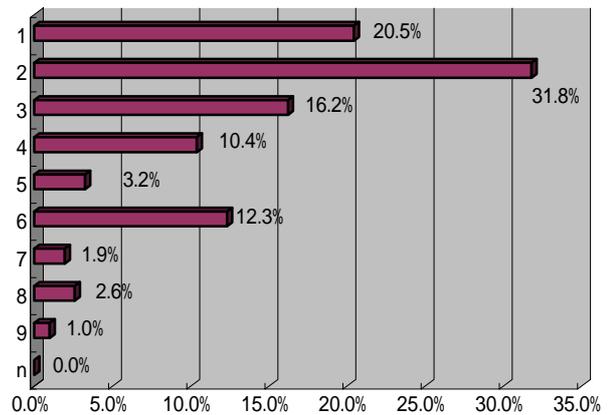
**【地区別】**

項目について

- 1 自然環境と街並みが調和したまち
- 2 保健、福祉、医療施設や制度が充実したまち
- 3 生活環境の整った快適なまち
- 4 商業流通、経済活動の活発なまち
- 5 観光資源や交通の拠点性をいかしたまち
- 6 歴史や文化がいきづく創造性豊かなまち
- 7 世界に向かって開かれたまち
- 8 ITの活用が進んでいるまち
- 9 その他
- n 無回答

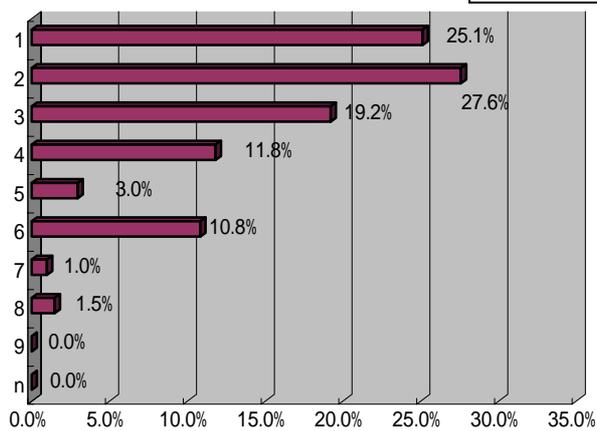
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 308



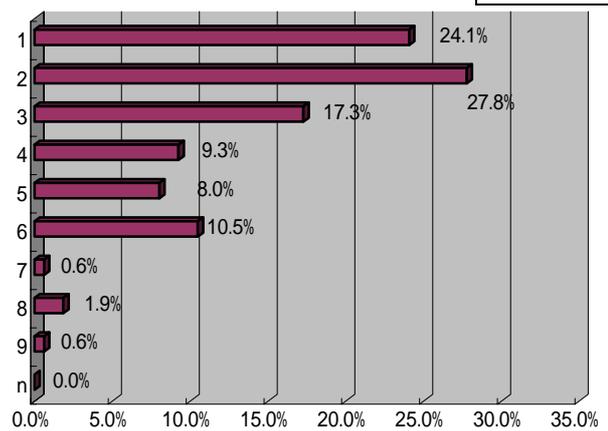
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 203



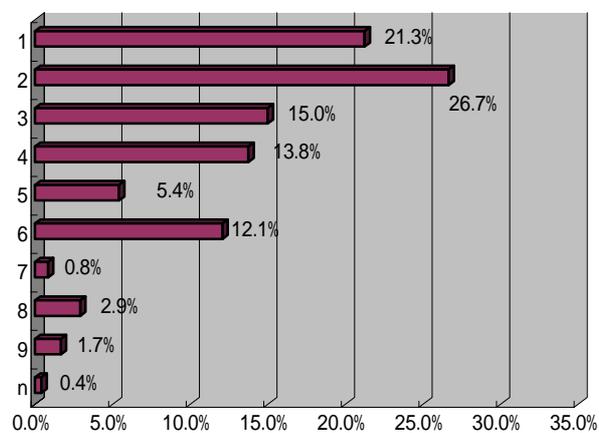
地区(仙北、本宮、太田、繋)

総数 = 162



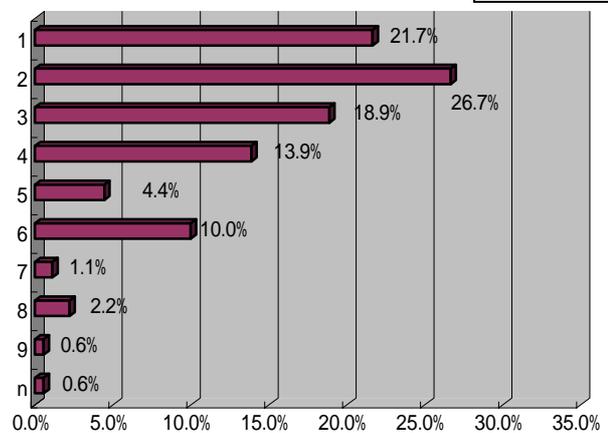
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 240



地区(旧都南地区)

総数 = 180



これからのまちづくりにあたって、盛岡市ではどのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

- |                       |               |
|-----------------------|---------------|
| 1 住環境の整備（道路、上下水道、住宅等） | 2 情報化の推進      |
| 3 産業・観光の振興            | 4 教育・文化活動の充実  |
| 5 環境保全と循環型社会づくり       | 6 交通対策の充実     |
| 7 保健・福祉・医療の充実         | 8 良好な都市景観の形成  |
| 9 市民活動の充実             | 10 消防・防災体制の充実 |
| 11 その他                |               |

### 【全体】

答えた人の割合が高かったのは、「7 保健・福祉・医療の充実」25.8%、次いで「1 住環境の整備（道路、上下水道、住宅等）」16.2%となっています。

### 【性別】

男女ともに、「7 保健、福祉、医療の充実」と答えた人の割合が最も高い比率となっています。特に、女性は約3割となっています。一方男性は、女性と比較して「3 産業・観光の振興」13.1（女性：9.4）%、「5 環境保全と循環型社会づくり」13.1（同10.1）%が高くなっています。

### 【年代別】

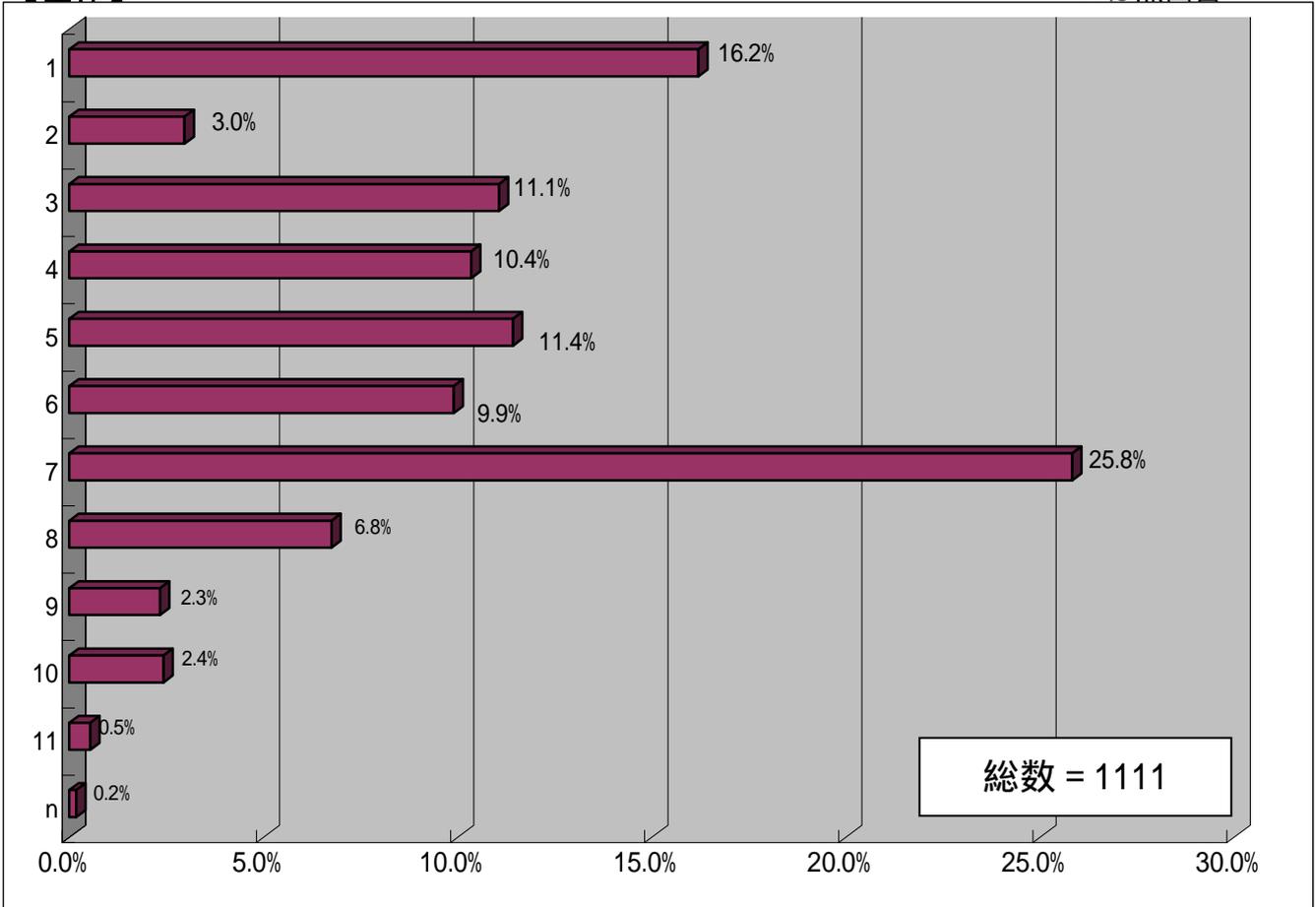
全ての年代で、「7 保健、福祉、医療の充実」と答えた人の割合が最も高くなっています。ただその割合が30歳代以上では、約25%であるのに対し、20歳代では、18.4%にとどまっています。また、普段マイカーを利用することの多い20歳代、30歳代は「6 交通対策の充実」と答えた人の割合が他より比較的高い割合となっています。

### 【地区別】

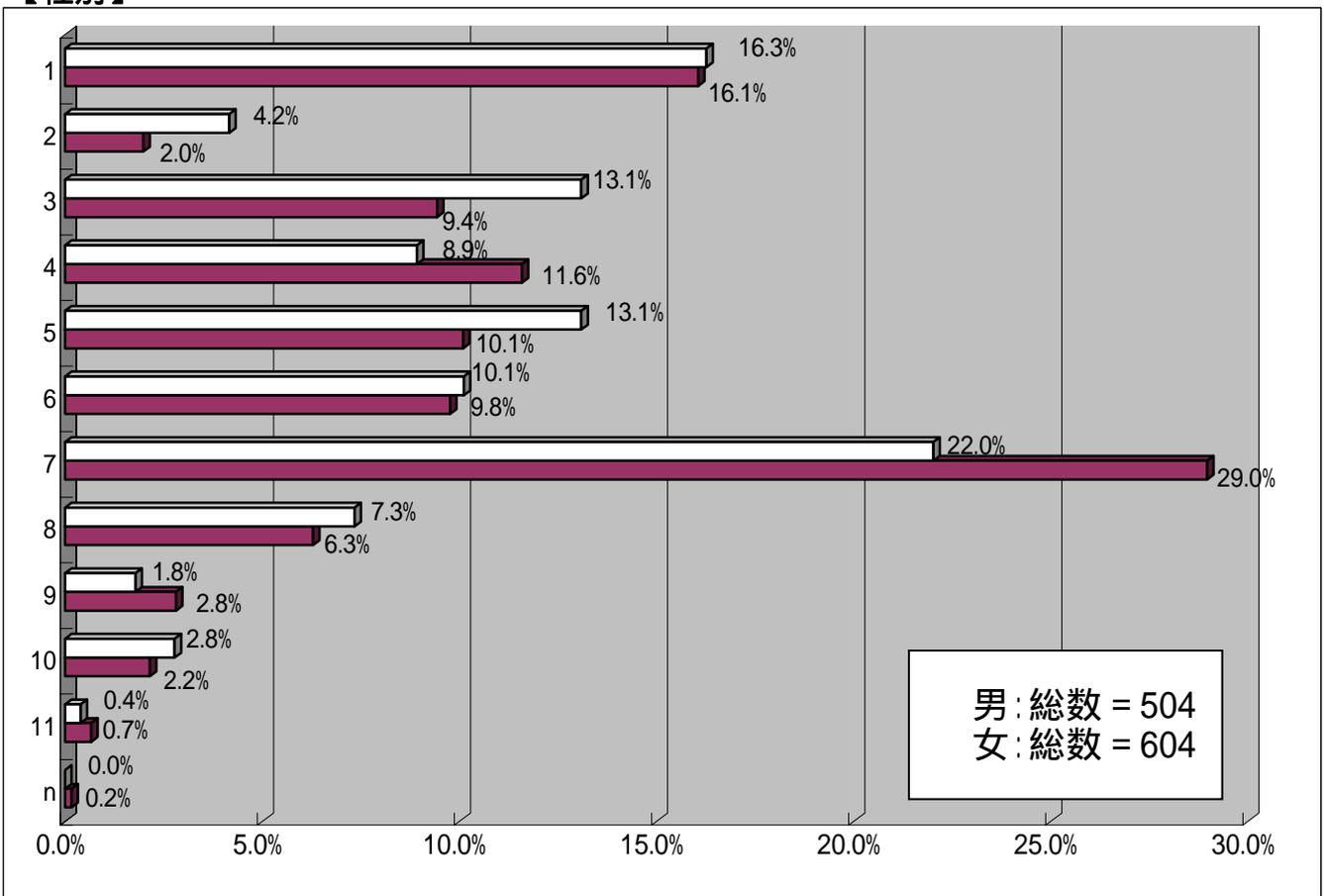
地区（仙北、本宮、太田、繋）を除いた地区では「7 保健、福祉、医療の充実」と答えた人の割合が最も高くなっています。地区では、「1 住環境の整備（道路、上下水道、住宅等）」が最も高い割合となっています。また、地区（城南、加賀野、杜陵、中野など）、地区（青山、みたけ、北厨川、土淵など）、地区（旧都南地区）地区でも、「1 住環境の整備（道路、上下水道、住宅等）」が比較的高い比率となっています。

【全体】

nは無回答



【性別】



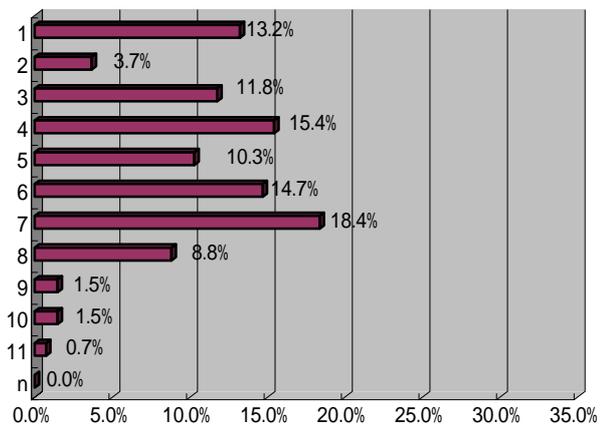
## 【年代別】

項目について

- 1 住環境の整備（道路、上下水道、住宅等）
- 2 情報化の推進
- 3 産業・観光の振興
- 4 教育・文化活動の充実
- 5 環境保全と循環型社会づくり
- 6 交通対策の充実
- 7 保健・福祉・医療の充実
- 8 良好な都市景観の形成
- 9 市民活動の充実
- 10 消防・防災体制の充実
- 11 その他
- n 無回答

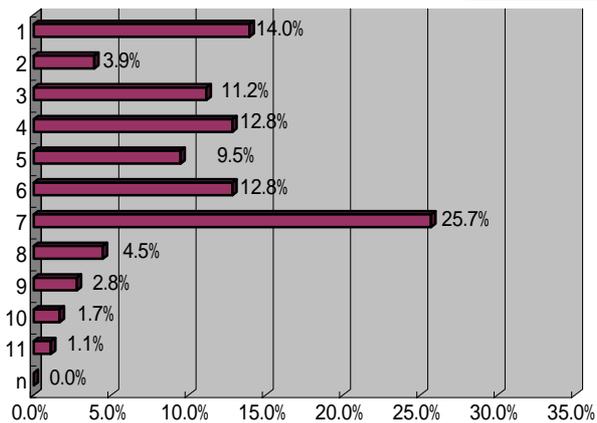
### 20歳代

総数 = 136



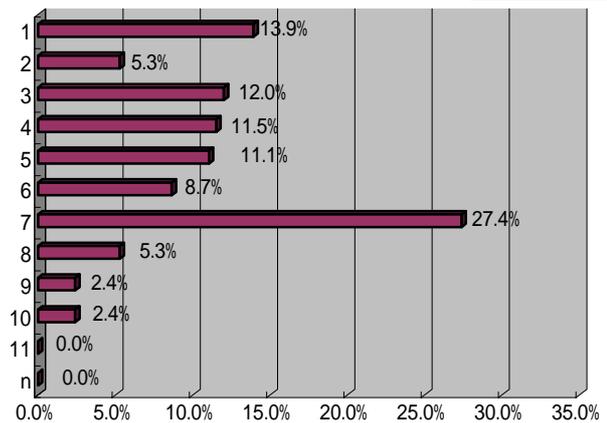
### 30歳代

総数 = 179



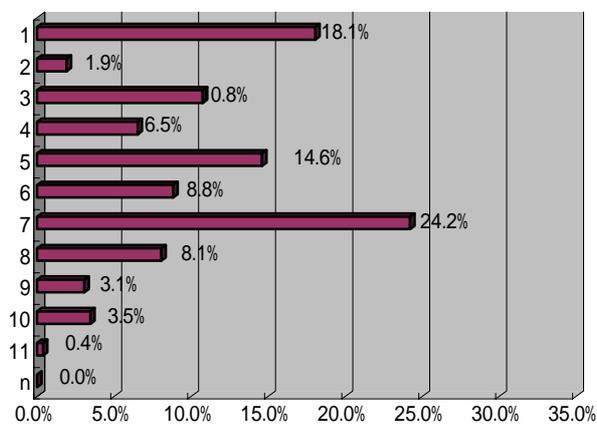
### 40歳代

総数 = 208



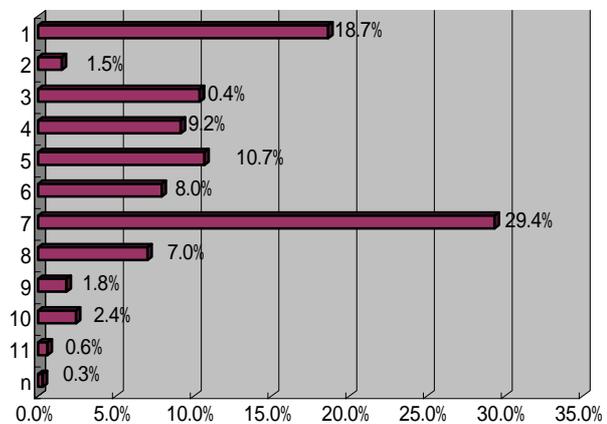
### 50歳代

総数 = 260



### 60歳以上

総数 = 327



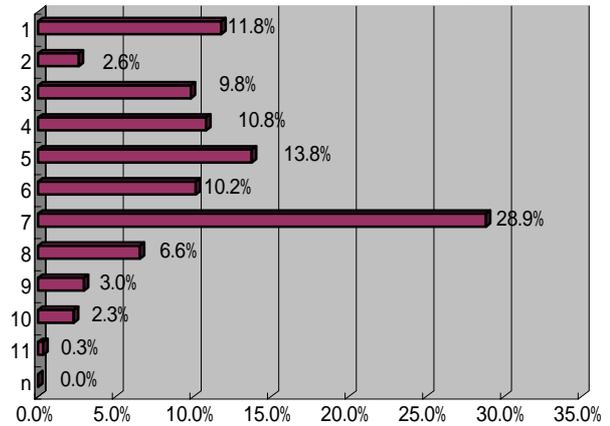
**【地区別】**

項目について

- 1 住環境の整備（道路、上下水道、住宅等）
- 2 情報化の推進
- 3 産業・観光の振興
- 4 教育・文化活動の充実
- 5 環境保全と循環型社会づくり
- 6 交通対策の充実
- 7 保健・福祉・医療の充実
- 8 良好な都市景観の形成
- 9 市民活動の充実
- 10 消防・防災体制の充実
- 11 その他
- n 無回答

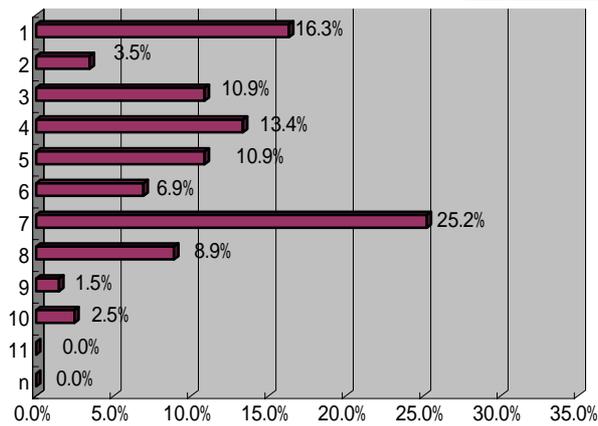
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 305



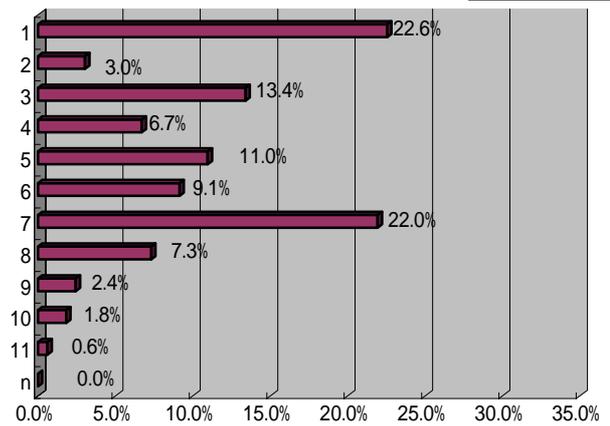
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 202



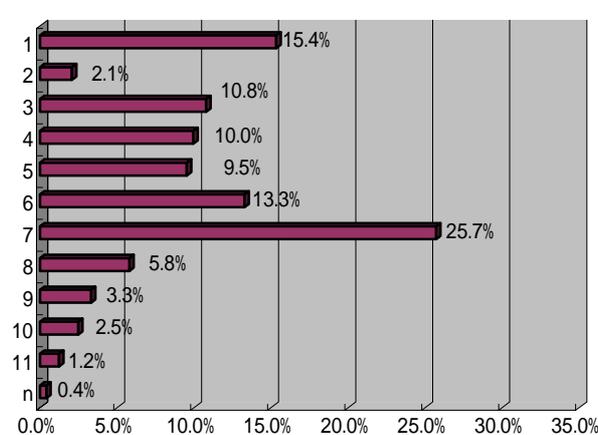
地区(仙北、本宮、太田、繋)

総数 = 164



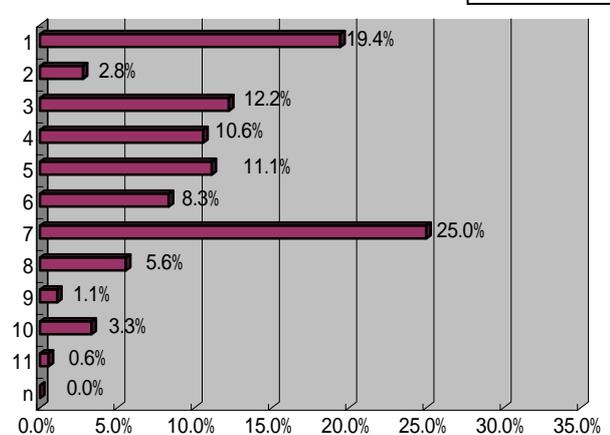
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 241



地区(旧都南地区)

総数 = 180



盛岡市では市民サービスの向上、地域活動の活性化のためIT（情報通信技術）を活用したまちづくりを進めています。さらに積極的に取り組むべき事業は何だとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

- 1 インターネットによる行政情報の提供
- 2 小・中学校や公的施設へのコンピュータ等の整備
- 3 市民向けパソコン教室などによる習得機会の提供
- 4 電子申請や公共施設予約案内システムなどの行政情報システムの整備
- 5 個人情報保護等の安全対策の充実
- 6 その他

### 【全体】

答えた人の割合が高ったのは、「5 個人情報保護等の安全対策の充実」33.3%で他の選択肢の2倍近い回答を得ています。次いで、「2 小・中学校や公的施設へのコンピュータ等の整備」、「3 市民向けパソコン教室などによる習得機会の提供」、「4 電子申請や公共施設予約案内システムなどの行政情報システムの整備」と答えた人の割合がおよそ18%前後の同程度の回答結果となっています。

### 【性別】

男女ともに、「5 個人情報保護等の安全対策の充実」と答えた人の割合が最も高い比率となっています。男性は、女性と比較して「1 インターネットによる行政情報の提供」12.6%（女性：9.0%）、「4 電子申請や公共施設予約案内システムなどの行政情報システムの整備」19.5%（女性：15.4%）%がやや高くなっているのに対し、女性は「2 小・中学校や公的施設へのコンピュータ等の整備」の割合が男性よりやや高い結果となっています。

### 【年代別】

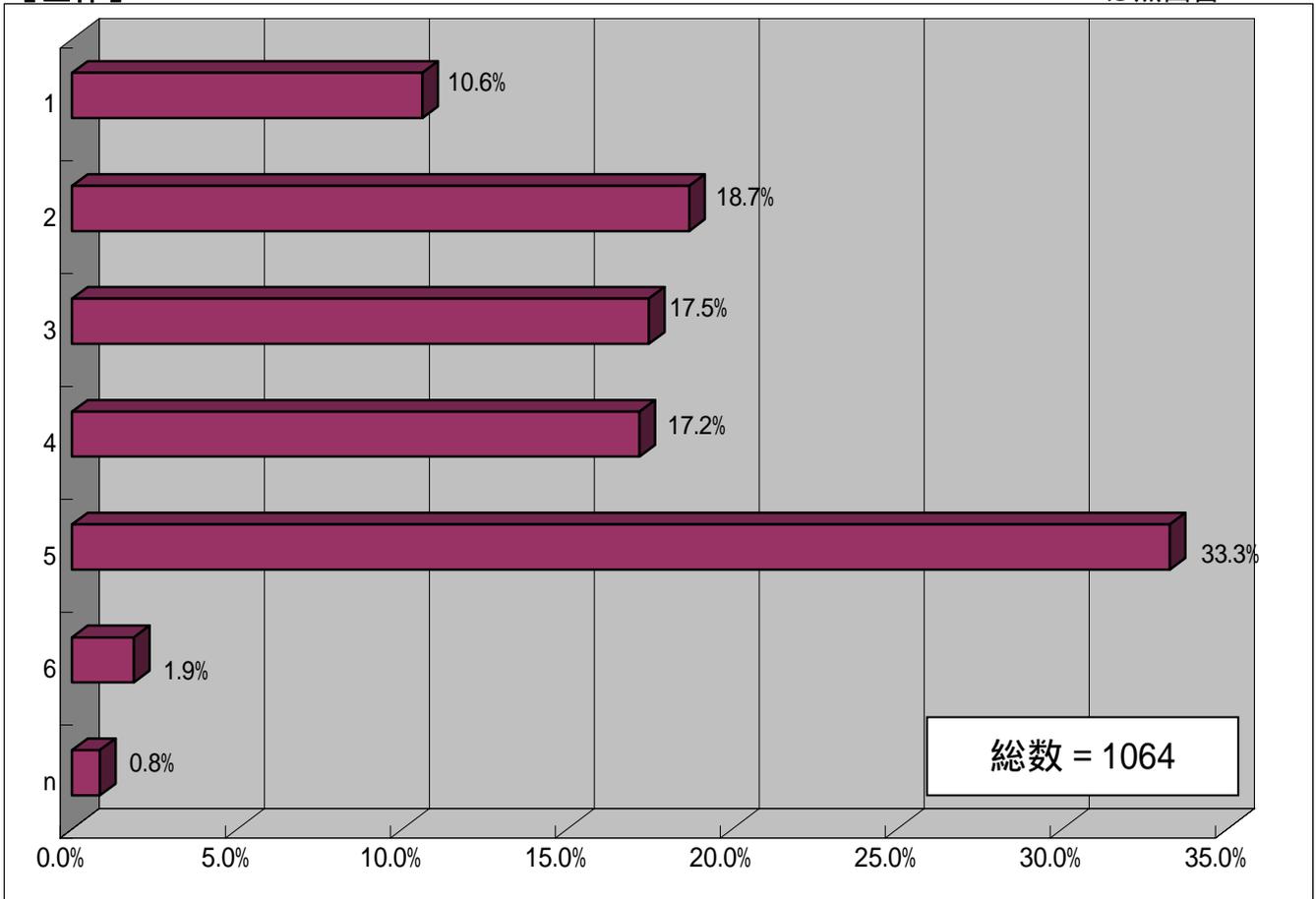
全ての年代で、「5 個人情報保護等の安全対策の充実」と答えた人の割合が30%を超える高い回答となっています。20歳代では、「4 電子申請や公共施設予約案内システムなどの行政情報システムの整備」と答えた人の比率が他の年代より高く25.8%。40歳代は「2 小・中学校や公的施設へのコンピュータ等の整備」が24.4%と他の年代より高い結果となっています。60歳代以上では、「3 市民向けパソコン教室などによる習得機会の提供」が20%を超える高い結果となっています。

### 【地区別】

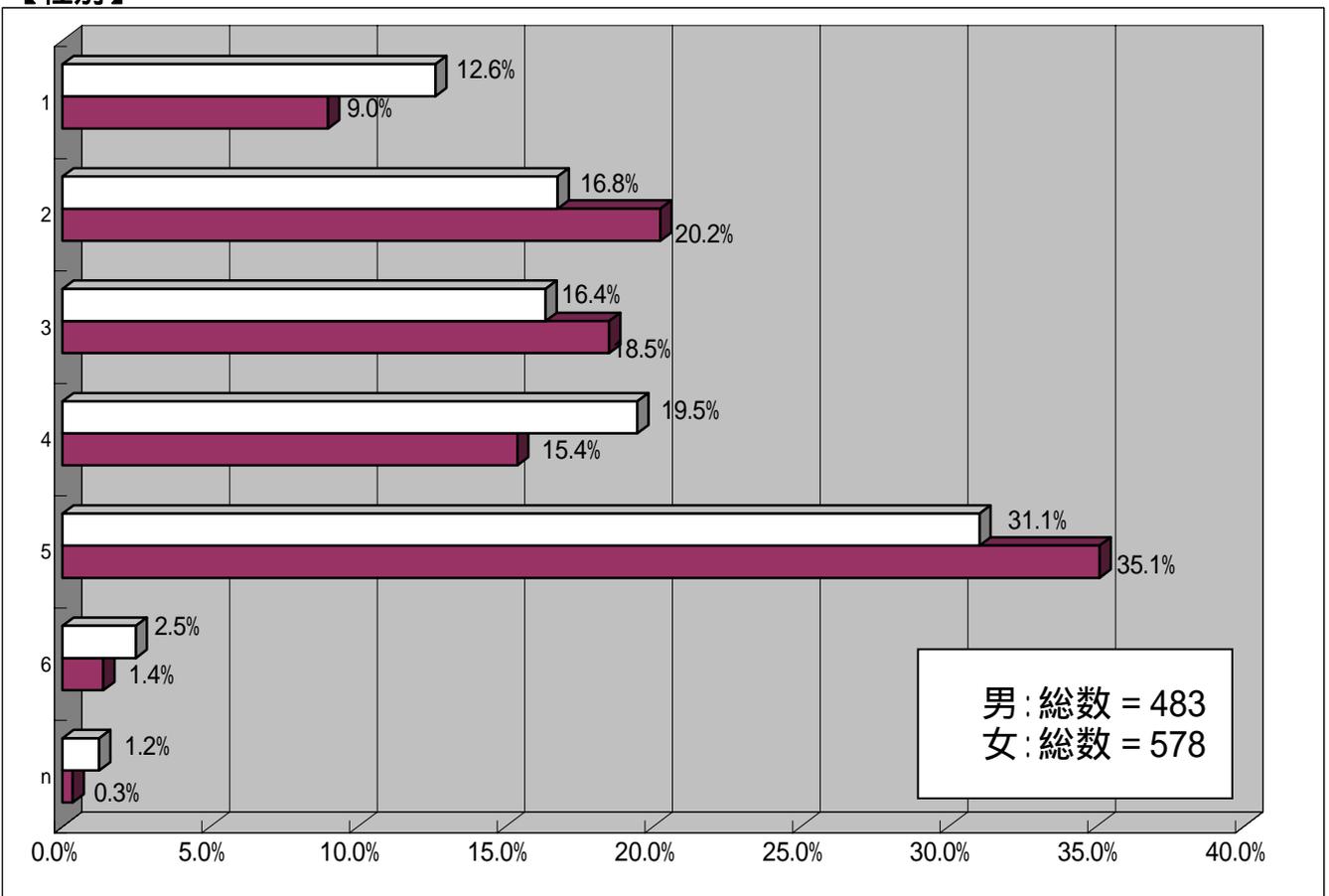
全ての地区で「5 個人情報保護等の安全対策の充実」と答えた人の割合が最も高くなっています。地区別で比較して、大きな差は見られませんが、地区（城南、加賀野、杜陵、中野など）、地区（青山、みたけ、北厨川、土淵など）で、「3 市民向けパソコン教室などによる習得機会の提供」と答えた人の割合が、やや高くなっています。地区（旧都南地区）では、「1 インターネットによる行政情報の提供」と答えた人の割合が他の地区よりやや高くなっています。

【全体】

nは無回答



【性別】



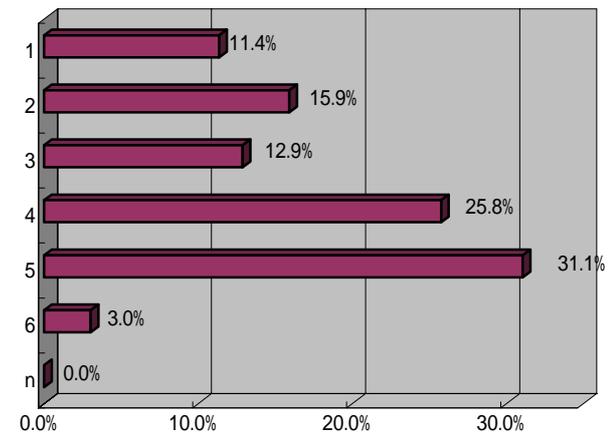
## 【年代別】

項目について

- 1 インターネットによる行政情報の提供
- 2 小・中学校や公的施設へのコンピュータ等の整備
- 3 市民向けパソコン教室などによる習得機会の提供
- 4 電子申請や公共施設予約案内システムなどの行政情報システムの整備
- 5 個人情報保護等の安全対策の充実
- 6 その他
- n 不明

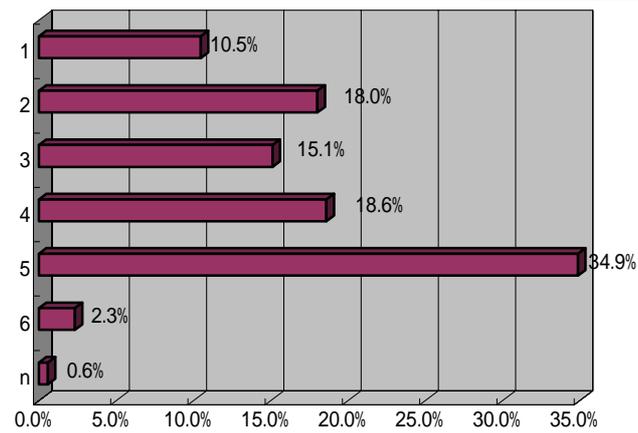
### 20歳代

総数 = 132



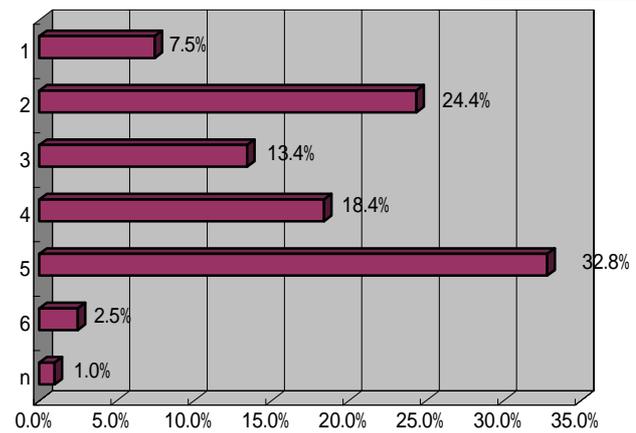
### 30歳代

総数 = 172



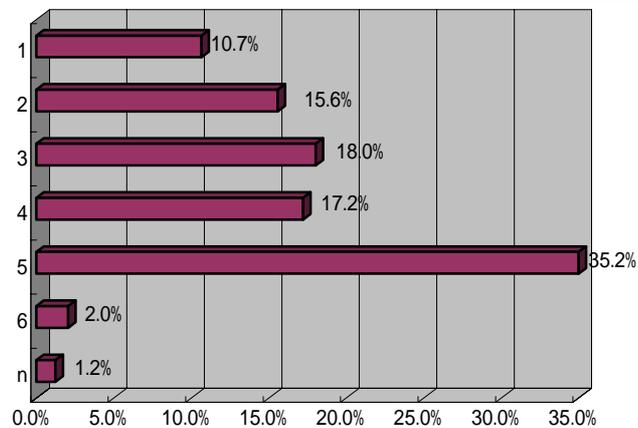
### 40歳代

総数 = 201



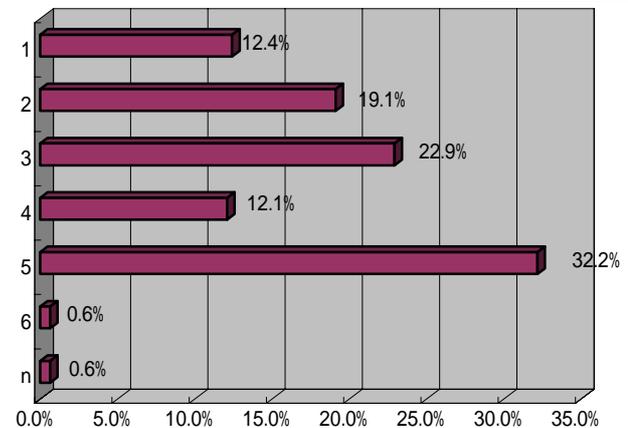
### 50歳代

総数 = 244



### 60歳以上

総数 = 314



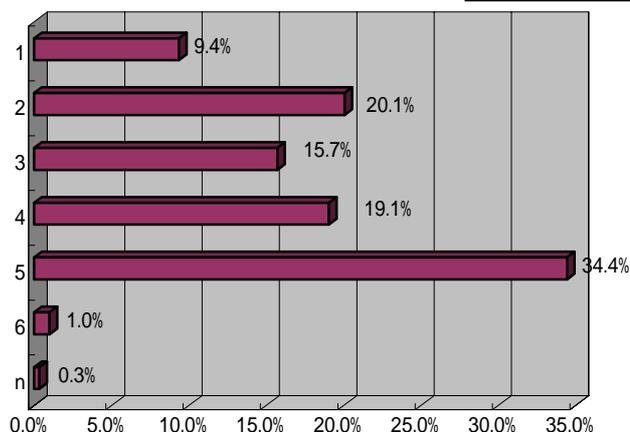
## 【地区別】

項目について

- 1 インターネットによる行政情報の提供
- 2 小・中学校や公的施設へのコンピュータ等の整備
- 3 市民向けパソコン教室などによる習得機会の提供
- 4 電子申請や公共施設予約案内システムなどの行政情報システムの整備
- 5 個人情報保護等の安全対策の充実
- 6 その他

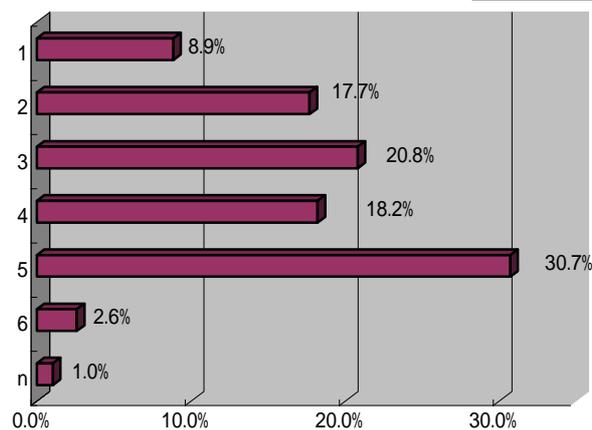
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 299



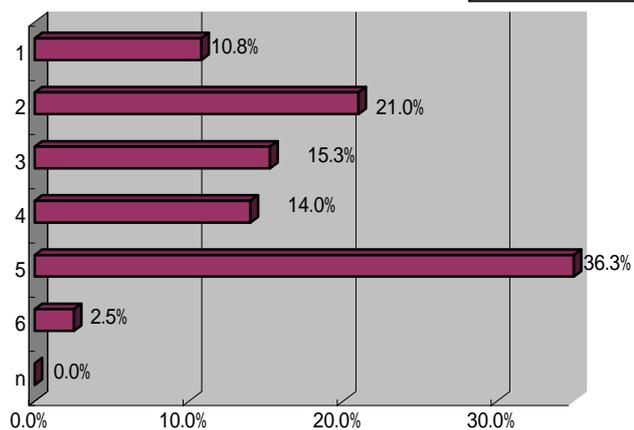
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 192



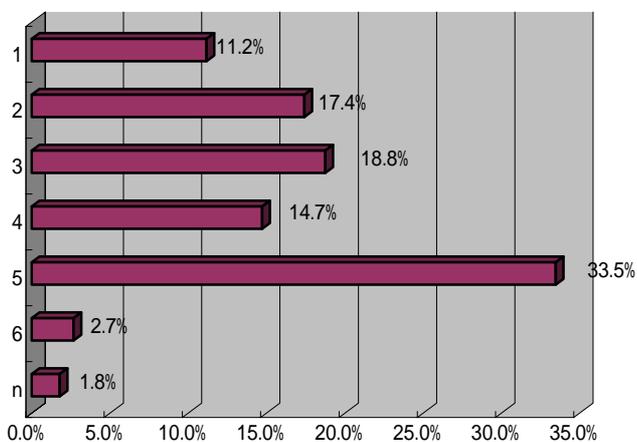
地区(仙北、本宮、太田、繋)

総数 = 157



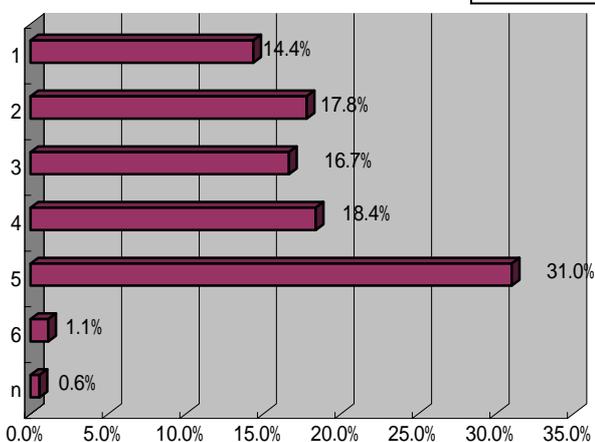
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 224



地区(旧都南地区)

総数 = 174



活力ある産業活動を促進するために、積極的に取り組むべきことは何だとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

- |                            |                |
|----------------------------|----------------|
| 1 農業の活性化                   | 2 林業の活性化       |
| 3 製造業や伝統工芸品産業等の活性化         | 4 商業・サービス業の活性化 |
| 5 観光の活性化                   | 6 事業所の誘致       |
| 7 福祉・環境・IT（情報通信技術）など新産業の育成 |                |
| 8 その他                      |                |

### 【全体】

上位に大きな差は見られないが「7 福祉・環境・IT（情報通信技術）など新産業の育成」と答えた人の割合が最も高く19.5%、次いで「4 商業・サービス業の活性化」18.2%、「1 農業の活性化」16.0%の順となっています。

### 【性別】

男女ともに、「7 福祉・環境・IT（情報通信技術）など新産業の育成」と答えた人の割合が最も高い比率となっています。女性は、男性と比較して「1 農業の活性化」17.7（男性：13.8）%がやや高くなっています。男性は女性より「3 製造業や伝統工芸品産業等の活性化」、「4 商業・サービス業の活性化」などが高くなっています。

### 【年代別】

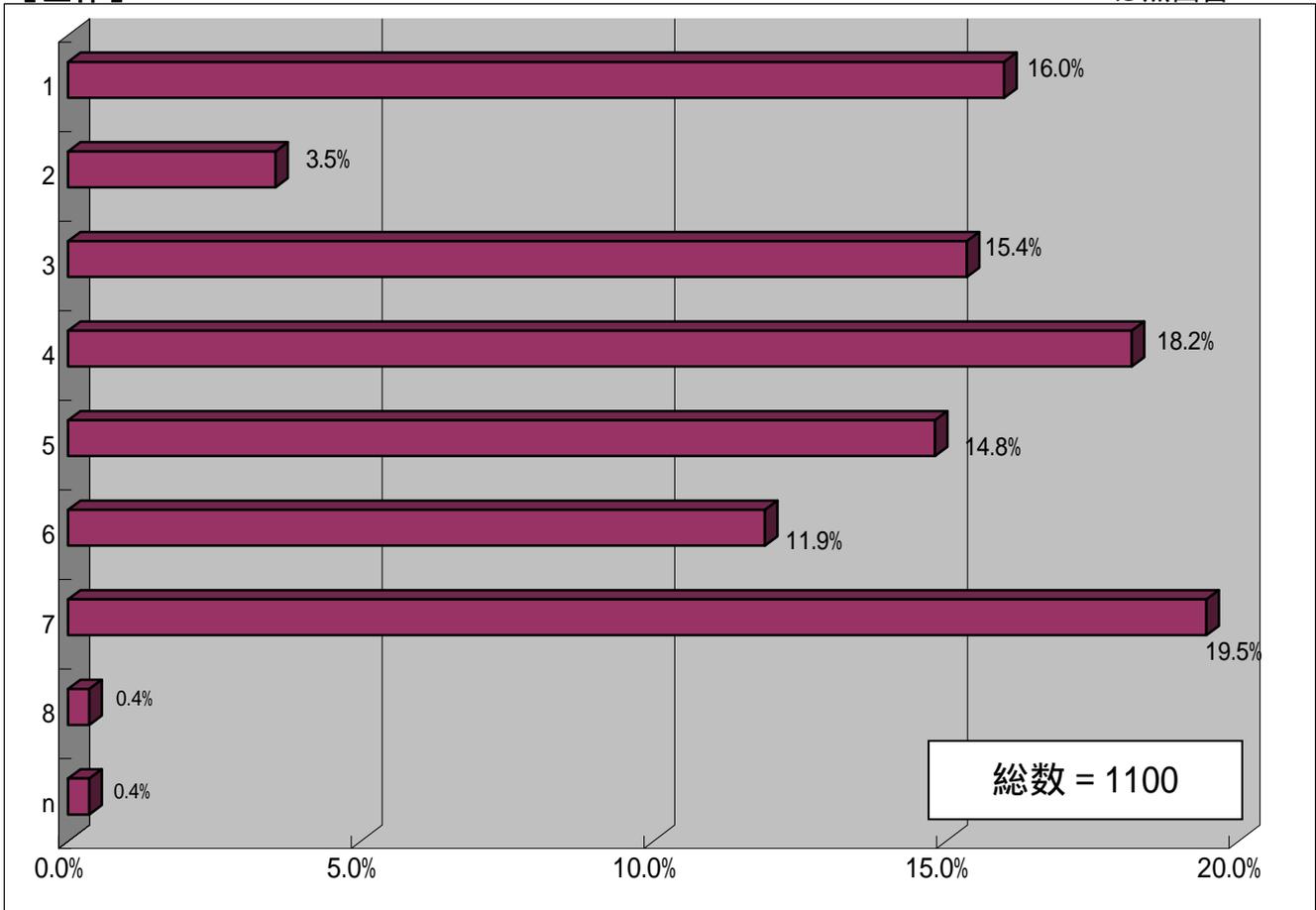
20歳代で特に、「4 商業・サービス業の活性化」と答えた人の割合が高くなっています。全体的には、「1 農業の活性化」、「4 商業・サービス業の活性化」、「7 福祉・環境・IT（情報通信技術）など新産業の育成」が比較的高い比率となっています。40歳代以上では、「6 事業所の誘致」を望む声が20歳代、30歳代よりも高くなっています。

### 【地区別】

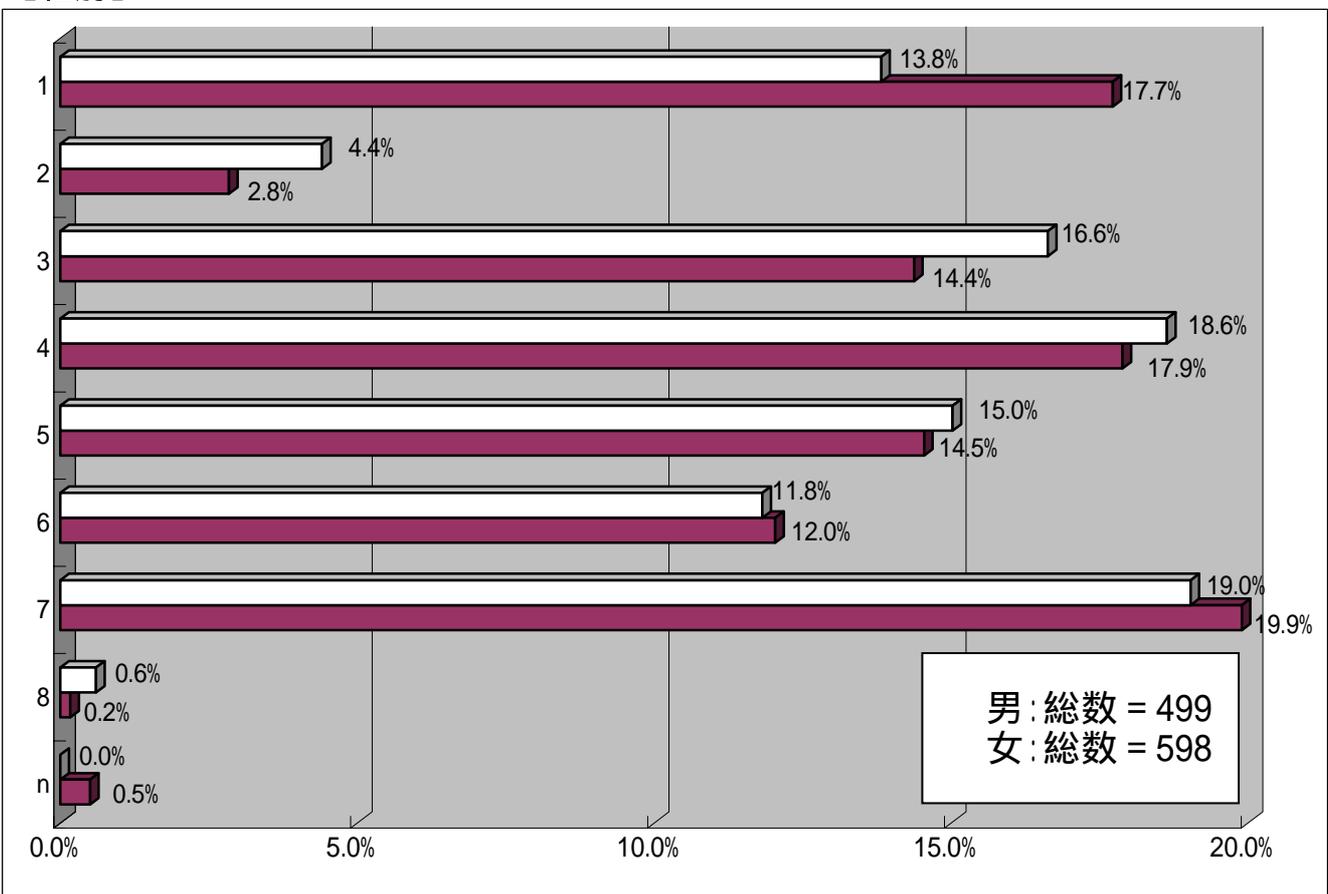
地区（城南、加賀野、杜陵、中野など）で「4 商業・サービス業の活性化」と答えた人の割合が他の地区より高く23.8%となっています。地区（旧都南村地区）では「1 農業の活性化」と答えた人の割合が他の地区より高く21.2%となっています。また、全ての地区で「2 林業の活性化」と答えた人の割合が最も低く全体で3.5%にとどまっています。

【全体】

nは無回答



【性別】



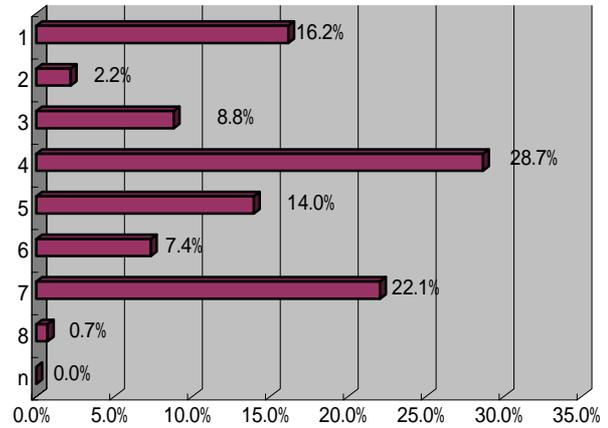
【年代別】

項目について

- 1 農業の活性化
- 2 林業の活性化
- 3 製造業や伝統工芸品産業等の活性化
- 4 商業・サービス業の活性化
- 5 観光の活性化
- 6 事業所の誘致
- 7 福祉・環境・ITなど新産業の育成
- 8 その他
- n 無回答

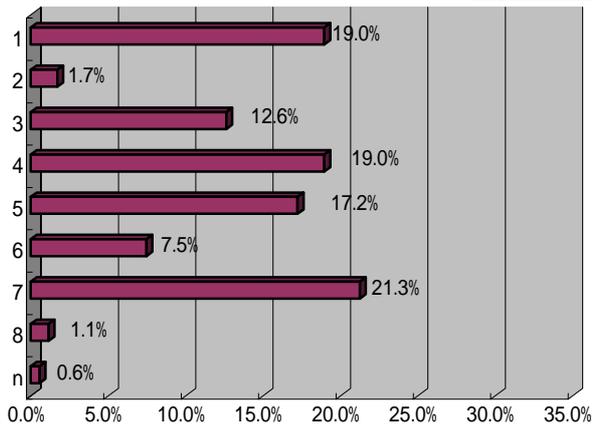
20歳代

総数 = 136



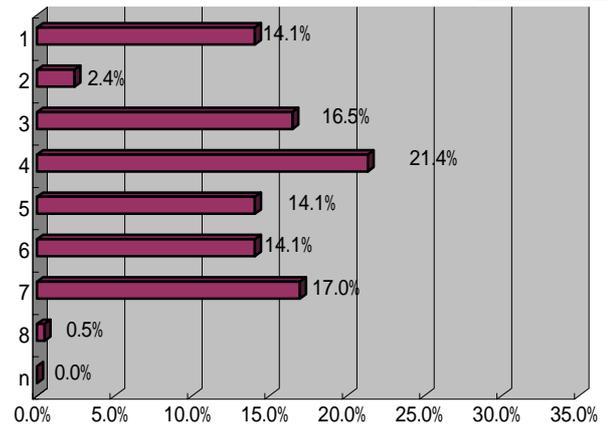
30歳代

総数 = 174



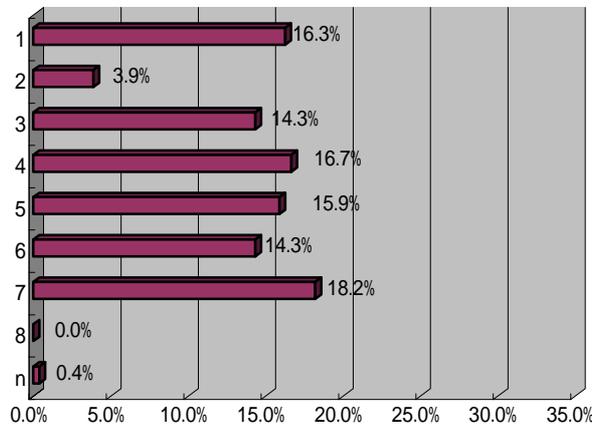
40歳代

総数 = 206



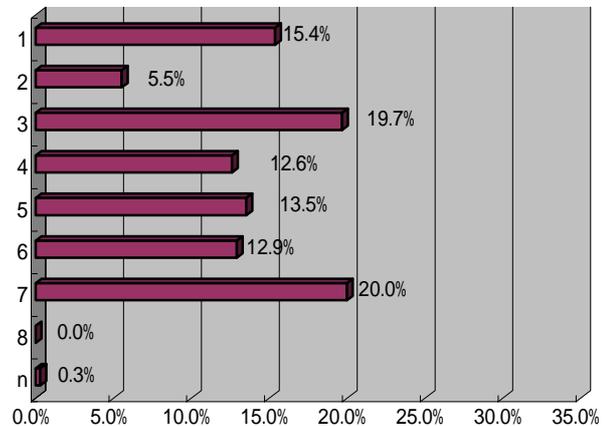
50歳代

総数 = 258



60歳以上

総数 = 325



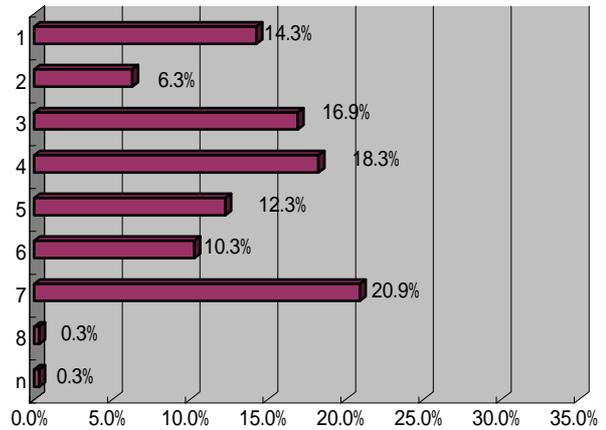
**【地区別】**

項目について

- 1 農業の活性化
- 2 林業の活性化
- 3 製造業や伝統工芸品産業等の活性化
- 4 商業・サービス業の活性化
- 5 観光の活性化
- 6 事業所の誘致
- 7 福祉・環境・ITなど新産業の育成
- 8 その他
- n 無回答

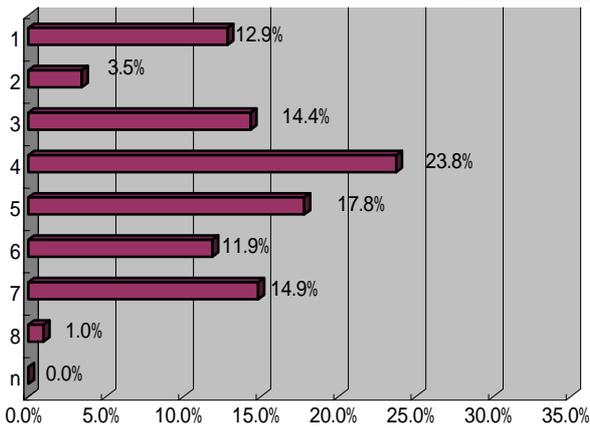
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 301



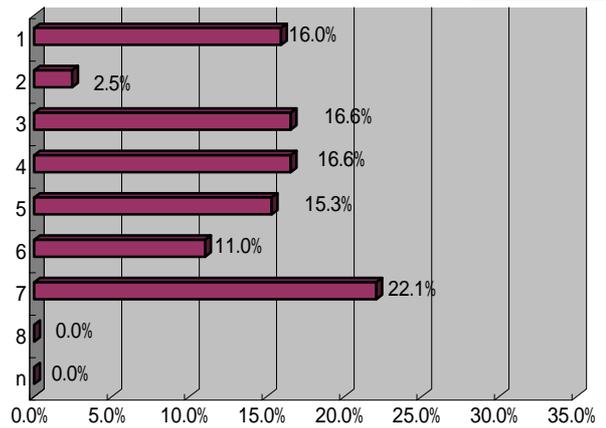
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 202



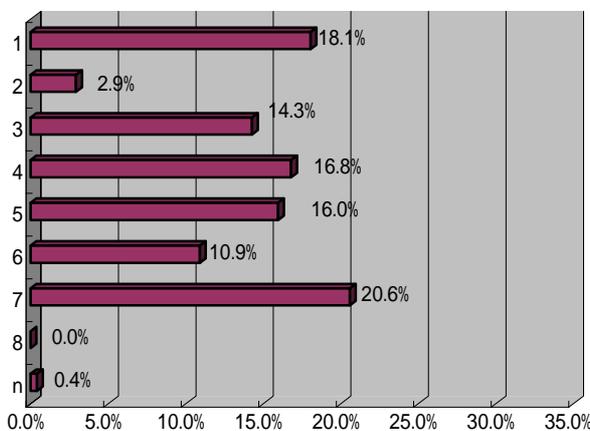
地区(仙北、本宮、太田、繋)

総数 = 163



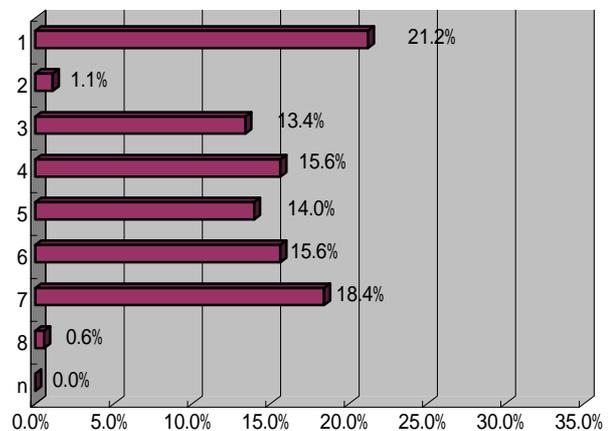
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 238



地区(旧都南地区)

総数 = 179



平成15年3月末で、県内の完全失業率は5.8%となり、早急な雇用対策が望まれています。雇用対策として取り組むべきことは何だとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

- 1 福祉・環境・IT（通信情報技術）など新産業の育成
- 2 ワークシェアリングによる雇用の場の確保
- 3 再就職のための職業訓練や生活支援体制の強化
- 4 事業所誘致による雇用の場の拡大
- 5 定年後の再雇用など高齢者雇用対策の充実
- 6 子育てと仕事を両立するための支援対策の充実
- 7 その他

### 【全体】

「4 事業所誘致による雇用の場の拡大」と答えた人の割合が最も高く20.6%、次いで「6 子育てと仕事を両立するための支援対策の充実」18.5%、「1 福祉・環境・IT（通信情報技術）など新産業の育成」15.9%、「3 再就職のための職業訓練や生活支援体制の強化」15.8%の順となっています。

### 【性別】

男女ともに、「4 事業所誘致による雇用の場の拡大」と答えた人の割合が高くなっています。男性は女性と比較して、「1 福祉・環境・IT（通信情報技術）など新産業の育成」の比率が高く18.7%（女性：13.4）。一方、女性は、男性と比較して「6 子育てと仕事を両立するための支援対策の充実」21.8%（男性：14.6）%が高くなっています。

### 【年代別】

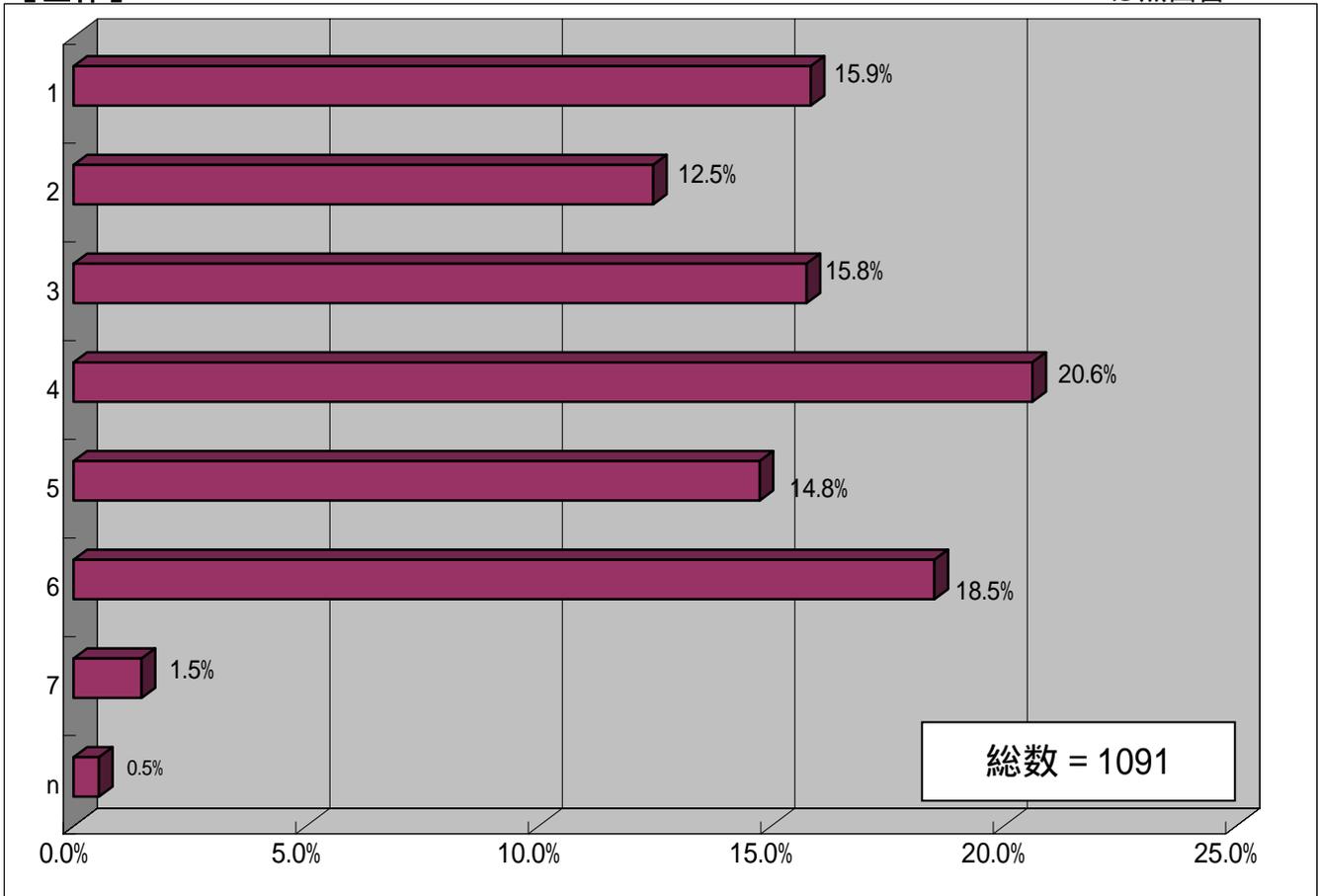
20歳代、30歳代で「6 子育てと仕事を両立するための支援対策の充実」と答えた人の割合が高くなっています。特に20歳代では28.4%。50歳代以上では「5 定年後の再雇用など高齢者雇用対策の充実」が他の年代と比較して高い比率となっています。

### 【地区別】

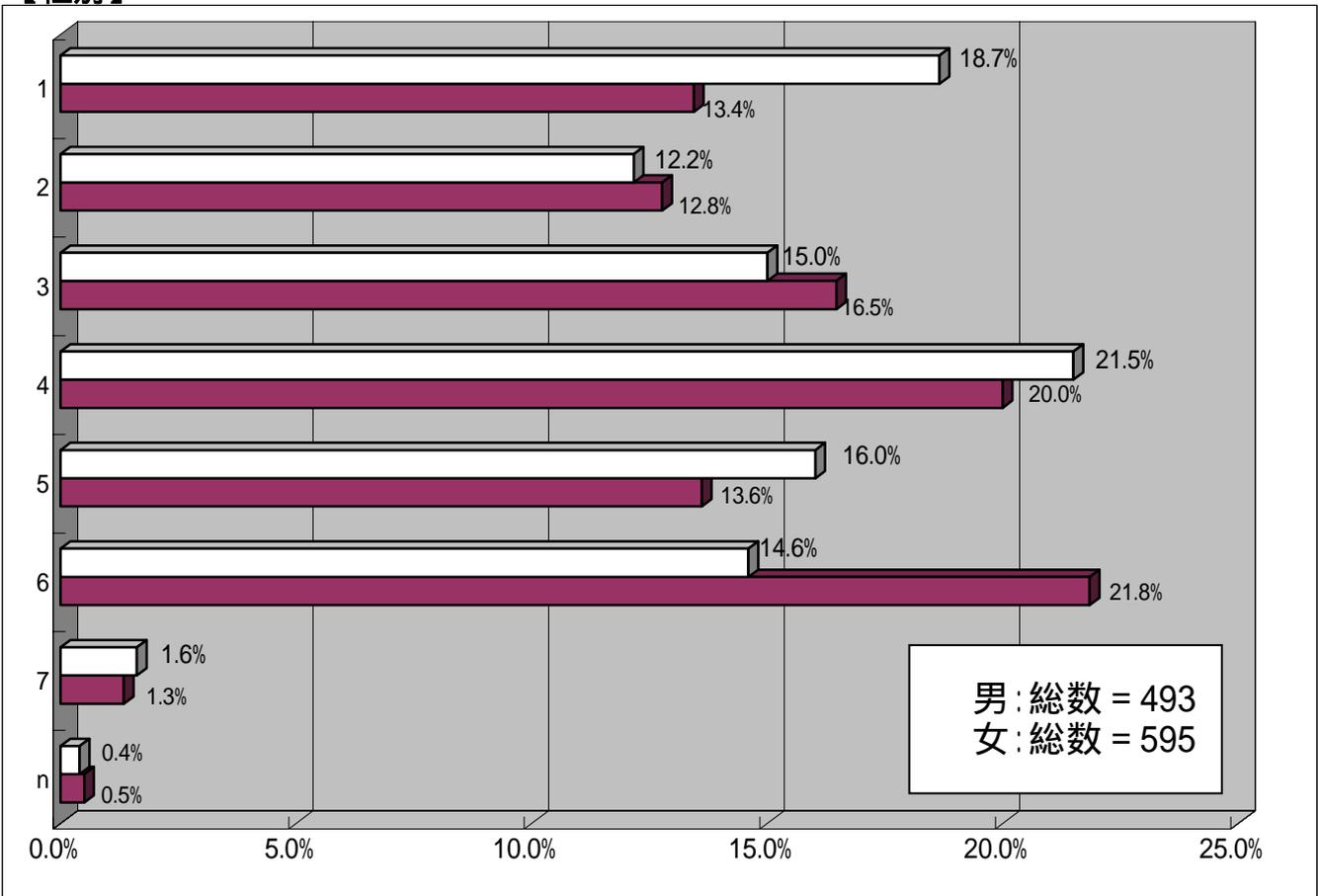
全体的に「4 事業所誘致による雇用の場の拡大」、「6 子育てと仕事を両立するための支援対策の充実」、「1 福祉・環境・IT（通信情報技術）など新産業の育成」が比較的高い比率となっています。地区別で大きな差はありませんが、地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)で「2 ワークシェアリングによる雇用の場の確保」が高く、地区(旧都南地区)で「3 再就職のための職業訓練や生活支援体制の強化」が高い回答となっています。

【全体】

nは無回答



【性別】



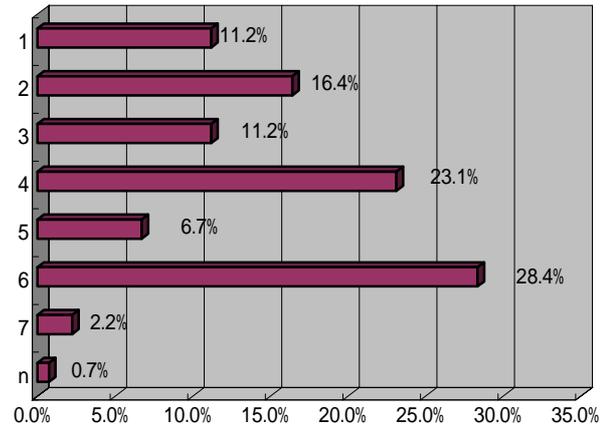
## 【年代別】

項目について

- 1 福祉・環境・ITなど新産業の育成
- 2 ワークシェアリングによる雇用の場の確保
- 3 再就職のための職業訓練や生活支援体制の強化
- 4 事業所誘致による雇用の場の拡大
- 5 定年後の再雇用など高齢者雇用対策の充実
- 6 子育てと仕事を両立するための支援対策の充実
- 7 その他
- n 無回答

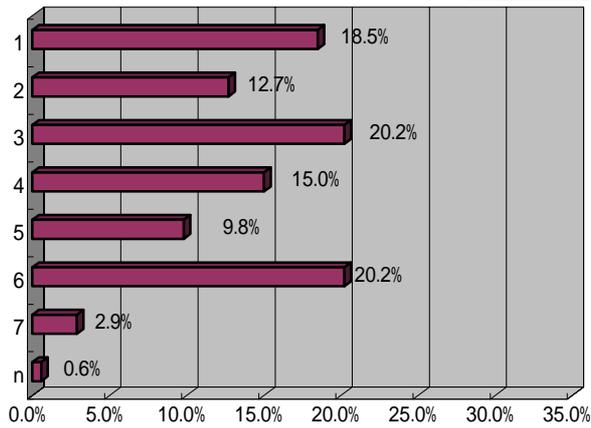
### 20歳代

総数 = 134



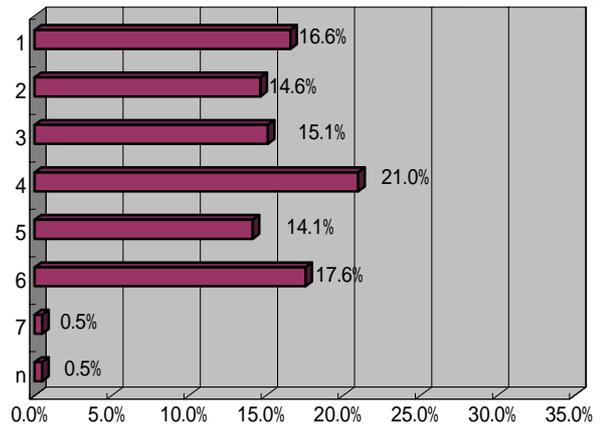
### 30歳代

総数 = 173



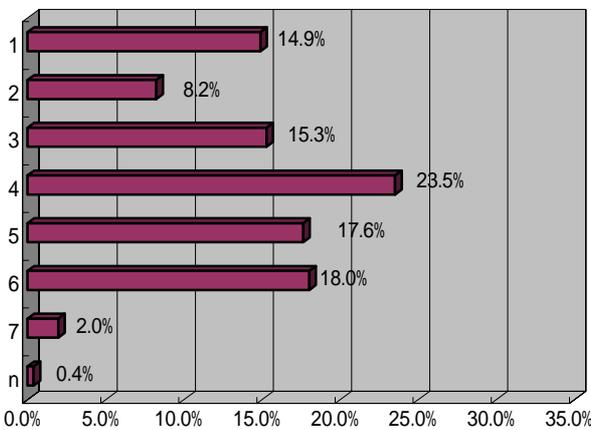
### 40歳代

総数 = 205



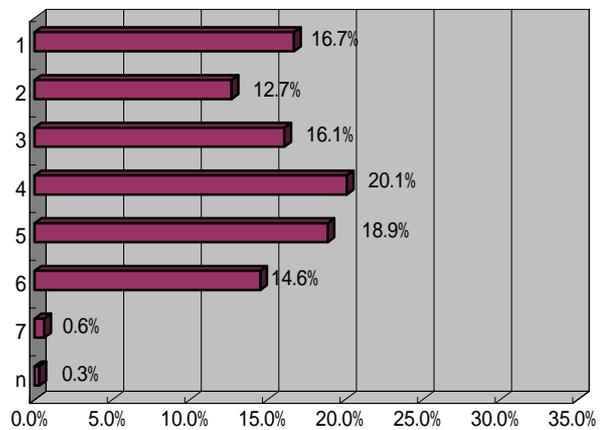
### 50歳以上

総数 = 255



### 60歳以上

総数 = 323



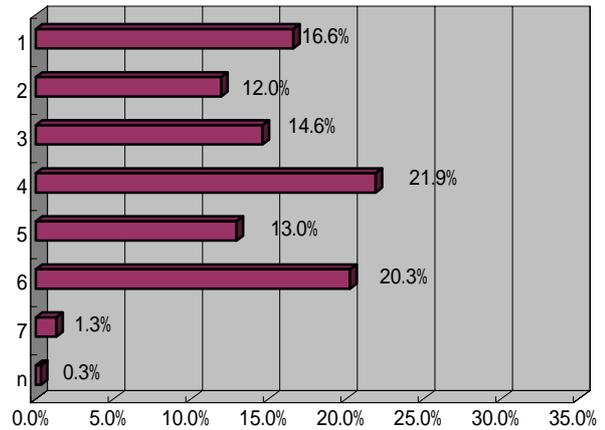
**【地区別】**

項目について

- 1 福祉・環境・ITなど新産業の育成
- 2 ワークシェアリングによる雇用の場の確保
- 3 再就職のための職業訓練や生活支援体制の強化
- 4 事業所誘致による雇用の場の拡大
- 5 定年後の再雇用など高齢者雇用対策の充実
- 6 子育てと仕事を両立するための支援対策の充実
- 7 その他
- n 無回答

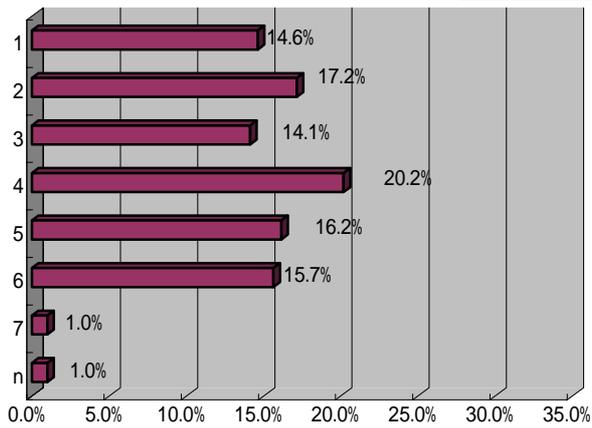
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 301



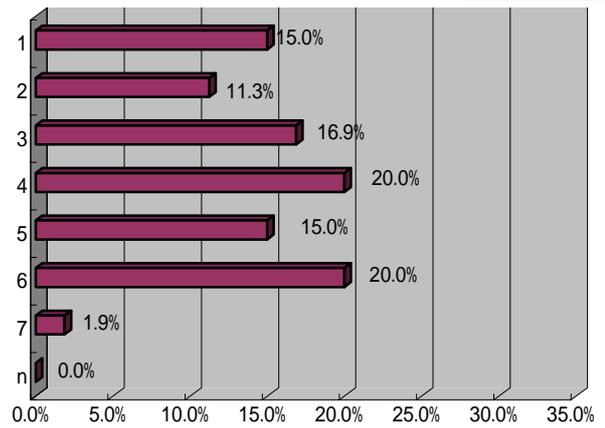
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 198



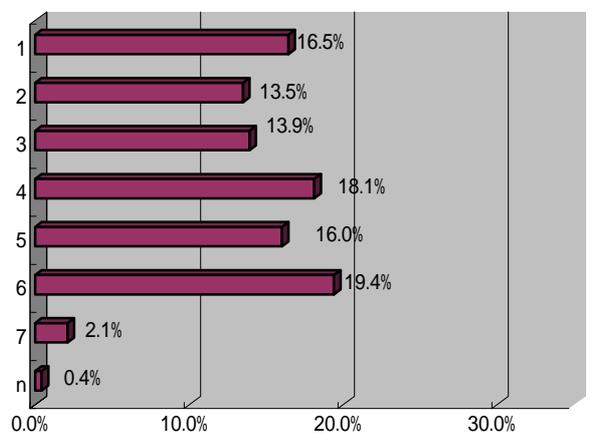
地区(仙北、本宮、太田、繋)

総数 = 160



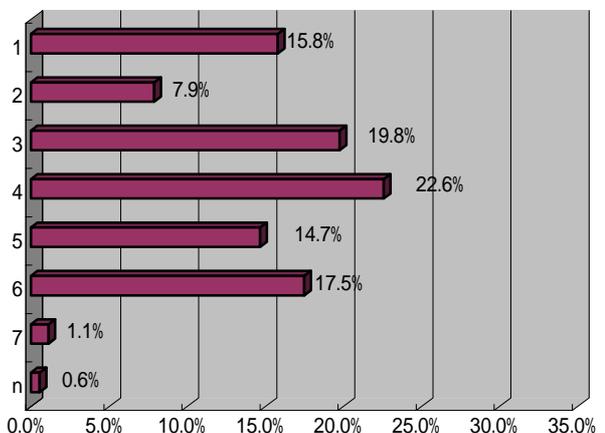
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 237



地区(旧都南地区)

総数 = 177



社会環境や市民の教育・文化に対する意識が多様化している中で、どのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

- 1 生涯にわたって学習できる環境の整備
- 2 学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実
- 3 公民館や図書館等の社会教育施設の充実
- 4 地域に根ざした芸術文化の奨励
- 5 生涯にわたるスポーツレクリエーションの充実
- 6 児童・青少年の健全育成
- 7 国際交流の推進

### 【全体】

「6 児童・青少年の健全育成」と答えた人の割合が最も高く23.8%、次いで「2 学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実」21.9%、「1 生涯にわたって学習できる環境の整備」20.9%の順となっています。

### 【性別】

男性は、女性より「2 学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実」や「5 生涯にわたるスポーツレクリエーションの充実」と答えた人の割合が高くなっています。女性は「1 生涯にわたって学習できる環境の整備」、「7 国際交流の推進」が男性より高い回答となっています。

### 【年代別】

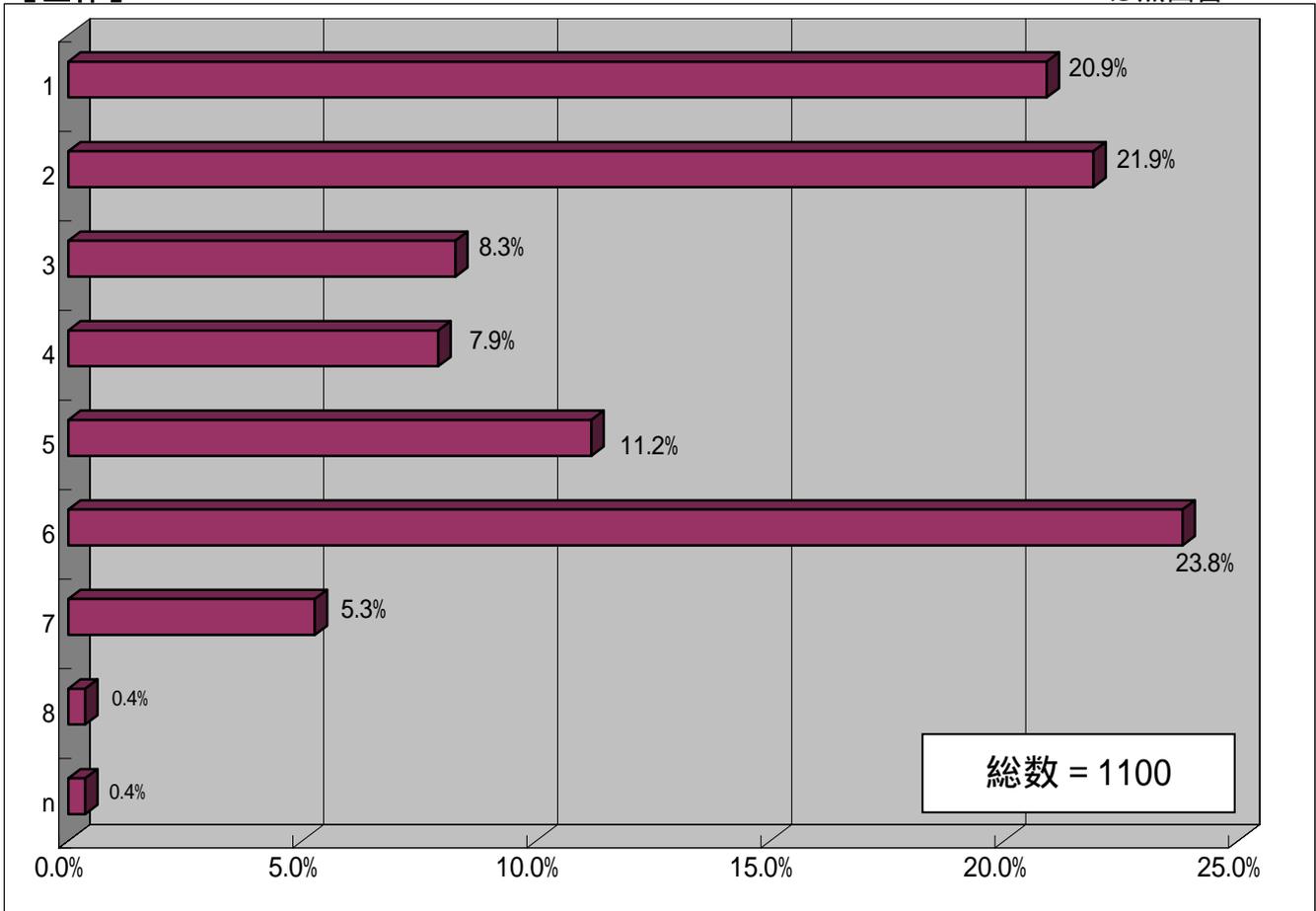
全ての年代で、「1 生涯にわたって学習できる環境の整備」、「2 学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実」、「6 児童・青少年の健全育成」と答えた人の割合が高くなっています。20歳代は「3 公民館や図書館等の社会教育施設の充実」、「7 国際交流の推進」と答えた人の割合が他の年代より高くなっています。50歳代以上では4人の1人の割合で「6 児童・青少年の健全育成」を望んでいます。

### 【地区別】

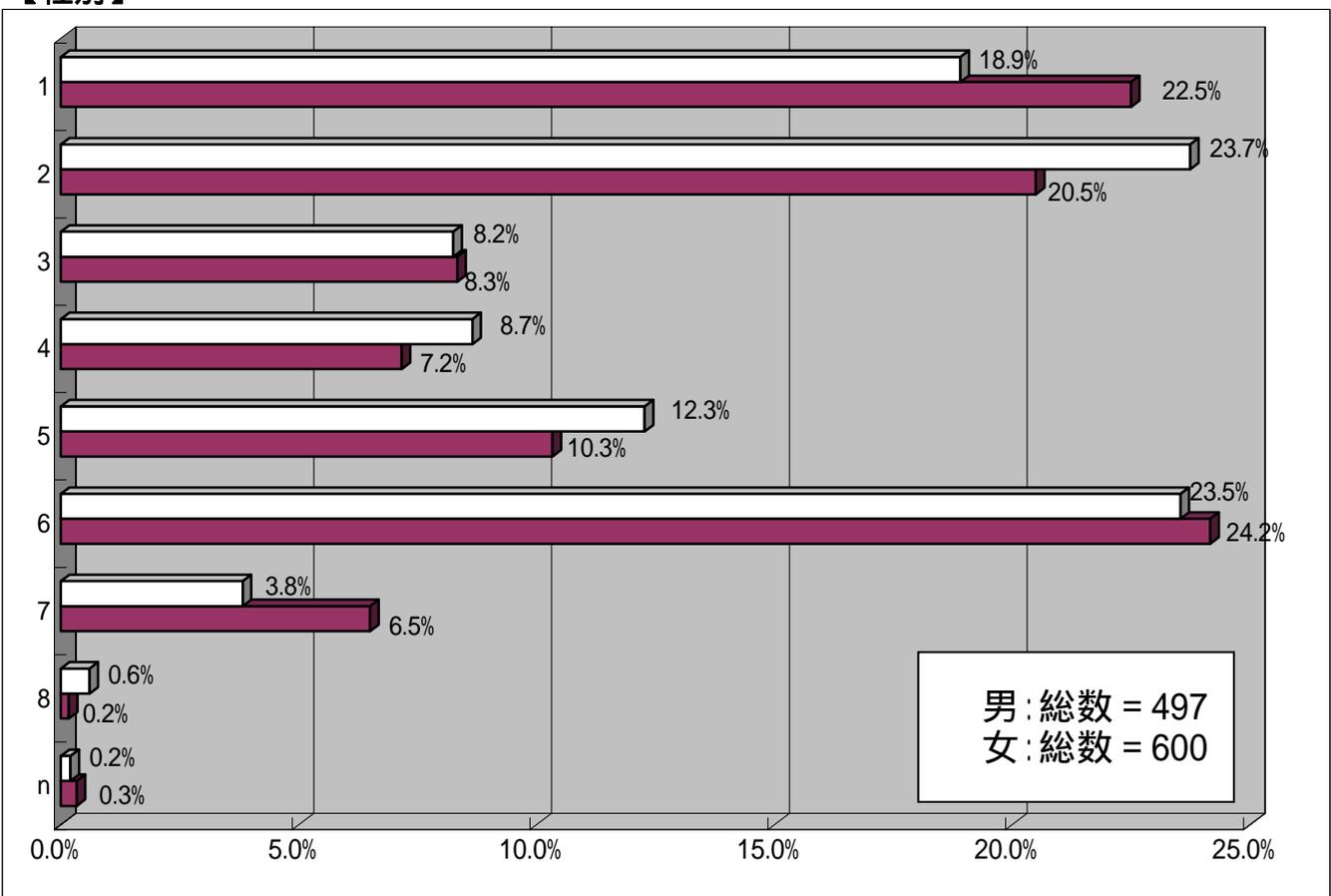
全ての地区で、「1 生涯にわたって学習できる環境の整備」、「2 学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実」、「6 児童・青少年の健全育成」が高い比率となっています。地区（仙北、本宮、太田、繋）及び地区（旧都南地区）では特に、「2 学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実」が他の地区より10%程度も高い結果となっています。地区（城南、加賀野、杜陵、中野など）では「5 生涯にわたるスポーツレクリエーションの充実」が割合は低いですが、他の地区よりも高い結果となっています。

【全体】

nは無回答



【性別】



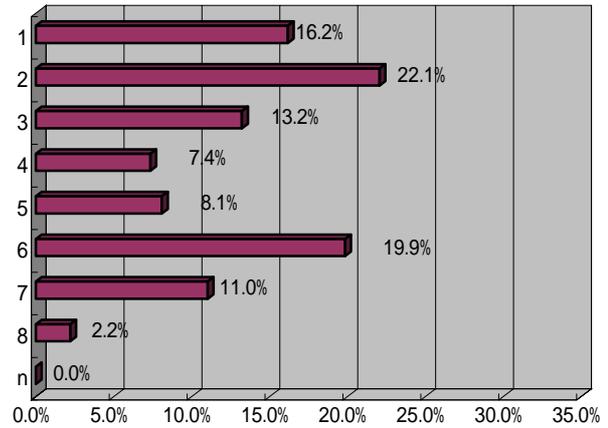
## 【年代別】

項目について

- 1 生涯にわたって学習できる環境の整備
- 2 学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実
- 3 公民館や図書館等の社会教育施設の充実
- 4 地域に根ざした芸術文化の奨励
- 5 生涯にわたるスポーツレクリエーションの充実
- 6 児童・青少年の健全育成
- 7 国際交流の推進
- 8 その他
- n 無回答

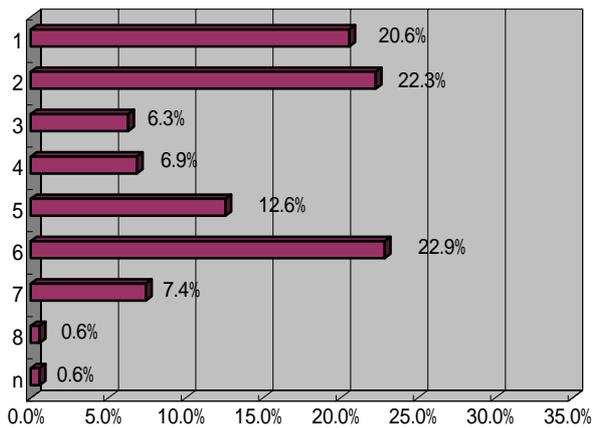
### 20歳代

総数 = 136



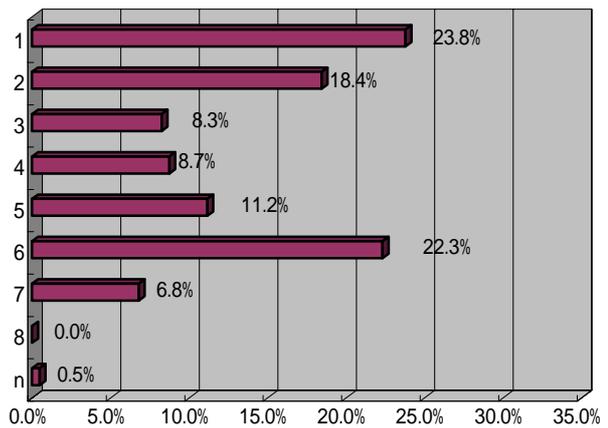
### 30歳代

総数 = 175



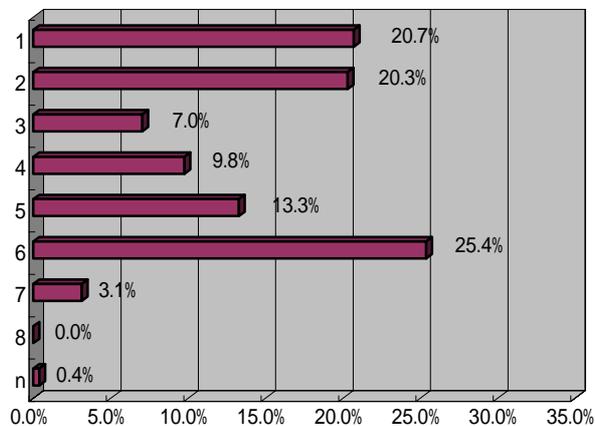
### 40歳代

総数 = 206



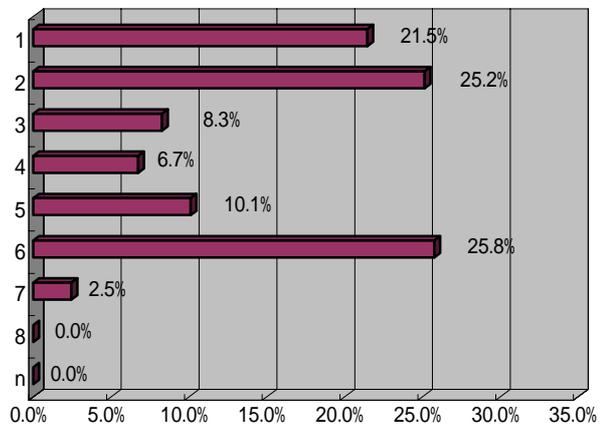
### 50歳代

総数 = 256



### 60歳以上

総数 = 326



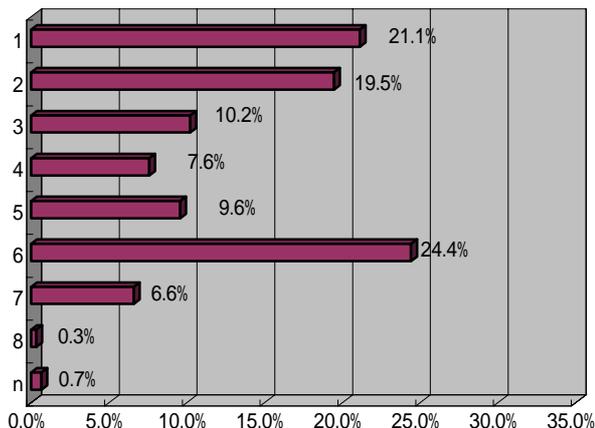
**【地区別】**

項目について

- 1 生涯にわたって学習できる環境の整備
- 2 学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実
- 3 公民館や図書館等の社会教育施設の充実
- 4 地域に根ざした芸術文化の奨励
- 5 生涯にわたるスポーツレクリエーションの充実
- 6 児童・青少年の健全育成
- 7 国際交流の推進
- 8 その他
- n 無回答

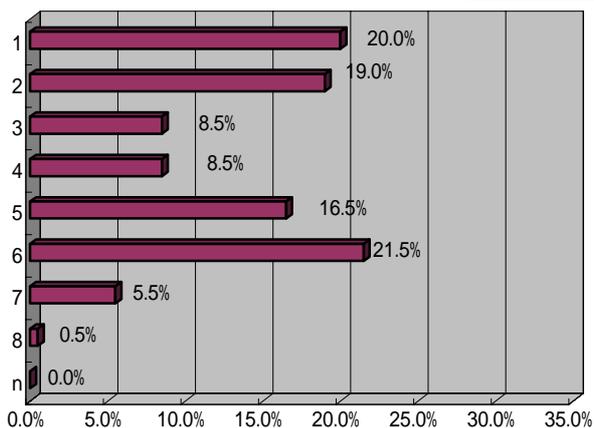
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 303



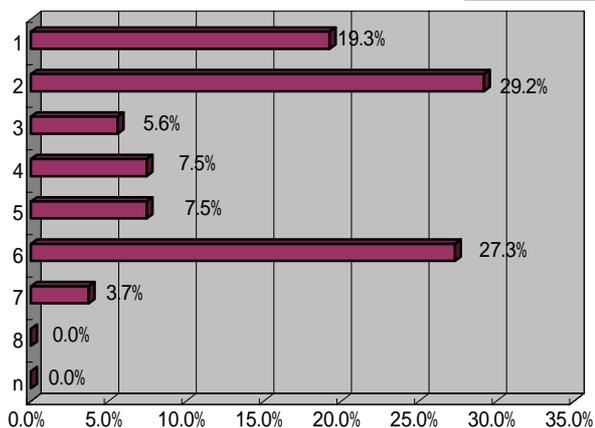
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 200



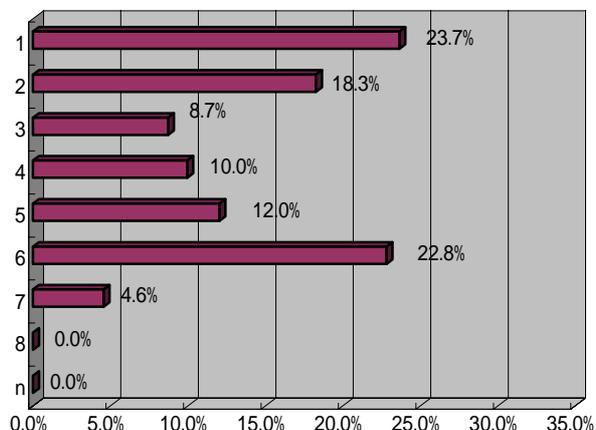
地区(仙北、本宮、太田、繋)

総数 = 161



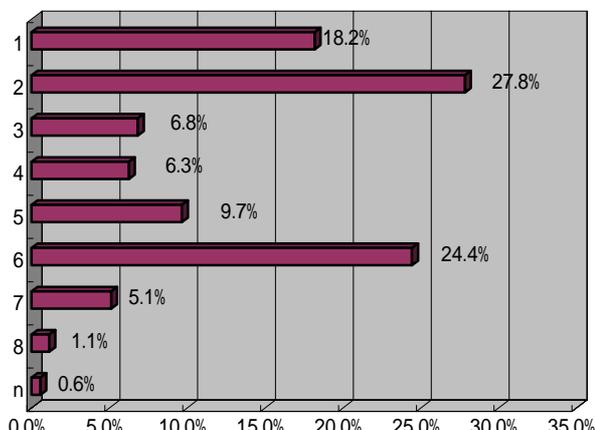
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 241



地区(旧都南地区)

総数 = 176



近年、地球温暖化などの環境問題への関心が高まっていますが、どのようなことに積極的に取り組むべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

- 1 環境保護地区などの豊かな自然環境の保全
- 2 指定文化財や保存建造物など歴史的環境の保全と活用
- 3 学校や地域における環境教育の推進
- 4 企業における環境保全活動の支援
- 5 大気汚染や騒音などの公害の防止に向けた対策
- 6 行政・企業・市民が一体となって、環境保全に取り組める協力体制の確立
- 7 簡易包装やマイバック運動などのごみの発生抑制
- 8 ごみの分別の徹底や資源集団回収などによるリサイクルの推進
- 9 木質バイオマスや太陽光発電などの新エネルギーの普及促進
- 10 アイドリングストップや節電などの省エネルギー行動の促進
- 11 環境保全のための健全な森林づくりと再生産可能な素材である地域木材の利用促進
- 12 その他

### 【全体】

「6 行政・企業・市民が一体となって、環境保全に取り組める協力体制の確立」と答えた人の割合が最も高く16.5%、次いで「1 環境保護地区などの豊かな自然環境の保全」12.9%、「11 環境保全のための健全な森林づくりと再生産可能な素材である地域木材の利用促進」12.4%の順となっています。

### 【性別】

男女ともに、「1 環境保護地区などの豊かな自然環境の保全」、「6 行政・企業・市民が一体となって、環境保全に取り組める協力体制の確立」と答えた人の割合が高くなっています。男性は女性と比較して「9 木質バイオマスや太陽光発電などの新エネルギーの普及促進」の比率が高く9.5%（女性：6.1）、一方、女性は男性と比較して「8 ごみの分別の徹底や資源集団回収などによるリサイクルの推進」14.1%（男性：9.8）、「10 アイドリングストップや節電などの省エネルギー行動の促進」7.0%（男性：3.8）の比率が高くなっています。

### 【年代別】

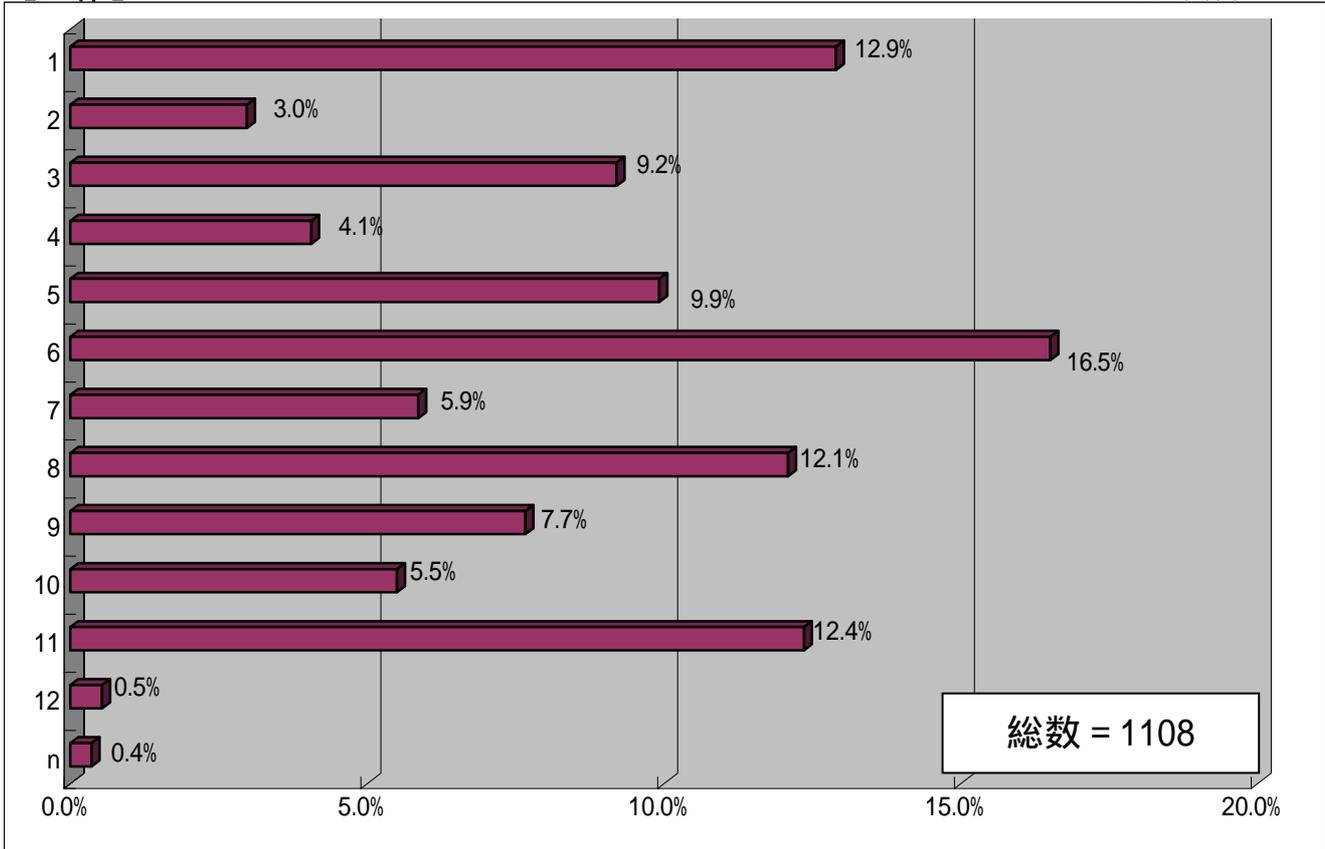
20歳代は全ての選択肢の回答率が5%を超え、比較的横ばいな回答結果となっています。30歳代、40歳代は「8 ごみの分別の徹底や資源集団回収などによるリサイクルの推進」が他の年代より高くなっています。50歳代以上では「11 環境保全のための健全な森林づくりと再生産可能な素材である地域木材の利用促進」が高くなっています。

### 【地区別】

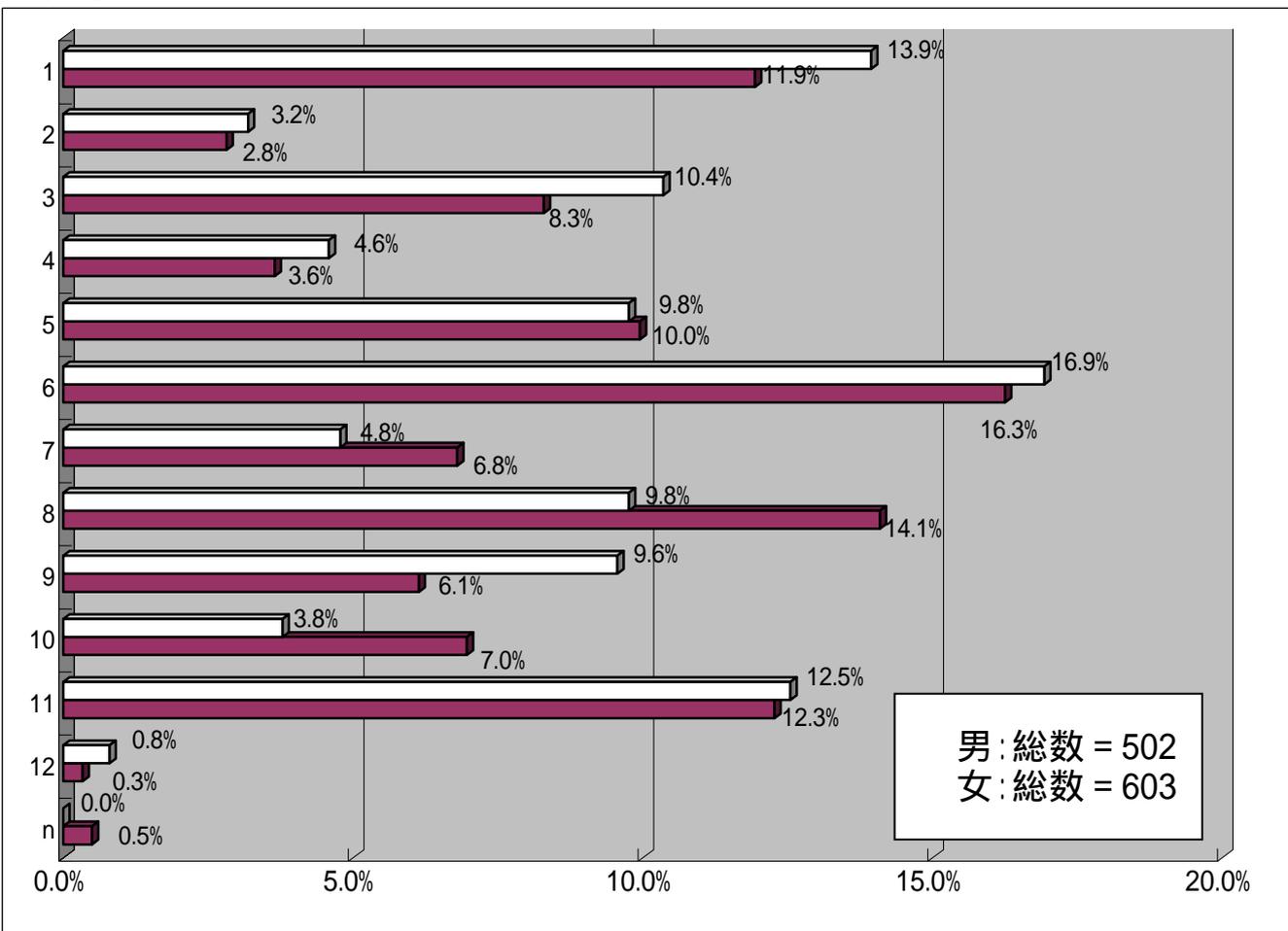
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)では、「6 行政・企業・市民が一体となって、環境保全に取り組める協力体制の確立」が他の地区より約5~10%低い割合となっています。地区(仙北、本宮、太田、繋)では、「8 ごみの分別の徹底や資源集団回収などによるリサイクルの推進」が高い回答となっています。地区(旧都南地区)では「6 行政・企業・市民が一体となって、環境保全に取り組める協力体制の確立」の回答が20%を超える高い回答結果となっています。

【全体】

nは無回答



【性別】



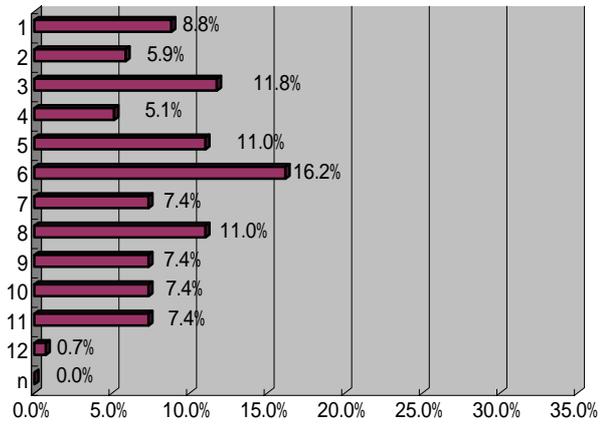
## 【年代別】

項目について

- 1 環境保護地区などの豊かな自然環境の保全
- 2 指定文化財や保存建造物など歴史的環境の保全と活用
- 3 学校や地域における環境教育の推進
- 4 企業における環境保全活動の支援
- 5 大気汚染や騒音などの公害の防止に向けた対策
- 6 行政・企業・市民が一体となって、環境保全に取り組める協力的体制の確立
- 7 簡易包装やマイバック運動などのごみの発生抑制
- 8 ごみの分別の徹底や資源集団回収などによるリサイクルの推進
- 9 木質バイオマスや太陽光発電などの新エネルギーの普及促進
- 10 アイドリングストップや節電などの省エネルギー行動の促進
- 11 環境保全のための健全な森林づくりと再生産可能な素材である地域木材の利用促進
- 12 その他
- n 無回答

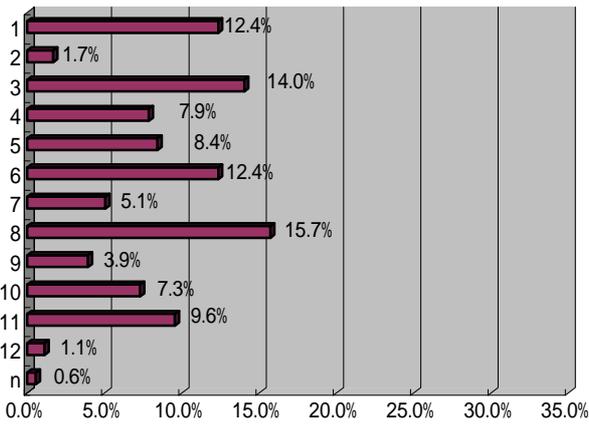
### 20歳代

総数 = 136



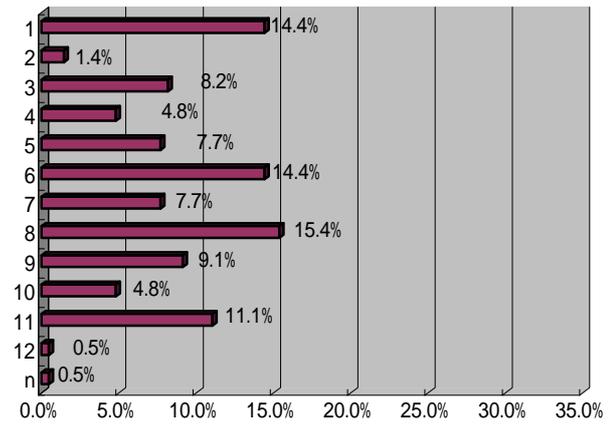
### 30歳代

総数 = 178



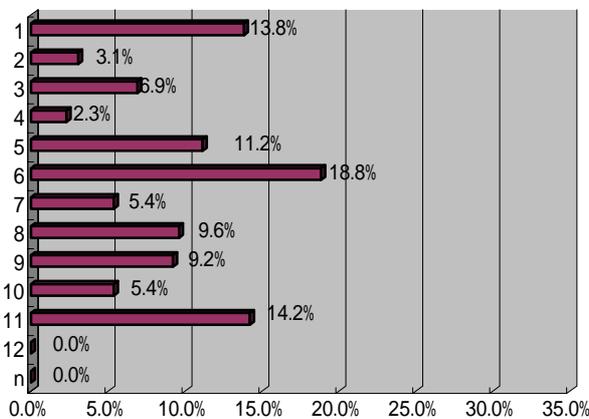
### 40歳代

総数 = 208



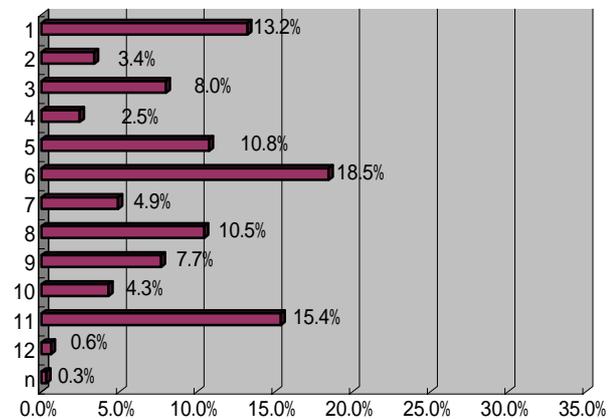
### 50歳代

総数 = 260



### 60歳以上

総数 = 325



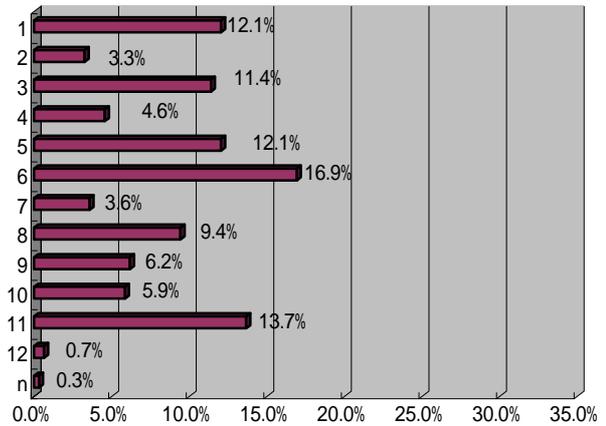
## 【地区別】

項目について

- 1 環境保護地区などの豊かな自然環境の保全
- 2 指定文化財や保存建造物など歴史的環境の保全と活用
- 3 学校や地域における環境教育の推進
- 4 企業における環境保全活動の支援
- 5 大気汚染や騒音などの公害の防止に向けた対策
- 6 行政・企業・市民が一体となって、環境保全に取り組める協力体制の確立
- 7 簡易包装やマイバック運動などのごみの発生抑制
- 8 ごみの分別の徹底や資源集団回収などによるリサイクルの推進
- 9 木質バイオマスや太陽光発電などの新エネルギーの普及促進
- 10 アイドリングストップや節電などの省エネルギー行動の促進
- 11 環境保全のための健全な森林づくりと再生産可能な素材である地域木材の利用促進
- 12 その他
- n 無回答

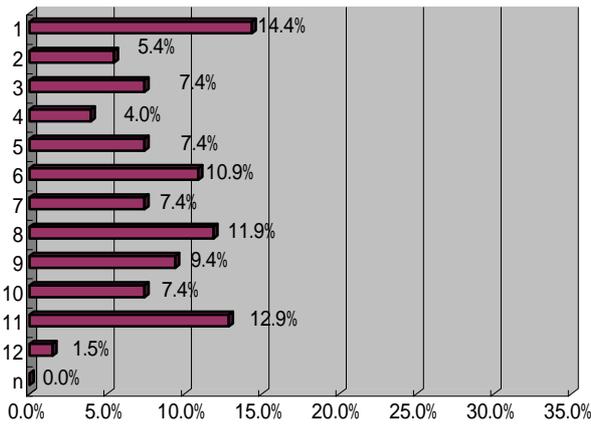
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 307



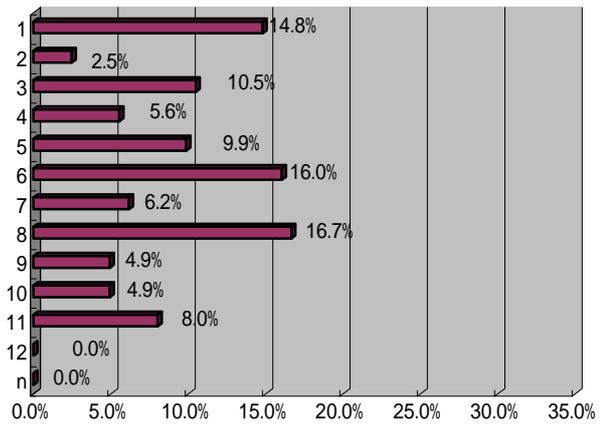
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 202



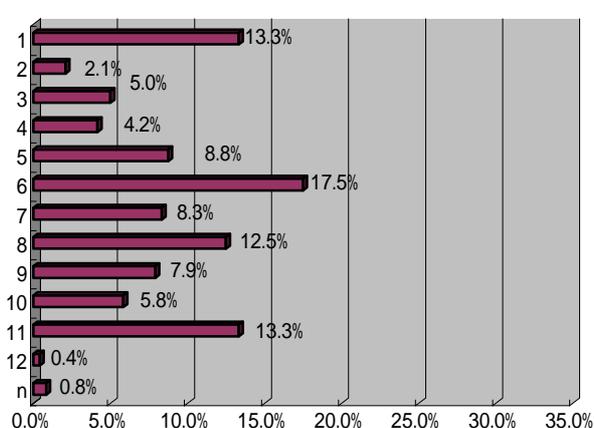
地区(仙北、本宮、太田、繋)

総数 = 162



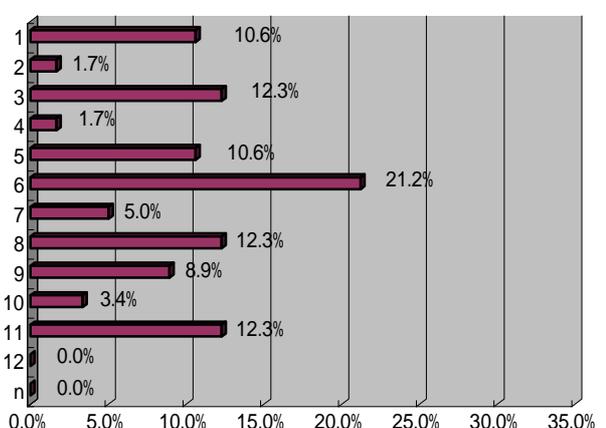
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 240



地区(旧都南地区)

総数 = 179



少子高齢化・女性の社会進出など、日常生活を取り巻く環境は様々な変化に直面しています。このため、行政の保健、福祉等への総合的な取り組みが求められていますが、どのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 地域福祉活動の推進  | 2 障害者福祉の充実   |
| 3 子育て環境施策の充実 | 4 女性の社会参加の促進 |
| 5 高齢者福祉の推進   | 6 保健・予防の充実   |
| 7 医療体制の充実    | 8 その他        |

### 【全体】

「3 子育て環境施策の充実」と答えた人の割合が最も高く25.8%、次いで「7 医療体制の充実」21.2%、「5 高齢者福祉の推進」20.5%の順となっています。

### 【性別】

男女ともに、「3 子育て環境施策の充実」と答えた人の割合が最も高くなっています。男性は女性と比較して「6 保健・予防の充実」11.1%（女性：8.0）の比率が高くなっています。一方、女性は男性と比較して「7 医療体制の充実」23.3%（男性：18.5）の比率が高くなっています。

### 【年代別】

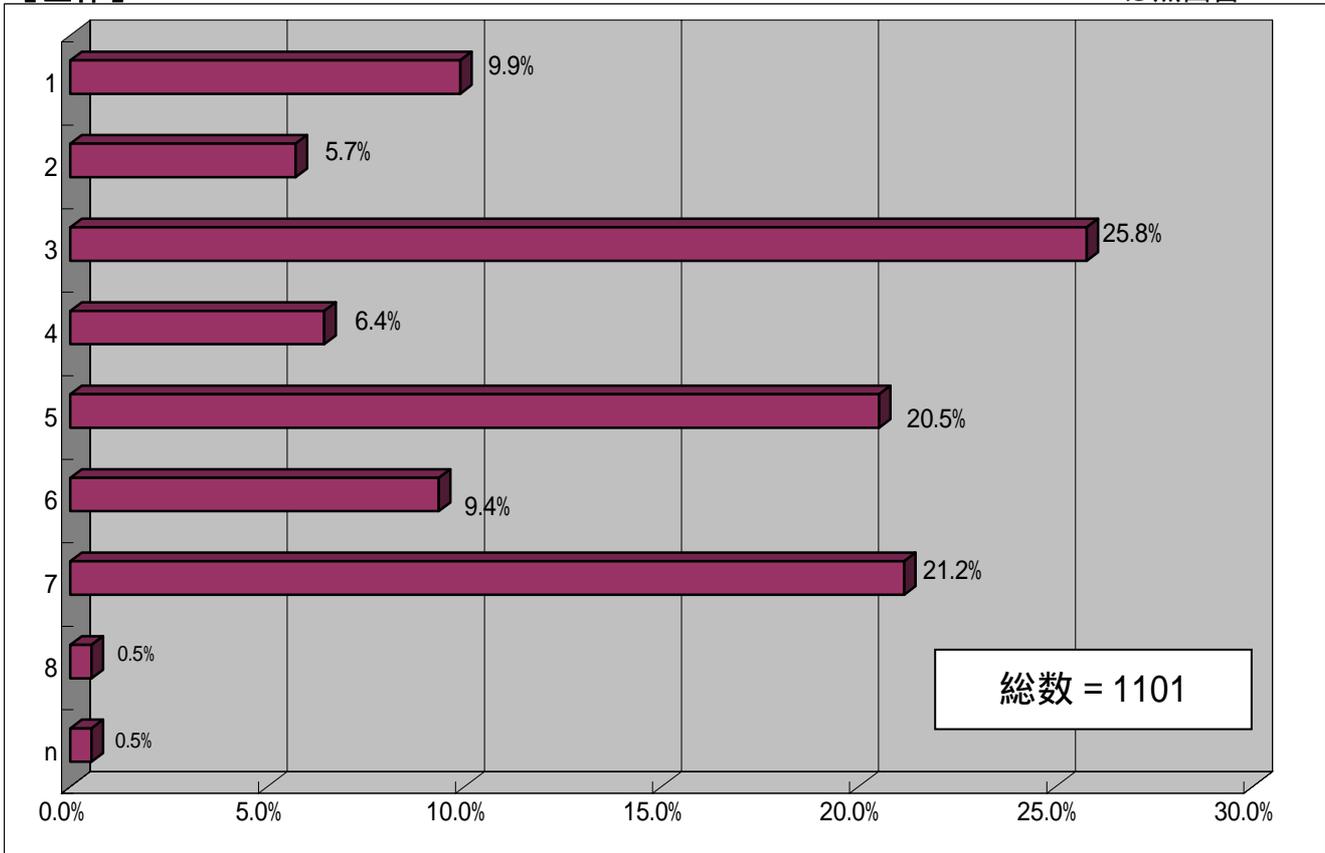
20歳代、30歳代で特に「3 子育て環境施策の充実」と答えた人の割合が高く、20歳代では35.6%にも昇ります。一方、40歳代以上になると、「5 高齢者福祉の推進」の比率が高くなっています。また、全ての年代を通じて、「7 医療体制の充実」は20%前後の高い回答結果となっています。

### 【地区別】

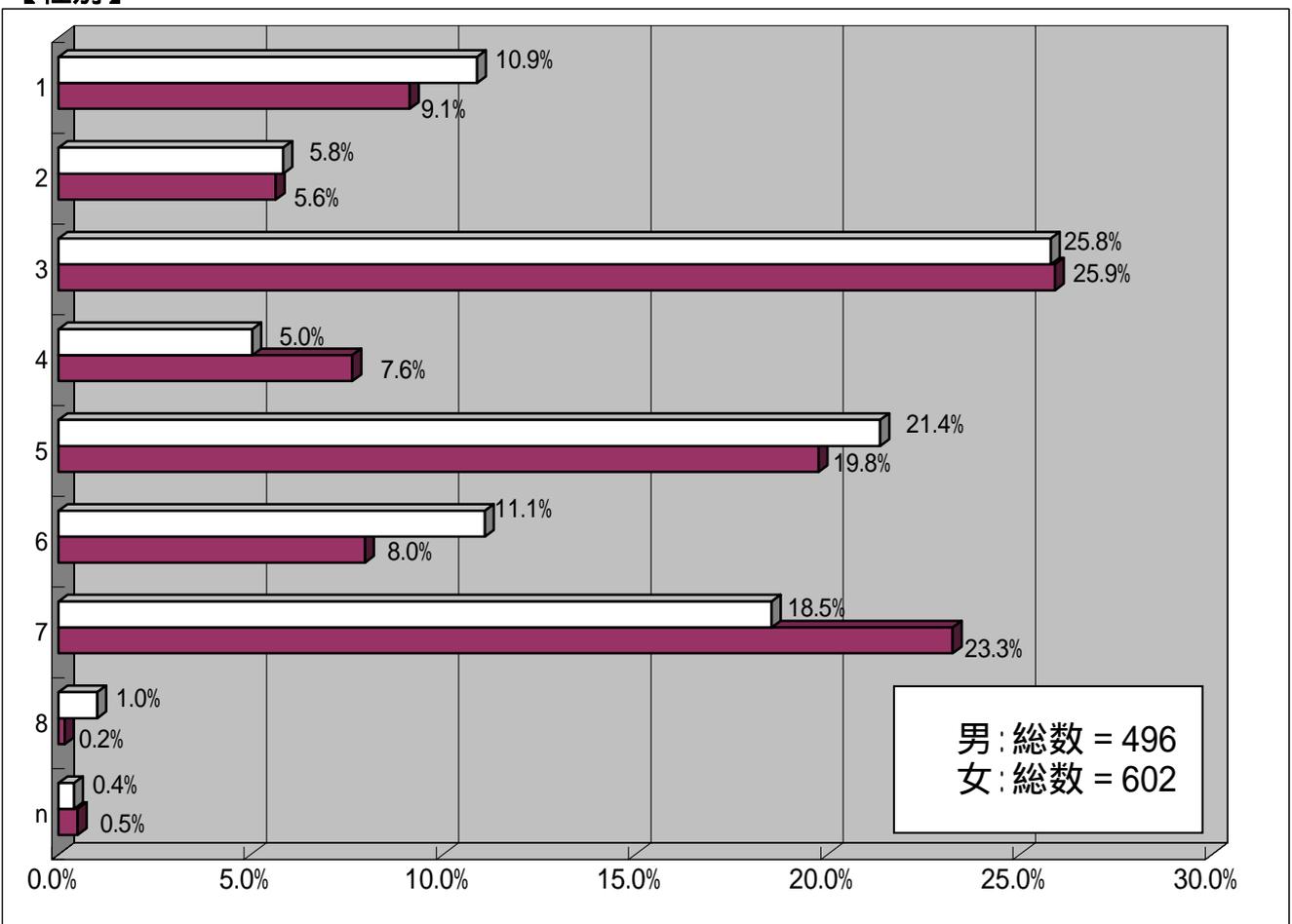
どの地区でも、「3 子育て環境施策の充実」と答えた人の割合が高くなっています。また、「5 高齢者福祉の推進」、「7 医療体制の充実」がいずれも上位にきています。地区(仁王、桜城、上田、山岸など)では「6 保健・予防の充実」が割合は低いが高回答となっています。地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)では「1 地域福祉活動の推進」が他よりやや高くなっています。地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)は「7 医療体制の充実」が他の地区より高くなっています。

【全体】

nは無回答



【性別】



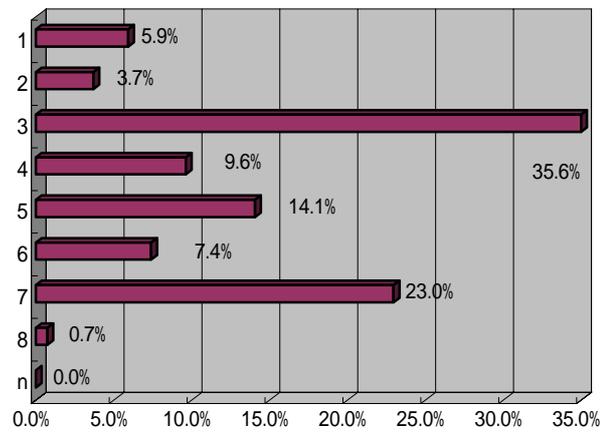
## 【年代別】

項目について

- 1 地域福祉活動の推進
- 2 障害者福祉の充実
- 3 子育て環境施策の充実
- 4 女性の社会参加の促進
- 5 高齢者福祉の推進
- 6 保健・予防の充実
- 7 医療体制の充実
- 8 その他
- n 無回答

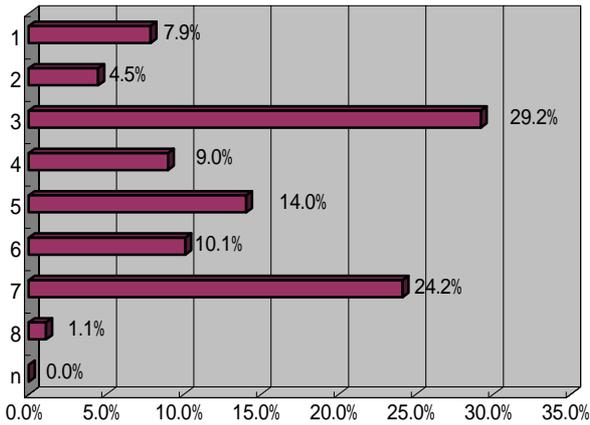
### 20歳代

総数 = 135



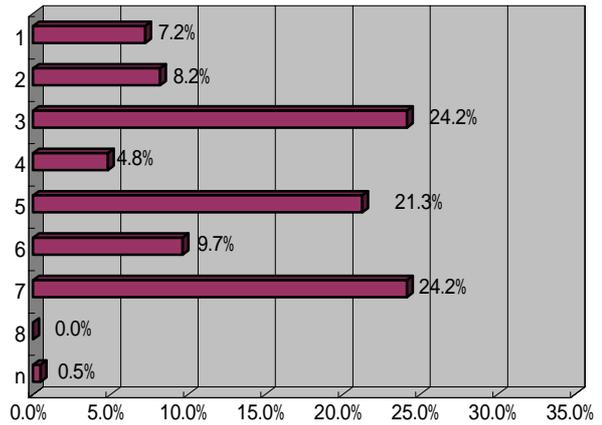
### 30歳代

総数 = 178



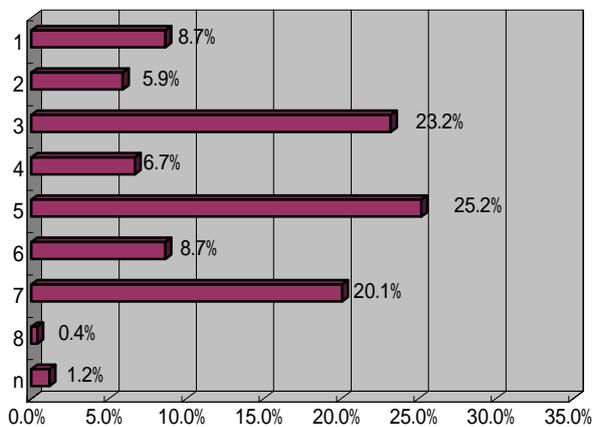
### 40歳代

総数 = 207



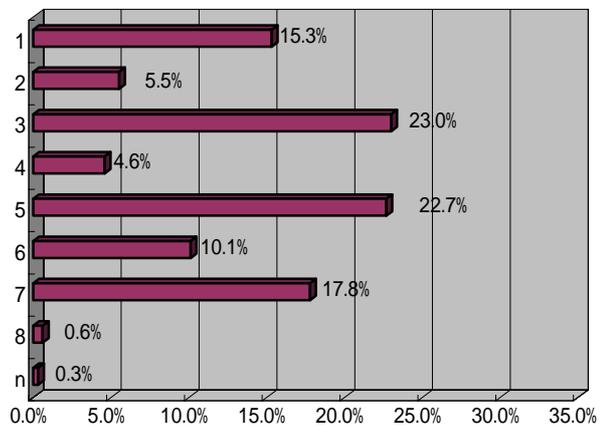
### 50歳代

総数 = 254



### 60歳以上

総数 = 326



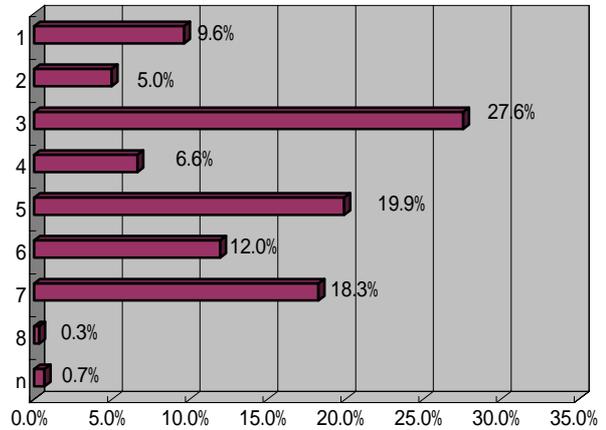
**【地区別】**

項目について

- 1 地域福祉活動の推進
- 2 障害者福祉の充実
- 3 子育て環境施策の充実
- 4 女性の社会参加の促進
- 5 高齢者福祉の推進
- 6 保健・予防の充実
- 7 医療体制の充実
- 8 その他
- n 無回答

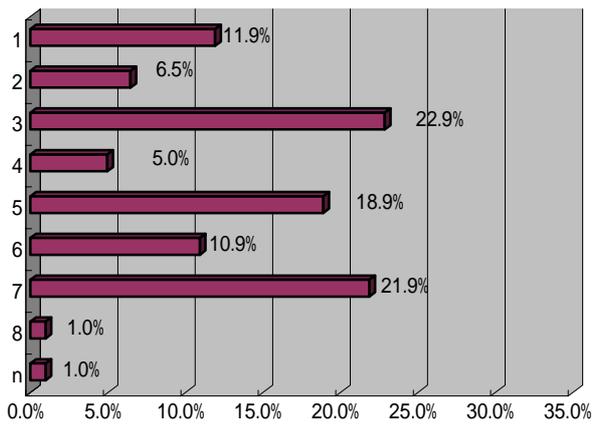
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 301



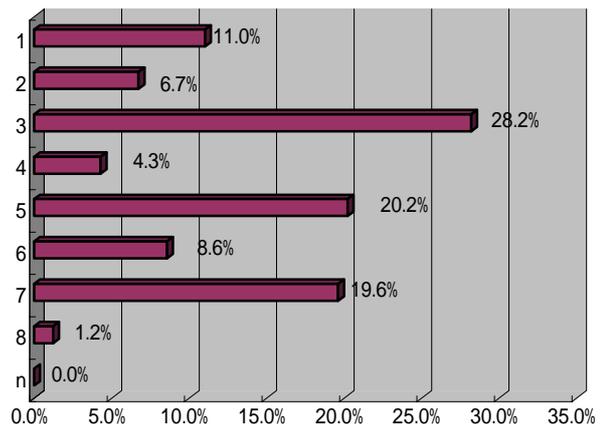
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 201



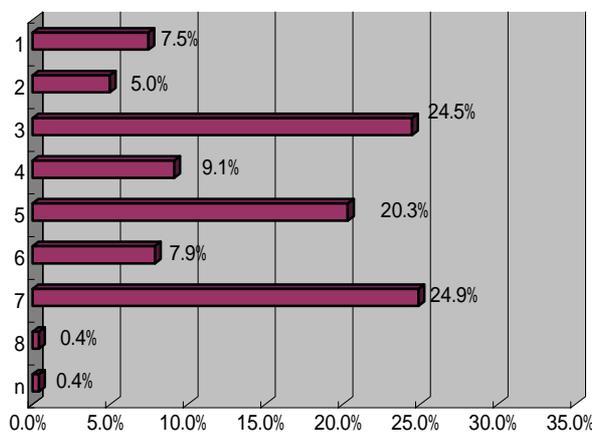
地区(仙北、本宮、太田、繫)

総数 = 163



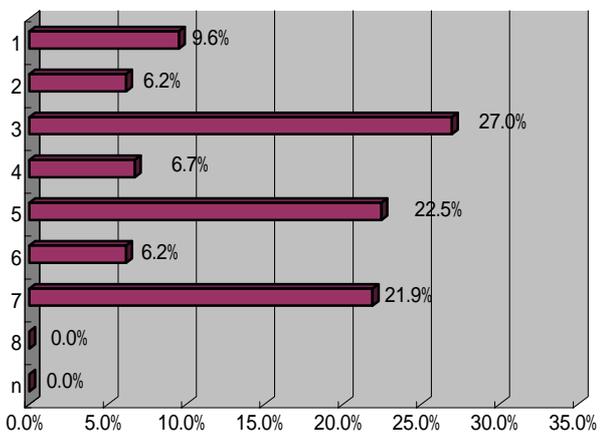
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 241



地区(旧都南地区)

総数 = 178



高齢化が進んでいますが、どのようなことに積極的に取り組むべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

- |                               |                      |
|-------------------------------|----------------------|
| 1 高齢者の働く場所の確保                 | 2 年金や生活保護制度などの充実     |
| 3 在宅福祉サービスの充実                 | 4 ボランティアなど地域福祉活動の活性化 |
| 5 介護保険制度の定着と円滑な運営             | 6 医療体制の充実            |
| 7 社会参加の促進や生涯学習の充実などの生きがい対策の推進 |                      |
| 8 介護保健施設など老人福祉施設の整備促進         |                      |
| 9 その他                         |                      |

### 【全体】

「2 年金や生活保護制度などの充実」と答えた人の割合が最も高く20.0%、次いで「8 介護保健施設など老人福祉施設の整備促進」19.4%、「1 高齢者の働く場所の確保」15.6%の順となっています。

### 【性別】

男女ともに「1 高齢者の働く場所の確保」、「2 年金や生活保護制度などの充実」、「7 社会参加の促進や生涯学習の充実などの生きがい対策の推進」、「8 介護保健施設など老人福祉施設の整備促進」と答えた人の割合が上位となっています。女性は「8 介護保健施設など老人福祉施設の整備促進」と答えた人の割合が男性より3.6%高くなっています。男性は選択肢「4」、「5」、「6」、「7」で女性よりやや高い回答となっています。

### 【年代別】

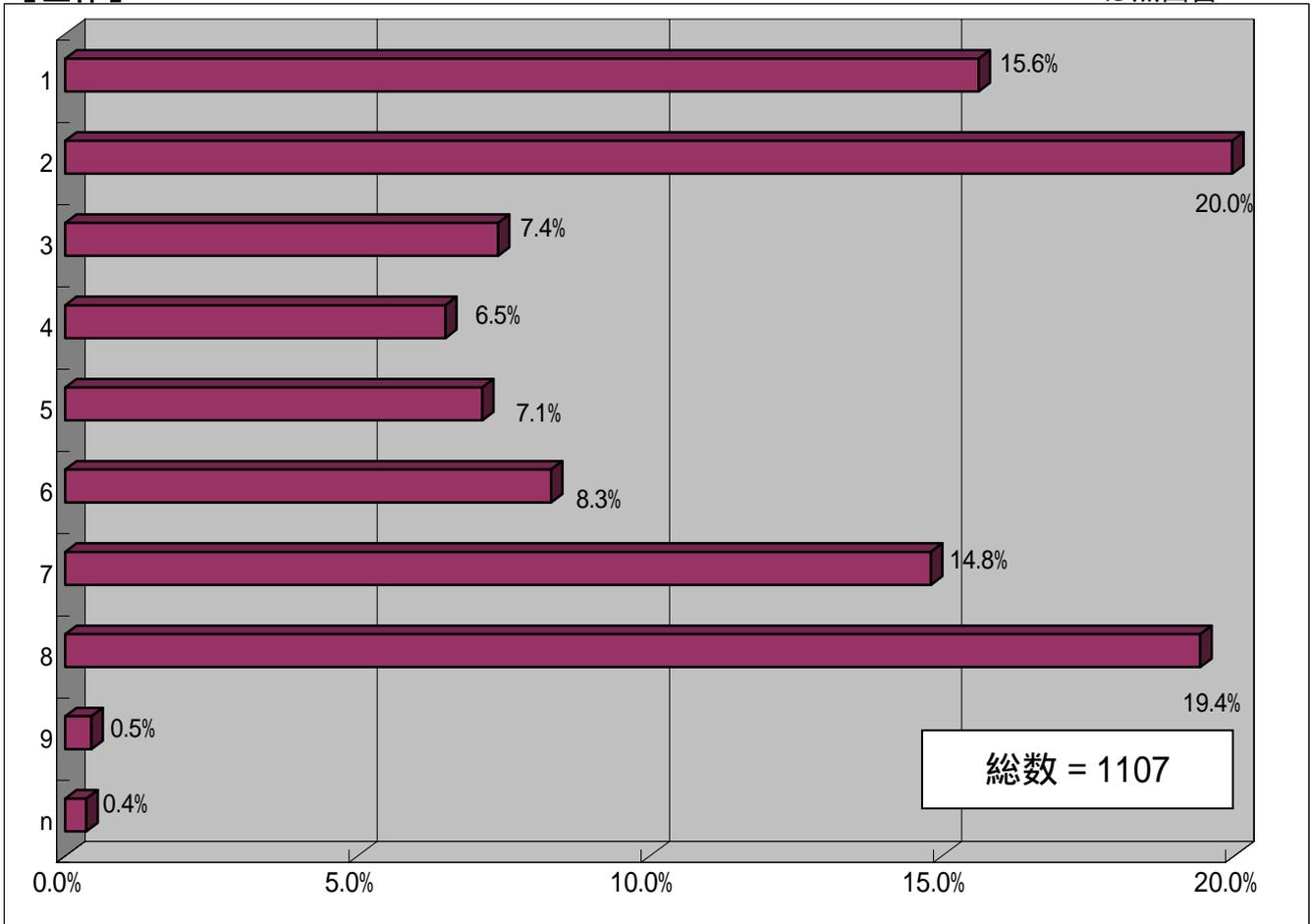
20歳代及び50歳代以上で「2 年金や生活保護制度などの充実」が20%を超える高い回答となっています。「5 介護保険制度の定着と円滑な運営」と答えた人の割合は50歳代以上では9%程度であるのに対し、40歳代以下では6%未満でとなっています。

### 【地区別】

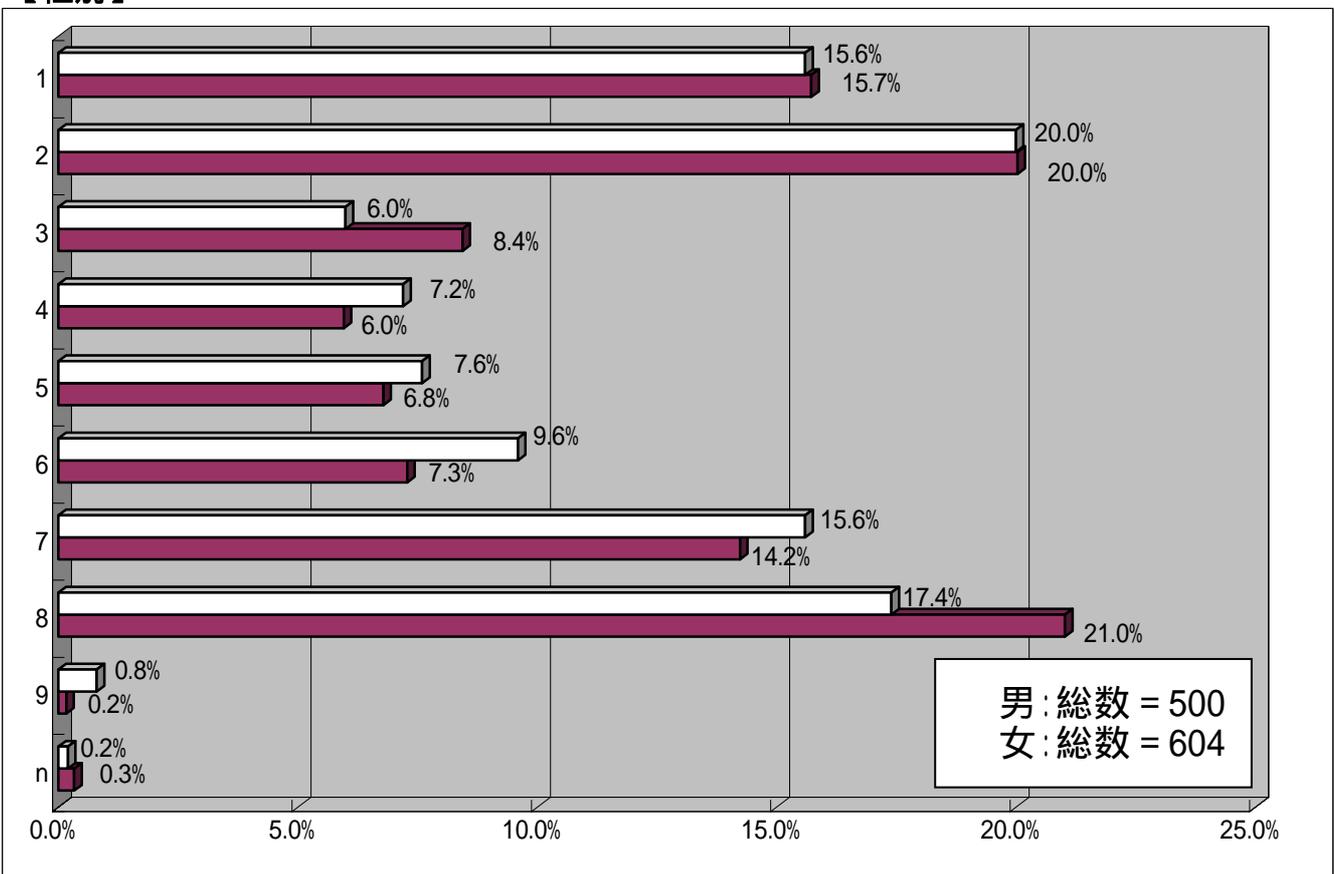
どの地区とも「1 高齢者の働く場所の確保」、「2 年金や生活保護制度などの充実」、「7 社会参加の促進や生涯学習の充実などの生きがい対策の推進」、「8 介護保健施設など老人福祉施設の整備促進」と答えた人の割合が高くなっています。地区別で比較して、あまり大きな差は見られない結果となっています。

【全体】

nは無回答



【性別】



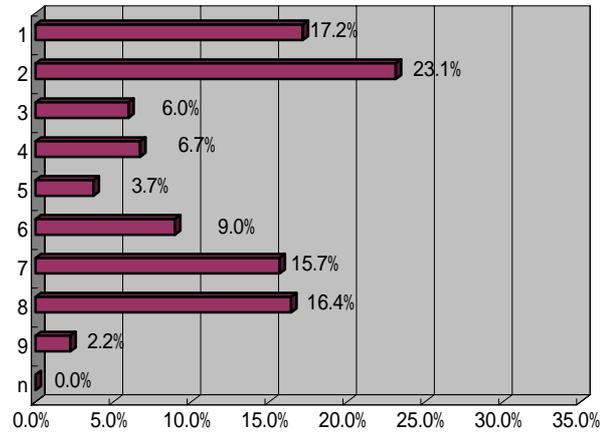
## 【年代別】

項目について

- 1 高齢者の働く場所の確保
- 2 年金や生活保護制度などの充実
- 3 在宅福祉サービスの充実
- 4 ボランティアなど地域福祉活動の活性化
- 5 介護保険制度の定着と円滑な運営
- 6 医療体制の充実
- 7 社会参加の促進や生涯学習の充実などの生きがい対策の推進
- 8 介護保健施設など老人福祉施設の整備促進
- 9 その他
- n 無回答

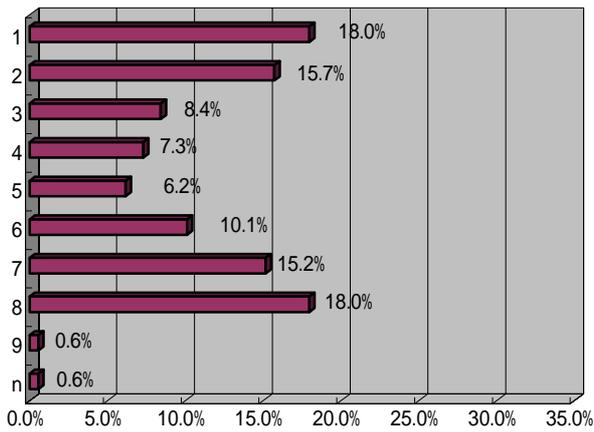
### 20歳代

総数 = 134



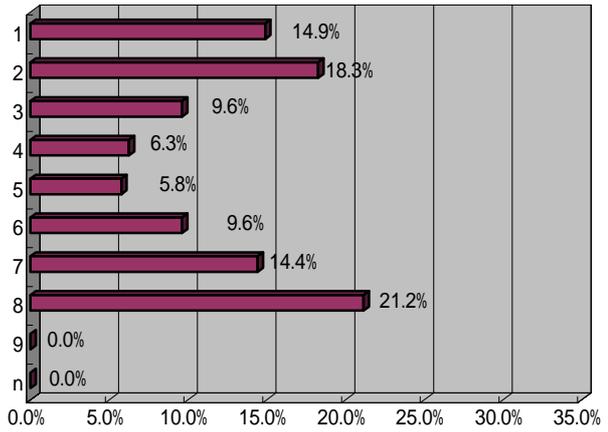
### 30歳代

総数 = 178



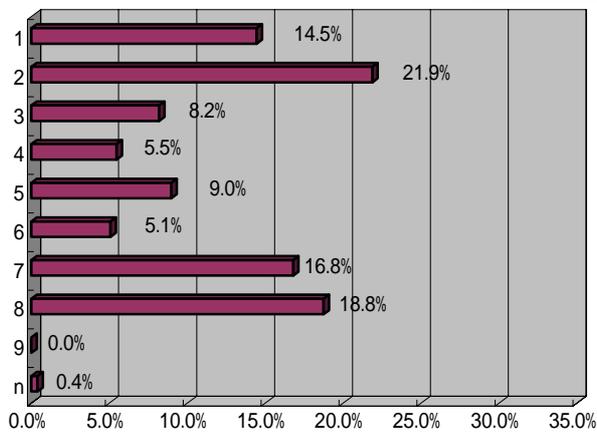
### 40歳代

総数 = 208



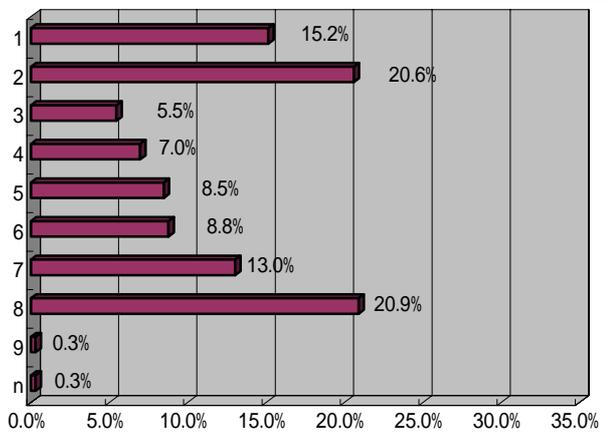
### 50歳代

総数 = 256



### 60歳以上

総数 = 330



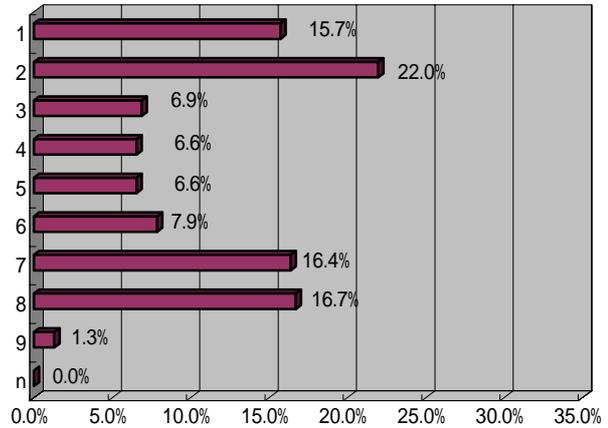
**【地区別】**

項目について

- 1 高齢者の働く場所の確保
- 2 年金や生活保護制度などの充実
- 3 在宅福祉サービスの充実
- 4 ボランティアなど地域福祉活動の活性化
- 5 介護保険制度の定着と円滑な運営
- 6 医療体制の充実
- 7 社会参加の促進や生涯学習の充実などの生きがい対策の推進
- 8 介護保健施設など老人福祉施設の整備促進
- 9 その他
- n 無回答

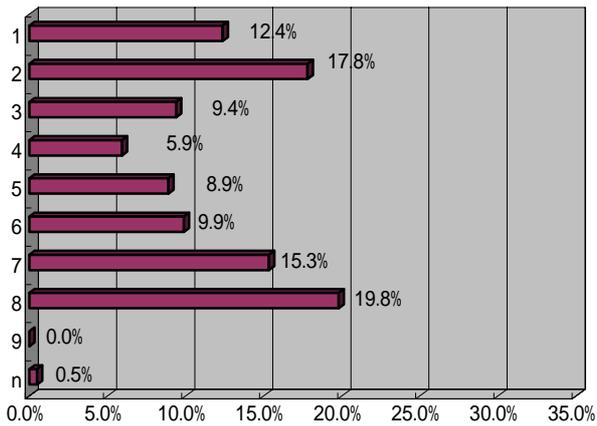
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 305



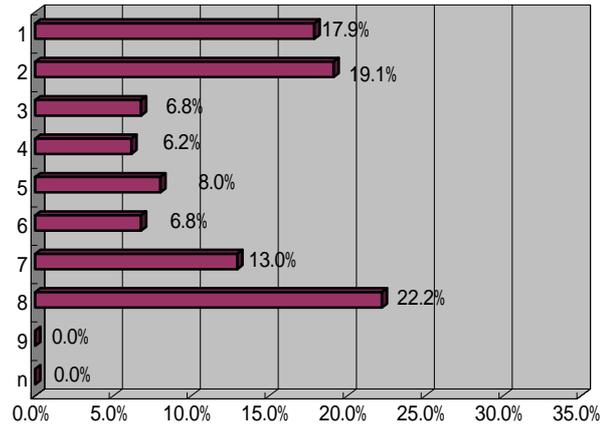
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 202



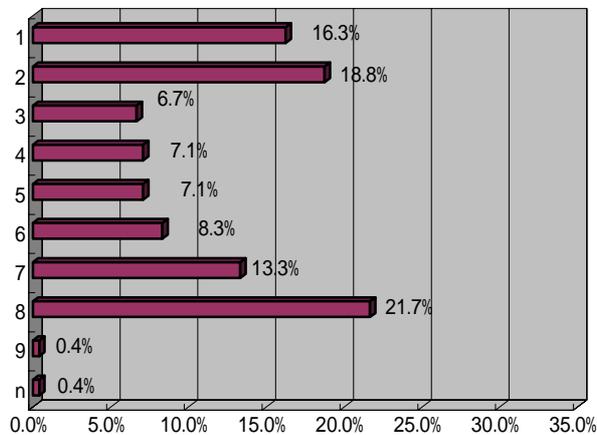
地区(仙北、本宮、太田、繋)

総数 = 162



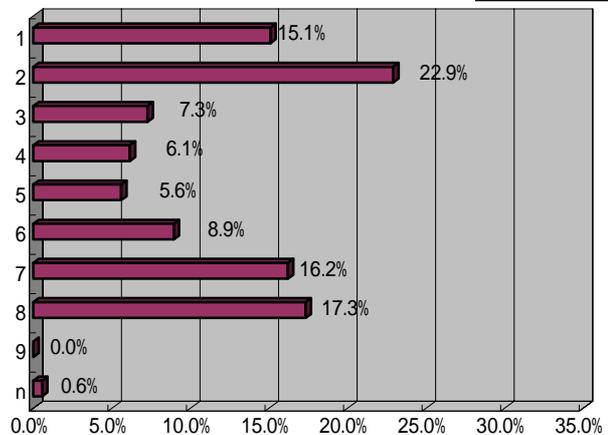
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 240



地区(旧都南地区)

総数 = 179



盛岡市の合計特殊出生率は1.30人（平成13年）となり、年々子供の数が減っていることが問題となっていますが、少子化対策として何が必要だと思いますか。次の中から2つ以内をお選びください。

- 1 妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援
- 2 男女が共同で子育てをする意識の啓発
- 3 結婚の奨励、機会づくり
- 4 仲間同士で自主的に開催している育児サークルの支援
- 5 育児相談や育児講座の充実
- 6 民生児童委員などが地域で行っている支援活動
- 7 保育園、児童センターなど子育て関連施設の充実
- 8 職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）
- 9 延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実
- 10 夜間診療所や休日診療体制の強化
- 11 その他

### 【全体】

「1 妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援」と答えた人の割合が最も高く21.6%、次いで「8 職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）」17.7%、「9 延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実」17.4%の順となっています。

### 【性別】

男性は、女性と比較して「1 妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援」、「3 結婚の奨励、機会づくり」と答えた人の割合が比較的高くなっています。一方女性は、「8 職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）」、「9 延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実」と答えた人の割合が高くなっています。逆に、選択肢「4」、「5」、「6」については、女性は1%未満の回答結果であり、育児に対する支援活動よりも子供を預けながら働く環境作りを望む声が高くなっていることがうかがえます。

### 【年代別】

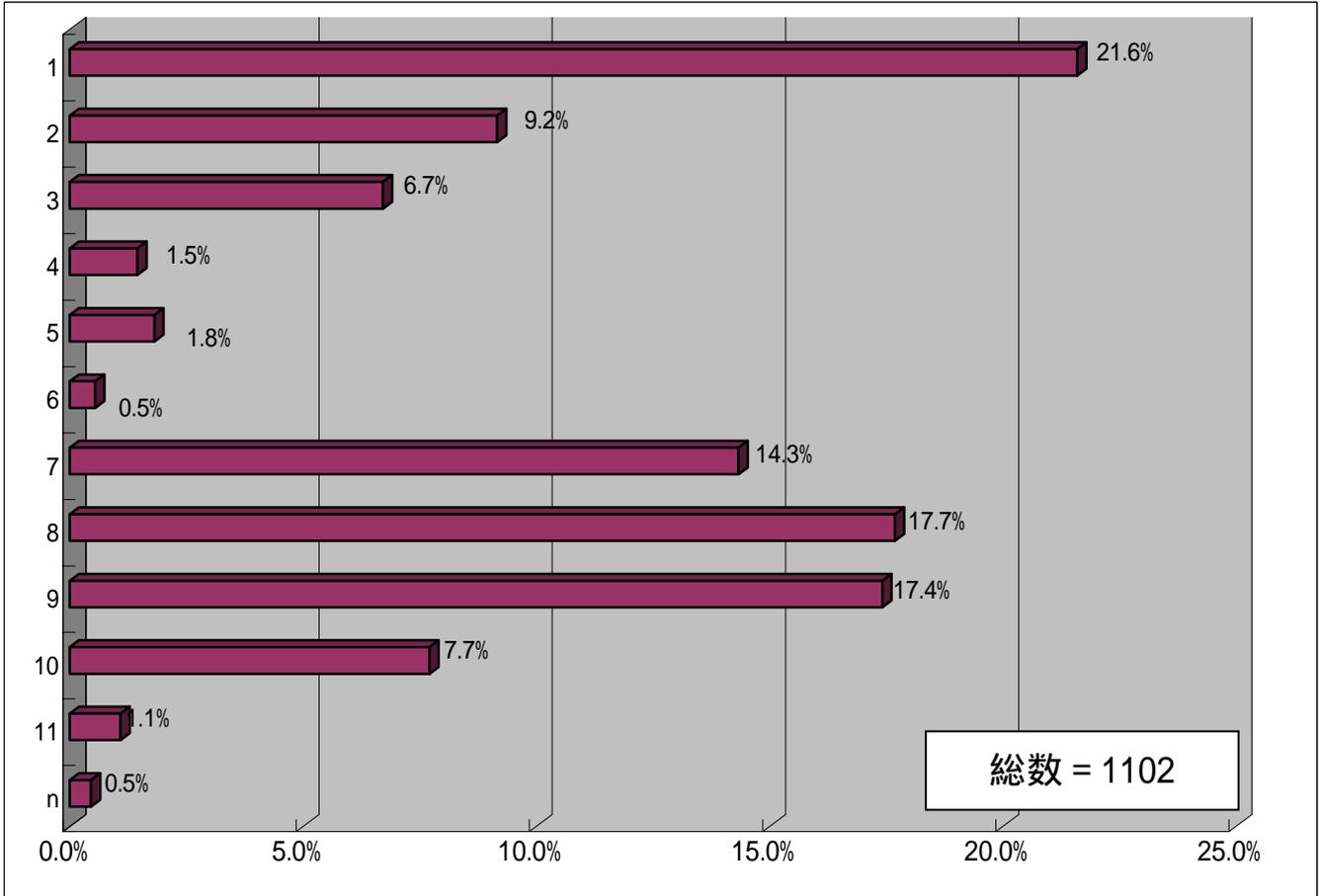
20歳代、30歳代では「1 妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援」、「8 職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）」と答えた人の割合が合わせて約50%にも昇ります。一方、40歳代以上では「9 延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実」と答えた人の割合が30歳代以下と比べて約7%高くなっています。

### 【地区別】

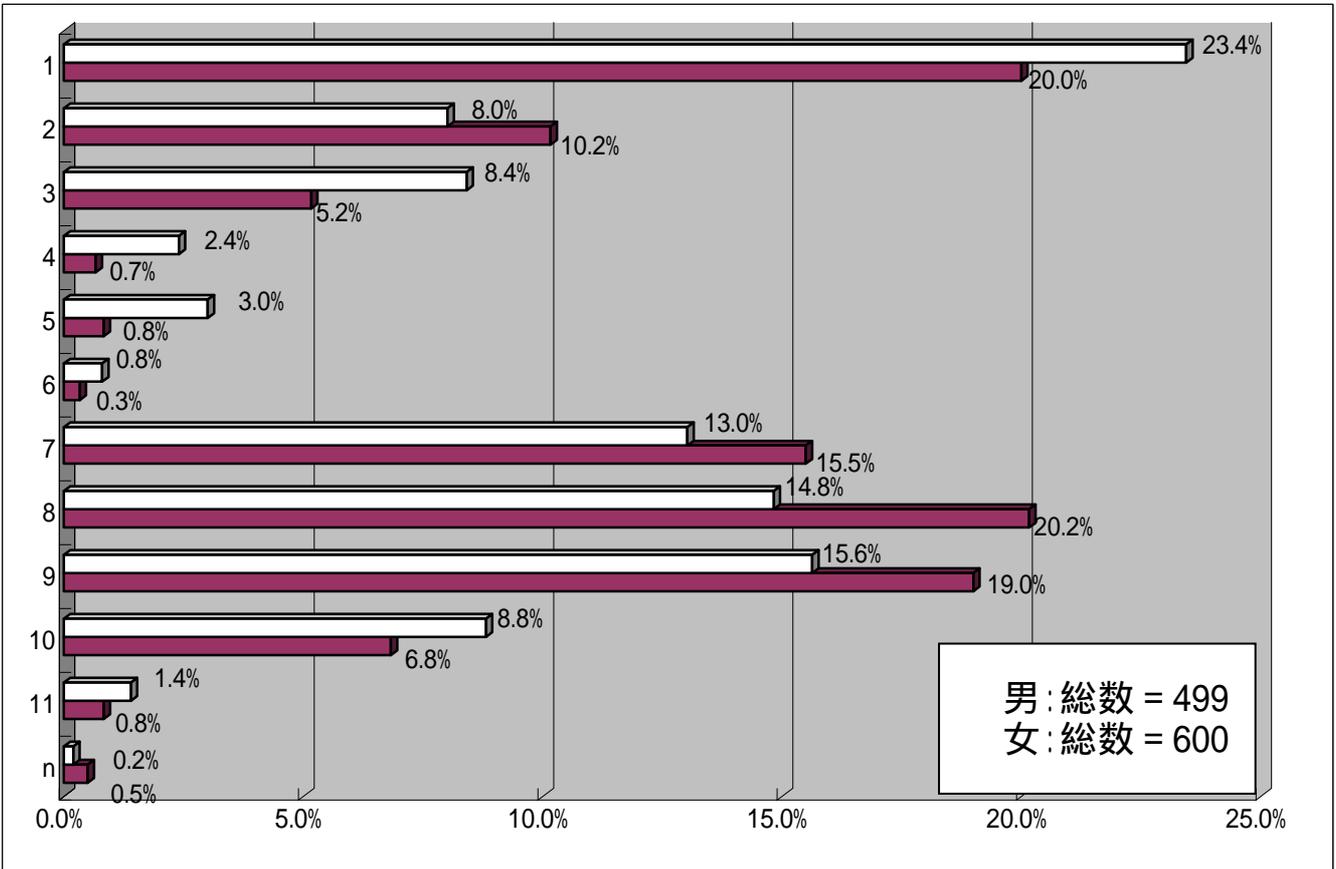
どの地区とも「1 妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援」、「7 保育園、児童センターなど子育て関連施設の充実」、「8 職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）」、「9 延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実」と答えた人の割合が高くなっています。地区別で特に大きな差は見られません。

【全体】

nは無回答



【性別】



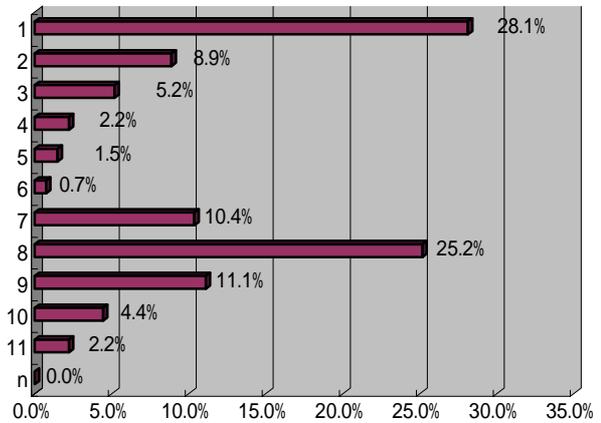
## 【年代別】

項目について

- 1 妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援
- 2 男女が共同で子育てをする意識の啓発
- 3 結婚の奨励、機会づくり
- 4 仲間同士で自主的に開催している育児サークルの支援
- 5 育児相談や育児講座の充実
- 6 民生児童委員などが地域で行っている支援活動
- 7 保育園、児童センターなど子育て関連施設の充実
- 8 職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）
- 9 延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実
- 10 夜間診療所や休日診療体制の強化
- 11 その他
- n 無回答

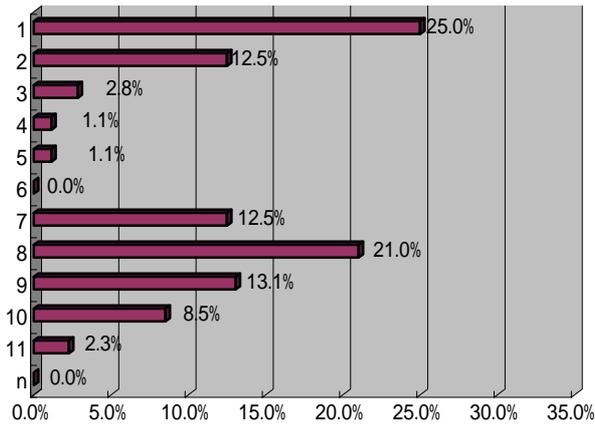
### 20歳代

総数 = 135



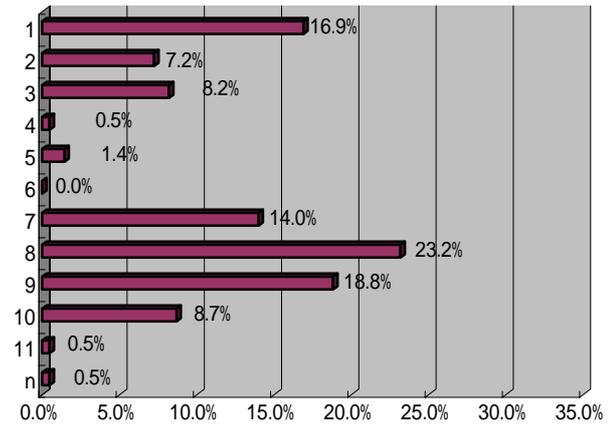
### 30歳代

総数 = 176



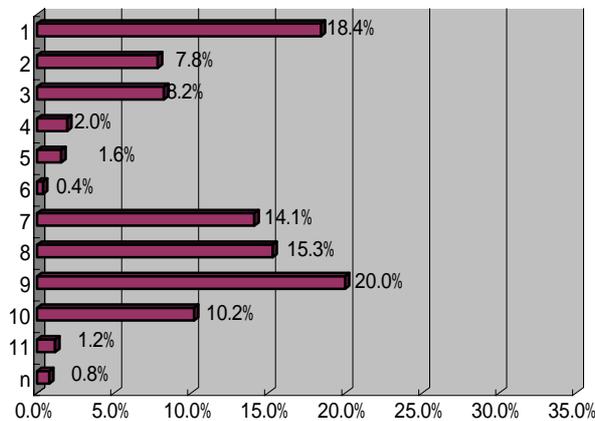
### 40歳代

総数 = 207



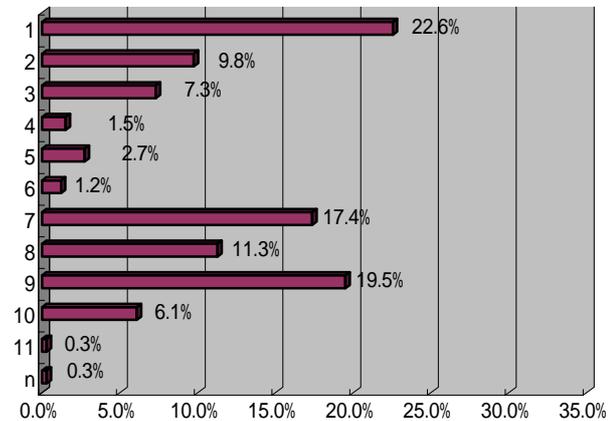
### 50歳代

総数 = 255



### 60歳代以上

総数 = 328



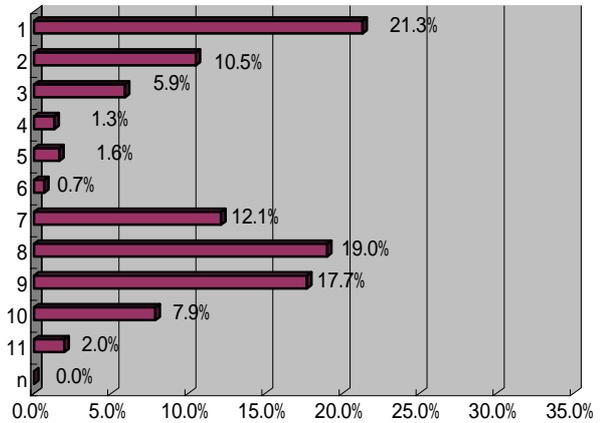
【地区別】

項目について

- 1 妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援
- 2 男女が共同で子育てをする意識の啓発
- 3 結婚の奨励、機会づくり
- 4 仲間同士で自主的に開催している育児サークルの支援
- 5 育児相談や育児講座の充実
- 6 民生児童委員などが地域で行っている支援活動
- 7 保育園、児童センターなど子育て関連施設の充実
- 8 職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）
- 9 延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実
- 10 夜間診療所や休日診療体制の強化
- 11 その他
- n 無回答

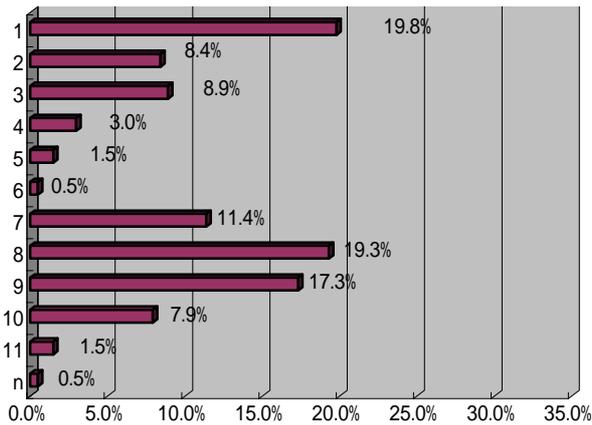
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 305



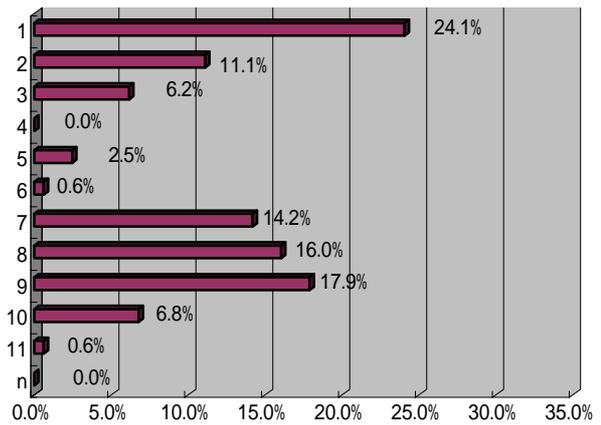
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 202



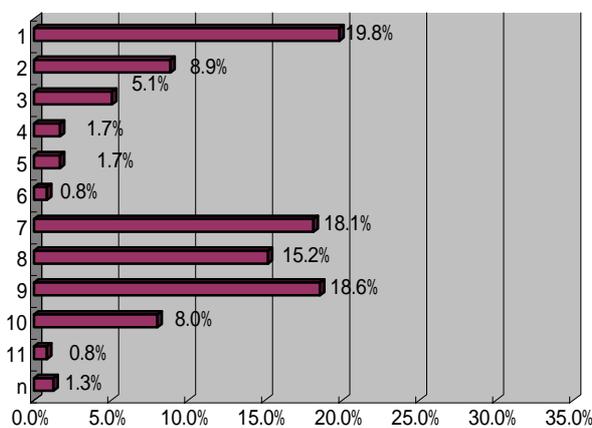
地区(仙北、本宮、太田、繋)

総数 = 162



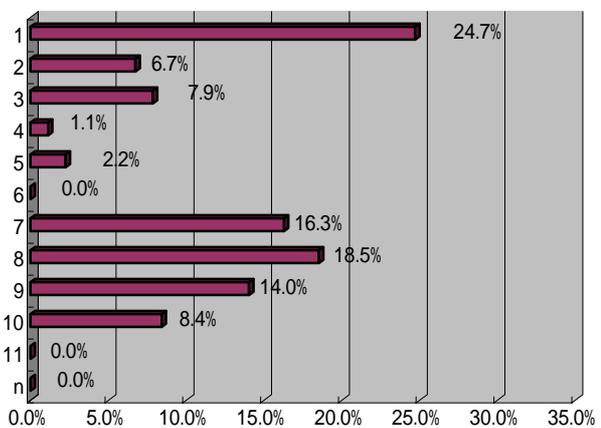
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 237



地区(旧都南地区)

総数 = 178



これからのまちづくりには、「市民主体のまちづくり」や「市民参加のまちづくり」が重要になると考えられます。「市民活動」に対して、行政は今後どのような支援をしていくべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

- 1 団体の紹介や活動状況などの情報提供
- 2 NPO（非営利活動団体）等に対する施設の提供や税法上の優遇措置
- 3 まちづくり・地域づくりの活動の機会の増大
- 4 市民の親睦や交流に重点をおいた施策の実施
- 5 職員派遣などの人的支援
- 6 活動団体などが連携できるイベントや交流会、研修会の開催
- 7 市民参加に係わる総合的な窓口の充実
- 8 その他

### 【全体】

「1 団体の紹介や活動状況などの情報提供」と答えた人の割合が最も高く19.9%、次いで「7 市民参加に係わる総合的な窓口の充実」19.2%、「3 まちづくり・地域づくりの活動の機会の増大」17.1%の順となっています。

### 【性別】

男性は「2 NPO（非営利活動団体）等に対する施設の提供や税法上の優遇措置」、「3 まちづくり・地域づくりの活動の機会の増大」、「6 活動団体などが連携できるイベントや交流会、研修会の開催」が女性より高い回答となっています。一方、女性は「1 団体の紹介や活動状況などの情報提供」、「7 市民参加に係わる総合的な窓口の充実」と答えた人の割合が男性より高くなっています。

### 【年代別】

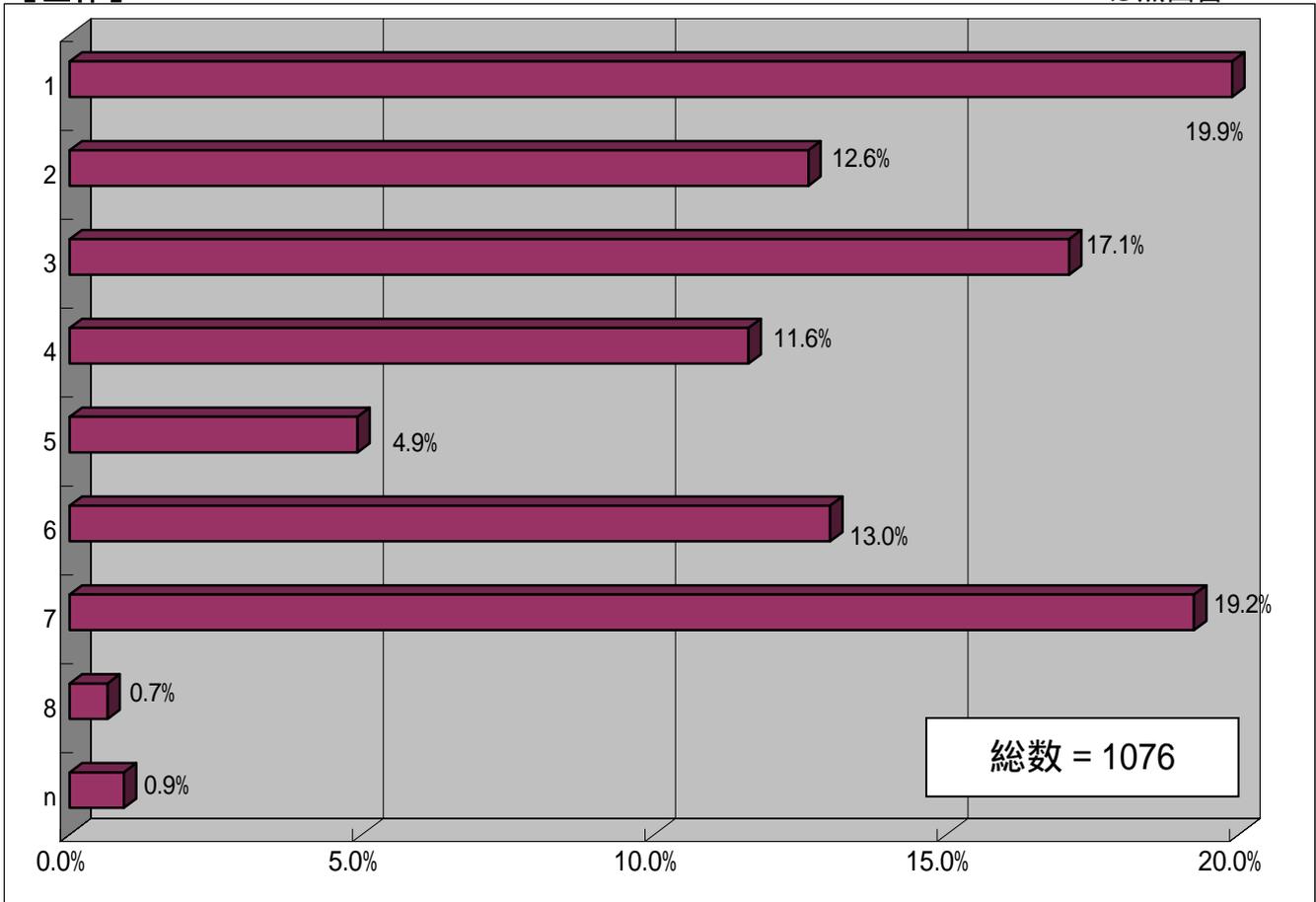
20歳代、30歳代では、「1 団体の紹介や活動状況などの情報提供」、「7 市民参加に係わる総合的な窓口の充実」と答えた人の割合が20%を超えています。一方、40歳代以上では「6 活動団体などが連携できるイベントや交流会、研修会の開催」と答えた人の割合が比較的高くなっています。

### 【地区別】

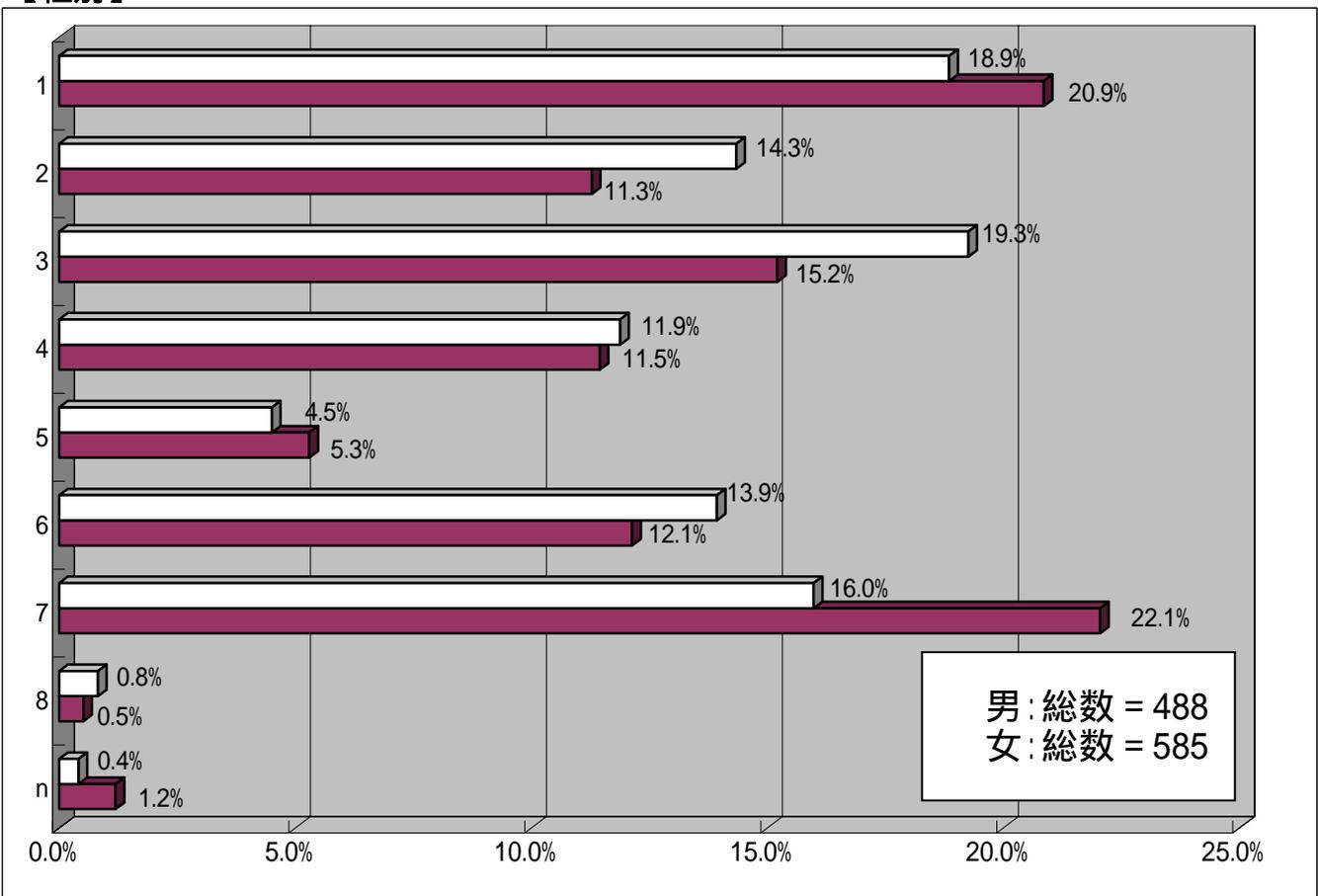
どの地区でも「1 団体の紹介や活動状況などの情報提供」、「3 まちづくり・地域づくりの活動の機会の増大」、「7 市民参加に係わる総合的な窓口の充実」と答えた人の割合が高くなっています。地区(仁王、桜城、上田、山岸など)では「2 NPO（非営利活動団体）等に対する施設の提供や税法上の優遇措置」が他の地区より高くなっています。地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)及び地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)では、「7 市民参加に係わる総合的な窓口の充実」が20%を超える高い結果になっています。地区(仙北、本宮、太田、繫)では、回答率は低いですが「5 職員派遣などの人的支援」が他地区より5%以上高くなっています。

【全体】

nは無回答



【性別】



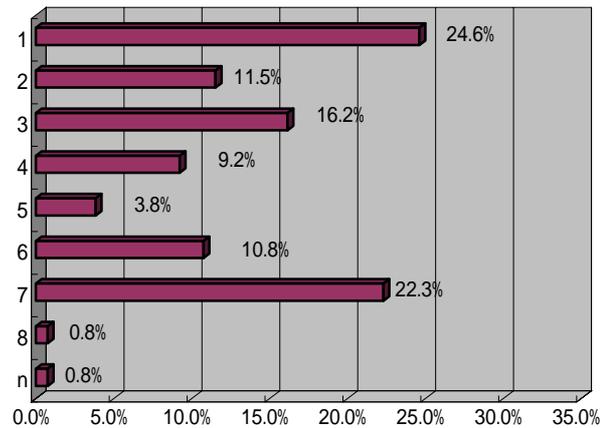
## 【年代別】

項目について

- 1 団体の紹介や活動状況などの情報提供
- 2 NPO（非営利活動団体）等に対する施設の提供や税法上の優遇措置
- 3 まちづくり・地域づくりの活動の機会の増大
- 4 市民の親睦や交流に重点をおいた施策の実施
- 5 職員派遣などの人的支援
- 6 活動団体などが連携できるイベントや交流会、研修会の開催
- 7 市民参加に係わる総合的な窓口の充実
- 8 その他
- n 無回答

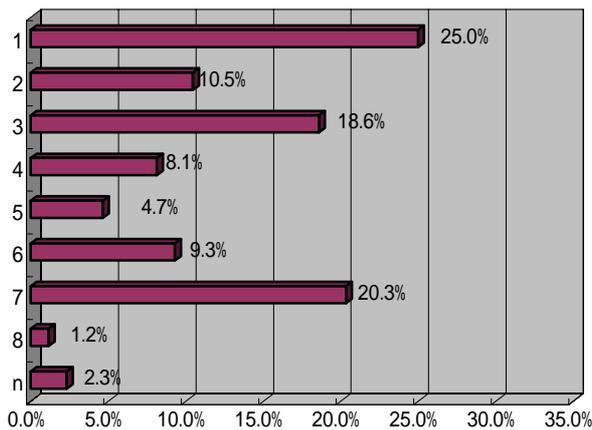
### 20歳代

総数 = 130



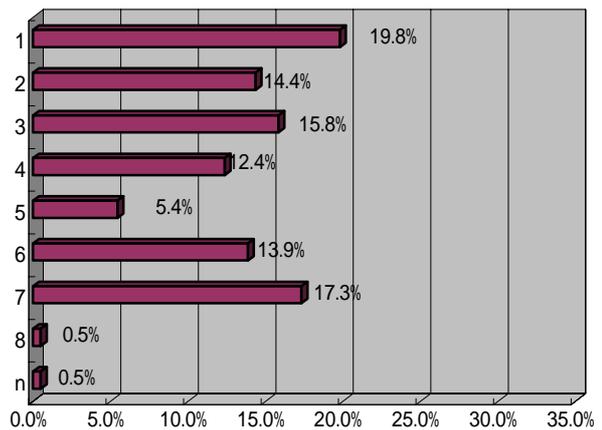
### 30歳代

総数 = 172



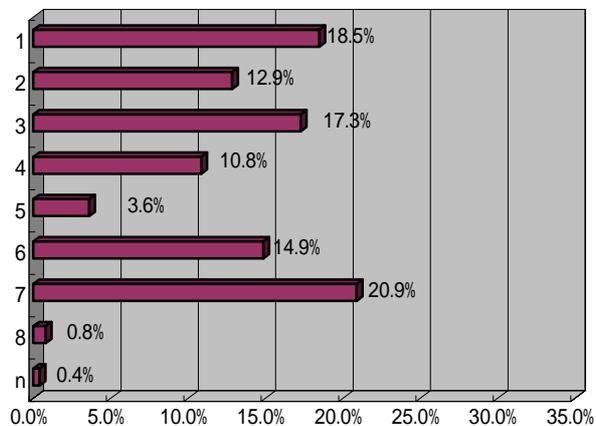
### 40歳代

総数 = 202



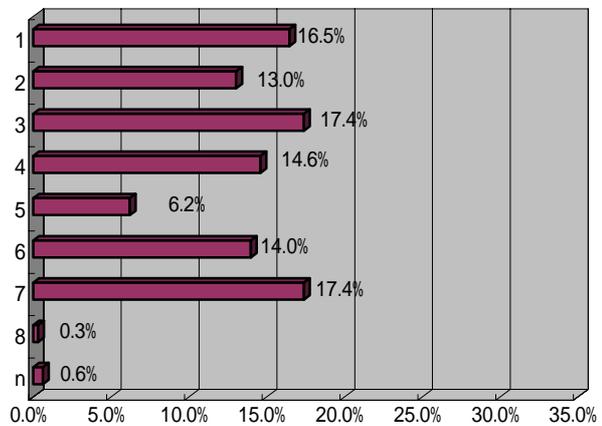
### 50歳代

総数 = 249



### 60歳以上

総数 = 322



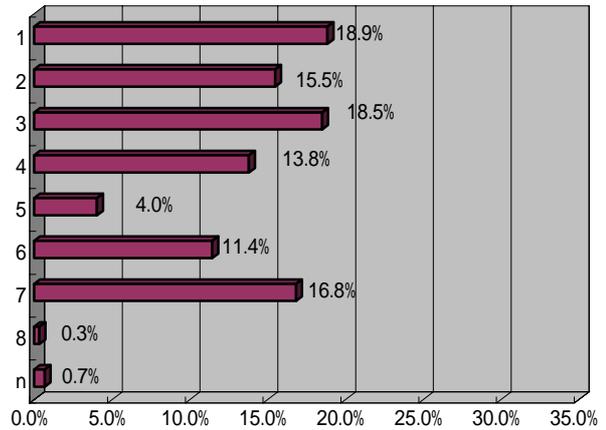
**【地区別】**

項目について

- 1 団体の紹介や活動状況などの情報提供
- 2 NPO（非営利活動団体）等に対する施設の提供や税法上の優遇措置
- 3 まちづくり・地域づくりの活動の機会の増大
- 4 市民の親睦や交流に重点をおいた施策の実施
- 5 職員派遣などの人的支援
- 6 活動団体などが連携できるイベントや交流会、研修会の開催
- 7 市民参加に係わる総合的な窓口の充実
- 8 その他
- n 無回答

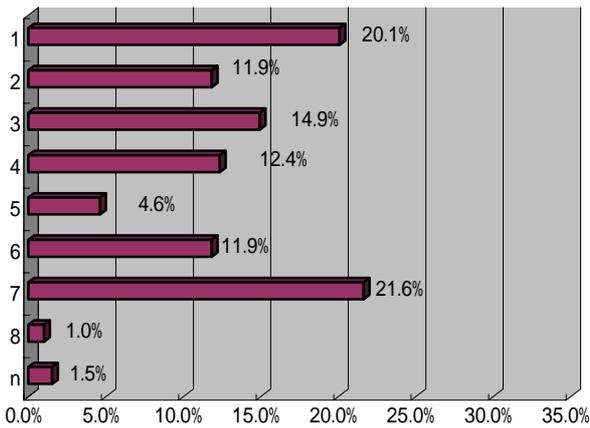
地区(仁王、桜城、上田、山岸など)

総数 = 297



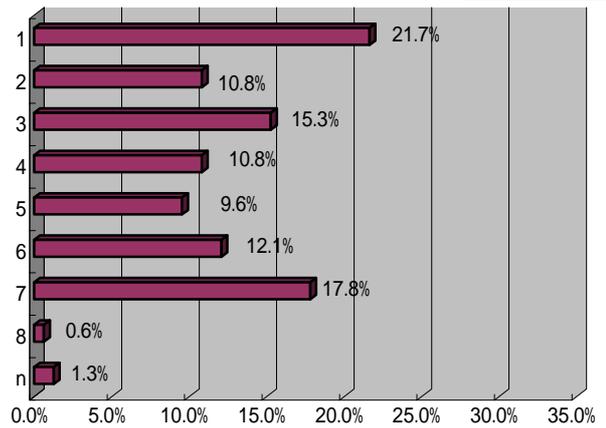
地区(城南、加賀野、杜陵、中野など)

総数 = 194



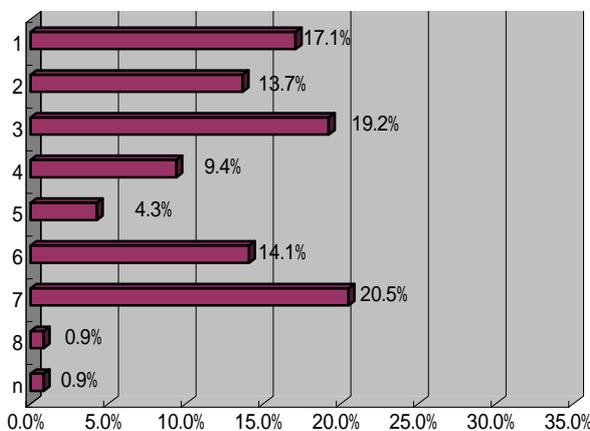
地区(仙北、本宮、太田、繋)

総数 = 157



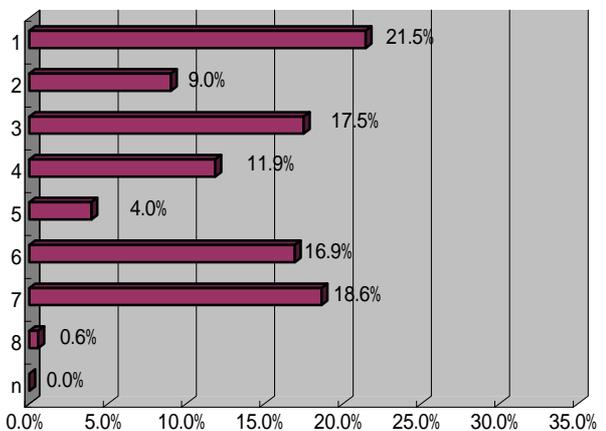
地区(青山、みたけ、北厨川、土淵など)

総数 = 234



地区(旧都南地区)

総数 = 177



# 集 計 分 析 結 果

まちづくりへの提言

## 1 提言の概要

この提言は、「まちづくりアンケート」及び「まちづくりの提言アンケート」で、これからの盛岡市のまちづくりについてのご意見・ご提言を自由に記述していただいたものをまとめたものである。

### (1) 提言者数

	まちづくりアンケート	まちづくり提言アンケート
標本者数	962人	167人
アンケート回答者数	651人	84人
提言者数	428人	51人

### (2) 分野別提言件数

	まちづくりアンケート		まちづくりの提言アンケート	
機能的で魅力ある都市の創造	109件	9.2%	5件	6.5%
豊かで活力ある産業活動	148件	12.5%	16件	20.8%
ふるさとの未来を支える人材の育成	117件	9.9%	3件	3.9%
快適で潤いのある環境の創出	303件	25.5%	26件	33.8%
健やかで心のかような地域社会の形成	140件	11.8%	3件	3.9%
市政全般について	194件	16.3%	21件	27.3%
広域合併について	58件	4.9%	1件	1.3%
その他	118件	9.9%	2件	2.6%
合計	1187件	100.0%	77件	100.0%

\* 提言の内容について

- ・趣旨を変えない程度に要約したものもある。
- ・同趣旨と思われ、割愛したものもある。
- ・「まちづくりの提言アンケート」による提言は提言内容の末尾に（提言）と記載してある。

## 2 提言の内容（ 機能的で魅力ある都市の創造）

### 【数多く提言された意見】

- ・ある一定地域の開発ではなく、市全域バランスよくまちづくりを進めるべき。
- ・盛南開発をはじめ都市開発事業の早期完成。
- ・道路網の整備と併せ、バスなどの公共交通機関の充実を図り、交通渋滞を解消すべき。
- ・市街化調整区域を緩和すべき。（市街化区域の拡大）

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	経済圏の中心となり得るような市街地の形成。
30歳代	女性	ある一定の地域の発展ばかりが目立つのではなく、盛岡市全域が魅力あるものになってほしい。
60歳代	男性	現在の盛岡の土地の利用をみると、都市部と、開発された所の中間の部分の土地が取り残されている。点と点の利用の結果と思う。この部分の利用が最大の急務と思う。
50歳代	男性	市街地周辺の住宅街は、東側（新庄、三ツ割、山岸等）が山の上まで乱開発されていると思われるが、西側（太田、飯岡等）の整然とした開発計画の発表を望む。
60歳代	男性	市街地の再開発（住宅・教育・福祉・工業地等の活用）について調査、検討すべき。
40歳代	男性	自然地域、開発地域など、地域単位で機能を分担あるいは区分けをしてみてもどうか。
60歳代	男性	住環境の整備 太田地区（中太田、下太田）は市中心部に近い地域であるが、土地区画整理事業が大幅に遅れている。平成20年度完了ということであったが、未だ20%の進捗率である。この進捗率でいけば、向こう20年以上費やすことになる。狭い道路、汲み取りトイレがいつまで続くのか。
70歳以上	男性	調和のとれた都市開発。特に区画整理事業は画一的に行う必要がある。
70歳以上	男性	当初の計画を大幅に遅れている盛南開発であるが、早期完成を目指し、事業を促進してもらいたい。
50歳代	男性	松園ニュータウンから都心部への道路整備及び松園地区を再開発地区として再整備していただきたい。
50歳代	男性	無秩序な市街地拡大の抑制として、現在事業中の大規模土地区画整理事業と計画中の事業を、広域的に評価して密度の高い効率的な市街地形成を図る必要がある。
60歳代	男性	盛南開発について、区画整理など都市計画が遅れている。
40歳代	男性	盛南開発に金をかけすぎ。もっと民間の資本を活用すべき。
60歳代	男性	盛南開発の早期完成を望む。
50歳代	男性	盛南開発を順調に進められるようにしてほしい。
70歳以上	男性	盛南地域は、旧市街地より、ゆとりある開発が可能で、狭くなっている都市機能の一部を移転し、均衡のとれた都市として整備すべきである。
40歳代	男性	駅周辺の都市再開発は必要だが、広域化・都市化が必ずしも快適な住環境をもたらすとは限らない。市民の視線で施策を進めていくことを基本にしていくべきだ。
40歳代	女性	駅前から中央通、大通までの開発は必要だと思う。盛岡の顔として、材木町の様な雰囲気がとてもいい街並みになれたらいいと思う。
40歳代	女性	駅裏の開発も太田まで見通した自然を大事にした整備を進めてほしい。
50歳代	女性	開発に地域差があるが、どうにかしてほしい。
50歳代	男性	既市街地の再整備構想がないまま、いたずらに郊外へ進出して行く現状の整備に疑問。
70歳以上	男性	事業所、住宅等は市郊外西部、南部へと新都市均衡ある誘導が必要だと思う。職安、税務署は盛南へ移すべき。40-50万都市を目指すのには、もっともっと西部の方へも都市を誘導すべきであると思う。
70歳以上	男性	水と緑、自然を大切にすることは、必要であるが共生調和を図りたい。やはり開発が必要と思う。
50歳代	男性	盛岡の街は、東から西に中心街が移動してきたので、今後は既存施設にこだわらず盛岡駅西地区や太田本宮地区での施設集約を図るべきである。

性別	年齢	提言内容
60歳代	男性	盛岡は未だ全国的にみて都市開発整備は遅れている。
40歳代	女性	盛南開発に関わってのマリオスの建設については、その必要性財政面においても疑問だ。
70歳以上	男性	盛南開発に重点を置きすぎではないか。市街地の開発が置き去りにされているような気がする。
50歳代 不明	男性 不明	IGR利用しやすいように駅、地下道などの整備。特に厨川駅西口を強く要望したい。JR山田線大志田駅は、医療機関への通院、生活用品購入の際に必要である。利用人数、回数にかかわらず停車を増やして頂きたい。
50歳代 不明	女性 不明	いろんな施設が、盛南地区に集まりつつあるが、交通の便を充実してほしい。いわて銀河鉄道の発足に伴い、新幹線へのつながりが極めて不便。市からも改善を求めている。
30歳代	男性	現在の盛岡において早急に解決しなければならないのは交通体系の整備である。オムニバスタウンで交通体系が変わってはきているが、都南バスターミナルの利用状況を見ると少し残念に思う。もし本気で公共交通への利用を促進するのであれば都南方面を通過する全ての路線の見直しを図るべきである。今後青山、太田と事業は続けられると思うが、効果のある公共交通機関となることを望む。公共交通を充実させマイカー利用が抑えられれば、渋滞も解消され市民への経済効果が大きくなると思われる。
60歳代	男性	県都、盛岡駅前の交通規制について再考をお願いしたい。仮称下開運橋の開通に伴い車両の流れは変化すると思うが、現在の規制についても、県都にふさわしい交通の流れとなる様をお願いしたい。
40歳代	男性	公共交通機関の運賃が高い、運行本数が少ない等の理由で利用しない人が多いと思われるので、関係機関に働きかけ、改善を図っていただきたい。
50歳代	女性	公共交通機関の利用にあたって、利用者側と運行側の意見を調整すべき。(市民の要望に合っていない)
70歳以上	男性	交通網の整備を進めてほしい。道路にだけ頼らず、地下鉄等の整備が今後必要と思われる。あるいは高架鉄道。道路だけでは、冬場の交通渋滞、時間によるラッシュ等はさばききれない。
40歳代	男性	ゾーンバスは、乗り換えによりますますバスを不便なものにし、料金を安くすることに何も役立っていない。今は低料金できめ細かくルートを回るコミュニティバスが注目されている。バス路線のルートを今以上に多様できめ細かなものにするともに、遠距離でも市内であれば200円程度に抑えるなどの対策が必要だ。
60歳代	男性	長期展望に立った交通網の整備を進めてほしい。
70歳以上	男性	繋・青山町方面から館坂橋を渡り中央病院へ行くバス路線を検討して欲しい。
50歳代	男性	道路交通網があまりに貧弱である。県庁所在地で片側2車線の道路しかないのは盛岡だけではないか。南北・東西に最低2本の幹線道路は必要である。又、西バイパスは必須。
40歳代	男性	バス、鉄道の利便性を改善してほしい。
70歳以上	男性	バスセンターは駅西口でもよい。
50歳代	男性	バスの活用、IGRの活用、オムニバス計画をしているようであるが、それらをもっと細やかにしてほしい。
不明	不明	バスの交通便が良い。(100円バスも良いアイデア。各地でみられるが盛岡は活用が多い)
50歳代	女性	バスの利用者の数で本数が減るのは仕方ないにしても、バス路線の充実も計ってほしい。
50歳代	男性	バス路線の整備と運行について、バス会社と積極的に協議し市民にとって良い改善を求めろ。
50歳代	男性	物流、通勤の障壁となっている交通渋滞地点の改善。
40歳代	男性	盛岡市は他の都市に比して市街地における交通渋滞が著しい。川に囲まれた立地上の問題でもあるのだが、道路の改良により改善できる箇所も多いと思われるので、積極的な道路網の整備を望む。
60歳代	男性	盛岡は都市間交通においては、東北の中心点に位置しているが、その立地条件を有効に生かしていない。県政、市政は云うに及ばず民意レベルもその意識が低い。情報ネットワークも大事であるが、交通ネットワークがもたらす効果は更に重要である。
60歳代	男性	乙部地区に便利なバスゾーンを整備してほしい。
70歳以上	男性	河南地区都心との環状線バスを充実すべき。
60歳代	男性	環境とのからみでもっと公的機関の整備を望みたい。

性別	年齢	提言内容
70歳以上	男性	近い将来、広域市町村合併を踏まえて、盛岡市周辺を含む交通対策をすべき。
70歳以上	女性	近くに大型スーパーが出来るのは大変有難いが、その為の自動車の混雑がひどく困る。
50歳代	男性	現在、県交通による循環バスが運行されているが循環するルートを通勤、通学、文化施設、医療施設を循環するようなルート設定をすべき。
60歳代	男性	現在進行中の駅西口の都市機能を高めるインフラ整備を積極的に推進し、南北に延び都市圏の居住構造を結ぶ都市内交通網の強化・整備が必要になる。
50歳代	男性	交通システムに二酸化炭素を排除した新エネルギーの移動手段の導入を推進すべき。
70歳以上	男性	交通渋滞が甚だしい。旧市内は城下町なので、道路渋滞は特にひどい。
70歳以上	男性	公共交通機関に恵まれて、車による公害、混乱の少ない思いやりの心豊かな街でありたい。
50歳代	男性	公共交通機関の充実、利用者の数に比例してサービスの内容が向上する。パークアンドライドをはじめとして誰もが利用しやすい公共交通の有効活用を図り、排気ガスの少ない環境都市をめざす必要がある。
40歳代	男性	公共交通機関の利用と徒歩だけで、医療、教育、職場、公共機関のサービスなどすべてのものが利用できるようなコンパクト性とTODを意識したまちづくりを進めて欲しい。
40歳代	男性	公共交通機関を充実させるため、中心部の朝の通勤時間帯はバス・タクシー以外は一切乗り入れ禁止とする。（荷物搬入用のトラックも禁止）
50歳代	男性	郊外の循環バスの利用が図られていないので、幹線道路の便数を増やした方が利用者の向上につながるのではないかと。
50歳代	男性	黒石野、緑が丘方面からの通勤時間帯の中央線変更をする。（現在は高松付近からだが、黒石野付近からにする）
50歳代	男性	市だけで解決できない問題であろうが、青山地区の踏切問題の解決も滝沢村のためにも、市民のためにも大きな課題と考える。
60歳代	男性	市営のバスの運行を考えて見てはいかがか。これから高齢化していく社会にも対応出来るのではと思う。
50歳代	男性	市街地の交通渋滞を少しでも解消するには、近隣町村と連携して、地下鉄か高架交通の建設をする必要がある。
60歳代	男性	市街地と郊外の交通体系の整備を推進すべき。
60歳代	男性	市街地の交通渋滞の解消を急ぐべきである。
60歳代	女性	市内に乗り入れている自家用車（一人乗り）を規制すべき。
50歳代	男性	市内中心部等の交通渋滞解消のためのソフト面の対策を要する。
40歳代	女性	車よりもバスや人が優先する交通姿勢であってほしい。
40歳代	男性	車中心の生活から脱却し、公共交通機関の利便性を向上させることは極めて大切なことである。
40歳代	女性	小型のバスを導入するとなどのバス機関を改善すべき。
50歳代	男性	上田～緑が丘～松園線の改善や緑が丘までの朝の車線変更（上り3車線を）を黒石野まで延長すべき。
50歳代	男性	盛岡西地区に交通アクセスの利便性を検討して欲しい。
70歳以上	男性	盛岡は町並みなどの景観は美しいところだが、その中を毎日、走っているバスは、どう見ても、美しいとは言えない。その規制について、一考し、問題として取り上げて、改善して欲しい。
50歳代	男性	盛岡駅からの交通の利便性をPRしてほしい。
40歳代	男性	青山新駅とバスとのアクセス向上などのマルチモーダル化を積極的に推進すべき。
50歳代	男性	中心部から郊外へのアクセス道路と交通機関（バス等）を整備すること。交通網が整備されると私用車の利用も減り、駐車スペースも少なくともすむ。
70歳以上	女性	朝・夕の通勤ラッシュ時にはバスの運行本数を多めにし、日中はバスを小型な物で本数は減らさずにして欲しい。バス停留所の表示をわかりやすくしてほしい。
50歳代	男性	東北本線、新幹線を跨ぐ交通の便をもっとよくする。
50歳代	男性	道路整備をして、車を多くすることよりも公共機関を整備してほしい。
70歳以上	男性	雄大な自然を生かした観光施策、点を線で結ぶ交通体系の見直しが必要である。
30歳代	男性	渋滞解消のための道路をつくるより、むしろ中心部の車の流入を規制するぐらいのことがあってよい。独自性で逆に街の競争力が出てくる。ドイツなどのまちづくりを参考にしてもいいのでは？（提言）
40歳代	男性	一方通行を減らすなどして、交通渋滞を解消すべき。（提言）
60歳代	男性	通勤ラッシュ（自動車）を解消してほしい。（提言）

性別	年齢	提言内容
40歳代	女性	ドーナツ化現象により、子どもの数が中心街から減ってきている。それを防ぐ方法として道路を広くし、マンションを増やすべき。
50歳代	男性	既存市街地の空洞化対策を最優先にすべきである。
70歳以上	男性	市街地は、車社会に対応した再開発をすべきである。
50歳代	男性	中心市街地の拠点性の活性化として、中心市街地の高度利用と省エネ都市を目指した取り組みを強化する必要がある。
70歳以上	男性	車が走るには不便な街であっても、歩くことを忘れるようなまちづくりはしたくない。広域における車の必要性和、街中における必要性和とのバランスを行政が考えなければ、市民は納得しない。
60歳代	男性	住環境について、道路の整備、都市計画のビジョンを確立すべき。
60歳代	男性	特に、農村部について、土地を一定の秩序のもとにもっと売買を自由にし、住みたいと希望する人が多くいるのであるから、住みたい人が住みたい地域に住むことを可能なようにしてほしい。
50歳代	男性	都市計画等の早期完成。(道路等)
40歳代	男性	水と緑などの自然を生かした街であってほしいが、中心部だけはきちんとした都市計画が望まれる。例えば盛岡駅から市役所、バスセンターへの道路は、できるだけ直線化し、また車線を多くとってほしい。
70歳以上	男性	盛岡市は自然に恵まれた旧城下町である。都市計画の改定案を見ると、住宅地の道路を拡幅し、一部四車線とする計画がある様だが絶対反対である。これは住宅街の文化や環境を破壊し、強いては市全体の破壊に通じるものである。確かに、現在の市道は狭いが、片側3m程度の歩道を作り、電線等は地下に埋め、交差点の部分を拡幅すれば十分に満たされるものであると思う。先祖から引き継いだ歴史ある城下町を生かし、歴史や文化の息づく創造性豊かな落ちついたまちづくりを切に願う。
50歳代	男性	卸売市場やサッカー場など南部に建設されているが、全体的、有機的な姿が見えない。田園を残すのか残さないのか、中途半端。
50歳代	男性	規制が多すぎる。特に農地については、調整区域等の規制は解除すべきだ。
40歳代	男性	工業系の企業やベンチャーなどの立地を促進するためにも市街化調整区域の建物建設をより柔軟にしていくことが求められる。
60歳代	男性	市街地に空白地・未活用があるが、全体計画の中で均整のとれた市街地を形成すべき。
50歳代	男性	市街地間の隙間を埋めるような連続的な広がりから拠点となる市街地をネットワークするサテライト都市の機能形成を視野に入れておく必要がある。
60歳代	男性	市内に調整区域が多い。農業後継者が育っていない現状で、市町村合併以前に住宅地の見直しを図るべきと思う。
60歳代	男性	城下町である盛岡市は、市街化区域も少ないからもっと拡大すべき。
70歳以上	男性	随所に残る城下町特有の町並に、古都の面影を偲び、その閑静なたたずまいに共感を覚える。都市計画はこの盛岡の良さを守り、助長するのが基本ではあるまいか。
60歳代	男性	盛岡駅南大橋線は、バイパスよりも広い道路の計画で、しかも300億円と言われている。この計画が実行されると長年にわたって築き上げられてきた盛岡の街なみが失われてしまう。盛岡らしさを生かしたまちづくりをすべきだ。
40歳代	男性	盛岡市の都心を南方向へ延長していくのではなく、できれば仙北町から南大通り、そして現都心へと現状につながるような軸状都心構想に修正すべきである。
70歳以上	男性	調整区域ばかりを増やさないで計画的な都市計画の中で住民が気持ちよく家を建てることのできる土地空間の設計がより重要ではないかと思う。
60歳代	男性	都市計画の遅れと、道路網の整備など思いきった施策が急務である。
40歳代	男性	都市計画道路盛岡駅南大橋線が神子田地区を寸断するよう計画されており、この地区の歴史性・文化性を考えると、もっと慎重な住民との議論が必要である。
50歳代	男性	東見前地区の工業地域指定の見直しをしてほしい。
70歳以上	男性	文化遺産と住居区域、産業、商業、文化教育に適した用途区分を如何に作るかが重要である。
50歳代	男性	市街地の容積率を緩和すべき。(提言)
50歳代	男性	まず、盛南地区を都市計画の中でどうするのか、市民、合併する町村に分かりやすく説明してほしい。(提言)

## 2 提言の内容 ( 豊かで活力ある産業活動)

### 【数多く提言された意見】

- ・盛岡市が持っている特性（自然・歴史・観光資源等）を積極的に市内外にPRすべき。
- ・岩手公園を積極的に活用すべき。（観光の拠点に）
- ・自然・歴史をいかした観光地として、発展すべき。
- ・雇用の場を確保してほしい。
- ・地場産業の振興。
- ・中心市街地の活性化（商業活動への支援・指導等）
- ・積極的な企業誘致を推進すべき。

性別	年齢	提言内容
20歳代	女性	郊外に大型ショッピングセンターが建つようだが、もっと高級なデパート等を作ってもら方がよかった。同じような店が多く、イメージが上がらず、「やはり盛岡での買い物は用が足りない。」という印象を強くする。若者に魅力的な街になってほしい。
70歳以上	男性	バスセンターの改善整備と周辺の道路の拡幅。地下街道路は有効性が感じられない作りになっている。商店や一般道路に接続されることが望ましい。
70歳以上	男性	高齢者が買い物し易いような割引セールを行う。
60歳代	男性	賢治、啄木、平泉文化、三陸の海をまるごと岩手のPRをした観光も大切である。
50歳代	男性	盛岡にはすぐれた技能を持った方々がたくさんいる。その方々は、自ら外へ向かって宣伝していない。行政からの積極的な情報発信が必要だ。特に、木材を原料とする木工製品に関しては、製造・販売に力をそそぐ必要がある。
40歳代	女性	盛岡の特性を地域へ発信できること。
50歳代	男性	岩手の特産は何かと聞かれた場合、「南部鉄器」位しか思いつかない。むしろ東北の他の都市の特産の方が口に出る。この面の育成とPRを図るべきである。
50歳代	女性	岩手公園をもっと宣伝してほしい。立派な石垣をもっともっとアピールしても良いと思う。
60歳代	女性	さんさ踊りが、夢をこわさない祭であってほしい。子供達の夢がいっぱいある町盛岡にしてほしい。
70歳以上	男性	さんさ踊りをもっと宣伝すべき。
40歳代	男性	盛岡さんさ踊りの魅力アップとして伝統さんさを重視すべきである。
60歳代	男性	自治体の支援に基づく、岩手大学知的財産本部を中核として、ベンチャー地域企業を起し、地域振興を促す。
60歳代	男性	石川啄木等、工夫次第で観光資源として活用できるものがあるはずだ。
50歳代	男性	岩手の観光拠点として、宿泊施設の充実、沿岸地域との連携を図り、新鮮な魚貝類でのもてなし等を図る。
60歳代	男性	岩山の展望台を中心とした観光整備を実施すべき。
40歳代	男性	映画館の数は日本一（対人口比で）だと思う。映画文化の街としてのイメージアップを図ってみてはどうか。
40歳代	男性	外部から人が訪れてくるためにも企業、レジャー、施設の充実を図ってほしい。
50歳代	男性	観光資源の活用を生かしたまちづくりが不足している。
60歳代	男性	観光に力を入れてほしい。・・・交通（モノレール、ロープウェイ）
不明	不明	観光に力を注いでほしい。例えば、与の字橋の欄干が錆びていることに気がついていないのか。市内を走るバスが汚いのが多い。洗車をしているのか。
40歳代	男性	県と協力し、周辺のレジャー環境の充実を図り、全国へアピールしてほしい。（安比、雫石含む）
50歳代	男性	県内はもとより県外の方にもっと分かり易い観光案内をすべき。
40歳代	男性	自然をいかした産業・観光を開発すべき。
70歳以上	男性	十和田・八幡平国立公園、三陸海岸国立公園等への拠点らしい案内板が駅周辺にほしいものである。
50歳代	女性	南部20万石の歴史をもっと観光にむすびつけるべきだ。
50歳代	男性	街並みの景観、水と緑などの自然が豊かなので、これらを生かした観光に強化を図り、魅力ある盛岡市にしてもらいたい。
40歳代	女性	宮澤賢治、石川啄木にちなんだ観光を発展すべき。
40歳代	女性	もっと観光をPRすべき。

性別	年齢	提言内容
40歳代	男性	盛岡市の伝統行事（さんさ踊、チャグチャグ馬コ等）を全国レベルでより積極的にアピールしてほしい。
60歳代	男性	盛岡には史跡やきれいな町並み、川などまだ自然のままの所が多くある。それを生かして観光開発に力を入れたらどうか。
60歳代	女性	盛岡の周辺には観光地がたくさんあるが、交通の便が悪い。盛岡駅から周辺をまわることの出来る定期バスなどがあれば便利だ。
60歳代	男性	森と水のイメージがある盛岡は今後とも大事にしていきたいと思うが、もっと他県の人々を呼び寄せるだけの目玉となるべく、集容力をつけるべきと思っている。
40歳代	女性	歴史・文化が息づく創造性豊かな街を目指し、全国にアピールすることにより、観光地としての発展も期待できるのではないだろうか。
70歳以上	男性	歴史と観光、自然環境を生かした観光コースの整備を進めてほしい。
70歳以上	男性	夏まつりに新幹線、高速道路を利用し観光客を誘致すべき。
70歳以上	男性	観光客誘致は、現在は、掛け声だけで、見せ場の造成は無いに等しい。見せ場の造成に取り組むべきである。
60歳代	男性	旧市街地となる部分の観光的価値を高め、「人を呼んで栄える」施策を進めるべき。
50歳代	男性	山系観光の拠点としての機能を充実すべき。
70歳以上	男性	施設を充実して、どんどん観光客を誘致しなければいつまでたっても盛岡の展開はない。
50歳代	男性	自然を最大限に生かしたりリゾート地としての発展には、特徴的施設（都市型遊園地とは違う新しいもの）の開発がほしい。
50歳代	女性	新幹線が八戸まで延びて、通過点の町にならない様に観光客が押し寄せる魅力ある街になってほしい。
70歳以上	男性	水と緑の自然環境とそれぞれの地域に残されている歴史的・文化的施設、特産物などの施設の拡大、充実に力を入れ、全国的PRをして、観光の目玉とする。
70歳以上	男性	盛岡の観光資源として「啄木・賢治」は欠かせない。啄木と賢治の青春時代が息づく街としてのイメージアップを図るべきだ。（「中央通り」を「啄木通り」と改称するなど・・・）
70歳以上	男性	歴史を大切に生かした観光の工夫をすべき。
30歳代	男性	観光行政を飛躍させ、他県、観光客の増客を促す一方、話題性、特色、歴史観を打ち出す必要がある。（提言）
40歳代	男性	海外からの観光客を受け入れる体制づくりが必要と思われる。（提言）
40歳代	男性	歴史を生かした景観整備（旧町名復活を含む）とそれを活用した街中観光促進を展開すべき。（提言）
50歳代	男性	目玉となる観光資源の開発に力を入れるべき。（提言）
30歳代	男性	観光産業に着目して伸ばしていくべき。（提言）
不明	不明	岩手公園に、盛岡城（南部家の遺産を展示）を建てる。全て史跡として保存することではなく、観光として利用しなければ盛岡のポイントは何も無いではないか。
60歳代	男性	観光問題であるが、盛岡は他の都市にくらべて大変遅れている。岩手公園に行っても岩手山をよく眺める事が出来ないのは街の中心にありながら大変残念な事である。岩手公園に展望タワーをつくれれば、市民・県民ばかりでなく多くの観光客が来ると思う。
70歳以上	男性	市内の中心地に在る岩手公園を積極的に活用して観光面に寄与させるべき。
60歳代	男性	不來方城跡地に盛岡周辺の歴史、人物、風俗等々を網羅した、博物館を設置し盛岡観光の大きい目玉としてほしい。
60歳代	男性	不來方城の復元等々、観光資源等の整備を促進（指導）しないと盛岡駅は素通りの駅となる。
60歳代	女性	盛岡市のアピールのために、盛岡城跡（岩手公園）を観光の資源として活用出来ないものか。
60歳代	男性	観光施設の拡充に力を入れてほしい。岩手公園に城を復元したり、博物館を設置したりして観光の一つの目玉にする。
60歳代	男性	岩手公園を中心に石川啄木、宮沢賢治等有名人のPRと歴史文化遺産を保護すべき。また、観光客誘致に観光バスの駐車場整備をしてほしい。
70歳以上	男性	中津川を中心とした観光行政は、短時間の観光客には、大変有効な時間と空間の調和があり、心のなごむ自然との融和感覚を大切にしたい。
60歳代	男性	歴史遺産を積極的に生かした観光的まちづくりを。不來方城もただそこに存在しているだけで、二次的活用がほとんどなされていない。歴史的観光スポットは存在（散在）しているが、それらが有機的に結ぶべき。

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	盛岡城天守を造り観光拠点にする。(提言)
40歳代	男性	公立高校の統廃合や人数の適正化を急ぎ、学ぶ意欲のある者が学び、働く意欲のある者は働くといった形をつけること。そのため各企業や中小商店にも人材雇用を促す。
50歳代	男性	就業機会の増加を促進する産業活動への助成。
60歳代	男性	周辺町村との合併を促進し、第二次産業も含めた就労の場を確保し、バラエティーに富んだ雇用形態を作っていくべき。
70歳以上	男性	生活基盤となる雇用確保の施策。特に工業企業誘致に努力。
70歳以上	男性	民間活力を導入するため優良企業を誘致し雇用の場の提供を積極的に推進するべきだ。
70歳以上	男性	雇用の場を確保のため、二次産業にも力を入れて欲しい。
40歳代	男性	行政の一部を民間委託等による経済・雇用の活性化を図ってほしい。
70歳以上	男性	市内の労務雇用拡大対策を積極的に実施し、市民所得の向上と消費の拡大を期すべきある。
50歳代	男性	若者が働ける場を確保してほしい。
40歳代	男性	若者の雇用の場を確保するための地域産業を育成すべき。(提言)
60歳代	男性	若い人が定住できる雇用を創出してほしい。(提言)
40歳代	男性	海外からの観光客を受け入れる体制づくりが必要と思われる。(提言)
70歳以上	男性	岩大と研究施設をつくり新産業の充実発展を期する。
60歳代	男性	産学官連携による環境に配慮した産業の育成。
60歳代	男性	週末には余暇の善用に盛岡を選んでくれる器づくりに、産・学・官が一体となり推進し定着させるべきだ。
70歳以上	男性	産業、商業の活動施策を展開されたい。(大型店よりも地域内に密着した商業活動を展開し得る施策を)
20歳代	女性	自然環境が豊かなところをいかしながら、商業等の経済的発展をすべき。
70歳以上	男性	消費者を飽きさせないような手法を考える(朝市、与市等)。
30歳代	男性	全国系列店の店が少ない、もっと増やすべき。(提言)
70歳以上	男性	環境をととのえ、それにより産業を育成すべきである。現在の中都市に必要なものを造る、産業を育成すべきである。
50歳代	男性	産業活動の活性化として、盛岡市北部への流通基地の設置を望む。
50歳代	男性	市街地を囲む様に、産業企業を移転再配備し、区分する。
60歳代	男性	工業団地の造成が必要。
60歳代	男性	工業団地を大規模に造り、働く場を作してほしい。
70歳以上	男性	合併により適地に工業団地を造成することが可能となるが、盛岡市としても川目の中央工業団地のように近場を希望する町工場の為の工業団地を検討すべきである。
50歳代	女性	今の時代、企業誘致は無理でしょうが、福祉よりも経済活動を活発にさせる事の方が重要だと考える。
50歳代	男性	産業振興等に力を入れるべき。
40歳代	男性	自然と調和しながら、若者が夢をもって産業活動ができる街。
50歳代	男性	第一次産業以外の産業が思い浮かばない。社会資本整備の遅れた主要な産業を持たない地方都市としての現状を変革していくことが最大の課題である。
70歳以上	男性	もりおからしい産業の育成が期待されるが、「もりおからしい産業」とは何か、それを考え育成を具体化すべきである。
60歳代	男性	流通団地造成・工業団地造成・企業家の育成強化など、もっと活発に経済産業活動が出来るようにすべき。
50歳代	男性	岩手県内だけでなく、秋田、青森からも買い物や遊びに訪れるまちづくりをしてほしい。そのためには、魅力ある商店(商業エリア)とレジャー施設が必要と思う。
70歳以上	男性	恵まれた自然環境を生かした商業と農業のまちづくり。
50歳代	男性	経済のソフト化で第3次産業のバランスある発展が期待される。
70歳以上	男性	合併を前提にした新産業を開発すべき。
60歳代	男性	産業の活性化(生産と消費活動)を進めてほしい。
60歳代	男性	市中心部商圏と郊外部商圏の分担を自治体等で調整し、共生することを基本とし、魅力あるまちづくりを行い、県内消費者の集客力を高める。
70歳以上	男性	商業の流通、経済活動の活発化をはかるために、諸産業の研究施設を充実し、産業全体の実績を高める企業誘致に努力する。
70歳以上	女性	盛岡以外の大学の子供達はその土地での就職となり、盛岡に帰って来ないのが現状だ。産業が充実していれば、若い力で発展していくと思う。
70歳以上	男性	盛岡及びその周辺の特性を活かした産業振興に努力願いたい。

性別	年齢	提言内容
40歳代	男性	地域の活性化のために、豊かな自然環境を保ちながらも、新たな産業や商業などにより、雇用等の機会が充実することを望む。
70歳以上	男性	地域の特性を生かした産業活動の振興に努め、流通機能としての拠点基地を有する街でありたい。
50歳代	男性	都市の力を持続できるような産業基盤の整備が必要だ。特に、情報関連等のニュービジネスの振興が重要だ。
40歳代	男性	農林業、商業活動の活性化のための諸施策の実施。
60歳代	男性	物流を中心とした基幹産業の発展を期待する。
40歳代	男性	盛岡市の良さは水と緑に囲まれた自然環境と歴史・文化の香りがするところだ。それを維持するために地場産業の活性化や観光資源を確保しての観光産業の育成等による経済の活性化に力をいれるべき。(提言)
50歳代	男性	一過性の消費誘導型の商業に変え、滞在型(観光、体験、環境満喫)へ移行すべき。(提言)
50歳代	男性	地域の特性を活かした産業の育成で、人口減少傾向に歯止めをかけるためにも、地場企業、産業の活性化が必要。
40歳代	女性	経済的な面については、大変難しい面があると思うが、藩制時代より引き継がれている美しい伝統工芸がいろいろある。このようなものを生かしながら、若い人たちが「ものをつくること」に魅力を感じながらまちづくりの一端を担っていったらと思う。
70歳以上	男性	第一次産業の振興策として特産物をつくりたい。盛岡近郊に合う作物、何かあるはず。町村合併を進める一手段にもなる。
70歳以上	男性	地域特性をいかした産業の育成。地産を推奨し充実を図るべき。
70歳以上	男性	地産、地消を進めること。工場、生産物も同じ。
50歳代	男性	地産産業の奨励。安全で地場産のものを大事にする市民でありたい。
50歳代	男性	地場企業(商工業)や農林業の後継者育成と活性化を図る。
70歳以上	男性	地場産業の振興策が無い。就労の場を多くし付加価値を高める積極政策を展開すること。
40歳代	女性	地場産業を発展させ、経済力を付ける必要がある。
70歳以上	男性	イオンSCがオープンするが、これは人口50万人都市をめざす盛岡市にとって「街が広がる」という意味から前向きにとらえるべきだと思う。
60歳代	男性	イオンの前潟への大型商業施設は町のバランスをダメにした。なぜ地元の商業者を育てようとししないのか。
70歳以上	男性	大型店舗(スーパー等)の誘致よりも中心市街地の商業活動の活発化をはかる必要がある。
70歳以上	男性	現在の市内の施設に何を見に行っても入館料より駐車場代の方が高い。現在市街中心部に様々な施設を作っているようだが、無料駐車場がほしい。
70歳以上	女性	郊外に延びる大型店による各町内の小商店の閉鎖の空洞化が目を引く。活性化の声は聞くが進展が感じられない。
60歳代	男性	市内中心部の商業活動が低下しているのではないかと。郊外の大店もよいが、市内には盛岡城(岩手公園)、中津川と環境がよいので、行ってみたいという気持ちもてる中心部の発展を期待する。
70歳以上	男性	市の中心商業圏が空洞化しつつある。積極的な対応を望む。
70歳以上	男性	商店街は人が住むことが第一である。そのために、複合タウン化にもっていく。商店街に4~5階建てのビルを建て(補助金組合員負担)1階は店舗、2階は高齢者のためのケアセンター、公共施設、3階以上は一般住宅・老人向け住宅等。整理した後の空き地は駐車場、いこいの場(買い物客の休憩する場所)とする。
50歳代	男性	ショッピング施設が郊外に多く街の中心地に少ない。
70歳以上	男性	地場産業の育成と同時に、その生産物に付加価値を与える産業の創設と、旧市街地や商業地の活性化対策を実施すること。
60歳代	男性	中心街活性化の中で、文化的・経済的要件が果たせる都市であってほしい。
60歳代	男性	中心商店街の再生の為、盛岡が持つ全ての産力を集中させるべき。再開発による、大規模駐車場(無料or低料金)、遊園地。地元商業者の共同SC、新しい祭りの創造、NPOセンターの設置。市、中心部の総合緑化の推進など。
70歳以上	男性	特徴ある商店街の形成(専門的、機能的、商品に関する豊富な情報を具備しているまち)とそのための行政、民間の共働での課題解決。
40歳代	男性	街の顔である中心市街地の活性化は重要であるが、この意味で前潟地区のイオンモール出店については市はもっと指導的な立場を発揮すべきではなかったか。

性別	年齢	提言内容
70歳以上	男性	県外資本などによる大型店の進出は、零細な個人経営を圧迫し、一層、空店舗が増える。進出の許認可に当たっては、その後の住民生活を守る対策もその判断に加えて行うべき。
40歳代	男性	郊外での商業活動には規制を設け、中心市街地の商業活動を守るべきである。
60歳代	男性	郊外に大きなショッピングセンターが出来たが、将来が心配だ。市の中心部の現状はこの問題の結論を見る思いだ。
70歳以上	男性	郊外の大型店の必要性は良くわかるが、近所にも小さな店がほしい。特にパック包装の商品のみならず昔のように量り売りの店などは如何なものか。
50歳代	男性	郊外型ショッピングセンターに敵対しない。
50歳代	男性	高齢者にとって歩いて買物ができるよう、商店を中心街に呼びもどすような政策を取るべきである。
20歳代	男性	市街地の商業活動の低下がある。市街地はとにかく不便だ。 駐車場は有料だし、行く気にならない。何か対策を考えるべきだ。
50歳代	男性	市中心部の商店街の活性化策を施してほしい。
70歳以上	男性	市内の商店街がドーナツ化現象になっている。一階は全部駐車場とし二階以上を商店街として道路上を回廊にし、どこからでも買い物ができるビルに改良すべきだ。商店会の自助努力も必要と思う。
50歳代	男性	市内の商店街は、文句や反対陳情ばかり多いが、自分達ではあまり努力をしていないように思える。もっと自助努力をするよう指導すべきである。
60歳代	女性	車社会で郊外に大型店が目白押しだが、車のない人のためにも市街地の商業活動を活発にしてほしい。
60歳代	男性	盛岡市郊外地に巨大商業施設が計画され、オープン間近であるが、「商業」、「商店街」という部分的議論ではなく、中心市街地（まちづくり・まちの拠点）の活性化保持のために、法制上で規制はできなくとも、他のあらゆる方法を駆使し、適正規模化指導が必要だったのではないか。
40歳代	女性	大手ショッピングセンター等に対抗できるような市内商店街の整備と活性化。
70歳以上	男性	中心市街地にいかに消費者や観光客を引き寄せられるかも考えなければならない。中津川の川沿い（市役所向い）に落ちついた雰囲気のある商店街（商店と飲食店）があったらいいと思う。中津川中心（上の橋 下の橋間）のまちづくりに一考を要する。
50歳代	男性	中心市街地の活性化をすすめてほしい。肴町、八幡町など。土地所有者が高齢化し、後継者がいない個人商店が閉店していると思われるので、貸店舗として整備し、若い起業家がアイデアを生かした商店として開業できるよう指導、支援をしてほしい。
60歳代	男性	中心市街地の活性化を図ってほしい。郊外に大型ショッピングセンター開設おおいに賛成であるが、中心市街地には郊外にないものがあると思う。大々的な再開発をし対抗すべき。
70歳以上	女性	老人が、買い物出来るよう、大型ではない地域にスーパーをぜひ残してほしい。
30歳代	男性	中心街の活性化が必要である。交通渋滞、駐車場、駐輪場が不足し、これではイオンに流れてしまう。（提言）
40歳代	男性	肴町や大通りを活性化維持するようにしてほしい。（提言）
40歳代	男性	東北の各都市に比べて、中心市街地の商業活動が活発であるので、郊外型の大店舗を増やし、大学・病院等を遠隔地に持って行き、人々の流れが中心地に集まらないことにより、市街地が寂れることは避けてほしい。（提言）
50歳代	男性	住民の高齢化、ドーナツ現象の進む中、大型SCの進出を容認する事の影響について行政の姿勢を明らかにすべき。（提言）
60歳代	男性	農産物は岩手の評価が高いが、盛岡市場から出荷する野菜類は、本当に安全か。市として、安全チェックを徹底すべき。（農薬・化学肥料）
50歳代	男性	農村、農業を取り入れた、まちづくりを進めてほしい。
不明	不明	生活道路で有る林道の退避所を造ってもらいたい。
60歳代	男性	盛岡周辺で収穫している農産物のブランドなど、他にも大都市へ宣伝して、安全な食糧の産地が重大だと考える。
50歳代	男性	都市と農村の共存は、これからの東北の都市のスタイルとして目指すべき一つの方法であり、生産者と消費者が共同作業のできる参加型の都市近郊農業の誘導を進め、安全・安心な食料自給基地の導入を推進する必要がある。
50歳代	男性	アルバイトでなく、仕事ができる、仕事につける労働の場、企業の確保、誘致をしてほしい。
70歳以上	男性	企業誘致について、大企業ばかりでなく小企業の誘致をしてほしい。

性別	年齢	提 言 内 容
40歳代	男性	この経済不況の時代に就職できるような経済発展を目指した市郊外への商業大型店舗の誘致が必要なのではないか。
70歳以上	男性	新規企業の誘致と、企業のニーズの把握、条件整備が必要となる。
40歳代	男性	ビジネスチャンスという部分では県外業者が参入することに規制をかけることは、住民にとっては逆に好ましくない。新たなものを自ら創り出すということは勿論だが、外から入ってくることによって刺激されるということの効果も大きい。
40歳代	男性	企業立地のための用地を整備してほしい。
60歳代	男性	今の景気の悪い時に土地を確保し、どんどん企業（流通業含む）を迎えるべきである。
50歳代	男性	若者定着の企業誘致の促進。若者の働く工業（金ヶ崎の関東自動車、北上の岩手東芝etc）団地の造成がなぜ盛岡市でできないのか不思議に思う。

## 2 提言の内容 (ふるさとの未来を支える人材の育成)

### 【数多く提言された意見】

- ・まちづくりにあたっては、人を育てることに積極的に力を入れるべき。
- ・岩手公園内に歴史博物館を建設すべき。
- ・学校教育の充実
- ・生涯学習・文化・スポーツの活動拠点となる施設の整備
- ・歴史・文化の継承に力を入れるべき。

性別	年齢	提言内容
50歳代	女性	盛岡市には子ども科学館、先人記念館などの教育施設がたくさんあるが果たして利用は促進されているのだろうか。広報に力を入れて頑張っていたきたい。
40歳代	女性	橋本美術館を閉館すべきではなかったのではないか。
40歳代	女性	公民館や活動センターの充実はずばらしいものがあるが、制約が多すぎて、使いにくいし、講座が大きいところに集中している。たとえば移動講座のように他の講座がまわってくるとかできないものか。
50歳代	男性	朝の大通りは汚れている。杜と水の都が泣く。汚す市民の心が、青少年の心がゆがんでいる。教育重視の市でありたい。
40歳代	男性	アイスアリーナのスケート営業日をもっと増やしてほしい。
40歳代	男性	シーズンリフト券購入の公的補助があればいいと思う。レジャーではなく、スポーツとしてのスキーをもっと振興させたい。
70歳以上	男性	もっとスポーツ面に力を注いでもらいたい。
60歳代	男性	生涯スポーツにいつでも、どこでも、だれでもが取り組める環境づくりを進めてもらいたい。
40歳代	女性	盛岡がもっとスポーツに力を入れて、子供たちの健全育成を目指し、運動場をつくるなど、運動をする環境づくりに力を入れていただきたい。
50歳代	男性	冬のスポーツをPRすべき。(もっと安く使える遊べる補助も必要)
40歳代	男性	北国のよさを生かし、ウインタースポーツの振興を図ってほしい。小学生だけでも自由に近郊のスキー場へ行けるように安価なシャトルバスを運行させてほしい。
60歳代	男性	「ああ、この人は盛岡人(岩手)だな」と言われるくらいの、あくの強い人作りをしていく必要がある。このことは、ふるさとを愛する心を育て、国際人として堂々と振る舞っていける力の基本と考える。
60歳代	男性	観光客からみて、人間的魅力のある市民の育成。
40歳代	女性	児童、生徒(青少年)の健全育成。
50歳代	女性	なによりも、人づくりが重要だ。温厚な盛岡人に企画力・指導力・説得力が伴うなら、若者達の著しいモラルの低下や、汚職等の社会の腐敗も馴れ合いも食い止められるのではないか。
40歳代	女性	人づくりをしまししょう。教育の盛岡として本気で教育に力を入れましよう。
60歳代	女性	もっとも大事な人を育てる事に重点を置いてほしい。
50歳代	男性	子供が伸び伸びと安心して育てることができる都市。
40歳代	女性	子供達の犯罪が多い。子供だけの問題ではないが、生きていくための方向性(教育、福祉、社会)が街全体に感じとることが出来れば、少しは良い方向に進むのではないか。
50歳代	女性	弱者の立場を尊重し、人格教育を中心とした町を創造すべき。
40歳代	男性	人の育成、人の輪の強化を目指すような取組から始めてほしいと思う。
70歳以上	男性	都市の魅力は人に有りと考え、他県人に接する人々のマナー(礼儀、親切さ)を重視する施策をすること。
40歳代	男性	箱物施設は、当分の間力を入れなくていい。人を育てることに力を入れていただきたい。ぜひまちづくりの大切な一つの柱にしてほしい。
60歳代	男性	学校教育のなかに、地元住民の出番を増やしこの道一筋のような大人の話子供達に聞かせ、生きる目的、感謝、将来の進路に役立たせてほしい。
40歳代	男性	公立高校の統廃合や人数の適正化を急ぎ、学ぶ意欲のある者が学び、働く意欲のある者は働くといった形をつけること。

性別	年齢	提言内容
70歳以上	男性	学級・学校が乱れる原因は、家庭にあると文部科学省も指摘している。市でももっと、その声を発するべきである。そして親（保護者としての責任）のあり方を強力に指導すべき。
70歳以上	男性	学校教員の不祥事、事件の続出は異常な事態。子供達、市民の教育に対する信頼を裏切る者は厳罰をもって処分することがのぞましい。
40歳代	男性	学力の向上や子ども一人一人へのきめ細やかな対応として、盛岡市が独自に30人学級を実現したり、現在一年生に配置されているサポートの先生を二年生まで拡大することなどを求める。
70歳以上	男性	完全学校週5日制の実施に伴い、生徒が学校あるいは家庭で満たすことのできない、さまざまな体験ができるような場・施設等の一層の充実を望む。
60歳代	男性	子どもと教育の問題も深刻である。全国的な流れとなっている「30人以下」学級を計画的に実行すべきである。
70歳以上	男性	私立学校の設立をすすめ、特色ある教育をする学校がほしい。教育に情熱のある校長を迎え、思い切り活躍させ、気骨ある若者を世に送りたい。
50歳代	女性	若い人達がかもって盛岡の歴史を知り愛着と誇りを持てるよう、もっと学校教育に取り込んでほしい。
50歳代	男性	小学校・中学校・高等学校、大学等の連携を図る支援を市として一層強化し、「市民が育てる人づくり」といった意識改革を推進されたい。
70歳以上	男性	青少年の荒廃問題の解決は、学校制度の改善・家庭・地域の教育力の向上を一体的に進める。
40歳代	男性	大学が少なく、盛岡市はこのままでは教育、文化都市とは言えなくなっているのではないか。
40歳代	男性	小学校の危機管理がなっていない。（提言）
60歳代	男性	岩手公園にお城の建設を望む。
60歳代	男性	不来方城跡地に盛岡周辺の歴史、人物、風俗等々を網羅した、博物館を設置し盛岡観光の大きい目玉としてほしい。
70歳以上	男性	盛岡城内に歴史資料館が隅やぐらを作り、資料を展示し、盛岡の歴史を説明するなど、城が盛岡の誇りになるような方策がほしい。
60歳代	男性	岩手公園を中心に石川啄木、宮沢賢治等有名なPRと歴史文化遺産を保護すべき。
60歳代	男性	岩手公園盛岡城内に、岩手公園の歴史、南部藩の盛岡城築城の歴史等の史料館を同公園内に設置すべきと考える。修学旅行の生徒及び県外からの観光客が、同公園を見学に来て城跡のみで何ら見るべきものがなく殺風景であると思う。
70歳以上	男性	盛岡城をもっと前面に出した都市造りを考えてほしい。
40歳代	男性	国際的な規模の諸会議、大会ができるような盛岡であれば素晴らしい。
60歳代	男性	国際的な開かれた文化学術都市。
50歳代	男性	国際都市を可能とするため国際化した教育、住宅施設を完備する。
50歳代	男性	自然環境を生かしたまちづくりは、都会でない市町村はどこでも考えること。何か特徴が欲しい。国際機関を誘致しては。
70歳以上	男性	小～中規模のものでいいから、国際会議の開ける位の施設は必要である。
70歳以上	男性	盛岡市が北東北の拠点都市として計画を立てるなら、他都府県に勝る多くの国際会議が開催される会場が必要になってくると思う。
60歳代	男性	まちづくりは人づくりからでもある。これからは特に、身近なところで国際感覚を養う場が必要になってくると思う。総合的研修が出来る国際会議場が必要だ。場所は飯岡山の頂上に建設されることを提案する。
70歳以上	男性	都市に住む創造性豊かな人づくりのため、学術研究機能の充実整備をはかり、世界に開かれた人づくり施策を推進すべき。
40歳代	女性	レベルの高い文化都市になればと思う。官学一体が進められ、多くの研究施設ができ、世界各地から学者等の発表の場として盛岡が位置づけられる。
70歳以上	男性	予ねてから、南部利昭氏よりの8000点余の寄贈を受けており、南部資料館の建設を望む。
70歳以上	男性	競馬会館は市の中心部にあるので盛岡市美術部門の常設ものとし内装して、階下等は音楽のホールとして活用する方法をとってはどうか。
60歳代	男性	国道4号線の東側に公共公民館施設の整備を願う。
40歳代	男性	施設整備の検討よりもシステムの検討が必要と思われる。現在、ゾーンバス等で交通システムがよりよくなってきているのと同様に、特に医療、教育面について、盛岡市独自の利用者の立場になったシステム向上が望まれる。
70歳以上	男性	市民会館の建設を市の中心部近くの医大あとに建設できないか。

性別	年齢	提言内容
70歳以上	男性	見前の南地区にも地区公民館の建設計画がでたが、出来れば来年度中にでも完成出来る様に進めてほしい。
30歳代	女性	一戸にできた「いわて子供の森」に行ってきたが、盛岡市にもあそこまで大規模ではなくてもいいと思うが、子どもたちが安心して遊べる施設（料金もかからない）があるといい。
40歳代	女性	雨が降っても雪が降っても天候に関係なくできるドームなどはぜひ欲しい。施設が整っていることは、盛岡でもいい試合などができるということ。他県との交流も増々盛んになると思う。
60歳代	男性	屋根付グラウンドの設置。（ドーム）
40歳代	女性	各学校や幼稚園などに芝生のグラウンドが欲しい。緑のグラウンドで、子供たちがのびのびと遊んだりサッカーなどができたら、どんなに子供たちは楽しいか。外に出て、体を動かすことは、健康な子供をつくるだけではなくて、いろいろな面で意欲のある子供をつくることにつながると思う。
40歳代	男性	教育を充実させるためには、まず環境面の整備に力を入れるべきである。県内の他市町村よりも明らかに立ち遅れているコンピュータの整備、教育予算の充実による様な教育関係機器の整備等々を行うことによって教育が充実され、教育立県にふさわしい県都になると考える。
50歳代	男性	経済の活性化、観光の振興のため大規模学会等の誘致は必須である。県民会館、マリオスなどホールが分散しており、大規模学会の誘致が極めて困難である。県民会館を中心に旧県立中央病院跡地までを一貫して、コンベンションホールを作るべきである。
40歳代	男性	郊外に欲しいものとしては、研究施設・運動公園・教育文化のイベントホールなどである。
40歳代	男性	国際的な行事等が開かれるような文化施設の充実を期待する。
70歳以上	男性	今後スポーツが盛んになってくれば屋内スポーツ場が、必要になると思う是非検討の実現をしていただきたい。
70歳以上	男性	市の北部に運動公園がないことからドームの運動場をつくってほしい。
50歳代	男性	社会教育の充実について、児童館、公民館、図書館を充実してほしい。
50歳代	女性	若者が元気な街は活気がある。若い人がいつまでも住みつづける盛岡であってほしい。大学や、専門機関、文化施設等充実あるいは増やしてもらいたい。
60歳代	男性	生涯にわたって学習できるセンターとしての公民館や社会教育施設を整備してほしい。
70歳以上	男性	盛岡市に未だ全国的イベントが出来る屋内体育館が無いが一年通して使用できる大きな屋内運動場の設置をのぞむ。
70歳以上	男性	昔の公民館の4館構想の一つ盛南地区に早急に地区公民館を建設ができないか。今盛んに言われている生涯学習の場は、現在ある活動センターではできないと思う。
30歳代	女性	総合運動公園が老朽化しているのが気になる。
70歳以上	男性	総合運動公園を建設し、市民の健康増進諸大会等により人々の交流が活発になり、商業の活性化が図られる。
70歳以上	男性	中規模の屋内運動場（ドーム）を盛岡市が持つことが必要ではないか。
50歳代	男性	博物館、図書館を充実すべき。
50歳代	女性	不登校の子供達にはフリースクールや登校できない悩みを友達、カウンセラーと話し合える場所を整備してほしい。
60歳代	男性	野球場を是非ほしい。今時、どこの町村でも立派な球場を持っている。
40歳代	男性	友達とさそい合って勉強できる公民館等のスペースがあるといい。もしあるならもっと住民に周知を図ってほしい。
60歳代	女性	「まちづくり」は「人づくり」と共に進められねばならないと思う。盛岡を知ろうと学び、盛岡を愛する人々が更に多くなるよう学校や各教育施設で意図的にとりくまれるようになればと思う。
50歳代	女性	市勢の発展のためにはやはり「人づくり」が大切と考える。そのためには教育が最も大切である。さらに教育にかかる予算を確保して充実していただきたい。
30歳代	男性	都市を発展させるには人材の育成が第一である。教育の充実を図らなければならない。教育にもっと予算をつけるべきだ。
50歳代	男性	ほとんどの親は子どもの教育について教育機関に責任を転嫁していると思われる。子供の教育だけでなく親（大人）の教育の場も必要ではないでしょうか。
50歳代	男性	家庭・学校・地域の連携による各種事業を活性化してほしい。
40歳代	女性	学区の見直しをする。生徒数が少ないと先生が少ない。クラブがない、やりたくてもできない。

性別	年齢	提言内容
40歳代	男性	岩手県は教育立県を目指しているのであれば、県都である盛岡市も当然、教育に力を入れるべきであると考えます。
50歳代	男性	岩手大、県立大等の設置により、若者が増えていると思うが文化と創造性の高いまちづくりに力を入れてほしい。
40歳代	男性	教育の充実、福祉の充実で安心した生活環境を整える。
40歳代	女性	教育は「心の教育」に目を向けて頂きたい。学校、家庭、地域・・・教育振興運動は素晴らしいが、マンネリ化しつつある。
60歳代	男性	現在の医大、岩手大学等の病院などの医療施設、教育文化を考えると岩手大学と共に考え盛岡市の50年100年先のビジョンを作る事が大事。
60歳代	男性	現在の行財政はすべて、経済的発展が市勢の発展につながるという原点からスタートしている。しかし、人があるいは子どもたちが成長し、豊かな心をもつことによって発展するものと考えます。人を育ててください！人口の拡大よりも教育を！
70歳以上	男性	現有の文化的、社会教育的施設については、充実していると思う。今後はこの活用について大いに配慮すべき。
60歳代	女性	自分の生まれ育ったふるさとに自信を持ち、岩手盛岡で育った事を誇りとし、文化的な創造性ゆたかな知性と感性のあふれた東北の一都市であってほしい。
60歳代	男性	盛岡の人として、必要最低限の知識(常識)を思いきって提示してはいかがか。他県から来た人に聞かれて笑われないようにするために、ああ、さすが盛岡の人だなと言われるためにも。手とり足とりの取り組みも、今必要だ。
50歳代	女性	盛岡は、人が育つ、子育てにふさわしい環境に十分になり得ると思う。教育環境の充実を図るべき。
70歳以上	男性	盛岡は文化的中心都市が最適と思われる。環境と人間の生活に潤いを持たせ、現在ある研究施設と大学を始め学校を中心に進むべきである。
60歳代	男性	盛岡市周辺は、大学を中心とした文教都市であり、宮澤賢治、石川啄木等の文人が勉強したところであり、水と緑の多い都市としての魅力を含めた個性あるまちづくりを行い、文化都市としてのブランドを定着させる。
40歳代	女性	様々な子育て支援制度が多数ある中で、市は子どもたちを育てていこうとするビジョンを持っていない気がする。県立大もあるので、現場の保育士や小学校、中学校、高校、大学そうした研究分野から医療、福祉などの分野とのパイプラインや共同で勉強できる研究機関など、もっと指導的立場のスーパーバイザーを育てられる機関が出来たらと思う。
60歳代	男性	教育改革に即して人づくりのポリシーを確立すべき。(提言)
40歳代	男性	地域の教育力向上に改めて力を入れてほしい。
70歳以上	男性	教育面で校外指導の強化が必要である。(提言)
70歳以上	男性	文化的な面として大学や研究施設があり人間としての高い知識が十分に培われる事が大切である。その点で博物館、美術館、図書館そして大学、大学院、研究所等の利用がうまくできるように考えてほしい。
70歳以上	男性	現在残されている文化財は市民の貴重な財産であり観光資源としても広く一般に開放すべき。地方の時代と云われる昨今、盛岡市として独自の文化財保護条例でも考える時期ではないか。
40歳代	女性	文化活動として個人の資料館が経済的な理由で閉じた時、外の都市に大事な資料を取られたが、市は何をしていたのか。
40歳代	女性	働く婦人を増やすような現在の教育体制には疑問を感じる。親達は便利な保育園や幼稚園を求め、誠の教育をする小さな幼稚園がなくなってきている。小さい幼稚園への補助を増やすべきではないか。
70歳以上	男性	岩手らしい、心安らく特性を生かした町にして先人達をたたえて、盛岡市の歴史を広く知らしめて、本当に心安らく町であってほしい。
70歳以上	男性	全国格一な街ではなく歴史ある街なみを基調として文化価値のある盛岡の実現につとめてもらいたい。
40歳代	女性	伝統文化の推進と継承。
60歳代	男性	南部、盛岡の歴史、文化、教育産業の関わりの中で、盛岡人らしさを育ててきた先人たちの教え、行動をもっともっと施し、小・中学生にもわかりやすく、いろいろな場、機会をとらえ、組織的に啓蒙し、誇りをもたせていくべき。
60歳代	男性	盛岡市の遺産(歴史、文化外)を伝え、伝統を伝えていく事にもっと力を注いでほしい。
40歳代	男性	盛岡市ゆかりの人物を中心とした書籍等の増刊、増刷、あるいは映画、ビデオ等への作成へ補助金制度を設けてほしい。

性別	年齢	提 言 内 容
70歳以上	男性	盛岡には歴史的なものはないが文化的なものはとても多く静かな文化の街で自然がうまく取り込まれていれば住環境としては申し分ない。
70歳以上	男性	歴史と文化の町としての位置づけを明確にするためにも、知名度の高い盛岡城、石割桜、擬宝珠の橋などに加え、南部藩を物語る史料展示館の早期実現が必要であると考える。
60歳代	男性	歴史の重みや文化の香り高い盛岡を残すべき。
70歳以上	男性	教育・文化の面では新渡戸稲造をもっと売り出すべきだ。彼の名著「武士道」の精神は、教育の荒廃から立ち直るためのエキスがつまっている。
60歳代	男性	盛岡の先人はすばらしい。しかし関わった施設の案内表示が不十分である。-過去に感謝-のまちづくりを意識したいもの。
60歳代	男性	盛岡市の発祥地としての志波城と市の歴史博物館を関連的に結び、観光と自然環境保存、歴史的な学習のセンターとして活用してはどうか。
60歳代	男性	昔からあった文化的遺産が年々消失してゆくのが残念でならない。これらの遺産に事を加えて、観光客を呼べる資産に変えてほしい。
60歳代	男性	保存建造物等の所有者への助成について、財政が厳しい折大変かと思うが、所有者が指定されたことを苦痛に思うような事態を少しでも少なくし、盛岡、岩手の宝として将来に残して行けるようにしてほしい。
70歳以上	男性	本市の歴史的文化財や全国的にあるいは国際的にも注目された多くの著名人をいろいろな機会をとらえて全国的にPRすることが大事である。その前に、私ども市民もまた上記事項に係る具体的な事実について無知であることが多いので、各種配布資料や市民講座等を通して周知を図っていただければ幸いである。

## 2 提言の内容 ( 快適で潤いのある環境の創出)

### 【数多く提言された意見】

- ・雫石川、中津川、北上川など市域を流れる河の持つ良さを十二分に生かしてほしい。
- ・水と緑の美しい自然と調和した落ち着いた美しい街並みの都市景観を守りつづけるべき。
- ・恵まれた自然環境を生かしたまちづくりを進めてほしい。
- ・道路の除雪等の寒冷地対策
- ・主要幹線道路だけでなく、生活道路や歩道の整備も充実すべき。 ・治安をよくしてほしい。
- ・緑化を推進すべき。

性別	年齢	提言内容
70歳以上	男性	市外から、たくさんの人に来てもらい、その人たちに1日でも長く滞在してもらえ る快適な環境と景観のまちづくりが急務と考える。
50歳代	男性	カラスに荒らされてゴミ置き場がきたない。お金をかけてもよいのではないか。
60歳代	男性	ゴミ収集問題を最優先にして行政を実施されたい。現在のゴミ収集方法を改善して 収集所を廃止して、小単位の収集方法に切り替える事によって違反者がいなくな る。他自治体では行っている。検討を期待する。
50歳代	女性	ゴミ集積所について、地域によっては私有地をお借りして置かせていただきネット をかぶせておくといった状況の場所もまだまだ沢山ある。何とか市のほうで土地を 確保し、きちんとした置き場を考えて、カラス被害等を考え心配しなくても良い住 み良い市であってほしい。
60歳代	男性	ゴミ集配についての従業員スタッフがこれで良いのか。
70歳以上	男性	ゴミ処理の有料化を是非実施していただきたい。
70歳以上	男性	ゴミのポイ捨て者への罰則の強化を検討すべき。
70歳以上	男性	ゴミの収集も外部委託をすれば、経費の削減と雇用の増が期待できるし、その職員 は増員の必要な他部門に配置した方がよい。
50歳代	男性	ゴミ置き場のカラス対策をしっかりしてほしい。
50歳代	男性	ごみ分別日本一をめざすべき。
70歳以上	男性	ゴミ問題は掛け声に比べ、逆に増やしている傾向がある。広報を始め文書はいず れ、ゴミになる。A版に固執するのであればA5を利用する等の工夫が欲しい。市で手 本を示さなければ減量は進まない。
70歳以上	男性	ゴミ問題資源再利用について、資源回収の回数(リサイクルに向けて)団体共に減 少の傾向にあり、今こそ町内会に強力に呼びかけ協力を求める時期にきていると思 う。声だけでなく具体的実践が計られる手順を明示すべきである。
70歳以上	男性	東京都以上の排気Gas規制をやってほしい。
50歳代	男性	ハード面としての循環型の設備も充実させたい。
60歳代	男性	盛岡市の街は他県の街に比較してきれいなところが多い。盛岡市でもポイ捨て禁止 条例など美化に取り組むべき。
60歳代	男性	環境整備は、過去の当局のご努力によって充実されている。今後は、効率的環境づ くりとして、「広域圏」単位で実施することが命題と考える。
50歳代	女性	環境問題、ゴミ処理など、他市(釜石市)の対応を学びもっと能率良い方法を検討 すべき。
20歳代	女性	資源の有効活用について、資源ゴミの回収だけでなく、それがどのようにどこで役 立つのかも積極的に提示すべき。ごみを捨てる場所(レジャー施設、公園な ど)があり、それを処理する機能は整備する必要があると思います。
70歳以上	男性	自然環境に配慮したまちづくり。
50歳代	男性	循環型社会形成の基本は、人も生命体の一員であることを認識すべきである。
60歳代	男性	少子高齢化、人口減少の時代を迎え、自然・歴史等の資源をベースに環境意識を高 揚する都市再生が重要になる。
50歳代	男性	都南地区はすでに実施しているが、燃えるゴミと生ゴミが一緒の処理はおかしい。 一刻も早く、分別収集すべき。
50歳代	女性	街路樹をはじめ、街中に緑があふれている盛岡はやさしい人情を表している様で、 自慢できるところだ。その街路樹や、いろとりどりの花に、名札をつけてほしい。

性別	年齢	提言内容
50歳代	女性	現在、本宮地区を中心に新しいまちづくりが進められているが、良い機会なので、大胆な発想で、大規模な緑地を設けるように考えて頂きたい。世界的に見ても公園などの緑地が整備されている街は、人気が高く、魅力的な街が多いのではないかと。
60歳代	男性	公園や街の樹々も20年30年と年月を経て大木になったのだから少々日当たりが悪くてもすぐ伐採しないで我慢して樹木は残すべきだ。家が樹木の林の中にあるような、街が緑の公園の中にあるようなまちづくりが望ましい。
60歳代	男性	市民の協力も得て植樹公園の緑地化を進め、公園都市を作るなども進めてほしい。
50歳代	男性	水と緑に恵まれているので、水辺環境の整備（自然を生かした）、緑化の推進、岩手公園、岩山、市営球場等の緑化を一層推進し、自然を生かした都市化を図る。
40歳代	男性	緑の盛岡を破壊しないでほしい。
40歳代	女性	緑豊かで、人と人との温かい関わりが重要である。
50歳代	女性	河川敷の整備（公園化、コンクリート護岸の撤去）や、広大な公園の設置が求められる。
60歳代	男性	街路樹は地域に合ったものを植えてほしい。整備に手が回らないぐらいなら、植えない方がましである。植える時は良く地域に相談し、話し合いをし納得したうえで街路樹であってほしい。
60歳代	男性	街路樹事業の強化推進をはかるべき。
70歳以上	男性	岩山の「動物公園」を「動植物公園」としてはどうか。木、花、草などを体系的に学習できる場となればと思う。
60歳代	男性	岩手公園の殺風景は、今も昔も変わらないことを見ても、真に淋しい。
70歳以上	男性	岩手公園の入園料を設け、公園管理費に当てる。代わりに喫茶や抹茶が楽しめる休み所・花売り場など何ヶ所か設け、長時間の憩いの場にする。
50歳代	女性	県立図書館付近の芝生のように、座れる場所、散策する場所のある公園を作してほしい。
70歳以上	男性	公園は多くの人々にとっての憩いの場であり、遠来の客にとっては観光地になるわけだから、道路等それに相応しい諸施設の完備は欠かせない物となる。
70歳以上	男性	高松公園は、徐々にではあるが整備されてきている。だが、もっと水と森とに恵まれている自然環境を生かした特色のある公園づくりをすべき。私有地が混在し、景観を損ねているのでその買収を図り、整然とした公園づくりをする。特色づくりの第一としては、樹木中心とするか草花か、樹木の場合には、花にするか紅葉にするのかを決め、壮大な景観となるようにして欲しい。
60歳代	男性	市内の公園の桜は老木となっているが、先を考えた手入れをしてほしい。
70歳以上	男性	自然環境施設はある程度の広さを保持すること。小さな公園等は不要である。また、きれいで清潔を保持すること。
50歳代	男性	盛岡市の緑は点在こそしているが連続していない。三河川の河川空間を軸として市街地の緑が途切れることなく回廊状に連続していることに意義がある。
50歳代	女性	大人が楽しめる公園の充実を図ってほしい。
50歳代	男性	都市の緑化率は20～30%以上確保すること。
60歳代	男性	未来に向けた観光客で街があふれる緑豊かな盛岡になってほしい。
不明	不明	緑地の確保に配慮した町整備を進めてほしい。
60歳代	男性	河川等の自然を活用しながら、都市づくりをしていく現在の方向はおおむね好感がもたれる。
60歳代	男性	かつては市街のどこにでも見られ街に潤いを与えていた疎水が見られなくなって久しい。これらを復活整備し、町内会等の協力を得て管理委託維持すれば、ホタル、トンボの姿の見られるかも知れず、街にも市民にも大きな安らぎと潤いが与えられるのではないかと。
50歳代	男性	雫石川、中津川、北上川など市域を縦横する河の持つ良さを十二分に生かしてほしい。
50歳代	男性	雫石川～盛岡駅～北上川～不来方城址～中津川を結んだ潤いと安らぎのあるまちづくりを進め、交流人口の拡大を図る。（水と森の回廊のある街）
60歳代	男性	雫石川河川敷の整備、水の見える町に作ってほしい。
60歳代	男性	市中心部を流れる中津川の河川整備が必要だ。
70歳以上	男性	上下水道について、上水道の水がいつも赤い水が出ており、おいしくない。市内各家庭の方が非常に悩んでいるので改良願いたい。
50歳代	女性	中津川、北上川をとにかく美しい川に保てるよう願う。
70歳以上	男性	中津川を中心としたまちづくりをお願いしたい。鮭の放流遡上に力添えが欲しい。
50歳代	女性	水の美しい都市づくりをすすめたい。

性別	年齢	提言内容
50歳代	女性	水も空気も美しい盛岡を市民は深く愛し誇りに思っている。川的美しさを生かしてほしいものです。
50歳代	男性	もう少し川を中心としたまちづくりができないか。中津川、北上川の一部ばかりでなく、都南地区や雫石川沿いも必要だ。川に親しむ、川の街という印象を受けるくらいの施策が必要だ。
50歳代	男性	盛岡市は三本の川が流れており市民の安らぎの場となっているが、そのうち雫石川河川敷の活用が殆どなされていない。子供の頃は雫石川が水泳の場であった（太田橋下流付近）。再び家族で遊べるよう河川敷の整備をしてほしい。あんなにきれいな川なのに非常にもったいないと思う。
50歳代	女性	盛岡の川のある風景はすばらしい。市民や観光客の憩いの場となるような川周辺の公園化をすすめてほしい。
50歳代	男性	雄大に見える岩手山を背景に、北上川、中津川、雫石川そして築川の流れをうまく取り上げて「川」というコンセプトを上手に活かし、橋の多い街、生活の中に心和む街、盛岡を構築してほしい。
60歳代	男性	下水道等住環境を整備しきれいな水、川にすべき。
60歳代	男性	河川やダムを生かして、住環境を改善すること。3つの河川を利用した施設づくりの推進、河川敷の有効活用。
50歳代	男性	河川景観、及び交流施設も積極的に川に向かって作る。
50歳代	男性	橋の欄干にも南部藩の流れや盛岡と相通じる工夫が欲しい。
60歳代	男性	市内の細い水路はほとんど暗渠となっているが、これは非常に非文化的な行政だ。わずかに残る水路（農業用水路も含めて）は絶対に残すべきであり、また暗渠化したところも状況に応じて、元の水路に戻し、住民の活動を通して清流の水路化を志向すべきである。
60歳代	男性	雫石川に川の流れを利用した「せせらぎ公園」か「水辺プラザ」をつくってはどうか。水の都盛岡と言われながら、市民と親水の空間はあまりない。雫石川の新たな可能性として親水空間の設置を検討してほしい。
70歳以上	男性	雫石川河川敷の開発について、太田橋から北上川合流点までの雫石川河川敷が荒れたままの雑木林となって美観を損ねる状態になっているが、この地域一帯を運動公園として開発整備し、市民のスポーツセンター或いは憩いの場として活用を図ってほしい。
60歳代	男性	水を基本とした街造り。町角地等に飲水場や噴水場等を設ける。
60歳代	男性	盛岡は『水』がおいしい街である。素晴らしいことだ。
70歳以上	男性	盛岡は水と緑のまちというが、川の中州は伸び放題の雑草に覆われ、岸辺のせせらぎは見る影もない。都心を流れる水辺としてはいかにも由々しい。当事者は様々な人々と交流し、何が大切で、何から始めるか、不断の探求が望まれる。
30歳代	男性	盛岡は北上川、雫石川、中津川が合流し鮭が泳ぐ美しい水の街である。これらの環境を大切にすべき。
70歳以上	男性	川と緑を生かした自然環境と調和したまちづくりを進めてほしい。
60歳代	男性	川の流れに関する整備について中心部（山賀橋～御厩橋間）に数カ所にちょっとした堰を構築し、流れを一定の水量にして自然の穏やかな川にして市民がもっと水に親しみ易くすべき。
60歳代	男性	中央公園の美術館脇に流れている川は濁って悪臭を放ち極めて評判がわるい。この川を清流にし、公園に水辺をつくり、親水空間を作ってもらいたい。
70歳以上	男性	中津川について、両岸の散歩道で名産・特産の飲食も出来る通年の憩いの場とする。川をきれいにする相乗効果が生まれる。
60歳代	男性	中津川の水辺の整備をして市の中心地の公園や亀ヶ池など昔のようにきれいな水に戻してほしい。
70歳以上	女性	北上川、中津川をもっともっと活用する方法を考えて欲しい。
70歳以上	男性	北上川を活用し科学、歴史、民俗、芸術から河川管理などの学会・シンポ、親子の釣り・各種漁法の体験など全国規模の催し物を開く。
60歳代	男性	北上川治水が図られている現在、河川法の見直しも検討すべきと思われる。
50歳代	男性	緑と水に恵まれた盛岡市ではあるが、北上川・雫石川・中津川・築川があるだけでは「水のまち」と言えないのではないかと、小さな用水路的なものはどんどん埋められてきており、今後は逆に小水路の再整備、夏は涼のために、冬は流雪に利用出来るようにしてほしい。
40歳代	男性	中津川遊道での犬の散歩のマナーを厳しく指導してほしい。（提言）
20歳代	女性	市民の持つ環境に対する意識を高める必要がある。
70歳以上	男性	火葬場の増改築を進めていただきたい。

性別	年齢	提言内容
70歳以上	男性	環境を重視した（周辺の自然 居住スペースが広い 交通アクセス）居住地を開発すべき。
50歳代	男性	中心市街地の拠点性の活性化として、中心市街地の高度利用と省エネ都市を目指した取り組みを強化する必要がある。
50歳代	男性	盛岡城趾を中心とした周辺に憩いの場を拡張して、人が自然に集まる環境を作ることがを要望する。（提言）
50歳代	男性	岩手山の景観も大事だが城下町の風情も大事にしてほしい。
40歳代	男性	大通、中央通の景観はすぐれているとは思えない。色彩、デザイン等の健全な統制を望む。
70歳以上	男性	北上川と架橋の景観に力を入れてほしい。
40歳代	男性	景観を大切にす。
70歳以上	男性	自然が豊かで街並の景観が素朴で意図的な手を加えない街でありたい。
60歳代	男性	首都圏のような高層ビルが林立する様なまちづくりは、絶対反対だ。岩手山が街のどこからでも眺望できる様なゆったりした街として発展していくことを望む。
30歳代	女性	春夏秋冬のはっきりしているこの盛岡を古きを活かしながら季節ごとの自然、伝統芸能などをアピールできるようにしていきたい。山、川の自然を子ども達も一緒に守り育てて行く環境を作ってもらいたい。
70歳以上	男性	新旧建造物の調和のとれたまち。
50歳代	女性	せっかく東北の小京都と言われているのにマンション等が増えて、見晴らしが悪くなった。町名を変えたり、桜並木をなくしたり、だんだん鳥（カッコウ等）、小動物（リス等）が住めないような町になってきているように思う。
50歳代	男性	中心街を高層化し、居住空間を作る。
40歳代	女性	中津川を中心にすばらしい景観を守ってほしい。上流から下流までトータル的に自然を大事に管理して、清流のままできてほしい。
40歳代	女性	藩制時代の歴史遺産そして現代の建造物とがバランスよく保たれ、川や樹木等自然との調和が意識的に保たれ美しい街になってきたと思う。
40歳代	女性	古い街並を活かした市街地の整備を進めてほしい。
60歳代	女性	町並の景観がひどすぎ、都市計画なんて持ち合わせていないのでは思ってしまう。
50歳代	女性	マンション、駐車場ばかりになり、盛岡市のよさが失われている。古い街並を保存することにお金をかけなかったため、あまり良さが見えてこなくなっている。
70歳以上	女性	マンションが多すぎるのではないか。歴史、文化に恵まれたと思っている盛岡の調和されていた美しい景観が、どんどん破壊されていく。
40歳代	女性	マンションがたて続けて建設され、人口にくらべて多すぎると思われる。建設する時は、その町を壊すことのないように配慮すべき。旧建物をどんどん壊していることが心配される。新しい物ばかりが良いとは思わない。
70歳以上	男性	マンション都市になりつつあることは憂慮に耐えない。盛岡を『リトル東京』『リトル仙台』にしたくない。
50歳代	男性	水と緑の美しい自然と調和した落ち着いたかつ美しい街並みの都市景観の整備。
50歳代	女性	水と緑のきれいな街盛岡の特性を最大限に生かし、岩手公園周辺を昔の街並を再現した通りにしてほしい。例えば材木町の様な造りで公園を訪れた観光客が大通り周辺を散歩出来る様な古い面影をイメージした通りにする。それには建築物も考慮すべき。
40歳代	女性	盛岡駅から出た時の駅前開運橋までの景色をもっと整えたい。目が遠く、開運橋まではっきりと自然が楽しめる景色であってほしい。風が見える街、風がMORIOKAと涼やかに、懐かしく響く街であってほしい。
20歳代	女性	盛岡市のまち全体が、材木町のような雰囲気（宮澤賢治を想わせるもの）に統一すればすてきだと思う。肴町のわんこそば屋がある通りもすてきだ。
40歳代	男性	盛岡市は、歴史があり景観のすばらしい街である。近年、ビルディングが多く建設されているが、この盛岡のもつすばらしい景観をいつまでも大切にしたい。それが盛岡の魅力となるものと考えている。
60歳代	男性	盛岡の美観を損なわないようにしてほしい。
50歳代	女性	杜の都といわれる景観を保ってほしい。
50歳代	男性	河川の景観を良くしてほしい。
50歳代	男性	街並みの維持のために、建造物の解体や新築には公的規制をかける。
50歳代	男性	環境の町としての日本No1をめざす。それには町の景観規制（屋根の色、看板等）も重要と思われる。
70歳以上	男性	建築物の高さも制限して、城下町盛岡の特性を生かした四方の山々を見渡せる景観で心豊かな、町にってもらいたい。

性別	年齢	提言内容
40歳代	女性	県立美術館付近の景観等が損なわれ残念だ。
60歳代	女性	古いまちを大事に残すまちづくりをしてほしい。
40歳代	女性	高い建物への全体的配慮が欲しい。
40歳代	女性	高層建築には抵抗がある。街のどこからでも岩手山を眺めたい。
60歳代	男性	市街地の景観について、マンションだらけの盛岡はいづれ観光客から見向きもされなくなる。小さくても魅力のあるまちづくりを目指すべきであろう。
50歳代	男性	自然を生かし、環境にすぐれたまちづくりに努める。古い物を残し、町々名などに伝統を守る。
60歳代	男性	自然環境整備を中心として、幹線交通や市内道路網の整備、さらに清閑とした街並みとの調和など市民の視覚に訴えかける取り組みが次のステップになるのではないかと。
70歳以上	男性	周辺観光地の拠点としての役割（滞留等）の検討が必要である。市民が「住みよい快適な都市」と思える都市は、都市観光にとって一番大事なことである。都市景観など各般の施策が必要である。
50歳代	男性	水と緑、街並み景観の素晴らしさという特性を後世に伝えるとともに、住みやすいまちづくりを目指すべき。
60歳代	男性	水と緑に囲まれ美しい景観の住み良い県都を目指すよう期待する。
50歳代	男性	盛南開発地域に限らず景観のためにも電線を地下に埋めてほしい。
50歳代	男性	震災をほとんど受けなかったことにより、古い建造物と新しい町並が調和した現在の盛岡の姿を極力残す。（大きな観光資源）
60歳代	男性	地域による建物の高さ制限、カラーの統一、街路樹の統一をしてほしい。
50歳代	男性	都市の近代建築による高層ビル街よりも、今の自然と個性のある盛岡市でよい。
70歳以上	男性	必要以上のコンクリート建造物が、都市景観を壊し在来の住宅地の住人が逃げ出すような環境になるのは止め、住宅地に樹木を残せるような制度（税制）とし自然との調和を第一に考えたい。
70歳以上	男性	乱立気味のマンション建設について、昔の良き盛岡の街の姿が失われていくように思われる。
50歳代	女性	緑と花にあふれる街並みにしてほしい。
30歳代	男性	大規模な施設は盛岡の古都の風景に合う建築様式にするべき。（提言）
30歳代	男性	市内の川と古き良き建築物とがマッチした街並み造りを推進すべき。（提言）
40歳代	男性	古い街並みや建造物を大切にすべき。（提言）
40歳代	女性	岩手公園について、ふっと立ち寄りたいたい憩いの場になるよう美化と環境整備を見直してほしい。
60歳代	女性	子供たちが安心して遊べる、芝生を敷きつめた広い遊び場が欲しい。（建物は不用）
70歳以上	男性	岩山展望台とのリフトを実現してほしい。動物公園の一体化コースなど。
50歳代	男性	駅西口を中心とした公園の整備。（緑地帯、雫石川原の有効活用） （提言）
40歳代	男性	子供の遊び場が少ないので増やしてほしい。（提言）
60歳代	男性	可能な限り自然破壊をしないでほしい。
40歳代	男性	自然環境を大切にしながらまちづくりを進めていただきたい。
40歳代	男性	自然を前面に打ち出したまちづくり。
60歳代	男性	自然を大切に水と森を生かしたまちづくりを推進してほしい。
40歳代	男性	大都市のようなビルは造らず、自然と調和した個性ある都市づくりをしてほしい。
50歳代	男性	他県から盛岡に来る方のおほとんどは、盛岡市は美しく、川があり、すてきであると言う。この点をもっと全国にPRしていくべきだ。
70歳以上	男性	恵まれた自然環境を生かしたまちづくりを進めてほしい。
60歳代	男性	盛岡は水と緑がきれいな街なので自然環境と街並みが調和したまちにすべきと考える。
70歳以上	男性	歴史と観光、自然環境生かした観光コースの整備を進めてほしい。
60歳代	男性	恵まれた自然と資源が充分活かされていない。
40歳代	女性	山々に囲まれた水と緑の街という印象を壊さないよう、美しい盛岡であってほしい。
70歳以上	男性	自然と人間が共存できるまち。
50歳代	男性	自然環境（水・緑）を活かした都市づくり。季節ごとに自然の特徴をアピールできるまちづくりで盛岡のイメージアップをはかる。
70歳以上	男性	川辺り、丘陵、林や森を生かした散策路の整備が欲しい。四十四田ダム湖畔の周回路（桜並木の造成等）の造成。

性別	年齢	提言内容
40歳代	男性	降雪期の除雪やロードヒーティング等を充実させてほしい。
70歳以上	男性	除雪対策が十分に行われていない。
60歳代	男性	除雪について、他都市を参考にして良い点から改善してほしい。
60歳代	男性	除雪の早急な対策一改善を要すると考えられる。
70歳以上	男性	冬期の除雪対策について最大の努力をするべきだ。
50歳代	女性	冬の交通機関の工夫を考えてほしい。雪の降るたびの除雪作業の後手になっている。
40歳代	男性	冬のスタッドレスによる、道路のスケート場化ひどい。
50歳代	女性	冬の生活が快適であれば、盛岡に住みたいという人は多い。除雪、道路整備は力を入れていただきたい。
50歳代	女性	冬の道路事情が悪い。除雪を徹底してほしい。
40歳代	男性	冬場の除雪をもう少し考えていただきたい。
60歳代	男性	盛岡の冬の除・排雪及び凍結防止策を充実してほしい。
60歳代	女性	自動車優先で歩道に雪が押しやられ歩くのに大変だ。もう少し、雪かきに工夫してもらいたい。
20歳代	女性	除雪作業について、大きな道路ばかり注目して、住宅前や通学路を後まわしにしている。
50歳代	女性	雪国ならではの除雪が行き渡るように施策を考えていただきたい。
60歳代	女性	大きい道路だけでなく、細い道でも通学路は、雪かきしてほしい。
50歳代	女性	冬の除雪は盛岡市は最低だ。子ども、お年寄りが安全に歩ける冬の道づくりをお願いしたい。
60歳代	男性	冬の通学路の雪の除雪をいち早くしてほしい。
70歳以上	女性	冬期の道路融雪装置を多くの道路へ設置してほしい。
50歳代	男性	冬期期間の雪対策融雪装置の整備。
30歳代	女性	冬期歩行者が安全に歩行できるように歩道を整備し、融雪設備を設けてほしい。雪捨て場がほしい。大きい道路は除雪をしてもらえてありがたい、小さい道路までやって頂きたい。
70歳以上	男性	冬季の雪対策を考えた道路改良を考えた方がよい。現在の道路（特に大幹線以外）は雪国用の設備ではない。除雪機の貸出は雪の捨て場がないので期待できない。
50歳代	男性	凍結対策、除雪展開（車道の雪を歩道に持って来る）を市民・通行人の視点に立って進める。その際除雪は市役所職員が先頭に立って行く。
40歳代	男性	冬の除雪対応にもっと力を入れてほしい。（提言）
50歳代	男性	市内の除雪をしっかりとやってほしい。早朝から深夜まで時間を問わず除雪を行うべき。（提言）
50歳代	男性	除雪対応をしっかりとやってほしい。青森等他県並みに取り組んでほしい。（提言）
50歳代	男性	冬季の除雪（道路など）の迅速化など市民が冬でも快適にすごせるような町づくりが必要である。（提言）
50歳代	男性	冬場の道路融雪、除雪に力を入れてほしい。（提言）
70歳以上	男性	生活環境整備を図り、快適な生活が出来るまちづくりが必要である。
40歳代	女性	安心して生活できる環境作りに力を入れてほしい。
50歳代	男性	一言でいってきれいな街で大好きである。
50歳代	男性	「水と緑の盛岡」に加えて、北上川等にかかる橋をさらに増やし、景観を損なわない配慮と工夫にたった市内道路網の整備が望まれる。
70歳以上	女性	裏道も歩きやすい歩道の充実。
60歳代	男性	ガス工事、水道工事後の舗装工事では、道路に段差を発生させないでほしい。
30歳代	女性	観光に来た人や市民の為に、良い景色をながめながら歩ける小道（例京都の哲学の道のような）を整備してほしい
50歳代	女性	車の増加と共に道路網の整備をお願いしたい。特に官公街はひどい。道路は車に占領されている感があります。歩道の整備もお願いしたい。
70歳以上	男性	広域合併によるそれぞれの地域の特性を生かした総合的なまちづくりをすすめる。そのためにそれぞれの地域を結ぶ基幹道路の整備をはかる。
60歳代	男性	交通渋滞緩和のため早期西回りバイパスの完成。
70歳以上	男性	交通渋滞を解消するための右折レーン積極的に整備していくべき。
70歳以上	女性	自動車、自転車、人が区別して通行できる道路が望ましい。
60歳代	男性	市内道路網が悪い。有料通路等考えられるのではないか。
60歳代	男性	市内道路網について 市内全ての道路の拡幅は無理と思われるが、市内への主要幹線道路についての拡幅が必要と考える。

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	市内道路網の整備について、仙北からバイパスへ東進する道路が整備され大変スムーズになったが、盛岡駅西から県立美術館への橋の早期開通を切念している。
70歳以上	男性	市内道路網の整備は急を要すると思う。
60歳代	男性	市内の主要道路は、クランクとなっている場所が多く、これが市街地の道路混雑させる要因となっている。クランクなしで通れる道路網の整備が望まれる。
60歳代	男性	市内の小さな路地の道路整備及び除雪。
70歳以上	男性	市内の道路網の整備（車中心の道路、歩行者中心の道路の特化が必要と思う。）
70歳以上	男性	市の都市道路の計画運営に関しては過去の計画道路案などは全部白紙にもどして、新しくこれからの盛岡の街造りを考えての道路計画を作成すべき。
60歳代	男性	住環境について、道路の整備、都市計画のビジョンを確立すべき。
60歳代	男性	周辺町村との合併化を進める中で、都市として道路網の整備を進めるべき。
70歳以上	男性	設定されている都市計画道路の早期実現。特に周辺市町村に通じる幹線網の整備を進めてほしい。
60歳代	男性	早急に市内の道路網の整備。消防自動車が入れる幅員の整備。
70歳以上	男性	中心街の道路の狭さ、曲がりくねった道路、これらは昔からの道路の造り方を抜けない状態となっている。
70歳以上	男性	できるだけ、一方通行道路の解消を望む。
60歳代	男性	道路行政が不十分な取り組みである。拡張が高架や地下などの上、下への新しい企画が欲しい。
60歳代	男性	道路行政の抜本的な見直しが必要だ。官民協同で対策を立てることが肝心だ。生産性の向上は物流に大きく依存していることを忘れないでほしい。
60歳代	男性	道路工事にあたっては、騒音振動対策をしっかりとってほしい。
70歳以上	女性	道路工事の進捗状況は、進み具合に不満がある。岩山から加賀野に下りる線とか、浅岸からの拡幅工事にしても大変遅い。
50歳代	男性	道路交通網の整備を進める。
40歳代	女性	道路網の整備。特にエコロジーの自転車が、安心して通れるような道路にしてほしい。
70歳以上	男性	道路網の整備のため市庁舎を移転し中央通を直線でバイパス（国道4号線）に結んでどうか。
70歳以上	男性	都市計画の実現。（道路整備）
20歳代	女性	どの道も街灯が少なく、冬期間は路面が危険。また、暗くて危険である。（上盛岡駅の裏）
50歳代	女性	まずは、市内の道路網を改善しなければ、イベントホールなどの施設を造っても、ますます渋滞をまねくことになると思う。
60歳代	男性	盛岡の特性の一つとして川の多い街である。景観としてはすぐれているが、川によって市街が分断されており、色々な面で不利となっている。特に北上川の東西を結ぶ橋の増設と道路整備が必要と思う。朝夕の通勤時間帯は各地の橋で渋滞がみられる。これを解決しないと、今後の広域化に支障をきたすと思う。
60歳代	男性	矢巾町とのアクセス道路をもっと良くすることが必要である。
60歳代	男性	矢巾町に通ずる道路が、途中だけ未完成なのは、納得できない。折角の投資が生かされていない。
60歳代	男性	花巻空港から盛岡までの交通アクセス、盛岡環状道路完備から各地域への短時間交通網整備は急務である。
40歳代	男性	街並（城下町）などの景観に配慮した市内道路網の整備。
70歳以上	男性	岩山への観光が増えているのに道路の幅がせま過ぎる。市内の交通量が増えているのに、道路の幅が昔のままになっているため渋滞ばかりしている。何とかしてほしい。
50歳代	男性	旧市街地を避けた新道路網の整備。
60歳代	男性	狭隘道路の拡張。
60歳代	男性	現在進行中の駅西口の都市機能を高めるインフラ整備を積極的に推進し、南北に延び都市圏の居住構造を結ぶ都市内交通網の強化・整備が必要になる。
70歳以上	男性	交通の便を良くして1時間少々で海、山にも行ける道路整備を考えるべき。
60歳代	男性	広い道路は渋滞が激しいなど、交通対策が不十分である。城下町の風情を残すことを考慮しつつ、改善すべき点は、早急に思い切った対策を講ずる必要があると思われる。
60歳代	男性	行政の迅速な対応を求める。（除雪、道路工事）
50歳代	男性	郊外から中心部に入る際の交通渋滞を早期に解消しないと都市のイメージダウンにつながる。道路整備はなお必要。

性別	年齢	提言内容
60歳代	男性	高松、北山、岩清水、愛宕山、岩山、綱取、八木田、蝶ヶ森、手代森迄の北山東山山林縦走（癒の道）を設けて緑を植え保全する。
不明	不明	国道4号から青山、みたけ方面への交通渋滞が激しく、地下部で線路を越える幹線道路を1本整備すべき。
50歳代	男性	国道のバイパス道路か環状道路の建設を推進すべき。
70歳以上	女性	今後道路の拡張等の際は電線・電話線等は地下に設置した方が景観からも良いし、走行、歩行にも良いと思う。
50歳代	男性	市の中心部は岩手公園を中心に緑が多く、車道より歩道の方が広い街並みを望む。
60歳代	男性	市街地（観光エリア）は、道路等はコンクリートアスファルトは全面的に盛岡産の御影石造りにする。
70歳以上	男性	市道について、道路工事と、水道・ガス等の工事を併せてできないものか。
70歳以上	男性	市道の改修などに当たって歩行者の安全を重視してもらいたい。具体的には人が歩く路側の傾斜度を「道路規準」に合わせてもらいたい。
60歳代	男性	市内道路網の整備がなっていない。南北の道路網は進んでいるが東西道路の幹線道路が整備されていない。明確なビジョンを示すべき。
40歳代	男性	市内道路網の整備をし、市で管理する駐車場を地下に設け、中心街には車の乗り入れはできないようにする。街は、10分から15分歩いたら盛岡の街を歩けるスペースが適正である。
70歳以上	男性	市内道路網の整備を進め、交通渋滞の緩和に努めてほしい。
70歳以上	男性	市北部の通勤ラッシュ時の交通渋滞解消のための道路拡張整備。
50歳代	男性	紫波から上堂までの上下線と橋付近の改修（立体交差と変則交差点の解消）と国道4号、106号、46号への車両のスムーズな通行を図るために東西に基幹道を整備して市内交通の円滑を図る必要がある。
40歳代	男性	自動車交通はまだまだ増えると見るのが妥当なことから、慢性的に渋滞している国道4号や46号の交通を緩和させるためのルートとなる盛岡の西側を南北に貫く幹線道路の整備を進めるべき。
70歳以上	男性	主要道路（例えば中央通りやバイパスへ）の整備。
60歳代	男性	住宅地の道路整備が予定されているようであるが、今後人口の減少が見込まれるのに、道路だけを広げて、その周辺の住民に不安を与えるばかりか、遺跡にこだわり住民を移動させるような道路整備の必要性はないと思う。
50歳代	男性	循環バス路線を大きく作り、人の流れをスムーズに活かせればと思う。
40歳代	男性	小中学生の通学路の安全性を確保してほしい。例をあげると、門、東安庭、見石地区の中野小への通学路は他に例を見ない程、劣悪で危険である。
60歳代	男性	新しいまちづくりは、災害に強くそしてライフラインの完備した広拡の道路網が大切である。決して焦らず道路網を整備すべき。
60歳代	女性	新しい広い道路を作るばかりではなく、市内にも道路事情の悪い所は沢山ある。見直した行政、きめ細やかな行政を望む。
20歳代	男性	新たに何らかの施設を、ということも大切だが、市内の交通の便等「住みやすさ」を改善した方がよいのではないかと。
20歳代	男性	人口の割に道路事情が悪い為、渋滞が多い。盛岡駅前への出入りをしやすくしてほしい。
60歳代	男性	生活道路の整備（歩道）を望む。
50歳代	女性	盛岡駅前の狭い道路を改善してほしい。
60歳代	男性	盛岡市の道路網や道路幅の改善が強く望まれる。
60歳代	男性	盛南地区に設置した美術館や博物館等へ市中心部から短時間でアクセスできるような橋や道路網の整備が望ましい。
70歳以上	男性	中央通は市中央のイメージ通りとして4車線で市役所から梨木町付近で細い道路になっているが、これは館坂橋通りまで、4車線を通す必要がある。
70歳以上	男性	中央通りは直線で国道106号に直結すべき。
40歳代	男性	朝・夕の混雑はぜひ解消していただきたい。特に右折レーンの整備をしっかりとしてほしい。
70歳以上	男性	鉄道線路と道路交差の対応に力を入れてほしい。
60歳代	男性	都市計画の遅れと、道路網の整備など思いきった施策が急務である。
60歳代	男性	道路が狭く、曲がりくねっているなど、事故の危険性の高い、交差点が多い。
70歳以上	男性	道路の整備、特に歩道の拡幅など改善が必要。
40歳代	男性	道路の整備が遅れている。
70歳以上	男性	道路を整備し、交通安全に徹したまちづくりを進めてほしい。
70歳以上	男性	道路改修に当たっては、出来るだけ平らな舗装をお願いしたい。

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	道路拡張のために古い町並みが失われていくのは将来的に大きなマイナス、旧市街をうまく残した道路づくりを進める。
70歳以上	男性	道路計画についても車輛の流れを調査し、緊急なものにとどめるべきである。将来を見直しての大計画は、財政難の折からたてない方がよい。計画をたてると、進捗率が問題になる。過去の例では見直しを誤っているものが多い。後追いと云われても必要なものだけを措置している方が無駄が少ない。
40歳代	男性	道路整備、バス活用と併せて、基本的な交通手段である「徒歩」を改めて見直していくことが重要である。道路への歩道設置、川や公共用地などを利用した歩行者用道路の整備、路側帯の舗装グレードアップなどを進めることが必要である。こうしたハード整備とともにウォーキングの普及をPRすることも重要だ。年に1回、市職員全員で徒歩通勤の日を設けたらどうか。
70歳以上	男性	道路整備が大変遅れている。
70歳以上	男性	道路網の整備、拡幅工事を早期完了すべき。
50歳代	男性	道路網の整備として、市街化地域内に架かっている橋を片側2車線以上にする。
50歳代	男性	道路網の整備の促進。
60歳代	男性	道路網の整備を進めてほしい。
50歳代	男性	変形交差点の解消。（安全上の観点から、夕顔瀬橋など）
70歳以上	男性	歩きやすいように歩道の整備をしてほしい。
50歳代	男性	歩行者や車イスの人でも安心して歩ける歩道づくり
40歳代	女性	望むことは、市内の道路網の整備である。
70歳以上	男性	本宮は新しい道路ができたが古い道路との連結がうまくいっていない。
70歳以上	男性	万一の消防対策（現況では消防車が住宅地内に入れない）としても、狭隘な道路の解消として、電柱・電話線の地下埋設を進めるべき。
60歳代	男性	慢性化している交通渋滞の解消として、庁舎の移転を含めた道路網の整備を検討すべき。
40歳代	男性	魅力あふれたまちづくりとして、先人たちが残してくれた、芸術文化をもっと見える形でまちづくりの中に取り組みすべきである。たとえば、啄木や賢治が歩いた道を、啄木の散歩道とか、賢治の散歩道とか、盛岡に求めるられるイメージを提供してあげることも大切なまちづくりのひとつである。
30歳代	男性	道路、歩道を広くすべき。（提言）
30歳代	男性	中央通りは工事が多すぎる。時間帯を考慮してほしい。（提言）
40歳代	男性	車の渋滞・放置自転車について、解消に努めてほしい。（提言）
40歳代	男性	車と人が住みわける道路網の整備が必要である。（提言）
40歳代	男性	道路が狭く、電柱もせり出している。歩行者の便・安全性を考慮すべき。（提言）
40歳代	男性	車道・歩道のでこぼかがひどい。歩きやすいようにしてほしい。（提言）
50歳代	男性	市内道路網の整備に力を入れてほしい。（提言）
50歳代	男性	市内の道路の幅を広くし、歩道も整備、安心してお年寄りが歩けるような町にしてほしい。（提言）
50歳代	男性	幹線道路の整備と循環線の取り組みをしてほしい。（提言）
50歳代	男性	国道4号線への主要地方道盛岡環状線などの接続道路の整備に力を入れてほしい。（提言）
50歳代	男性	市内道路網の整備を早急に対処して頂きたい。（提言）
50歳代	男性	冬季の交通渋滞は早急に解決してもらいたい。国道・県道の管理者とも連携が必要、歩道の設置もお願いしたい。（提言）
60歳代	男性	市道整備について、危険箇所の局部改良し、次に、現在の道路の適正な管理そして、抜本改良の順に整備すべき。（提言）
60歳代	男性	市道管理に当たっては、路面穴の直営補修、冬期間の除雪体制の確立のほかに、植え込みやガーデニングの道路敷地へのはみ出しを見過ぎさないようパトロールするとともに、刈り込みや撤去も検討願いたい。財政難の時代が続くものと思われるので単純作業は、町内会やボランティアの活用も検討べき。（提言）
50歳代	男性	安全で安心して生活が出来るように、災害に強いまちづくりを進めてほしい。大規模な地震、局所的な大雨等異常気象による災害が多発している折、地味な施策であるが着実に整備強化を図っていく必要があると思う。
40歳代	男性	昭和30～40年代に比べ交番の数が減ったように感じる。威嚇するのではなく、やはり安心のため各町内が隣接する二町内に1つぐらい交番が必要ではないか。
70歳以上	男性	防災体制について、再度力を入れるべき。
70歳以上	男性	安心快適に暮らせるまち。（特に大災害に対応できるか）

性別	年齢	提言内容
40歳代	男性	治安が悪くならないように、負の引力をもつ環境（人的にも物的にも）に、転がるのを防ぐ。
40歳代	男性	治安をよくすること。大通りなどの繁華街のパトロールの強化、東署菜園交番などがすぐ近くにあるのに、もう少し増強できないものか、非行少年の補導、検挙などにより大きな犯罪の芽を摘む。県警に対して市からも要請すべき。
50歳代	男性	自然豊かな街と同時に安全で気持ちのよい街でありたい。保安警備の徹底と充実もお願いしたい。
50歳代	女性	将来を担う青少年の犯罪が増加しており、特に都南地域の見前交番での出動が多いときいている。青少年担当の人員増加、配備を願っている。
70歳以上	男性	地震、水害等の災害にならない様な都市になってほしい。
40歳代	女性	昼夜問わず、安全な街であってほしい。
60歳代	男性	安全で住み良い街を目指すべき。
70歳以上	男性	犯罪のない健全なまちづくりに全市あげて取り組み、他県にも認められる実績を作ることが大切である。
60歳代	男性	現在盛岡は大都市型の犯罪が急激に増加する前の段階といえる。その意味で今の段階で安全で安心のまちづくりにぜひ取り組んでいただきたい。
70歳以上	男性	住みよいまちづくりのためには、安心・安全・安定などの保全が確たるものとなっていないとてはならない。
70歳以上	男性	犯罪・交通事故多発問題は、抜本的な予防対策が必要である。
70歳以上	男性	犯罪の起きにくい設備と教育を整えてほしい。
70歳以上	男性	防犯交通安全について、学校には連絡網を通して知らせるが、活動センター、児童センター、保育園、幼稚園には連絡がないという。最も標的になりやすい子供たちやその保護者たちが知らないでいる状態である。できれば、発生場所の町内会、その付近・周辺にも連絡が届くような連絡網がほしい。
50歳代	女性	北上川、岩手山。不來方城跡と北上川、雫石川、中津川の合流点など自然環境と街並が調和し歴史と文化が強く感じられる都市にしたい。
50歳代	男性	時間の経過と共に街は変化するが、変えていいもの、変えてはいけないものを、地域住民がよく考え、歴史と、自然を大切にしていきたい。
40歳代	男性	市の持つ歴史性・文化性などの遺伝子的なものを守るという確固としたコンセプトを持って欲しい。
50歳代	男性	東京の小型版を目指すのではなく、歴史・文化が生きづく、自然と調和した町を目指してほしい。
40歳代	女性	街の中心部について、市内中央を中津川が流れ、歴史ある建物がそこそこに見られるというすばらしい街並みの保存。保存するだけでなくそれが生きるような整備が必要である。古い建物を残すには、所有者個人の努力に任せず、積極的に市が関わるべきである。
70歳以上	男性	まち全体を歴史の漂うまちにしたいものである。
50歳代	男性	歴史的建造物の保存、都市景観への配慮など、これまでの盛岡市の取組みは十分評価できる。
50歳代	男性	古い建物の維持には公的支援をする。（外観は維持しながら中は現代の生活に合うように改善するなど）
50歳代	男性	古い町並みを保存しつつ、落ち着いた街の創造を図る。
50歳代	男性	自然景観、歴史的な景観を大事にし、住民はもとより訪れた人々が「やすらぎ」を感じるような街になってほしい。
50歳代	女性	盛岡に眠っているものを発掘。歴史、文化、自然、手仕事、景観・・・全てが中途半端な現況を改善すべき。
50歳代	男性	盛岡の歴史、文化を保存し、活用した盛岡らしいまちづくりを望む。
40歳代	男性	盛岡市八幡町番屋（消防団屯所）の解体問題は一応結論を見たが、そこに至る経緯には遺伝子を守るという市のコンセプトがはっきり見えてこない。
60歳代	女性	歴史の有る町として、その歴史を大切にしてほしい。歴史から学ぶ事が非常に大事な事と思う。
40歳代	女性	歴史的風情のある街として、古い遺産と新しい都市をつくって行く行政を考えていくべき。
70歳以上	男性	歴史的文化や観光資源を活かしたまち。

## 2 提言の内容 ( 健やかで心のかよう地域社会の形成)

### 【数多く提言された意見】

- ・医療施設を充実すべき。
- ・少子高齢化対策を積極的に推進すべき。
- ・障害者が安心して暮らせるまちづくりを進めてほしい。
- ・子どもを安心して育てられる環境作りに力を入れるべき。
- ・福祉関係施設の充実を望む。
- ・社会福祉の充実と町内会活動の活性化。

性別	年齢	提言内容
70歳以上	女性	ボランティアの言葉だけが先行している社会に、ボランティアの意義を反復の方法で学習しなければならない時代にきているのではないか。
70歳以上	女性	日常生活の中で心配りが、どんなに安心感をもって居られるか。
40歳代	男性	福祉施策について、今ある社会的資源(人的資源も含めて)を有効に活用しながら、計画的に進めれば一定の水準にまで引き上げることが可能だと思う。大事なことは行政側は公的責任をあいまいにせず、住民も主権者として自助努力を惜しまず、まちづくりに積極的に参加していくことだ。
70歳以上	男性	医療施設の充実を求む。老人が安心して暮らせる施設の運営を計って頂きたい。
60歳代	女性	医療施設を増やしてほしい。(待機時間が長すぎる)
30歳代	女性	岩手医大の矢巾町移転など、盛岡市内にあったからこそ安心していただけなのに、遠くなってしまった為、医療面での不安が出てきた。
60歳代	女性	同じ病院とか医療施設に3ヶ月~6ヶ月しか居られないシステムを変えることは出来ないものか。
50歳代	女性	高齢者にとって、大きな病院が郊外に移るとするのは、不安なことだ。
40歳代	女性	ホスピスは必要だと思う。
40歳代	男性	盛岡市立病院の財務内容の公開、ならびに質的向上(特に医師)を望む。
70歳以上	男性	盛岡には民間、公共の老人ホーム、老人保護施設はあるが、ホスピスは県内には無いと聞いているが、作るような計画はないのか?
50歳代	男性	医師の数を増やし、医療環境をさらに充実されたい。
40歳代	女性	医者が盛岡には多い様に見えるが、岩手全体を考えた場合、無医村があるのではないか。自分の都市だけが良ければいいという考えは良くない。
70歳以上	男性	岩手医科大学及び付属病院の盛岡市から矢巾町への移転には大反対だ。
20歳代	女性	健康増進センターなどもっと健康に対して意識すべきではないか。滝沢村では村民に対しての健康診断を無料で行っている。盛岡市も検討してみてもどうか。
70歳以上	男性	少子高齢化が進むにつれて、診療科目の多い病院が必要である。青山町にある国立病院に診療科目を増やすよう、国に働きかけて多くの患者が通院できるようにして欲しい。
50歳代	男性	盛岡市立病院は、特徴ある病院づくりが求められる。小児医療を充実させるため、スタッフを広範に全国から公募すべきだ。また、ターミナルケアの充実も必要である。緩和ケア病棟と独立型のホスピスも必要である。赤字でも市民の納得が得られる市立病院の経営姿勢が求められる。
70歳以上	男性	病院医療施設を増やすべき。
40歳代	女性	保健婦の人数増、各町内会担当を充実させる。また、質の向上をお願いしたい。
70歳以上	男性	高齢化社会に対応した福祉関係施設と従事者態勢の整備が急務である。特に健康な高齢者の活用と社会参加が重要である。
70歳以上	男性	高齢者に対し、利便の整ったまちづくりの推進をお願いしたい。
70歳以上	女性	寿バスは大変有難く思うが一番利用度が高い4月も使えるようにしてほしい。
60歳代	男性	これからの地域の発展に元気な高齢者を除いては考えられず、高齢者にやさしいまちづくりが大切である。
50歳代	男性	少子高齢化に向けたまちづくりがなされていない。
70歳以上	男性	確かに良い時代ではあるが、高齢化が進み、特養老人ホームをどんどん増やしてもらいたい。他の箱物は必要ないと思っている。

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	都市のドーナツ化現象、高齢化を考えた場合、街の中心部に高齢者が居住できる老人・養護施設を多くつくること。その周りに日常生活に必要な小規模のショッピング街（古い街並と近代的な店内の店）と、映画館・劇場など社会的に健全な娯楽施設と医療機関・駐車場を配置すること。
70歳以上	男性	年々少子化が進み、高齢化が進行しており、対策を考慮すべきである。
40歳代	女性	福祉施設の充実化。（今後の高齢化に伴い）
70歳以上	女性	月1回の配食サービスを実施しているがどこまでも続けられるだろうかと将来に不安が残る。
60歳代	男性	現在の高齢者は他年代より恵まれていると思う。老人クラブ補助金は多すぎないか？再考を願う。
70歳以上	女性	高齢化が進み地域活動にも大きく支障の出ている現況を実感している。心のケアの必要が掲げられる。安否の確認、会話を通して安心感を与えることを目的に会員相互の助け合いバザーの開設益金を充当すべき。
40歳代	男性	高齢化に対応したまち、施設づくりが必要だ。
70歳以上	男性	高齢化の進展に伴って医療施設や福祉施設を積極的に整備して不安のないまちづくりが必要である。
50歳代	男性	高齢化対策として、元気な年寄りづくりを推進してほしい。
60歳代	男性	高齢化等に対応した福祉施策の推進が必要である。
50歳代	女性	高齢者が高齢者の世話をしている時代になっているのが不安である。
70歳以上	男性	高齢者が明るく元気で暮らせる諸方策の充実実施。
50歳代	女性	高齢者には病気にならないための栄養教室、料理教室など悩みを聞いてくれる施設がほしい。
50歳代	男性	高齢者の趣味、軽スポーツが気軽にできるコミュニティーの場を設置してほしい。
60歳代	男性	高齢者の問題と福祉の充実を推進してほしい。
50歳代	男性	将来介護保険のお世話になるような状態になったとしても、施設が少ない場合、保険料掛け捨てとも考えられる。財政的に厳しいとは思いますが、保険料を徴収している以上、施設が少なく待機者が1人でもいるということは疑問。
70歳以上	男性	少子高齢化への対応を積極的にやってもらいたい。
40歳代	女性	人にやさしいまちづくり、高齢者が安心して住める環境をつくって行くべき。
40歳代	女性	人情の厚い盛岡の人々の一生は老後においても、安心して暮らす事ができ、やさしさにつつまれた行き届いた施設で一生を終える事ができたらいいと思う。
20歳代	男性	福祉施設（高齢者向け）が少ない。利用資源が少ないと思う。もっと多くの小規模のユニット施設が必要ではないか？
60歳代	男性	歴史や文化の息づくまちは高齢者が主人公、中心市街地の活性化は高齢者を無視した振興が多すぎる。
50歳代	女性	児童センターについて、週休二日制になり、利用者が増えているのかと思うとそうでもないらしい。もっと魅力のある児童センター、利用者の多いセンターであってほしい。
70歳以上	男性	公立（市町村立）幼稚園及び保育園を民間に委託すべき。
40歳代	女性	盛岡人の気質は「あせらず、のんびりと争わず」がモットーのような気がする。他見との競争やまねだけでなく盛岡が盛岡らしい子育てが出来たらいいと思う。そんなまちづくりを望みます。
50歳代	女性	中高生の集いの場所としての児童館のようなところを整備してほしい。
50歳代	女性	児童の教育、福祉の見直し、充実こそが公的機関、税金をもって実施されるべきものと思う。
30歳代	男性	保育所が不足している。院内保育が無ければ共働きは無理である。共働きできる環境を整備してほしい。（提言）
50歳代	男性	3才以下の子供を持つ家庭への補助を手厚くしてほしい。
50歳代	女性	子育て支援に関して、盛岡には病児保育園のような共働きで仕事が休めないとき（子どもが病気等の場合）保育してくれる支援園を保育士資格のある方達の登録制を利用しながら、公として考えてはどうでしょう。
50歳代	女性	出産・育児休暇のように、子どもが病気の時にも休めるような体制を整えてほしい。
70歳以上	男性	少子化対策として、子育て環境の整備を推進すべき。
70歳以上	男性	少子化の問題について、子の視点、親の視点に立った考えが取り入れられるようになってほしい。
40歳代	男性	少子高齢化が著しく、少子化に歯止めをかけ、少しずつでも子供の数が増えていく対策を考えるべきである。

性別	年齢	提言内容
30歳代	男性	誰もが安心して、子供を生み育てられるような、子供や老人、弱者が大切にされるような社会を実現してほしい。
60歳代	男性	保育所が不足している。もっと充実して若者が安心して働ける環境を望む。
60歳代	女性	街全体がさびしい気がする。産業面でも経済的にも元気がほしい。そのためにもまず少子化対策に力を入れていただきたい。
50歳代	女性	核家族が増加し、育児の悩みを相談できない母親には0歳児から3歳児の子育てコミュニティを支援してほしい。
30歳代	男性	少子化が進む中、子育てに楽しさと経済的なゆとり、そして、若い親たちが共に語り合いながら子供を育てる環境づくりが大切であり、子供の育成こそ盛岡の街が大きく発展する、礎となると思う。
70歳以上	女性	少子化の問題が大きい。子供達が自由に見る、聞く、話す、遊ぶ、施設が身近に少ない。
50歳代	男性	少子化対策の重点推進、子を産んで働ける環境づくり、土・日含む夜の保育など。
60歳代	男性	少子高齢化への対応として、子育てへの補助、バリアフリーを推進すべき。
60歳代	男性	少子高齢化社会に対応した施策を進めてほしい。
60歳代	女性	障害（児）者をもった親が親亡きあとも残された子が市民として、安心して生活をおくることが出来る福祉社会を充実して欲しい。（弱者にやさしいまちづくりをしてほしい）
50歳代	女性	障害のある人が安心して暮らしていけるまちづくりに配慮していただきたい。例えば小学校の余裕教室を、障害者の働く場所に開放することを期待していたのですが、「余裕教室活用基本方針」によって不可能になるなど大変がっかりしている。文科省が教室の多方面の活用を促進しているのに盛岡市の姿勢は、国より後向きだと感じる。
50歳代	男性	盛岡市南部（都南・矢巾）地区に精神障害者生活支援センターを設置してほしい。
40歳代	男性	盛岡市には障害を持っている方たちが安心して通える通所の施設、作業所の数がとても不足している。しらかき学園の定員増を行うようだが、養護学校に通っている子の親たちは皆、大きな不安の中で日々暮らしている。作業所への補助等も含め、真剣に対策を考えてほしい。直接の担当者は実態もよくわかって、とても一生懸命で、悩みも共有してくれるが、それを吸い上げてくれるシステムと市の方針が見えない。
70歳以上	男性	障害者が安心して暮らせるまちへの施策をしてほしい。
50歳代	男性	障害者通所施設やグループホームの拡充・ノーマライゼーションに対応したまちづくりを進めるべき。
50歳代	男性	精神障害者の自立支援（福祉ホーム及び設置の予算化）をしてほしい。
30歳代	男性	町に洋式トイレが少ないので体の不自由な家族と出かける所が決まっている。せめてホテルには必ず付けるようにしてほしい。（提言）
70歳以上	男性	現在の自然環境を守りつつ高齢化に進行している現状に対応した施設の整備に力を注いでほしい。
40歳代	女性	高齢者にとって住みやすい町、高齢者が健康で長生きできるまちづくりが必要だ。よって健康増進センターがほしい。
40歳代	男性	施設整備の検討よりもシステムの検討が必要と思われる。特に医療、教育面について、盛岡市独自の利用者の立場になったシステム向上が望まれる。
60歳代	男性	児童、高齢福祉施設の充実。
70歳以上	男性	住民の話し合いの場となるコミュニティーセンター、既存の医療機関の充実、活動センター児童福祉センターなど社会教育施設の整備充実が少しでも図られることを望む。
60歳代	男性	少子高齢化の進展に伴い、早急に福祉関係施設の増強を図ると共に、介護医療の研究施設を設置し、保健医療福祉の充実した都市を目指してほしい。
70歳以上	男性	世代間交流のためにも、老人福祉施設等の設置の際に、保育園・幼稚園等に近接した場所を選ぶなどの配慮も必要と思う。
70歳以上	男性	福祉関係施設を増設し、高齢者が安心して暮らす事が出来るようにしてもらいたい。
50歳代	女性	目で見て素晴らしい施設を建てるのではなく、人を育てる福祉関係施設を建ててほしい。
60歳代	男性	乙部地区に、児童センター等の交流施設の充実を望む。
70歳以上	男性	高齢化について、核家族化で在宅サービスでは限度があり、福祉施設の整備が急務である。
40歳代	女性	自転車を通えるところにリタイア後の人の健康づくりのできる施設が必要だ。

性別	年齢	提言内容
40歳代	男性	福祉においては例えばIT化に伴い、データ管理などをきめ細かく行い、サービスも年齢層によって厚みを変えるくらいの決断が必要であろう。
60歳代	男性	福祉関係施設も急務であるが、市単独では手に負えない。民間や各種法人が取り掛かれる体制を作してほしい。
70歳以上	男性	福祉施設などを整備すべき。「健康願望」こそが、少子高齢化の進む今世紀最大の課題だ。
60歳代	男性	福祉施設の整備・充実について、諸福祉施設の劣悪化がかなりひどい。中心整備だけでなく民間諸施設の整備にも力をそそいでほしい。
70歳以上	男性	保健福祉・医療の環境整備を優先し住み良いまちづくりを推進して頂きたい。
50歳代	男性	北部地区（松園等）への総合福祉施設を設置（県の「ふれあいランド岩手」（都南地区）的施設）してほしい。
70歳以上	男性	老人施設と幼保施設の併設を望む。
60歳代	男性	「生涯を通じた健康づくり」に取り組める保健医療サービス、福祉サービスの施設を望む。
40歳代	男性	高齢者や障害者が集えるまちづくり。
40歳代	男性	子供が安心して暮らせるまちづくり。
50歳代	女性	高齢者、子供が安心して暮らせる町をみざしてほしい。
50歳代	女性	子供達や、年配の方々へやさしい街は、全ての市民にやさしく住み良い街だと思う。今こそ将来へ向けた絶好のチャンスだ。
70歳以上	男性	少子、高齢化に対して福祉、医療の充実をはかる。
50歳代	男性	障害者や高齢者が住みやすいまちづくりについて、公共施設や市街地のバリアフリー化（ユニバーサルデザイン化）を進めるべき。
70歳以上	男性	他都市と比較して、大きく福祉の視点が欠落している。
50歳代	男性	保健福祉・医療の充実を進めるべき。どの年代に取っても差別のない社会の仕組みが必要だ。保健・福祉には必ずしも効率性を追求すべきではない。行政の手厚い保護が必要だ。
70歳以上	男性	「心の育成」と呼ばれる今日、環境美化、お年寄りとの交流を通し地域の中で深める事の大切さを伝える事が大切だ。私達地域の者としてもいろいろな活動を通し「思いやる心」、「豊かな心」を育てたい。若いお父さんお母さん方の教育も必要だ。
60歳代	男性	一町内に一公民館を町内の実情に合わせて計画策定して頂きたい。
70歳以上	男性	公民館等の施設がない地域において、児童数の減少による学校施設の一部活用が地域として貴重なスペースであり、まちづくりの核となるコミュニティ発展の場として非常に重要な位置を占めている。基本的には行政が中心となっていく必要があるが、管理、運営等については、自治体の財政上の問題や地域住民の立場に立った活用が求められることから、地域のコミュニティ団体の協力を求める必要がある。
60歳代	男性	公民館の老朽化を改善、改築してほしい。
30歳代	男性	これからも進む高齢化社会の中で支援を必要としている方々に身近な地域で支援しあえる自治会組織等をどう育成していくか、「地域のあり方」を積極的に考えていくことが必要と思う。
70歳以上	男性	最近、近所付き合いが行われなくなってきている。リタイア後、近所付き合いがスムーズにやっつけられるか心配である。このようなことのないよう工夫してほしい。
70歳以上	男性	市勢発展のためには、市政は地域のために、地域は地域住民に積極的に活動をさせること。地域の会長を市長が委託し、地域の問題を解決すること。地域のきれいなまちづくり委員、地区担当員、民政委員等も地区会長が任命するべきである。
70歳以上	男性	社会福祉の充実と町内会活動の活性化を促していただきたい。
50歳代	女性	人的資源にボランティア活動をどんどん活用してほしい。そのリーダーはNPO法人があるが、他にも行政はリードしてほしい。ボランティアとして何か社会に関わりながら貢献したいと考えるが、一番最初に接する人である市の職員や法人の職員の意識が低く、民間の活力がうまく生きていかないように思う。行政職にある人たちの意欲的な姿勢がほしい。
50歳代	女性	誰もが安心して住める地域にしたいと社会活動参加している人が沢山いる。行政だけで何でも請け負うのは不可能だ。
60歳代	男性	地域向上のための指導的立場にある町内会会長にも僅かでも手当を出すべきであると思う。
70歳以上	男性	地域の連帯感のあるまちづくりのための人々の意識改革の施策をしてほしい。

60歳代	男性	地域福祉にもっと力を入れ、住民全てがこの地を終生の地として選んでよかったと思ってもらえるようなまちづくりの実現をめざしたい。
------	----	--

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	小さな都市でよいが、隣人とのコミュニケーションがしっかりした心の通う街でありたい。
70歳以上	男性	町内会を性格付けて強化してほしい。
50歳代	女性	町の中に住宅街があっても、地域の子供達がボール投げをしたり、小さな子供達が安心して外で遊ぶ場所が無いと常を感じている。
70歳以上	男性	マンションの増加によって、住民間の意志の疎通が芳しくなく、町内の行事には殆ど出席せず、危機管理に不安が多く心配される。
70歳以上	男性	マンションは都心部のドーナツ化防止に役立っているが近隣との融合に欠ける面が大きな問題となってきた。その問題解決に行政が積極的に取り組むべき。
40歳代	女性	もっと一人ひとりが住みやすい地域作りに力を入れてほしい。
70歳以上	男性	一人暮らし及び高齢者世帯が激増している中で、事業としての対応も必要だが、地域として（隣組）共助する気運を高め支援する取り組みが大切でないか。
70歳以上	女性	各町内で福祉活動に取り組んでいると思われるが、その実態を調査し行政の中で多少なりとも支援できないものか。
50歳代	女性	学校教育が変わり、子どもたちが地域に戻ってきつつあるが、受け皿である地域が心許ない。自分自身も含めて、もっと地元に向け、何が必要で、何が出来るか、考えてみたい。
40歳代	女性	限られた予算を有効に使うために、町内の活性化をもっと充実させた方がよい。行政に文句を言う前に自分達の町内としての力の結集が大切である。そして、近隣の町内とのネットワークの充実も大切だ。市の職員の方々ももっと地元の力となるべきではないか。
50歳代	男性	市民一人ひとりの自分達のまちをどの様にしたいかと云う意識。町内会から、子供会から、ボランティア参加、市民総参加型まちづくりにあると思う。市民が参加できる施策の展開を期待する。
60歳代	男性	自分たちの住んでいる地域に誇りをもち自発的に地域を大切に、地域の環境を守ろうとする運動をもちあげる拠点づくりを考えたい。
50歳代	女性	住民が自分達の地域にもっと関心を持つことが必要で、そのためには、行政側からの支援や工夫も必要な状況がある。住民の意識の向上で各地域が活性化し（世代を越えて）、地域が繋がっていく仕組みを整えていくことで市全体が良くなっていくと思う。
50歳代	男性	住民参加が出来る行政システム施策を実行する。例えば、松園地区で住民が児童公園を改修した例は、これからのあり方を示している。小さな道路の補修や地域の児童館（小さなもの）の建築などを地域住民の労働によって行っていく、材料費などは市財政から支出するが、その他は地域住民の主体的な活動にゆだねる。
50歳代	女性	少子、高齢化、行財政の健全化を計るためにも市民の力を積極的に掘り起し、活用することが地域の活性化、よりよいまちづくりにつながると思う。
40歳代	男性	人と人との結びつきを大切にしていきたいし、そんな盛岡であってほしい。盛岡はどんな町と聞かれて自信をもって盛岡は の町ですと応えられるようにしていきたい。
50歳代	男性	地域コミュニティを日常的な行動（徒歩で15～30分のエリア）単位で構築した計画の策定。
50歳代	女性	地域で活動しているNPO、コミュニティ・ビジネス、団体等の実態を把握し、まちづくり計画策定、推進時に積極的に活用する。
70歳以上	女性	地域の福祉活動とは何をすることなのか。地域の事情によって活動内容も様々あると思うが、補助をもらうための報告書を提出するために係わった人間の功績として残すためのものにしか受け止められない。
50歳代	女性	地域活動できる体制作りに力を入れてほしい。
60歳代	男性	町内のふれあいが必要、特に旧町内には小公園、小集会場が全くない町内が多い。
50歳代	男性	町内会などの地域活動は市街地周辺では幾らか取り組みは見られるが、中心部ではあまり見られない。ボランティアなど市民運動も殆ど見受けられない感じがする。
50歳代	女性	町内会のような身近な人々のつながりを大切にする都市にしたい。
70歳以上	男性	町内会自治活動は大切だが、行政・関連諸団体の下請け的存在に猥小化しつつある。自主的活動、他からの（役所団体）押しつけ、要求はやめるべき。高齢化はするし、繁忙さから、やり手はいない。
70歳以上	女性	都市の魅力を高めるためには、まずひとりひとりの意識改革が重要だ。地域活動の一端として継続していくのもいいのではないか。

性別	年齢	提 言 内 容
50歳代	男性	利便性のみを追ったまちづくりは必ずしも理想的な地域社会となっていない。地域づくりの基本は地域コミュニティの構造が基本でまちづくりのプロセスが大切（ポイント）である。
60歳代	男性	盛岡の最大の強味は、水と緑と自然のバランスを持っていること。それを豊かにしていくこと、岩手全体の水と緑の深く豊かな自然資産と結びつけていくこと。それを支える市民の間のボランティアグループ活動を盛んにしていくことが必要である。（提言）

## 2 提言の内容 ( 市政全般について)

### 【数多く提言された意見】

- ・大規模な箱もの施設の建設は凍結すべき。
- ・財政の健全化。
- ・市職員の定数及び給与を下げるべき。(民間並に)
- ・市職員の意識改革。

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	「行政が何かをしてくる。」から「住民自らが地域の将来を考え、何を出来るかを考え、行う。」こういう意識の変化を促す、柔軟な対応、施策が市役所に求められると思う。
50歳代	女性	赤字財政で箱もの作りは不必要と思われる。
60歳代	男性	依存型社会から自立型社会に意識改革をしていく必要があり、その先頭に立って行動を起こすのは公務員(国家、地方全て)である。
60歳代	男性	行財政の健全化を基本に考え、広域合併を積極的に進める為に現在の市庁舎の移転を進める事。
60歳代	男性	行政のスリム化、効率化、スピード化を進め可能な限り民間委託にまわしてほしい。
60歳代	男性	行政は規制や制限をあまりやるべきでない。
70歳以上	男性	行政は民間活力が大いに発揮できるような手続きや仕組みの簡便化、対処方法の指導、最低限必要な基盤整備を行い、自前での箱物を作らずその道筋だけをはっきりと示すことが大切なことであると思う。
70歳以上	男性	健全財政の堅持と住民所得増の政策が重要である。
50歳代	男性	公共事業の不要論が闊歩しているが、必要不可欠な基盤整備は財政のゆるす範囲で実施すべき。
50歳代	男性	公共施設の拡充は建物で終わらない。維持、運営経費がその後かさみ恒常的な赤字を生み、結果的に税金投入となる。
70歳以上	男性	ゴミの収集も外部委託をすれば、経費の削減と雇用の増が期待できるし、その職員は増員の必要な他部門に配置した方がよい。
60歳代	女性	さまざまな委員会の委員等は、ほとんどが組織の代表などが、いわゆる当て職で、ひとりでいくつもの委員を兼ねていることが多いように思われる。このようなことではなく、問題によっては、地域を区切って代表を出すとか、公募を多くするとか、もっと広く人材を集め、多くの人の意見が行政に反映されるようにしてほしい。
70歳以上	男性	市行政の各所管業務が不明確化である。責任分担化が不明瞭である。
60歳代	男性	事業の見直しをし、財政の健全化を進める。
70歳以上	男性	市財政の赤字額は市議会議員の報告で2800億円とのことであるが、これ以上の市勢の発展を図るために、赤字財政の減額を計るべきである。
70歳以上	男性	市の財政健全化を考えてほしい。
50歳代	男性	市の施設の管理・運営を(シルバー)ボランティアに一切まかせ、市は管理・統制に委ねるべきでそれによって経費を削減し、活力ある施設の運営を計るべきである。
60歳代	男性	市の未回収金を市職員が立替払いしてほしい。
40歳代	男性	市民が豊かになるには盛岡市が豊かでなければならぬと思う。そのため現在の市政の再点検が必要である。
70歳以上	男性	少子、高齢化の進むなか、行財政の健全化をしっかりとやってほしい。
70歳以上	男性	将来は周辺との合併問題が提起されると思うが、いわゆる箱物施設が赤字財政の温床となるならば控えるべきである。
40歳代	女性	人口の増加や施設の建設だけが都市の発展に結びつくとは思わない。公務員の資質や市民のプライドを高めるような外面的なものではない内側からの意識の改革が望まれる。

60歳代	男性	すべてのものを新しい価値観で見直すことが必要だ。そのためには民間の活力を大いに利用すべきだと思う。
------	----	---

性別	年齢	提言内容
60歳代	男性	組織の見直しや施設の委託、一般市民を入れた検討委員会などの設置などの改革が必要である。
50歳代	男性	土建行政はやめるべき。
70歳以上	男性	何をしても、お金がないでは困る。1日も早く健全財政になるよう願う。
40歳代	男性	必要のない公共事業の見直しを行っていただきたい。
70歳以上	男性	補助金、報償金、政策を止め、民間的発想を取り入れること。
70歳以上	男性	増田知事と連携し、三位一体の改革に取り組んでほしい。県は岩手、市は盛岡と言われるような構造改革の先頭をきった行動をしてほしい。
40歳代	男性	メインになる重点項目を提示しそれに向けて市政を行うとよいのではないか。
70歳以上	男性	盛岡市における財政の健全性に考慮すべきである。従来の財政支出を見直し、市民が現在最も望んでいる点は何にかを検討し予算の重点配分をすべきである。民間感覚の財政収支に重点を置き、一つの事業について損益計算すべき。赤字と思われる事業、例えば動物園等についても根本的に検討すべきではないか。自分の会社経営という観点を持ちうるべきと思う。
50歳代	男性	盛岡市の将来を見据えた財政事情を踏まえ、市の発展のため、ビジョンをなぜ示さないのか。
60歳代	男性	盛岡市の深刻な財政状況は、国のいいなりとなって進めてきた大型公共事業にある。こうした大型公共事業をそのまま進めるのではなく、税金の使い道を雇用、福祉、教育優先の市政へと改めることである。
60歳代	男性	盛岡市はあまりにも施設建設が多く維持、管理に多大の経費が必要と思われる。今日は、既設の施設を利用し財政状況が良くなるまで我慢する必要がある。
50歳代	男性	利用施設の有効活用を計り、借金を減らすことに専念すべきと考える。
70歳以上	男性	維持費のかかる箱物（施設）は県と情報交換し重複をさけること。重複施設は廃止方向に持って行くこと。
60歳代	男性	一度決めた事を変えない硬直した行政を改善すべき。今、日本や岩手県は総見直しを行っている現状なのに盛岡市はいまだにその姿が見えない。市は小さなことから総べてに対し、見直しを行い、財政健全化の努力が必要とされている。市民の考え方を変えるリーダー的行政を求める。
50歳代	男性	各部門の素速い対応、新しい感覚、職員1人1ボランティアの実施。
70歳以上	男性	既存施設の利用者（観光・入館者など）に長い時間居てもらうためには何をし、何を設置しなければならないかを考え、速やかに実施する。そのため市民に受け入れられない規則は、変更や撤廃することになるかも知れない。何事も果敢に実施しなければ、相乗効果も発展も望めない。
60歳代	男性	経常収支比率が9割の財政状況のもと効果的な企画運用が望まれる。目的別施設である箱物（建物）は不要である。
50歳代	男性	建物建設ばかりで、経費がかかり住民にサービスが行き渡っていない。
40歳代	女性	現在の市勢はあまりにも硬直化している。「箱モノ」ではなく「市職員のキメ細かな動き」「人の動き」を市民は求めている。
70歳以上	男性	行財政の健全化を計り市民重視型の都市づくりに専念してほしい。
40歳代	女性	行政が身近な存在であるべきだ。合併前の都南村役場はそうだった。
60歳代	男性	行政のみを見れば、青山新駅に見られるように組織の縦割意識が垣間見られる。
70歳以上	男性	行政は住民に対して目標と基本的な対策を提起し、その達成について住民と共に考え、対策を打ち出していくことが必要だと思う。行政がもっと住民と多く接し、共に考える活動を誘導していく体制が求められる。
50歳代	男性	行政改革（職員の意識）を推進してほしい。
50歳代	男性	財政の健全化を図る。市政の活性化を図る。
70歳以上	男性	財政基盤を確立すべき。
不明	不明	財政事情等を考慮した場合、既存の箱物についての存続について、投資対効果の検証も必要ではないか。
50歳代	男性	財政的に苦しい時代だから、あるものを最大限利用することしか方法はない。
60歳代	男性	市の財政が厳しいおり、新たなプランニングの為の民間人導入のプロジェクトチームを編成し活力ある盛岡市になって欲しい。
70歳以上	男性	市財政の健全化に配慮した経済活動に力点をのいた運営を大いに期待したい。
60歳代	男性	市首脳部は、職員組合の顔色ばかり見ている、積極性が無い感じを受ける。また、職員にも、良いアイデアを出し、盛岡市を全国にほこれる都市にしようとする意気込みが見えない。
70歳以上	男性	市政の透明化を求める。（特に人事・財政について）
40歳代	男性	市民への情報提供と市民の声を聴く場の設定に努めるべきである。

性別	年齢	提言内容
70歳以上	男性	市民意識の变革も含めて、行政の在り方についても大きく転換すべき。パイプの詰まった市民参加、理解できない行政施策の推進など、容易に将来を展望することはむずかしい。しかし、県内をリードする盛岡でありたい。
50歳代	男性	盛岡市が発展（人口増や市民所得の上昇をさすのではない。）するには市民の在り方、意識が市民の心の内から出て来る事が最も大切だと思う。今、行政マンにプロデューサーの役割が求められている。
70歳以上	男性	盛岡市の執行体制は、旧態で現代に相応していない。産業部はマンモス機構で積極性は見られない。地場産業振興のためには、第一次産業は独立機構とし、観光・商工の第2次第3次産業は観光商工部（仮称）とし、積極性を発揮できる機構とすべきである。
60歳代	男性	税金に見合った緊縮予算の執行を行い、健全な財政運営を行う。
60歳代	男性	天下りのセンター施設はいらない。
60歳代	女性	動物公園やマリオス等の様に不便で経費のかかるものは、現社会においては、見直すべきである。
60歳代	男性	同じようなホール、会館を県と市が別々に建築し、利用率の悪化を図り赤字分は税金を利用されては困る。
40歳代	男性	不必要なもの、過ちと気付いたものを阻止できる、自浄能力を持つべきだ。
50歳代	男性	福祉・教育予算を増加すべき。
70歳以上	男性	保健福祉部はマンモス機構である。今日の福祉時代に責任体制が巨大化し、機能していない。例えば市立病院・保育所等は公営企業にして独立させ、福祉行政は単一にすべきである。
70歳以上	男性	北東北を意識した行政の意識改革をすべき。
50歳代	男性	民間の活力を導入をする。（市立病院、ゴミ収集等）
50歳代	男性	無機質な施設（公民館等）は現地に委ねる。
70歳以上	男性	予算の用途は全部0にして再構築する等の抜本の見直しが必要である。予算は市役所の仕事のために使うのではなく市民が必要としているものに使うという原点に帰って考えて欲しい。税金が上る時代と下る時代では考え方を考える必要がある。
50歳代	男性	観光振興に予算面も含めもっと重点を置くべき。（提言）
30歳代	男性	民間で可能なものは、行政の財産を使うことなく、官民一体化を目指すべき。（提言）
50歳代	男性	公務員の所得は、その地区の平均所得にしてはどうか。（提言）
50歳代	男性	市民自らが主体的に関わりがもてるシステムをつくる必要がある。アンケートや地域懇談会だけでは行政と市民の溝は埋まらない。（提言）
50歳代	男性	町内会等に依存しない施策を望む。（提言）
50歳代	男性	「仕事をしない盛岡市職員」のイメージを払拭するための改革を速やかに実施すべきである。
70歳以上	男性	「隗より始めよ」ということわざがあるが、議会改革から始めたい。他市町村にさきがけ、議員を半数にしたい。
60歳代	男性	行財政の健全化として、職員、市議会議員の定数を削減すべき。
20歳代	女性	この街を自慢できる様に変える努力をしてもらいたい。
60歳代	男性	市職員の活性化。難関を突破し、職員になったわりには首をひねりたくなるような職員がいる。
70歳以上	男性	市は、デスクワークだけでなく実際的な問題解決の能力をもった職員を養成し、職場での活動に当らせることが望まれる。法律、条例などのきまりのみに従った問題解決姿勢では住民と一緒にまちづくりは難しい。
70歳以上	男性	市民に対する職員の対応改善が必要である。最近、あまりにも職員態度が横柄である。市民に対する指導力に欠けている。
50歳代	男性	市役所職員の企画力とやる気のアップ、まちづくりを住民と共に考え議論する必要がある。
50歳代	男性	職員に必要以上の俸給を与えていないか、明確に分析すべき。
60歳代	男性	盛岡市職員の意識改革。（公僕精神不足）
20歳代	女性	公務員の給料を減らし、その分を街のために使って頂きたい。
70歳以上	男性	財政が逼迫しており職員の意識改革、民間の発想を取り入れた財政運営が必要である。
60歳代	男性	市が多額の借金をしながら市職員は中小企業の給料、年金の倍をもらい、税金額を支払わない者からは回収しようとしなさい。
40歳代	男性	市職員の給与水準が高い。

性別	年齢	提言内容
60歳代	男性	市の財政建て直しを急ぐべきである。まず市職員を減らし、給料を下げ、民間をもっと見習う必要がある。
50歳代	男性	市の職員は親切な人が多いのでこれからも市民サービスにがんばっていただきたい。
70歳以上	男性	市会議員の定数を少なくする。
60歳代	女性	市職員の給与は民間企業並みにすべき。(高すぎる)
60歳代	男性	市職員給与が高い割にサービスは悪い。盛岡市役所は労働組合が強いという方々は誠に時代錯誤である。即ちすべての面でコストが高い市役所経営が、発展を妨げている。
60歳代	男性	市職員諸氏の市民対応の評判の悪さも一考に値する。
40歳代	女性	児童センターも学区ごとにあるようだが、職員の適性や指導力などの向上が望まれる。
70歳以上	男性	職員の資質の向上に留意すべきである。職員の中には依然としてぬるま湯に付いている感が見られる。盛岡市の活性化は職員の意識改革が必要。
70歳以上	男性	職員は地域活動にも積極的に参加すべきである。
50歳代	女性	盛岡は人情深く印象がよいと外部の方は言う。そのためにも市職の皆さんの職員教育を望む。のんびんダラリと仕事をしている人はいないだろうか。
60歳代	男性	盛岡市として職員のサービス残業をなくし、雇用を創出すること。職員の労働強化解消、労働時間短縮などにより雇用の拡大をすべきである。
50歳代	男性	盛岡市は恵まれすぎている。そのうえに市職員が安住するようなことがあってはならない。勇気をもってまず市職員の意識を変革してほしい。
50歳代	女性	「まちづくり」は「ひとづくり」という視点が大切と思う。
50歳代	女性	「みちのくの小京都」というキャッチフレーズではなく、盛岡独自の特色を出してほしい。
50歳代	男性	「住の盛岡」、「文化の盛岡」として身の回りの施策を徹底して進めるべき。
50歳代	男性	「水」と「森」のイメージを強調するまちづくりを目指すべき。
40歳代	男性	「発展」、「都市の魅力を高めていく」ことが望ましいことだ。という価値観そのものに違和感を持つ。大きくなること、強くなること、速くなること、富むこと、そして便利になることを社会全体が求めてきているが、その結果として自分たちは何を手に入れ、そして何を失ったか？弱いもの、遅いものを否定し、排除することが結果として行われ、自然が奪われ、社会的弱者(老人、子ども、障害者、病人等)が増え苦しみ、肩身のせまい思いで生活をせざるをえなくなる。こういう視点で今の盛岡市を見てほしい。
40歳代	男性	100年後の岩手県の人口予測が40万人と言われている。盛岡市の人口は、多く見ても15万人位になると思うので、コンパクトな住み良いまちづくりを望む。
40歳代	男性	20年前に比べると道路、施設、大型店舗等目をみはるくらいの発展がある。山や川の自然を大切にし、ゆっくり時間の流れる街、盛岡であってほしい。
60歳代	男性	新しい盛岡は、東高西低のまちづくりからバランスあるまちづくりを進めてほしい。
60歳代	女性	今、盛南開発で駅西口が整備発展しているが、昔からの商業地はさびれる一方だ。物事に盛衰はつきものだが、昔からの地区にも何らかの配慮が欲しい。
40歳代	男性	大きくなることのみ思考するのではなく、こまわりのきく市勢を望む。
50歳代	女性	大きな建築物造りに公費を費やし、本当に市民一人一人に必要な教育、福祉の予算を削減してしまう傾向がある。将来の盛岡づくりに有能な人材は欠かすことのできない条件ではないでしょうか。
50歳代	男性	環境をテーマとした都市づくりを目指してほしい。
70歳以上	男性	広域的行政のなかで、産、学、住の均衡とれた基本的な特性を踏まえた都市づくりを推進すべき。
70歳以上	男性	今後、ITの進んだまちづくりが必然になると思われるが、盛岡の特色を生かした水と緑の自然環境と古い歴史を残したまちづくりを忘れないで事業を進めることを望む。
70歳以上	男性	市域全体に行き届いたきめ細かい施策を願う。
40歳代	男性	市勢の発展は、誰のためにあるのかを常に念頭においていただきたい。他に誇るべきことは、そこに住み、暮らす人々が充実していることであり、自然と共存した生き方ができるかである。時代がどのようになるろうとも、このことを見失わないようお願いしたい。
40歳代	男性	施設整備に頼らずに将来像を実現することを考えてみてはいかがか。
50歳代	男性	自然に無理せず、住んでいる人が楽しめるまち。

50歳代	女性	自然の豊かさを生かした若年層が誇りに思える文化都市にしていきたい。
------	----	-----------------------------------

性別	年齢	提言内容
60歳代	男性	市内中心部の商業活動が低下しているのではないかと。郊外の大型店もよいが、市内には盛岡城（岩手公園）中津川と環境がよいので、行ってみたいという気持ちをもてる中心部の発展を期待する。
60歳代	男性	市の施策は近代化と古き良き盛岡伝承を盛岡の未来づくりの両輪としてとらえてやってほしい。
50歳代	男性	住民にわかりやすい事業（参加できる）を推進すべき。
50歳代	男性	少子、高齢化社会に向けた施策、地球温暖化、省エネに向けた地域社会づくり、交通の利便性をとり入れた観光レジャーこの3つの柱で30万都市の自立を目指す。
70歳以上	男性	新幹線・高速道が他都市より早く整ったのに、その優位性を生かしていない。
50歳代	男性	人口が増えるという事は経済的には効果をあげるが、それにともなって、道路や上下水道などの基盤整備の拡大も必要になってくる。盛岡市の場合、脱マイカー政策の一つとしてオムニバス構想は評価出来る。こうした将来を見ずえたきめ細かい政策はむしろ30万～50万都市の方が挑戦しやすいと思う。「大きい事」がよい時代は終わった。
60歳代	男性	すでに設定されている『盛岡南新都市の将来像』に、限りなく接近する盛岡市の構想を提示してもらいたい。
50歳代	男性	スポーツ、文化、芸術、産業、教育、・・・何かに日本一レベルでひきつけるものが必要と思われる。盛岡は西、北、東の三方を山にかこまれた自然豊かな地でありながら、平地都市の魅力（教育文化、住みやすさ等）を兼ね備えているので、心豊かな都市として全国No1を目指すことが可能に思う。
60歳代	男性	税負担に見合った目に見えるまちづくりを望みたい。
50歳代	女性	建物とか道路等のハード面よりもソフト面（内容）の充実が大切ではないか。
60歳代	男性	地方にあってスケールの大きい都市を目指してほしい。行政の単位が小さ過ぎるのが問題と考える。
70歳以上	男性	道徳や秩序のあるまちづくりを目指してほしい。
30歳代	男性	都市開発を重点に、人が街に住み、子供を育て、そして、盛岡の地で働き、地域を大切に、人とふれ合いながら、暮らし、医療設備の整った環境の中、老後を楽しく過ごす事が、出来るまちづくりを進めて頂きたい。
50歳代	男性	南北格差が目立つ。20年以上要望を放置している一方、盛南開発等への対応が重点化されている。住民1人当たりの投資効果を示すべきだ。
40歳代	男性	古いものを大切にすることと、新しいものを取り入れていくということを整合性に考慮しながら進めて頂きたいと思う。
60歳代	男性	まちづくりはそれぞれ広範な地域で自由に発想し地域性を生かした活動や建築を進めるべきである。
70歳以上	男性	水と緑などの美しく豊かな自然を生かした「健康増進の都市」が盛岡のあるべき姿かと考える。
50歳代	男性	もっと広域生活圏の中心都市として、また県都として、躍動感のある元気な街にする必要あり。
50歳代	女性	盛岡市の場合、他の東北各県庁所在地と比較し、表面だけを追求した薄っぺらさを感じる。経済力、生活力、生産力などもう一つ実力がほしい。
50歳代	男性	盛岡市は、交通の結節点である特性を活かし、消費都市、文化都市を目指すべきである。
50歳代	男性	盛岡市は県都として市民が誇れる都市造りを目指すべきである。
60歳代	男性	盛岡市は仙台や大都市と比べる必要がないので独自の地方都市のあり方を求めれば良い。
70歳以上	男性	盛岡市は地理的条件から考えても、北東北の拠点としての頭脳・デスクワークの集積を図るべきであり、同時に盛岡広域都市圏の核としての機能を合わせ持つ必要がある。
40歳代	男性	盛岡に住んでいて、不満はないが、それ以上のものもないような気がする。合併の話が出るたびに周辺の市町村から良い話があり出ないのもその辺りと関係があるのではないかと。
不明	不明	盛岡の歴史、文化、自然環境等の資源をPRすべく、予算を振り向け、箱物は今後一切造る必要はないと考える。
70歳以上	男性	盛岡市発展のための施策が速度をもって積極的に進められることを切望する。
60歳代	男性	安全な街、安心な街、心なごむ街、これを盛岡のまちづくりの基本におきたい。
70歳以上	男性	一人ひとりの人間を大切に人情豊かなまちづくりを推進すべき。
60歳代	男性	快適な生活環境の提供は今後の市政を進める上で、大きな課題であると思われる。

性別	年齢	提言内容
60歳代	男性	まちづくりの基本は、定住できる環境をつくることだ。これからの家族構成を考える時、郊外型志向から都心型に人の意識は変わると思う。
50歳代	男性	街造りは、住民が我が街と誇れることを基本とすべきである。
70歳以上	男性	環境・福祉・教育の施策について、長・中・近期中で、個別にストーリー化した計画を公表し実行すべきである。
60歳代	男性	旧盛岡と都南地区の様々な実施の方法が、一本化が望ましい(例) 公民館(自治)と町内会等名称の違い。ごみ集積場の違い(旧市は不衛生、景観が良くない)。下水道の早期実現をのぞむ。
50歳代	女性	教育、福祉を充実させることを優先させることにより、住みたい人間が集まるのではないか。
60歳代	男性	教育・研究機関、病院、福祉施設、リクレーション地域、郊外ショッピング地域等の地域化、ゾーン化をし、これらを結ぶ交通体系の整備をしてほしい。
60歳代	男性	近い将来の盛岡を考えると、住環境、雇用、教育、医療福祉、産業の環境バランスが充実されて進まなければならないと思う。
70歳以上	男性	建物だけでなく、市民のかゆい所、痛いところに手をさしのべる市政であってほしい。
40歳代	男性	古い街並がある半面、時代をリードするそんな「人に優しい」街を目指してほしい。
70歳以上	男性	行政経済、教育医療福祉等の都市サービス機能が見えながらも歴史や文化が息づく創造性豊かな街を目指し、3つの河で形づくった、地形の特徴を生かしたまちづくりを目指すべきである。
60歳代	男性	財政の自立と予算執行に努め、市民が安全で快適な生活環境で暮らせる都市を目指すべき。
50歳代	男性	産業優先ではなく、今ある強みを大きく伸ばすべき。まずは今住んでいる市民の満足度を高め、市民であることの誇りを持ってもらうことにより、自然と参画意識が芽生え、人口移転(流入)という好循環も生まれてくると思う。
70歳以上	男性	市が豊かな自然環境や由緒ある歴史的環境の保全に努めながら、21世紀にふさわしい機能的で魅力ある都市づくりに鋭意取り組んでいることに敬意を表すると共に、今後ともそのための積極的な諸施策をお願いしたい。
50歳代	男性	市民が住みよい町、心豊かなくらしが出来る町と観光都市としての機能を持つという、市民にも、観光客にも魅力あるまちづくりを。
40歳代	女性	市民レベルの活動を応援、支える市政であって欲しい。野の花美術館、映画館通り、文土劇などすばらしい活動が根づいている。
40歳代	男性	志波城跡、自転車道などは、単発の開発という気がして、残念だ。1つ1つの開発が、総合的に結びつくものであって欲しい。
60歳代	男性	自然に恵まれた環境を一層整備し、学都として若者を全国から集める工夫も必要である。
50歳代	男性	自然資源(水、緑等)文化、産業資源が豊富にあり、もっと有効に使うべき。
50歳代	男性	若い人から高齢者までのバランスのとれた年齢層が住める様なまちづくり。
70歳以上	男性	将来の人口減、少子高齢化にもとづく、スプロール化等を考慮し、コンパクトな都市づくりを心掛けると同時に、周辺都市部とのコミュニティ等を考えた大都市圏の都市計画における核部分の位置づけが必要である。
50歳代	男性	将来計画の中心を経済的発展ばかりにおくのではなく、住民一人一人の満足度を高める事にシフトする事を望む。車を減らし、交通事故や排ガス公害のない街、福祉・医療の充実(施設を増やすだけではなく安心して暮らせる様ボランティアやNPOを活用する充実策)一度は住んでみたい街をつくり上げる。
70歳以上	男性	新たな箱物の整備は利害関係にある一部の人たちを除いては、決して盛岡市民は望んでいないと思う。それよりも現在有る施設の機能的な、ソフト面的な充実を望んでいる。
70歳以上	男性	人間が生活するうえで、自然と調和した生活環境が整備され、地域の人々が互いに支え助け合いながら、健康で生きがいをもつことのできるまちづくりを推進すべき。
60歳代	男性	盛岡駅前広場の再整備は今後の盛岡市の発展にとって緊急の課題だと思う。
60歳代	男性	盛岡市のビジョンが見えない。県内他都市、他県都市に比べてアピールするものが見えない。
60歳代	男性	盛岡市は他県の県庁所在市と違い活気がなく暗いイメージがある。これを何とかしなければ都市の魅力は高められないと思う。

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	盛岡市は保安的要素が強い。県と協力しながら北東北の拠点にふさわしいまちづくりを図るべきだ。特に、一体となった文化、研究都市をめざすべきである。
50歳代	女性	盛岡市外から沢山の方が買い物、医療施設等々に安心して来られるよう仙台駅付近のように活気のある街になってほしい。
50歳代	男性	盛南開発の大規模計画だけに目を向けられているように感じられる。見直しの検討、他の事業（社会福祉等）も充実して行くべきと感じられる。
70歳以上	男性	盛南開発や駅西口開発、さらに都南合併に伴う大型公共施設の建設など、最近の市施策は特定地域に偏害したものが多く、バランスを十分配慮した計画づくりと事業展開を望む。
70歳以上	男性	静かで豊かなまちづくりを目指してほしい。
50歳代	女性	税収入の減少により財政事情はきびしいでしょうが、少しの不便はがまんしても、教育、福祉を充実させることにより、住みたい人間が集まるのではないかと。
70歳以上	男性	仙台並みの100万都市にならなくともよいと思う。小じんまりとしていたほうがよい。発展、発展と高望みせず、地味でよい。
60歳代	男性	川と緑と木と街並、バランスのとれたまちづくりとシャッターの閉まることのない夜店頭、商店街、まちの電灯の消えることのない、快適な盛岡市ならではの「まちづくり」に市民すべてが関心を持つべきである。
40歳代	女性	大きなイベント的施設、観光優先の街作りにならないよう願っている。
60歳代	男性	大きな箱物や各種大会の招致のように大上段にふりかざしたのより安く、長続きのする市民参加型の何かを期待出来ると考える。
50歳代	男性	地区毎に特徴のあるゾーン帯、（例えば、医療、福祉、商業、教育〈施設〉、住宅、オフィス街等）を設け、公共（バス）交通機関を張りめぐらせるなど機能は分散しているがまとまりのある街にしていきたい。
60歳代	男性	地方中核都市形成に向けてまちづくりを進める盛岡は大都市（会）を見習う必要はない。
60歳代	男性	田園地帯と自然の共生、レジャーとスポーツ、食・物産、歴史と文化の探訪、伝統まつり、四季折々の花、散策、農業等の体験などふれあいのふるさととして地域の魅力をつくること。また、周辺の観光名所と結ぶ観光もまた新しい盛岡となると考える。
70歳以上	男性	都市の発展は安定した経済基盤の確立が重要であり、市民が安心して納税できるような財政の安定と産業が活性化する為の受入れ態勢を整えてほしい。
50歳代	男性	都市機能の充実ハードではない。重要なのはソフト、市民の意識が高まるような仕掛けが必要である。
50歳代	男性	都市住民の税制負担の軽減や都市計画税を人口密度に比例して軽減措置を図るなど、税負担は平等であるべし原則にとらわれず、都心部住民に対する適切な優遇制度を提案していく必要がある。
50歳代	男性	都市造りは、市民の行動（ニーズ）を基本にすべきである。
不明	不明	冬期の凍結、高齢化等に対応したまちづくりとして商業施設の集中化よりも分散化を促し、寒冷地仕様のまちづくりを推進すべき。
50歳代	男性	道路、上下水道をはじめとするライフラインの利用効率を高めるため、既存ストックの有効活用を図り、拠点ごとの人口密度の目標数値を定めて、具体的に誘導を図る必要がある。
50歳代	男性	特色のある地域づくりをしてほしい。
60歳代	女性	箱物の建造物で人の心をつかんだつもりでいる様なつまらない考えはもたないでほしい。
60歳代	男性	福祉・教育・文化の充実。
50歳代	男性	立地条件、交通インフラ等の優位性を発揮し、北東北の拠点都市としての機能アップに努めるべきである。
60歳代	男性	歴史や文化がいきづく創造性ゆたかなまち。
30歳代	男性	啄木や賢治・中津川や寺町・温泉を生かし観光産業を中心とした経済基盤を持った都市となることを望む。（提言）
40歳代	男性	市民が快適に暮らせるよう、盛岡地域の歴史、文化、環境を大事にする頭をもって、所得や雇用向上のための経済の活性化を図るべき。（提言）
70歳以上	男性	観光、文化のテーマを充実すべき。（提言）
30歳代	男性	歴史あるまちなみや、豊かな自然など盛岡の貴重な資産を生かすことを第一に教えるべきで、行政はその認識が不足しているのではないかと。（提言）
40歳代	男性	自分達の子供が最後には必ずもどってきたいというまちづくりをすすめて欲しい。（提言）

性別	年齢	提言内容
40歳代	男性	歴史、文化、自然を大切にしつつ、情報基盤を整備することで経済活動や観光等様々なビジネスを活性化することができ、豊かな地域社会が確立できると思う。(提言)
40歳代	男性	県外の進出企業に関して排他的なところが感じられる。住民の利益第一の市政を考えてほしい。(提言)
50歳代	男性	素材としての自然、歴史、文化が豊かなのに、それを積極的に生かしてまちづくりをしていこうという行政の意気込みが全く感じられない。(提言)
50歳代	男性	楽しい「街造り」をしましょう。(提言)
50歳代	男性	仙台市との地域的バランスをとれるように頑張る必要がある。県南が仙台圏に入ってしまう可能性もあるので存在感のある環境重視都市を構築することが重要である。(提言)
50歳代	男性	水を大事にしてゆくことが今後のまちづくりの重要ポイントになると思う。(提言)
50歳代	男性	南部藩の古い街並みを生かした水と緑のきれいな町づくりを推進すべき。(提言)
50歳代	男性	歴史的な建物を活用し、新しい事業を開発すること。それを街並みとして展開し、人の回遊性を創り出す。若い人達が何度も遊びに来る街を創ることによって、流出した若者のUターンにもつなげて行く発想が必要。(提言)
50歳代	男性	最近、西口都市整備など街づくりがミニ東京化しているように思われる。本来盛岡の持つ自然環境、歴史、文化を大切にしたまちづくりが必要だ。(提言)
50歳代	男性	北東北の拠点都市と言われるよう秋田市、青森市に遅れを取らない都市になるよう努力願いたい。(提言)
30歳代	男性	盛岡市がオリジナリティのある、また付加価値の高い都市である必要がある。(提言)

## 2 提言の内容 ( 広域合併について)

### 【数多く提言された意見】

- ・近隣町村との合併実現を積極的に進めるべき。
- ・合併を進めるのであれば、ほとんどの市民が合併の必要性を分かっていないので、市民にしっかりと説明して納得させるべき。
- ・近隣町村との合併を実現させ、北東北の拠点都市としてより一層発展すべき。

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	合併を阻害している要因には、包容力のある盛岡市のリーダーシップの欠如がある。
50歳代	男性	合併を含めた広域行政の積極的展開が必要。
50歳代	男性	北東北拠点都市として、もっとアピールをするべきである。広域的に連携が必要であり、周辺町村、さらには、縦・横軸の市と連携し、中心的役割果たす。
70歳以上	男性	近隣町村との合併実現を進めてもらいたい。
60歳代	男性	近隣町村との合併を促進し、北東北の拠点都市として位置づける。
60歳代	男性	国の施策におどらされての広域合併は論外であり、合併を進めるのであれば、市民にしっかりと説明して納得させるべきだ。ほとんどの市民が合併の必要性を分かっていない。
60歳代	男性	現在の盛岡市は人口29万人と中核市にもなれず中途半端な感じはまぬがれない。従って合併問題は何としても進めるべきである。
70歳以上	男性	広域合併について、地域住民がこの施策に参画できない現状では、住民の合意が進まず促進することは困難でないか。もっと必要性について、より具体的に住民に周知していくこと。本県で何故合併が進まないのか研究し、期限までに成就できるよう推進されたい。
50歳代	男性	広域合併を推進すべきだが、その際、隣接町村の合併後に果たすべき役割、ビジョンを明示すべき。滝沢村、矢巾町には雇用の場の提供と盛岡圏の食料庫としての役割を明示し、近郊農業を積極的に振興すべきであると考えます。
50歳代	男性	広域合併を積極的に進めてほしい。(滝沢村、矢巾町、玉山村、雫石町など)
70歳以上	男性	これからは救急医療(広域)のようにすべて広域的に進めて、財政の効率化健全化を図るべきだ。
50歳代	男性	今後、市町村合併が推進されていくと思われるが、長期展望に立った都市計画を早期に策定すべき。
70歳以上	男性	市勢の発展のうえから現在出されている町村合併について、なるべく早期に可能性の大きいところからでも実現に努力願いたい。
50歳代	女性	市町村合併は本当に必要なのか。小さな単位でその独自性をいかしたまちづくりがこれから必要だ。広域でやれる部分は、近隣の市町村と手をつなぎ実施すれば何も合併しなくてもよい。
70歳以上	男性	周辺合併にむけて、強力な活動をお願いしたい。
70歳以上	男性	周辺町村との合併を積極的に進め、行財政の健全化を図ること。
60歳代	男性	周辺町村の理解を得て、合併を中心とした広域圏都市構想を実現していただきたい。
70歳以上	男性	人口35万人以上の地方都市を目指し、周辺町村との合併が望まれる。将来広域合併がなされ盛岡周辺に住宅団地、企業団地が形成されることが望ましい。
40歳代	男性	生活圏の広域化が今後ますます強まり、近隣町村との連携が必要不可欠と考えるので、是非合併等について進展してほしい。
70歳以上	男性	市町村合併を推進し人口50万の北東北拠点都市をめざす。
60歳代	男性	伝えられている広域合併構想では、地域づくり、まちづくりは空洞化する。
60歳代	女性	人間が人間らしく過ごす事の出来る都市の状況として現在の盛岡市の人口が最も適数と思う。これ以上大きくなると、行政のきめの細かいサービスが一人一人に行き渡らなくなる。
50歳代	男性	八戸市に負けない町を目指すこと。50万都市を早期に実現すべき。
60歳代	男性	盛岡市、矢巾町、滝沢村との合併を実現して新しいまちづくりをしてほしい。

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	盛岡市及び周辺町村が有している都市機能を盛岡広域圏が無駄なく共有活用するとともに、それらをさらに充実・強化して住民の利便性を図っていくためには、市町村合併は避けられないと思う。特に盛岡市と滝沢村、矢巾町との合併を促進するようにお願いしたい。
60歳代	男性	盛岡市が他に誇る水と緑を大切に、広域的に発展してゆく為に生活圏を共有する市町村が合併して住民本位のまちづくりをしなければならない。
60歳代	男性	盛岡市勢の発展を図るには早急な滝沢村、矢巾町との合併が望ましいと思われる。
60歳代	男性	盛岡市の当面実施しなければ将来発展出来ない事として市周辺の町村との合併が必要。
60歳代	男性	盛岡市の発展は元より北東北三県、北海道も視野に入れた盛岡市としての位置付けを考えるべきだ。九州は地方7県が一つに観光都市化している。盛岡市だけの個ではなく、東北北海道を視野に入れた総合計画を策定、それに従って役割分担を決め、面として発展し、個を大切に、これが肝心と考える。
50歳代	男性	盛岡市は、県都として、周辺町村のみならず県下全市町村から尊敬される市とならなければならない。現在の盛岡市は県都としての優位性を独占するだけで、リーダーシップの片鱗も見えない。周辺町村が合併に踏み切れない事情を謙虚に考える必要がある。
50歳代	男性	盛岡市は県都である。市民の意識のほかに県民という意識、他の市町村とのつながり、県外とのつながりという視点が必要。
70歳以上	男性	隣接する町村の合併について、盛岡を北東北の拠点とし合併を実現して人口約35万人程度の増加が必要だ。隣接する町村の合併同意が得られない場合は人口増加の一考察として隣接する町村から盛岡市に土地及び住宅を安価に供給出来るように斡旋する。
50歳代	男性	隣接町村との合併。人口増のためなら合併は必要ないと思う。合併によって住民が住みよい市になれば大いに賛成である。
50歳代	男性	歴史、文化が盛岡市単独で成り立っている訳ではないのだから、観光、文化振興について、盛岡市自身が県内市町村に対し働きかけ、連携をとっていくものと考え。少なくとも周辺市町村との役割分担、機能分担はするべき。
70歳以上	男性	近隣市町村との合併を促進して、人口を増やし商業経済の活性化を図る。
70歳以上	男性	県都盛岡市として風格を備え、北東北拠点都市として、人口50万を目指すこと。
70歳以上	男性	広域化について、早々の近隣の合併化望む。
60歳代	男性	広域圏域との連携を密にし職住圏域の拡大を図るべきだ。
50歳代	男性	合併については、もっと市民との対話がほしい。同じ盛岡市民が話し合い近隣町村との話しが身近なものでなければならないと思う。
40歳代	女性	財政を良くするためにも、滝沢村と合併する。
70歳以上	男性	市の一層の発展のためには、先ず人口規模の面から近隣、周辺町村との合併問題の解決が必要である。そのためには、今構想策定が進められつつある新しい盛岡市総合計画が真に価値あり魅力あるものとして関係町村から認められなければならない。
70歳以上	女性	市営バスがほしい。それには町村合併をぜひ進めてほしい。
70歳以上	男性	市町村合併の推進。合併により、研究機関を充実すべき。
60歳代	男性	市町村合併の促進として、市が実施している諸施策を積極的にPRすべき。市は近隣町村の兄貴として町村の困っていることを積極的にお手伝いすべきである。
60歳代	男性	市町村合併は反対だ。今の市の行政は住民の為の行政になっていない。これ以上大きくしたなら、ますます住民に目が向かなくなる。
50歳代	女性	市町村合併も活性化には大切かもしれないがそのためにイベントの場所が遠くなるのは困る。
40歳代	男性	周辺の町村との合併を早急に行い、自然、文化、教育すべてにおいて誰もが訪れたい街として生まれかわる必要がある。
60歳代	男性	周辺町村をリードする力が無く、合併の議論も進まない。
50歳代	男性	人口30～40万人規模の地方都市は、機能が一番充実している。
70歳以上	男性	人口は40～45万として地域（広域町村）の機能分担を明確に示して、住民の合意形成を助けながら都市行政を推進願いたい。
70歳以上	男性	人口減少を防止し、街の活性化に取り組んでほしい。
70歳以上	男性	盛岡の人口がだんだん減るばかりです。どうすれば増加するか研究すべき。
70歳以上	男性	早急に周辺町村と合併を進め北東北の要となる必要がある。
70歳以上	女性	市町村合併を促進し、人口増加を目指し、活力あるまちづくりを望む。

性別	年齢	提言内容
70歳以上	男性	滝沢、矢巾との合併を目指すとするれば滝沢の分かれから矢巾に向う西バイパス幹線道路網の整備が必要だ。
50歳代	男性	滝沢村、矢巾町と機能分担しながら広域的な視点でビジョンを建てる必要がある。
50歳代	男性	滝沢村との合併を考えているようだが、職員意識、取り組む意欲は残念ながら滝沢村の方が上位にあるような気がする。規模のメリットを追求する時代は終わったのではないか。質的なレベルアップを目指すべき。盛岡市と一緒にになった方が発展するという明確なビジョンがほしい。
60歳代	男性	町村合併ももっと早く進めるべき、知恵を発揮して下さい。もっとリーダーシップが感じられて良い。
50歳代	男性	周囲の町村（矢巾、滝沢、玉山村）にとっても合併に魅力あるものにするため、効果的な施策を進め、将来的には広域行政圏として、中核都市を目指すべきと考える。（提言）

## 2 提言の内容 ( その他 )

### 【数多く提言された意見】

- ・市役所は移転すべき。
- ・旧競馬場跡地の有効利用を考えてほしい。
- ・提言出来る場、会をつくり、市民の声を積極的に取り上げてほしい。
- ・市の施策ビジョンの確立とそれを積極的に市民へ提示すべき。
- ・築川ダム建設の必要性について再考すべき。
- ・旧町名を復活させ、町名ごとの特色ある街並みづくりを進めてほしい。

性別	年齢	提言内容
60歳代	男性	イイツカ跡地の青空駐車場は、大通りの「ガン」だ。人が沢山集まる何らかの場として再生させなければならない。
60歳代	男性	大雪の時は全市民で除雪に協力し、莫大な除雪費を削減し、税金を別の分野に使用していただきたい。
70歳以上	男性	オーロパークを廃止し、総合運動公園とする。
不明	不明	旧競馬場から中央公民館に至る丘陵地帯の一体的整備を進めてほしい。
60歳代	男性	高度成長期に急激に増加した新興住宅地が、高齢化を迎えているような問題が出て来ている。地域の安全と環境、生活のしやすさについて具体的な対策の強化がほしい。
60歳代	男性	市街地が空洞化して、マンションだけがやたら増えて行くのは変だ。職住のバランスがとれたまちづくりの点からもここから、対策の立て直しが必要だ。
70歳以上	男性	施設等の箱物の増設は当分静観し、逆に利用度の低いものは維持費節減のため廃止した方がよい。現在西口開発に多額の予算が投入されているが人口密度の低い地区に立派な施設を作っても利用されるとは限らない。逆に市街地にある売り地の利用を考えた方がよい。
40歳代	男性	失業、リストラ等で、働きたくても働けない人が多いので、早く景気を回復させてほしい。
60歳代	男性	市内に経済特区を作り固定資産税等を大幅に軽減すべきと思う。
20歳代	男性	市内に土地が空けば駐車場がマンションになってしまい、非常に残念な思いを抱いている。郊外へ人が流れないように改善すべき。
50歳代	男性	自分達が住んでいる地域及び盛岡市全体を見つめる機会を設け、市民一人一人が関心を持つようにすべき。
60歳代	男性	食の安全を図るため食料（食品）に関する研究施設を盛岡に作り全国に安全性の良い食品を売れるようにしてほしい。
60歳代	女性	植物園は、珍しいもの熱帯植物等経費のかかるものでなく身近なもの野草、薬草等、実際に生活に役立つものがほしい。
50歳代	女性	小さな店がそれぞれ個性のあるもので（材木町のように）それらを大きくしたものが盛岡のイメージとして浸透するようにしてほしい。
50歳代	男性	道路にもタバコの吸いがらやゴミも少なく、美しい街だと感じてるが、バスがひどすぎる。古い上に、汚い。10分、20分遅れは当たり前、運転手の態度も悪く、このバス会社を良く市民が許していると感心する。まず、市内を走り回る「汚いバス」の洗車からまちづくりを始められたらいかがか。
50歳代	男性	箱物を作ったら活用をもっと工夫してほしい。北からの発信地として東北六県の中で最高でここにしかないというものがあれば人も集まると思う。
50歳代	女性	文化都市として知名度が高いはずの盛岡市において、パチンコ業界の時間を問わぬ音量や手段（車、ヘリ）を問わぬ宣伝音を許している盛岡は不評である事を認識すべき。
50歳代	男性	北方の広大な土地（東北農試等）を市民のために活用すべき。
70歳以上	男性	緑が丘地区に交番所の設置を県に働きかけてほしい。
40歳代	女性	もっと人情味のある盛岡になってほしい。
50歳代	男性	盛岡市の発展を阻害している要因の一つに「国有地」の問題がある。県と協力しながら、国有地の取得に努めるべきである。
70歳以上	男性	盛岡市のまちづくりの更なる発展のため、市長さんはじめ関係の方々の益々のご活躍を期待する。

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	県都としての役割を担うためには、少なくとも、週、月、単位の市民行動の充足度（満足度）を限りなく高くすべきである。年単位の行動については必ずしも充足度を50%以上にする必要はない。
40歳代	女性	県立大もあるので、現場の保育士や小学校、中学校、高校、大学そうした研究分野から医療、福祉などの分野とのパイプラインや共同で勉強できる研究機関など、もっと指導的立場のスーパーバイザーを育てられる機関が出来たらと思う。
60歳代	男性	現在の医大、岩手大学等の病院などの医療施設、教育文化を考えると岩手大学と共に考え盛岡市の50年100年先のビジョンを作る事が大事。
40歳代	女性	個々の人々の基本的な生活習慣が徹底され、マナー日本一を目指して欲しい。
70歳以上	男性	雇用、年金等について安心出来るようにして頂きたい。
70歳以上	女性	公共（空き地）の地でも市民の為に利用できるよう考えてほしい。
70歳以上	男性	公共施設における二次的なサービスは期間をおいて評価される。したがって、将来を見据える長期的な考え方、それを見据える確かな目を持って計画を進めて欲しい。
70歳以上	男性	更なる平和宣言を強く掲げてほしい。
50歳代	男性	市だけの対策ではだめだと思うが、タバコや酒の自動販売機の撤去条例を作してほしい。
70歳以上	女性	若者が、まちづくりに参加するようにするにはどうしたらいいかぜひ考えてほしい。
50歳代	女性	住基ネットは本当に必要だったのか。反対した市町村の住民になりたいと思った。個人のプライバシーに深慮したまちづくりであってほしい。
50歳代	男性	新幹線の通過駅になってしまったことに対する対策を講ずべき。
60歳代	女性	人はその風土と環境に大きく影響を受けて成長するもの。この風土にもっと眼を向けてほしい。
60歳代	男性	盛岡には何も無いと言う人がいるが、ふと気が付いて見るといいところがたくさんある。「盛岡再発見」市民も市職員心がけてみませんか？必ず、将来につながる事が見えてくると思う。
70歳以上	男性	盛岡のまちづくりの原点は『郷土愛の精神』であり、基本を誤ってはならない。
70歳以上	男性	盛岡の特性の掘り起こし。活力ある、そして他の県市に劣らない発想の展開を願う。
60歳代	女性	盛岡は観光資源も人材も豊かであるが活かし方が下手である。まず、人材の登用、その人の持つ才能、つまりタレント性を認めることから始めるとよいと思う。
50歳代	女性	盛岡駅を降りた際に盛岡らしさが人の目に、心にとび込む駅前環境の整備をすべき。
60歳代	男性	盛岡市国保税滞納者で保険証をとり上げている滞納者に対して、親切な納税相談を進め、保険証を機械的にとり上げるのではなくすべきである。
60歳代	男性	盛岡市大通り等、青少年の性非行の乱れが激しい、排除ではなく対話のできる明るい中心地にしたい。
70歳以上	男性	盛岡全市域とはいかないが、ある地域を設定して子供達が安心して遊べる街、車より人が優先する地域を望みたい。
60歳代	男性	早期に団地開発された町の問題点、地形、道路幅、ゴミ収集、除雪等々、再整備地域を指定し、長期計画での再整備を期待する。
60歳代	男性	大人の遊び、子供の遊び、幼児の遊び場所がもっとあって良い。
40歳代	男性	中央通りを利用したマラソン大会を実施してほしい。
40歳代	男性	老人が街を自由に歩ける環境やシステム、施設の確保等を進めてほしい。
30歳代	男性	東北地方だけの比較ではなく、全国にもっと目を向けるべきである。（提言）
50歳代	男性	遊休地の活用と県有地等活用の為の岩手県との連携をスムーズにするべき。（提言）
70歳以上	男性	情報化時代とは、技術開発や技能習得ばかりが主体ではない。いかに多くの情報を受け入れ、いかに吟味分析し、これを現実に結びつけるかがより大切である。盛岡の風土に適した、有用な先進情報を、より多く、より速やかに取り入れ、活性化のエネルギーとして備蓄培養し、効果的に活用しなければならない。
40歳代	男性	先端技術開発研究施設を創り、当然必要となるIT技術通信の整備を図るべき。
50歳代	男性	まちづくりのためのNPO活動の推進を組織的に取り組む。
70歳以上	男性	このアンケートの調査結果とそれに対する考え方を知りたい。広報・ホームページのほかに何か手だてがあるのか。一度のアンケートに終わるのでなく結果をもとにまちづくりのうえで大切なポイントを絞って、何らかの方法で更に住民の考えを掘りおこすこと。

性別	年齢	提言内容
60歳代	男性	今回のアンケートの結果は詳しく発表すること。市民は、常に市政に対し消化不良である。
60歳代	男性	本アンケートについて、今、保健、福祉、医療の問題、社会教育等の問題（青少年、若年）の調査やアンケートが様々な実施されている時、一般市民の意識調査程度の5設問少なすぎないか？
50歳代	男性	築川ダムについて、20年後に必要という水源確保も全く説得力がない。ぜひ再考をお願いしたい。
60歳代	男性	事業費が当初予算の2倍となった築川ダムは利水、治水、環境の面で問題である。盛岡市は60年後の利水計画を見直すべきである。
60歳代	男性	築川ダムはいらない。
40歳代	男性	市役所の移転を望む。
60歳代	男性	官公庁街の整備 県庁、盛岡合同庁舎、市役所について、長期計画で市街地への移転することで整備を進めるべきと考える。特に市役所は分庁舎を統合出来る庁舎を検討すべきだ。併せて、各支所の機能について、拡大し、市民のサービス向上に努めるべきである。特に都南総合支所、福祉関係施設について総合福祉施設の建設が必要である。
50歳代	男性	県庁か市役所のどちらかを移転し駐車場とする。移転先にも来客用の駐車場をきちんと確保し、公民館や福祉施設や図書館なども併設すべき。放課後、児童が利用できる児童館や職員がいる公民館などを、より細かな範囲の地域ごとに設置してほしい。
40歳代	男性	中心市街地問題とからむ岩手医大の移転についても、代替地の提供等街の中心核ともいうべき岩手医大を市が失われないよう、もっと積極的に交渉すべきではないかと考える。
50歳代	男性	矢巾町と将来合併するにしても、岩手医大の矢巾町進出は遺憾である。市の北部に大病院の設置を望みたい。
40歳代	男性	現在、盛南地区の開発が盛んに行われているが、旧競馬場の土地利用や市街地の道路整備も平行して行われるようであれば良い。
50歳代	女性	世代間交流のできる。また、集える建物を旧競馬場だった場所に建ててほしい。
70歳以上	男性	旧競馬場跡地に「螢の里」、犬の遊び場を整備してほしい。
60歳代	男性	旧競馬場跡地にテニスコート、ゲートボール場。
70歳以上	男性	旧競馬場跡地の整備に取り組みされていることが有難い。整備された施設等から使用できるようにしてほしい。自由ゾーンの有効利用。旧競馬場跡地の整備計画について、老、若が楽しめる施設がほしい。自由ゾーン（運動施設）の有効活用の中で配慮してほしい。
50歳代	男性	競馬場（緑が丘）跡地の利用。税金の入る（企業、大学等）施設を誘致したい。
50歳代	女性	競馬場跡地の有効利用を考えてほしい。
70歳以上	男性	競馬場跡地利用は高松公園との関連を考慮しながら開発を進めて欲しい。主として駐車場や休憩所等の施設をつくり、来園者にとって魅力的な場所となるよう工夫してみても如何か。
70歳以上	男性	新しい土地やまちづくりには競馬場跡地のこれからのビジョンが問われるところである。
40歳代	女性	一般市民の声が行政に反映される都市造りを希望。
50歳代	女性	いろんな委員会に市民から出ているのはとてもいい事だと思う。できればどんな事をしているのか、広報などで結果報告があれば良い。
70歳以上	男性	ゴミ問題は掛け声に比べ、逆に増やしている傾向がある。広報を始め文書はいずれ、ゴミになる。A版に固執するのであればA5を利用する等の工夫が欲しい。市で手本を示さなければ減量は進まない。
60歳代	男性	市勢の発展は、市民から湧き上がるエネルギーに他ならない。魅力ある盛岡を創るためにはまず、「市民が何を思い、何を必要としているのか」を知る事から始まる。その意味では、このアンケートは有効であるし、更により幅広く、市民の声を聞く必要があり、目に見える形で提示していく必要がある。
70歳以上	男性	市の発展が私達の生活に結びつかなく、もっと住民の「声」をよく聞いて進めてもらいたい。
60歳代	男性	まちづくりの懇談会なりを数多く開催し、住民の声を市政に反映させるシステムを検討すべきと思われる。今までの市政懇談会は、代表者のみの会合のようなきらいがある。もっと市政参加を身近に感じられるような会合の持ち方が必要ではないだろうか。

性別	年齢	提言内容
不明	不明	魅力ある都市づくりのため、市民の要望を尊重する姿勢が大切ではないか。市政懇談会、地域づくり懇談会等で要望される問題についても、15年～20年間、一つの問題について継続要望されても少しも進展していないことなど、市民ニーズに応えるため策定されているとはどうしても納得できない。
20歳代	男性	盛岡には、いろいろと良い環境があるのだから、より良くするために、住民の意見も取り入れていって欲しいし、住民も意見を出していかなければならないと思う。
60歳代	男性	一般市民のアイデアを聞く窓口がほしい。
40歳代	女性	市でもPR活動やいろいろ意見を聴く機会をたくさん設けてほしい。具体的な苦情や要望も聴いてはいると思うが盛岡市の長期的な発展をめざす姿勢が市民に届いていないような気がする。広報活動に力をいれてほしい。
50歳代	男性	市長と市民とのミニ対話集会を頻繁に行ってほしい。
70歳以上	男性	市民参加の在り方の必要性を考えてみたい。各種委員会の設置や行政懇談会の開催など形成的には市民参加の体制はできているが、その実態は必ずしも広く市民の生の声を把握する、反映するようにはなっていない。いわば、市民を代表する声にもなっていない。この点の変革を速やかに行わない限り、市民の満足度は達成できないし、市民参加型の行政はむずかしいものと思われる。盛岡市発展を阻害する要因として懸念される。
60歳代	女性	全国的にみて物価も高く又住民税も高い。どのように使われているのかもっと具体的に住民ひとりひとりが納得できるように説明してほしい。
60歳代	男性	地域で開く、まちづくり懇談会も、昔ながらの古いやり方だ。(市からの一方的伝達のみ)コンピュータを駆使した映像等時代に対応したやり方に考えるべき。また、住民の意見が市政に反映される具体的方法を考えるべき。それが実現すれば、市民も納得すると思う。
50歳代	女性	提言出来る場、会をつくり、市民の声を取り上げてほしい。
70歳以上	男性	市中心部と松園、青山町、都南地区を結ぶモノレール又は地下鉄を通してはどうか。現在のJR盛岡駅、山岸駅、米納駅から松園、青山町、太田(アリーナ)、飯岡駅、盛岡駅の外周りを。
70歳以上	男性	以前から出ているモノレール等の交通手段を検討し、50万都市を夢見る構想を進め、市の活性化を図るべき。
50歳代	男性	河川敷(中津川、北上川等)を利用した環状モノレールの設置。
50歳代	女性	山田線の盛岡部分をバスの用に利用するために細かく停車駅を作り、ワンマン運行すべき。
70歳以上	女性	市営バスの運行。
50歳代	男性	北上川を交通手段として活用すべき。
50歳代	男性	路面電車の導入を計る。
60歳代	男性	一般市民の立場から、市勢の方針が理解しづらい。現行計画が目標に対してどうなのかを市民に知らせる、明らかにすることから始める必要がある。
50歳代	女性	行政としては将来展望(長期計画や大事業など)の視点も大事だと思うが、並行して住民生活上のもっと身近な問題にも柔軟に即効性のある対応が出来るシステムと考えていただきたい。
70歳以上	男性	経済活動を活発にし、道路その他のインフラの整備を進めなければならないことは当然であり、盛岡も大きく変貌していくことと思うが、盛岡の良さを決して失うことのないよう計画し、進めていただきたい。
50歳代	男性	人口半減時代の22世紀に向けて、盛岡都市圏の将来像を示すべき。
70歳以上	男性	総合計画によって、ある一定期間を固定化することは、今日の社会の変化の早い時代においては一考を要するものと、これまでの経過の中で感じさせられたので、そのときどきの変化にも対応できる計画と運用が望ましいと考えられる。敢へて可能なものを不可能にしている向のないことを希望すると同時に、市民サイドで考えてみたいものである。
40歳代	男性	地域主権ということで、条例などの整備や地域にあった施策を考えていくシンクタンクも今後必要であろう。
50歳代	男性	都市としての将来像をもっとビジュアルな形で示すべき。
70歳以上	男性	近隣町村からみて、魅力ある盛岡とは何か。今の盛岡は、将来に対する見通し、構想はどうなっているのか。
60歳代	男性	市の施策ビジョンの確立とそれを積極的に市民へ提示すべき。
70歳以上	男性	盛岡の街の特性を如何にして作るかは発想、アイデアを若い(30～50代)世代の人々に出して頂いた方がよい。県立大学の学生達や教授達にまちづくり、魅力作りと計画を募り、賞金等をつけても良いとも考える。

性別	年齢	提言内容
50歳代	男性	盛岡の発展が岩手県の発展に不可欠という自負をもって、夢のある大胆なビジョンの策定を期待する。
40歳代	女性	盛岡市のコンセプト（まちづくり）がない。
70歳以上	男性	静の部分、動の部分と共生する行政の積極的なビジョンと指導の充実した街でありたい。
40歳代	男性	年間を通しての行事や取り組みが必要である。（例）平成16年度は環境、平成17年度は教育、平成18年度はスポーツとかメインテーマを決め、取り組んではどうか。
50歳代	男性	公営駐車場の整備。
40歳代	女性	市内（県民会館等）での大催事の際の駐車場問題の解消。
50歳代	女性	市内に公共の施設、会館が少ないことと駐車場が少ないし、あっても料金が高すぎる。
50歳代	男性	盛岡市内は旧町名を復活させ、歴史と文化の息づく町並みをつくりたい。
50歳代	女性	歴史のある盛岡を生かしてほしい。そのために、昔使われた町名を復活させるか、またはそれを思い浮かばせてくれるようなまちづくりをすとか、町名ごとの特色ある街並みづくりなどは、どうか。
70歳以上	男性	旧町名を残しておきたい。それには市の案内地図にのせるとか、街角に指標を設置すとか。
50歳代	女性	盛岡の歴史を感じられるよう、町名を通称で良いから旧町名表示をしたら良いのではないか。地域地域に旧町名の由来（地域の歴史）を書いた表示板を立てたらどうか。
40歳代	女性	町の町名は、昔ながらの名称であってほしい。
70歳以上	男性	町名について、地名は言葉の化石とも言われている。町名の改変にはこの点を留意してほしい。
40歳代	女性	町名の見直しについて、古い町名はそれだけでとても魅力があると思う。
70歳以上	女性	電柱や目立つ建物へ、町名・地番をわかり易く表示して欲しい。
70歳以上	男性	由緒ある町名の復活（中心街周辺の）を望む。